NTT

Netcommunity SYSTEM

BX

取扱説明書

主装置タイプ

ND ナンバー・ディスプレイ 対応
ネーム・ディスプレイ

このたびは、ネットコミュニティシステム　BX 主装置タイプをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

技術基準適合認証品
BX-AME-〈1〉
BX-IME-〈1〉

1 お使いになる前に
2 電話をかける／受ける
3 より便利に使う
4 いろいろな機能を登録・設定する
5 ご参考に

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

＜無線LAN対応FOMAをご利用の際＞

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ご利用にあたってのお願い

- 本書は、ネットコミュニティシステムBX標準電話機を例として記載しており、本文中では、特に断りがない限り「内線電話機」という表現を用いております。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を取扱説明書の消去方法（☛P8）にしたがって消去願います。
- 本商品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 電話機操作について簡易取扱説明書をご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

設置について

⚠警告

●主装置、電話機、モジュラージャックや電話配線のそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。主装置、電話機、モジュラージャックや電話配線に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

●主装置、電話機やモジュラージャックは次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- 湿気の多い場所や水·油·薬品などのかかる恐れがある場所。
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

●主装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、主装置の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。

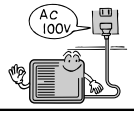
- 通風孔のある面を下にして主装置を置く、逆さまにする。
- 主装置を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
- 主装置をじゅうたんや布団の上に置く。
- 主装置にテーブルクロスなどをかける。
- 主装置の周りに物をおいて、通風孔をふさぐ。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お取り扱いについて

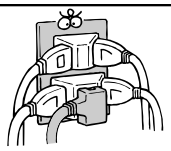
⚠警告

●電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、主装置の誤動作の原因となることもあります。



●お客様による主装置の設置工事、配線作業、修理、移動などは危険ですから絶対におやめください。主装置の設置工事、配線作業、修理、移動などを行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

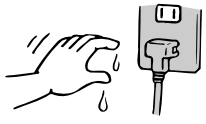
●万一、主装置内部のヒューズ切れなどにより使用不可となった場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。お客様によるヒューズの交換は絶対に行わないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●万一、主装置を倒したり、主装置キャビネットを破損した場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●主装置や電話機から異常音がしたり、主装置キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

●主装置、電話機、モジュラージャックや電話配線に水をかけたり、ぬれた手での操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●主装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠警告

●万一、主装置内部、電話機、モジュラージャックや電話配線に水などの液体が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●主装置や電話機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された主装置や電話機は修理に応じられない場合があります）。

●主装置のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。

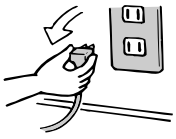
●主装置の電源コードおよび電話機までの配線などを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードおよび配線が破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードおよび配線が傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●主装置の電源コードおよび電話機までの配線などが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●近くに雷が発生したときは、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、主装置の電源スイッチを切って、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。

●主装置や電話機、電源コード類を熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コード類の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



●コードレス電話機は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。

●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から１年に１回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

●お客様が用意された機器を主装置および電話機に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

⚠注意

●主装置や電話機は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- 振動、衝撃の多い場所。

●主装置や電話機を卓上設置する場合や壁掛け設置する場合は、専用の取り付け用品によりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。

●屋外に渡る配線は行わないでください。特に、建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。

お取り扱いについて

⚠注意

●主装置や電話機の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

●主装置や電話機に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

●本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

●主装置は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けになることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

●電話機の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

●受話音量を明瞭モードに切り替えて、音量を大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。

設置について

STOP お願い

●主装置や電話機を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、電話機などの設置場所を移動してみてください。

●電話機は平らな面に置いてお使いください。落下や故障の原因となることがあります。

●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、主装置や電話機などの寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて

STOP お願い

●主装置や電話機などをぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。主装置や電話機などの変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

●停電中に主装置の電源スイッチを切らないでください。停電復旧時に使用できなくなります。

●停電のときは、停電用電話機を使用してください。

- 他の内線電話機は使えません。
- ドアホンは使えません。
- 発信電話番号表示機能は使えません。

●ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示のご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

●ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。

●受話器は逆方向に掛けないでください。正常に動作できないことがあります。

●電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

●電話機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

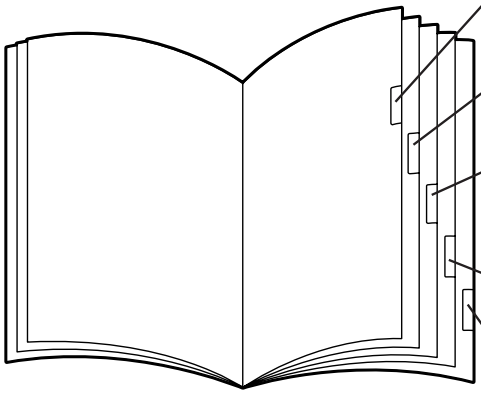
安全にお使いいただくために必ずお読みください／この取扱説明書の見かた

■廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。下表にしたがって消去または当社のサービス取扱所にご相談ください。
ただし、システムデータに保持されているお客様固有情報は下表の処置では消去されませんので、消去されたい場合には当社のサービス取扱所にご相談ください。

記録内容	処置（取扱説明書参照ページ）
発信履歴	P55を参照し、発信履歴をすべて消去してください。
着信履歴	P55を参照し、着信履歴をすべて消去してください。
個別電話帳登録	P132を参照し、個別電話帳登録をすべて消去してください。
共通電話帳登録	P41を参照し、共通電話帳登録をすべて消去してください。
ワンタッチボタン登録	P136を参照し、ワンタッチボタン登録をすべて消去してください。
転送先登録	P83を参照し、転送先登録をすべて消去してください。
Web通話履歴	当社のサービス取扱所にご相談ください。

この取扱説明書の構成



1 お使いになる前に
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

2 電話をかける／受ける
電話をかけたり、受けたりする基本機能について説明しています。

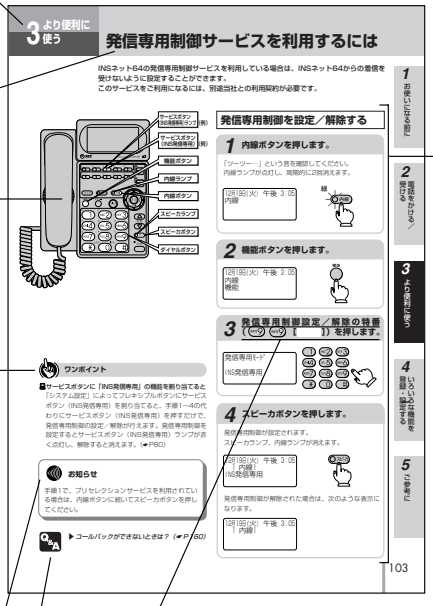
3 より便利に使う
さまざまな機能やサービスを使った操作についてまとめています。また、知っておくと便利な機能や操作上の注意点について、「Q&A」形式で説明しています。

4 いろいろな機能を登録・設定する
内線電話機の操作で行う登録・設定や、Web設定について説明しています。

5 ご参考に
付属品や添付品・オプションの説明、「故障かな？」と思ったときの確認方法などを説明しています。

操作説明ページの構成

<サンプル>



章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

電話機イラスト
操作で使うボタンなどの位置を示しています。

ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

次の3種類のマークで項目を区別しています。

- ● ：お買い求めいただいてすぐにご利用いただける機能の補足説明
- 💻 ：「システム設定」することによりご利用いただける機能の補足説明
- ○ ：その他の補足説明

お願いまたはお知らせ
〈お願い〉

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

〈お知らせ〉

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

Q&A 「3 より便利に使う」にQ&A形式で詳しく説明している事項を示しています。

操作手順説明
順番に操作を説明しています。
見出しの枠を次のように区別しています。

- ■ ：お買い求めいただいてすぐにご利用になれる機能
- □ ：「システム設定」によりご利用になれる機能

ガイダンス
(例)
転送電話を設定しました。
自動応答サービスのガイダンスを示しています。

特番（～用の特番）
機能ボタン、決定ボタンなどのあとに押して、各種機能を利用できるようにする番号です。
特番は、「システム設定」で変更することもできます。
この取扱説明書では、特番について次のように表しています。
〈例〉
発信専用制御設定／解除の特番（ 9WXYZ 9WXYZ [　　]）を押します。

お買い求め時の番号

「システム設定」で変更した場合の番号を記入してください。

目　次

安全にお使いいただくために必ずお読みください ……2
この取扱説明書の見かた ……8

1 お使いになる前に

システム構成図 ……12
特長 ……13
セットを確認してください ……14
各部の名前 ……15
メニューの操作について ……20
　メニュー番号を入力して設定する ……20
　メニュー項目を順番に表示させて設定する ……21
日付、時刻を合わせます ……22
　日付を設定する ……22
　時刻を設定する ……24
音量を調節します ……26
　着信音量を調節する ……26
　スピーカ音量を調節する ……27
　ハンドセット受話音量を調節する ……27

2 電話をかける／受ける

電話をかけるには（外線発信） ……28
　ハンドセットを取りあげてかける ……28
　ハンドセットを置いたままかける
　　（オンフックダイヤル） ……29
　電話番号を確認してからかける
　　（プリセットダイヤル） ……30
電話がかかってきたときは（外線着信） ……32
相手の方に待っていただくには（保留） ……34
　普通に保留する（共通保留） ……34
　他の電話機で取れないように保留する
　　（個別保留） ……35
ワンタッチボタンで電話をかけるには ……36
　ワンタッチボタンに登録する ……36
　ワンタッチボタンでかける ……38
電話帳を使って電話をかけるには
　（電話帳ダイヤル） ……40
　電話帳を登録する ……40
　文字を入力する ……42
　電話帳ダイヤルでかける ……44
電話を取りつぐには（保留転送） ……46
　お話しを他の内線電話機に転送する ……46
　お話しを他の外線に転送する ……48
内線でお話しするには（内線通話） ……50
　ハンドセットを取りあげずに応答するには
　　（内線ハンズフリー応答） ……52

3 より便利に使う

電話番号をメモしておくには（メモダイヤル） …53
　メモダイヤルを登録する ……53
履歴を使って電話をかけるには
　（発信／着信履歴発信） ……54
着信履歴の電話番号を着信拒否登録するには ……56
空いている外線を選んで電話をかけるには
　（空き外線自動発信） ……58
　自動発信可能な外線の中から選んでかける
　　（空き外線自動発信） ……58
　外線グループの中から選んでかける
　　（外線群指定発信） ……59
ハンズフリーで電話をかけるには
　（ハンズフリー通話） ……60
　ハンズフリーで電話をかける ……60
　ハンズフリーで電話を受ける ……61
3人でお話しするには（会議通話） ……62
　外線通話中に口頭で内線を呼び、
　　3人でお話しする ……62
　外線通話中に内線を呼び、3人でお話しする ……64
お待たせメッセージを利用するには ……66
　お待たせメッセージを流す ……66
発信元に自動コールバックするには ……68
　携帯電話からコールバックを利用して内線電話機と
　　通話する（システム内線着信） ……68
外出先からのリモコン操作
　（自動応答サービス） ……70
　自動応答サービス利用の準備と流れ ……70
　外出先からリモコン操作をする ……72
ドアホンとお話しするには ……75
　ドアホンからの呼び出しに応答する ……75
　ドアホンの周囲の音を聞く
　　（ドアホンを呼び出す） ……76
電話機の名前を登録するには
　（内線ネーム登録） ……77
不在のときの電話を転送するには
　（不在着信転送） ……78
　不在着信転送を登録する ……78
　不在着信転送を解除する ……79
よく使う機能をワンタッチボタンで操作するには
　（サービスボタン） ……80
　サービスボタンの機能を変更する ……80
転送電話を利用するには ……82
　転送電話の転送先リストを登録する ……82
　転送電話の対象とする回線を設定する ……84
　転送電話をセットする ……85
　その他の転送電話の活用 ……87

セキュリティサービスを利用するには ……88
セキュリティサービスの動作の流れ ……89
外線の通報先を登録する ……90
セキュリティサービスを起動する ……91
セキュリティサービスを解除する ……91
自動通報を受けたときは ……92
単体電話機を利用するには ……94
電話をかける（外線発信） ……94
電話を受ける（外線着信） ……95
相手の方に待っていただく（保留） ……95
電話帳を使って電話をかける ……96
単体電話機でのいろいろな操作 ……97
ご利用になれる各種ネットワークサービス ……98
主なネットワークサービスの対応状況 ……98
主なINSネット64の対応状況……99
キャッチホンサービスを利用するには ……101
プッシュホンサービスを利用するには（DP→PB切替）……102
発信専用制御サービスを利用するには ……103
発信専用制御を設定／解除する……103
ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用するには ……104
ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用した便利な機能……104
相手の方の電話番号を確認する……104
ネーム・ディスプレイを利用すると……106
外から特定の電話機を呼び出すには（ダイヤルインサービス／i・ナンバー／サブアドレス通知サービス）……107
非通知着信拒否サービスを利用するには ……108
ボイスワープを利用するには ……110
INSボイスワープの転送先電話番号を登録する…110
転送先リストを指定する……112
INSボイスワープの転送を開始／停止する ……113
フレックスホンサービスを利用するには ……114
お話し中に別の相手の方とお話しする（通信中着信通知） ……114
3人でお話しする（三者通話機能：ミキシングモード）……116
通話中の電話を転送する（通信中転送機能）…118
外からの電話を決められた相手の方に直接取りつぐ（着信転送機能） ……119
着信転送モードを設定する……120
システムモードを利用するには ……122
システムモードの利用……122
着信音を鳴らす時間帯をシステムモードごとに設定する……123
Q&A ……124
登録・設定……124
電話帳……124
回線……126
保留／内線通話／保留転送……127
通話……127
表示……128
その他……128

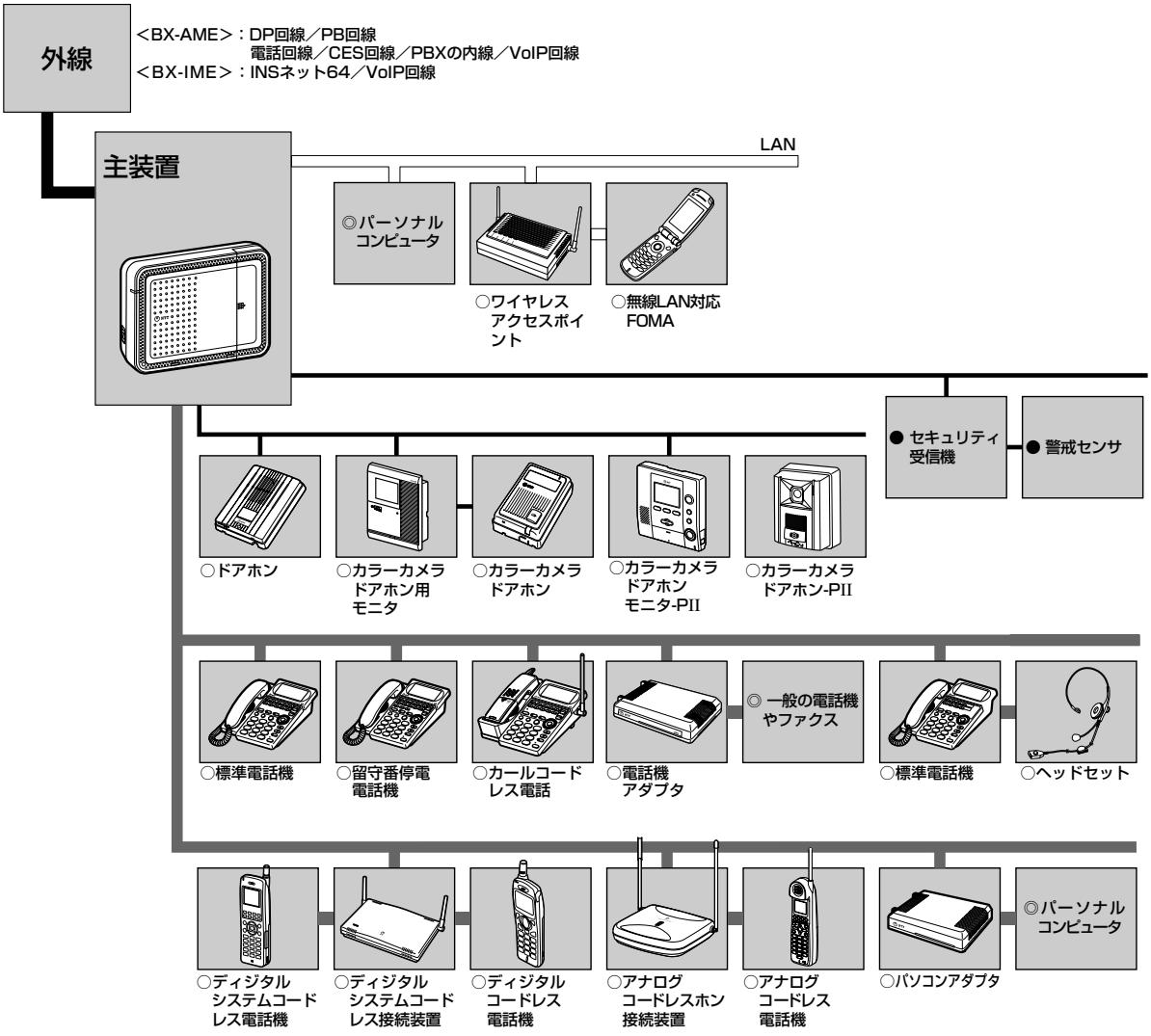
4 いろいろな機能を登録・設定する

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）……130
電話機毎設定……132
システム一括設定……142
特番を使って操作するには ……154
特番一覧……154
パソコンを使って登録・設定をするには（Web設定） ……160
主装置と接続してWeb設定を行う ……161
Web設定項目一覧 ……164
パソコンを使って電話帳を編集するには ……166

5 ご参考に

こんな音がしたら／電池交換が必要になったときは……168
故障かな？と思ったら ……169
添付品／付属品／オプションをご利用になるには ……170
添付品をご利用になるには……170
付属品をご利用になるには……172
オプションをご利用になるには……173
システム設定によりご利用になれる機能 ……174
発信……174
着信・応答……174
保留・転送……175
セキュリティサービス……175
その他……175
主装置ソフトウェアを更新するには ……176
最新ソフトウェアがあるかどうかを手動でチェックする……176
最新ソフトウェアを手動でダウンロードする…177
設置と接続について ……178
ご利用になれるオプション装置 ……179
停電になったときは ……182
用語の説明 ……183
索引 ……186
操作早見表＜標準電話機＞ ……191
仕様 ……195
保守サービスのご案内 ……196

システム構成図



ワンポイント

●オプションについて

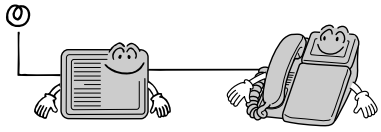
○：当社で用意しています。

◎：当社で用意していますが、お客さまでご用意していただいてもかまいません。

●：お客さまでご用意していただきます。

特　長

最大4回線で8台までの電話機を接続可能
ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプには、8台までの電話機、2台までのドアホンを接続できます。

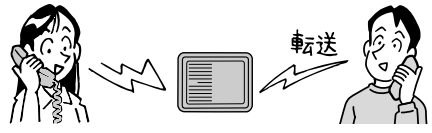


無線LAN対応FOMAの利用
LANネットワーク上にワイヤレスアクセスポイントを収容することにより、無線LAN対応FOMAを内線電話機として使用することができます。

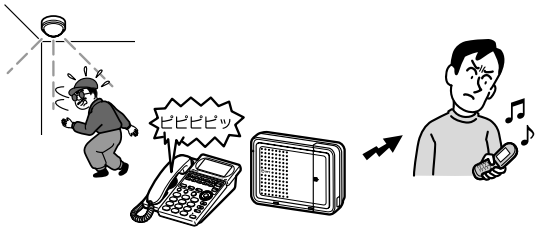
IP電話*サービス機能
IP電話サービスをご利用いただけます。
*IP電話：音声データをIPネットワーク上でやりとりするための「VoIP（Voice Over Internet Protocol）」の技術を利用した電話です。

パソコンを使って行えるWeb設定
LANで主装置にネットワーク接続したパソコンを使って、個々の電話機やシステム共通の登録・設定が行えます。

いろいろ使える転送機能
外出時などに転送をセットすると、かかってきた電話を携帯電話や外部の電話で受けることができます。また、特定の方からの電話やダイヤルイン着信した電話を、あらかじめ登録した電話番号に常時転送させるように設定しておくこともできます。



セキュリティサービス機能
警戒センサが侵入者を検知したときに、外出先などへ自動的に通報したり、内線電話機から威嚇音を流したりすることができます。

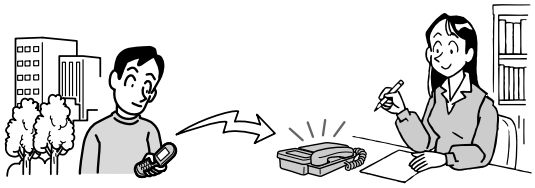


発信元への自動コールバック
特定の電話番号からの着信に対して、システムが自動的にコールバックする機能を利用すると、外出先からでも自宅やお店（システム設置所）の料金負担で通話できます。（☛P68）

簡単に行えるメニュー設定
電話機のディスプレイに表示されるメニューを操作して、さまざまな登録や設定が行えます。

ナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイ
着信履歴を記録したり、相手によって着信先や着信音を変えるなど、発信電話番号を利用したさまざまな機能を活用できます。サービスのご利用には、別途当社との利用契約が必要です。

便利なリモコン操作
外出先からのリモコン操作で特定の内線電話機を呼び出したり、転送電話やシステムモードの切り替えなどを行うことができます。



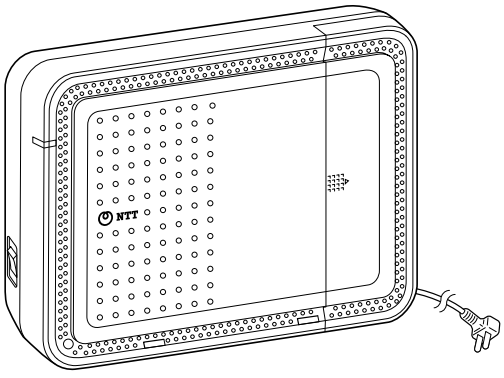
お知らせ

各オプション装置をご利用いただく場合は、各機器の取扱説明書をご参照ください。

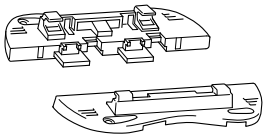
セットを確認してください

主装置

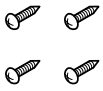
■本体（1台）



■添付品



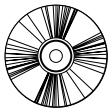
壁掛け卓上脚
（2個）



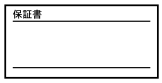
壁掛け用ネジ
（4個）

■付属品

取扱説明書
（1部）



CD-ROM
（1枚）

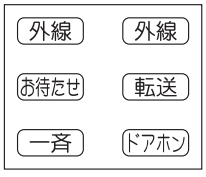


保証書（1枚）

標準電話機

■本体（1台）

■付属品



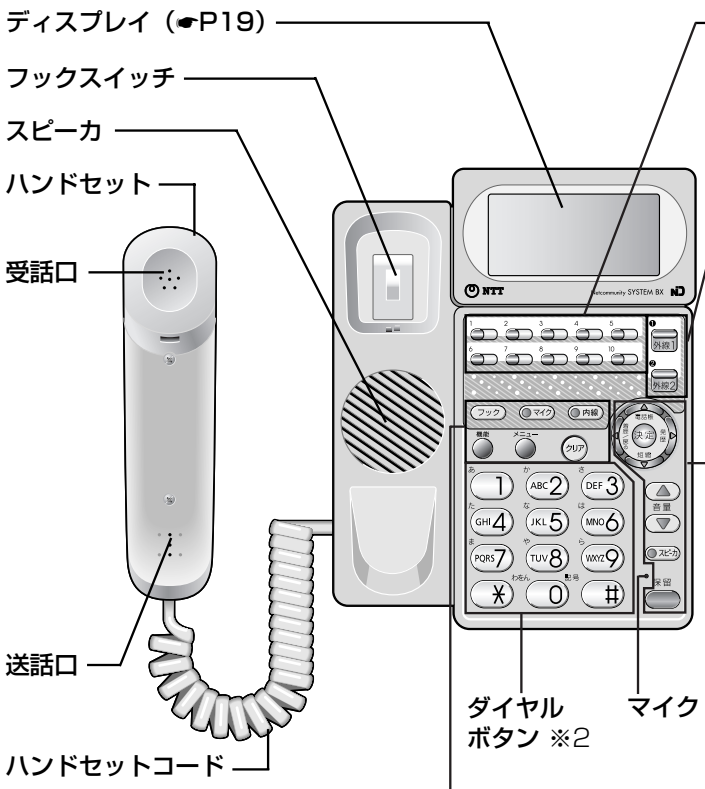
電話機用シール
（1枚）

「NTT通信機器お取扱相談センタ」シール
（1枚）

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合には、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

各部の名前

標準電話機



フレキシブルボタン
「システム設定」により、これらのボタンに外線ボタンやワンタッチボタン、サービスボタンなど、さまざまな機能を割り当てて使います。

外線ボタン ※1
外線に電話をかけるときなどに使います。

決定ボタン
いろいろな機能を登録するときや、選択した項目や入力した内容などを確定するときに使います。また、内線通話や転送の操作などにも使います。

上下左右ボタン
カーソルの移動、画面のスクロールや、かなを漢字に変換するときなどに使います。

- **上ボタン、電話帳ボタン**
  カーソルを上に移動するときや電話帳検索画面を表示させるときなどに使います。
- **下ボタン、短縮ボタン**
  カーソルを下に移動するときや電話帳メモリ検索で電話をかけるときなどに使います。
- **左ボタン、着歴／戻るボタン**
  カーソルを左に移動するときや1つ前の画面に戻るとき、着信履歴を表示させるときなどに使います。
- **右ボタン、発歴ボタン**
  カーソルを右に移動するときや、発信履歴を表示させるときなどに使います。

音量調節ボタン
スピーカやハンドセットからの音量を調節するときに使います。

スピーカボタン
相手の方の声をスピーカで聞くときや、ハンドセットを置いたまま電話をかけるときなどに使います。

保留ボタン
相手の方とのお話しを保留するときに使います。

フックボタン
キャッチホンなどで使います。

マイクボタン
マイクのオン、オフを切り替えるときや、ハンドセットを置いたままで内線の呼び出しに応答するときに使います。（☛P52）

内線ボタン
内線でお話しするときや、いろいろな登録操作をするときに使います。

機能ボタン
他のボタンと組み合わせて、いろいろな機能を登録するときに使います。

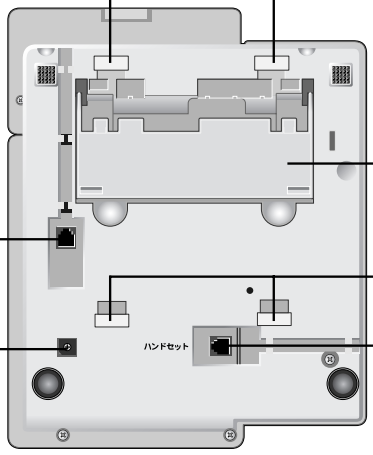
メニューボタン
メニュー設定を行うときや、文字の入力モードを切り替えるときに使います。

クリアボタン
文字を消去するときや、メニュー設定を中止するときに使います。

※1：「システム設定」により、ワンタッチボタン、サービスボタンなどの機能を割り当てることもできます。
※2： ダイヤルボタン (JKL 5) に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

各部の名前

【底面】



壁掛け用穴（☛173）

角度調節足

電話機コード差込口
電話機コードを差し込みます。

壁掛け用穴（☛173）

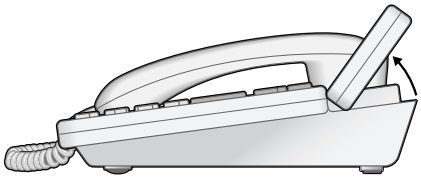
ハンドセットコード差込口
ハンドセットコードを差し込みます。

工事者設定用スイッチ

STOP お願い

工事者設定用スイッチは変更しないでください。変更するとご利用になれなくなります。

【右側面】



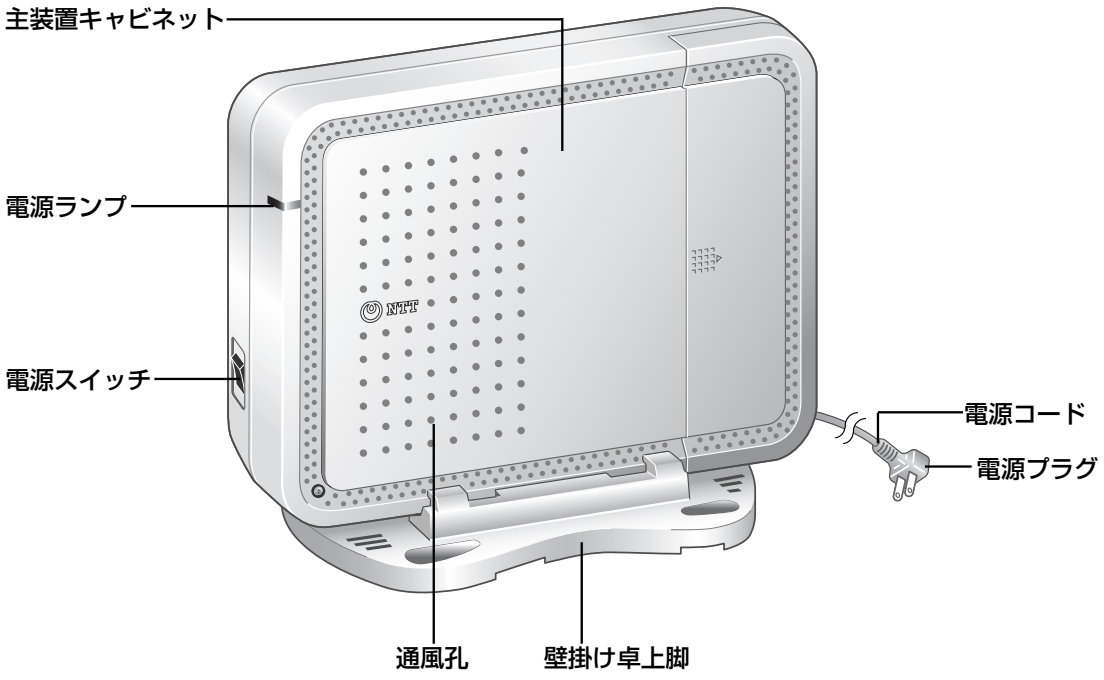
約45°まで

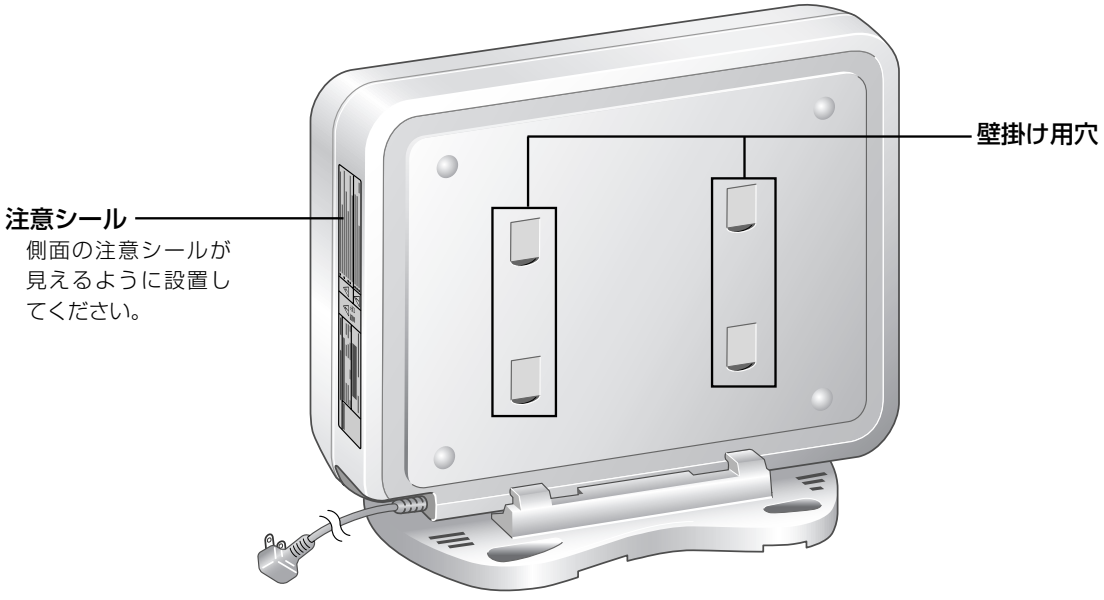
ディスプレイ部分を起こすことができます。

STOP お願い

ディスプレイを無理に起こしたり、動かしたりしないでください。

主装置





ワンポイント

○主装置を立ててお使いになるには

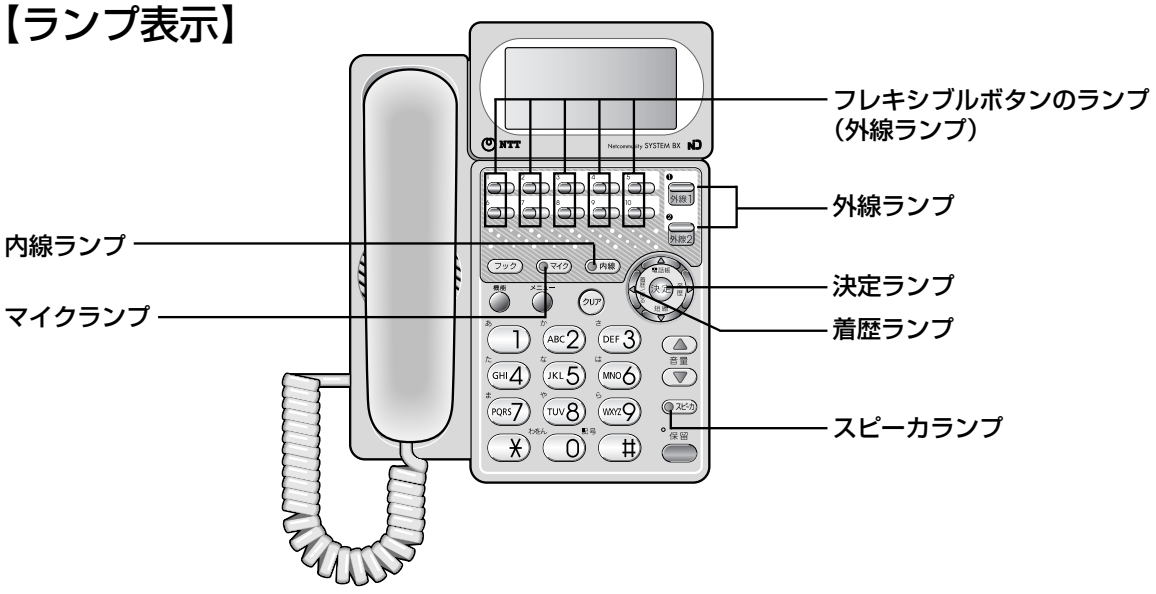
イラストのように、壁掛け卓上脚を使って主装置を立てることができます。（☛P171）

○主装置を壁に取り付けるには

壁掛け卓上脚を使って主装置を壁に取り付けることができます。（☛P170）

各部の名前

【ランプ表示】



■ ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて右記のように表します。

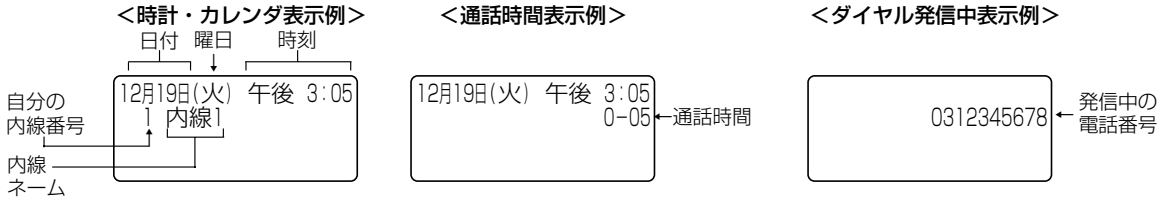
点灯 内線　　点滅 内線

ランプの種類	ランプのつきかた（色）	電話機の状態
外線ランプ（外線ボタン機能を割り当てられたフレキシブルボタンのランプ）	点灯中、周期的に2回消える　（緑）	自分の電話機でお話し中のとき
	点灯　（赤）	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のとき
	点滅　（緑）	外線通話が転送されているとき
	点滅　（赤）※1	外から電話がかかってきたとき
	遅い点滅　（赤）（約1秒周期）	他の内線電話機で保留中のとき
	周期的に2回点灯（緑）	自分の電話機で外の相手の方とのお話しを保留中のとき
	遅い点滅　（赤）（約0.5秒周期）	ダイヤルイン番号／i・ナンバーを割り当てた外線ボタンで着信拒否しているとき　※2
	遅い点滅　（緑）（約1秒周期）	フレックスホン起動中のとき
	点灯中、周期的に2回消える　（赤）	転送電話の対象外線ボタンで、転送電話をセット中のとき
内線ランプ	点滅　（赤）	内線で呼び出されているとき
	点灯中、周期的に2回消える　（緑）	自分の電話機で内線通話をしているとき
	周期的に2回点灯（緑）	自分の電話機で保留中のとき
マイクランプ	点灯　（赤）	マイクがオンのとき
決定ランプ	点灯　（赤）	通話を保留中で、転送できないとき
着歴ランプ	点灯　（赤）	ディスプレイに着信履歴を表示しているとき
	周期的に2回点灯（赤）※3	着信履歴を確認していない不在着信があるとき
スピーカランプ	点灯　（赤）	スピーカを使用しているとき

※1：保留警報時、ダイヤルイン着信時などの場合は緑色になります。
※2：外線ボタンには、ダイヤルイン番号／i・ナンバーを割り当てることができます。（☛P107）なお、ダイヤルイン番号とi・ナンバーを併用することはできないため、以降のページでは、「ダイヤルイン番号を割り当てた外線ボタン」としてi・ナンバーを省略して記述しております。i・ナンバーをご利用の場合は、ダイヤルイン番号の部分をi・ナンバーに読みかえてください。
※3：「履歴ランプ表示設定」を「表示する」に設定した場合のランプ表示です。（☛P140）

【ディスプレイの見かた】

ディスプレイ表示は、ダイヤル回線をご利用の場合、プッシュ回線をご利用の場合、ISDN回線をご利用の場合、VoIP回線をご利用の場合で異なります。この取扱説明書では、ダイヤル回線をご利用の場合を例として説明しています。



■ディスプレイの表示例

待機中	12月19日(火) 午後 3:05 1 内線1	待機中のときに表示されます。
外線発信（DP回線）	12月19日(火) 午後 3:05 外線	ダイヤル回線で外に電話をかけるときに表示されます。
外線発信（PB回線）	12月19日(火) 午後 3:05 外線 PB	プッシュ回線で外に電話をかけるときに表示されます。
外線発信（ISDN回線）	12月19日(火) 午後 3:05 外線 ISDN	ISDN回線で外に電話をかけるときに表示されます。
外線発信（VoIP回線）	12月19日(火) 午後 3:05 外線 VoIP	VoIP回線で外に電話をかけるときに表示されます。

外線通話（DP回線）	12月19日(火) 午後 3:05 0-05	ダイヤル回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
外線通話（PB回線）	12月19日(火) 午後 3:05 0-05 PB	プッシュ回線で外の相手の方とお話し中のとき、またはPB信号が送出可能なときに表示されます。
外線通話（ISDN回線）	12月19日(火) 午後 3:05 0-05 ISDN PB	ISDN回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
外線通話（VoIP回線）	12月19日(火) 午後 3:05 0-05 VoIP PB	VoIP回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
キーパッド送出（ISDN回線）	12月19日(火) 午後 3:05 0-05 ISDN PB ｷｰﾊﾟｯﾄﾞ	キーパッド送出（ISDN回線）が可能なときに表示されます。

ワンポイント

●ディスプレイの表示をクリアするには（表示クリア）
クリアボタンを押すと、表示内容をクリアすることができます。ただし、ディスプレイにピクトグラム（PB、ISDN、不在着信転送など）表示中の場合は、ピクトグラムの表示はクリアされません。

○ディスプレイのバックライトを点灯させるには
ディスプレイの照明を点灯させて、より見やすくすることができます。常時点灯させておくほか、ボタン操作をしたときに点灯するように設定することもできます。(☛P141)

<バックライト消灯>

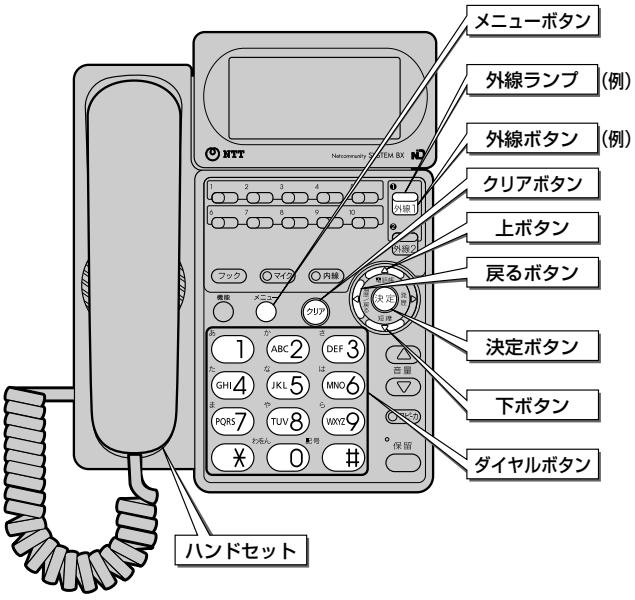
<バックライト点灯>

お知らせ

- 表示内容は、「システム設定」によって異なることがあります。
- 通話時間は、保留や転送を行うといったんクリアされ、応答した内線電話機に保留した時間も含めて、継続して表示されます。
- 会議通話中にキーパッド送出はできません。
- ✳を押した場合、ディスプレイには「*」と表示されます。

メニューの操作について

ネットコミュニティシステムBXの電話機では、ディスプレイに表示されるメニューを使っていろいろな登録・設定を行います。
メニュー項目の選択方法には、ダイヤルボタンでメニュー番号を入力する方法と、上下ボタンでメニュー項目を順番に表示させて設定する方法があります。本文中では、ダイヤルボタンを使う方法で説明しています。

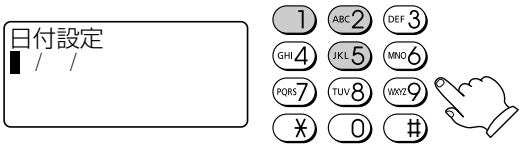


メニュー番号を入力して設定する

1 メニューボタンを押します。

2 メニュー番号（☛P132～P153）をダイヤルボタンで押します。

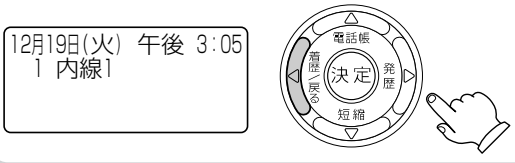
登録・設定画面が表示されます。
<例>メニュー番号 ABC2 JKL5 1（日付設定）の場合



3 登録・設定操作を行います。

登録・設定操作については、各機能の説明ページおよびP132～P153を参照してください。
設定が完了すると「ピッピッ」という確認音が鳴ります。

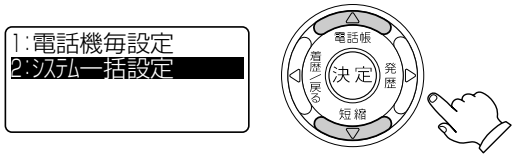
4 戻るボタンを長く押します。



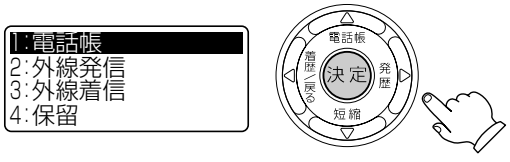
メニュー項目を順番に表示させて設定する

1 メニューボタンを押します。

2 上下ボタンでメニュー項目を選択します。



3 決定ボタンを押します。



4 手順2～3を繰り返して目的の項目の登録・設定画面を表示させます。

登録・設定操作についてはP132～P153を参照してください。
設定が完了すると「ピッピッ」という確認音が鳴ります。

5 戻るボタンを長く押します。

ワンポイント

●文字を入力するには
数字・文字の入力操作やボタンの働きについてはP42を参照してください。

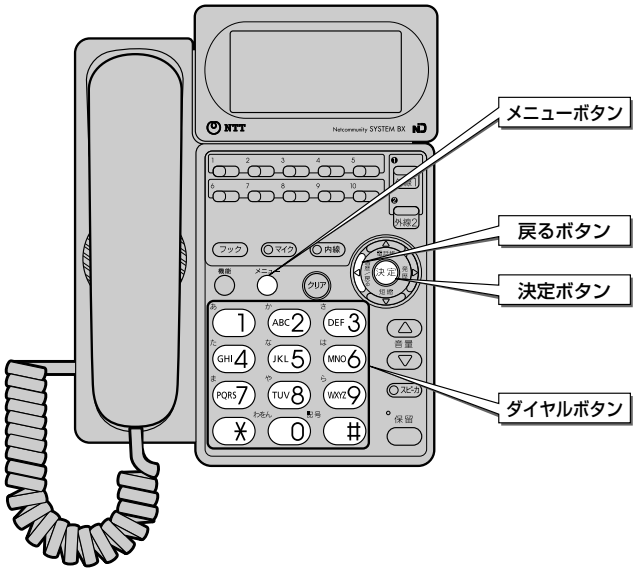
●メニュー設定中に電話がかかってきたときは
着信音は鳴らず、ランプ表示で着信をお知らせします。メニュー設定を中止して応答するときは、ハンドセットを取りあげてから外線ボタンを押します。

●メニュー設定中のボタン操作

操　作	押すボタン	操作後の動作
前の画面に戻る	戻るボタン	1つ前の画面に戻る（文字入力中の場合は、カーソルが一番左にあるときのみ、1つ前の画面に戻る）
設定を中止する	クリアボタン	時計・カレンダ表示または外線通話中画面に戻る（文字入力中の場合は、1文字消去または漢字変換のキャンセルとなる）
	戻るボタン（長く）	時計・カレンダ表示または外線通話中画面に戻る

日付、時刻を合わせます

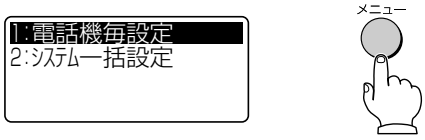
年月日と時分を設定します。1台の内線電話機で設定操作を行うと、すべての内線電話機の日付・時刻が一括で設定できます。日付・時刻の設定は、他の電話機が外線を使用していないときに行ってください。



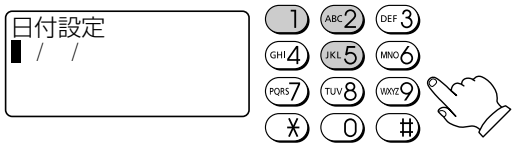
日付を設定する

＜例＞2006年12月19日に合わせるとき

1 メニューボタンを押します。



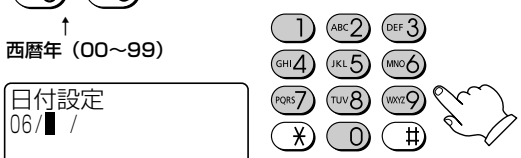
2 (2) (5) (1) を押します。



3 西暦の下2桁をダイヤルボタンで押します。

(0) (6)

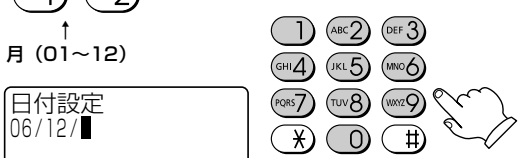
↑
西暦年（00～99）



4 月をダイヤルボタンで押します。

(1) (2)

↑
月（01～12）



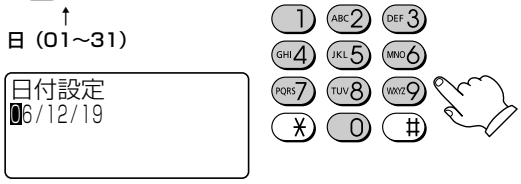
お知らせ

他の人が外線を使用しているときは、設定できません。

5 日をダイヤルボタンで押します。

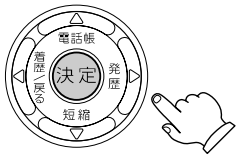
1 9

↑
日（01～31）

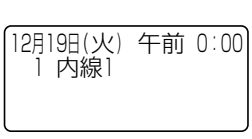


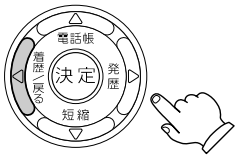
6 決定ボタンを押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、日付が設定されます。

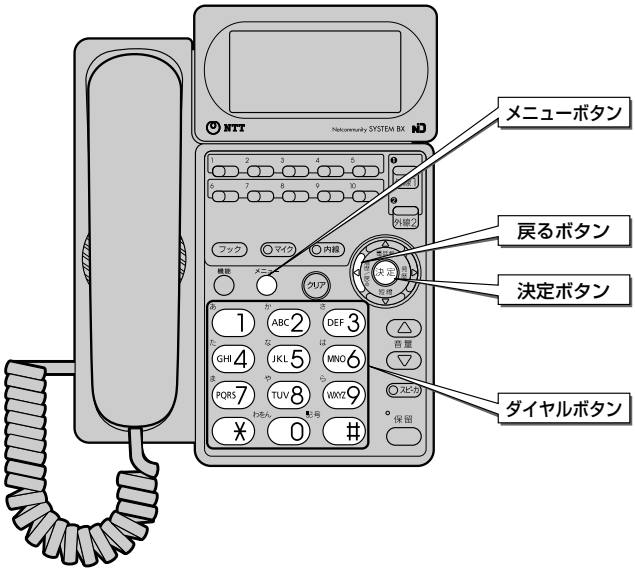


7 戻るボタンを長く押します。





日付、時刻を合わせます

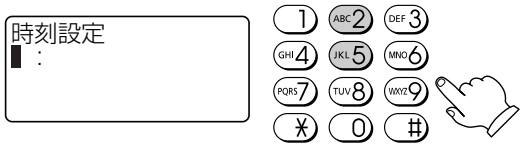


時刻を設定する

＜例＞午後3時5分に合わせるとき

1 メニューボタンを押します。

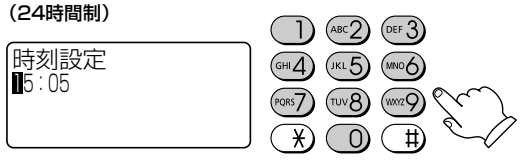
2 ABC2 JKL5 ABC2 を押します。



3 時刻をダイヤルボタンで押します。

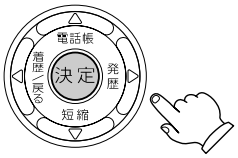
1 JKL5 0 JKL5

↑ 時（00～23）（24時間制）　↑ 分（00～59）



4 決定ボタンを押します。

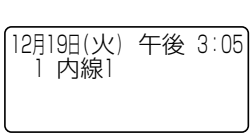
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、時刻が設定されます。

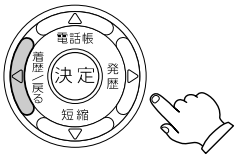


お知らせ

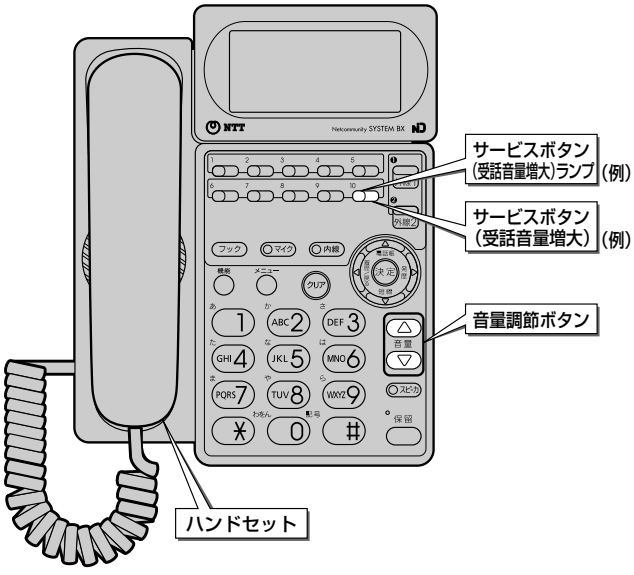
- 時刻表示に誤差が生じることがあります。この場合は、同様の操作で設定をやり直してください。
- 他の人が外線を使用しているときは、設定できません。

5 戻るボタンを長く押します。





音量を調節します

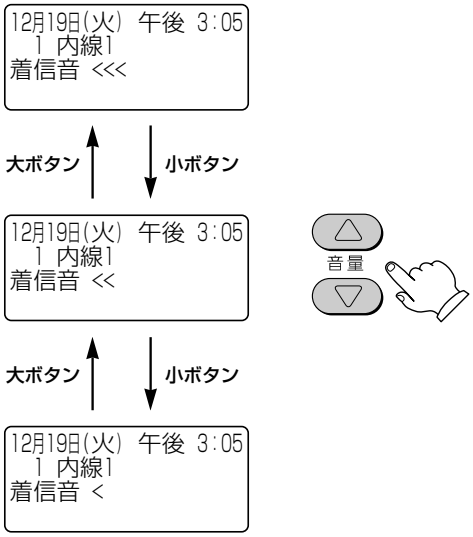


着信音量を調節する

各内線電話機ごとに、外線や内線の着信音量を3段階に調節することができます。音量が変わると、ディスプレイに音量設定状態が約2秒間表示されます。

1 音量を大きくするときは大ボタン、小さくするときは小ボタンを押します。

着信音量の設定状態が表示されます。



ワンポイント

●音量が最大のときまたは最小のときは
最大のときに音量調節ボタンの大を、最小のときに音量調節ボタンの小を押しても音量は変わりません。

⚠注意

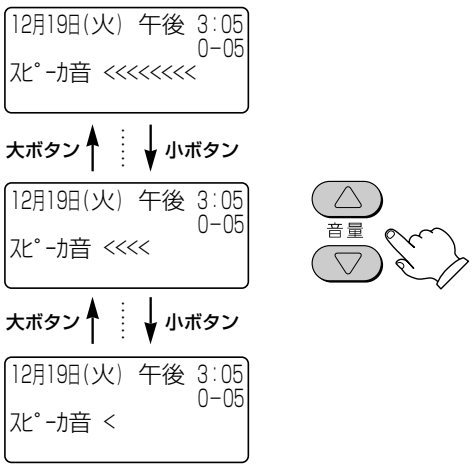
音量レベルを大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。音量調節ボタンを使うときは、ハンドセットを耳から少し離し、必ずディスプレイで音量のレベルを確認してからご利用ください。

スピーカ音量を調節する

各内線電話機ごとに、スピーカ受話中にスピーカ音量を8段階に調節することができます。音量が変わると、ディスプレイに音量設定状態が約2秒間表示されます。

1 スピーカ受話中に、音量を大きくするときは大ボタン、小さくするときは小ボタンを押します。

スピーカ音量の設定状態が表示されます。



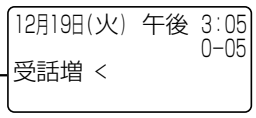
ワンポイント

●ハンドセット受話音量をさらに上げるには

ハンドセットからの受話音量をさらに大きくできる「明瞭モード」への切り替えが行えます。明瞭モード内でも相手の方の声を7段階に調節できます。

①ハンドセットでお話し中に、大ボタンを長く押す
明瞭モードに切り替わります。

②さらに大きくするときは大ボタン（小さくするときは小ボタン）を押す



③通常モードに戻すときは、小ボタンを長く押す
通常モードに切り替わります。

お知らせ

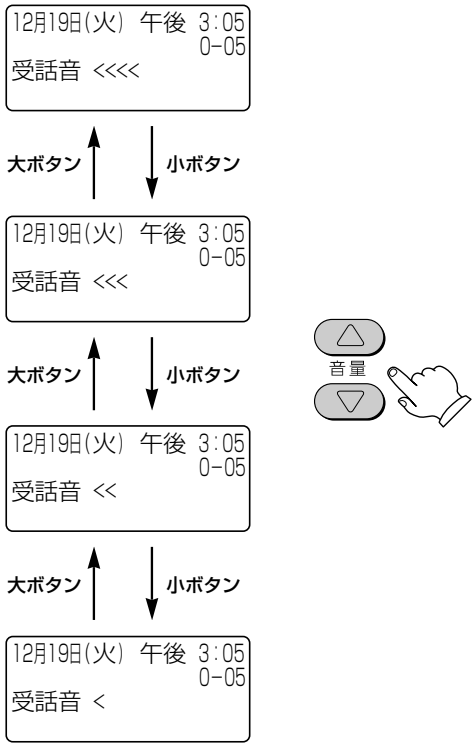
明瞭モードに切り替えても、ハンドセットを置くか、スピーカ受話にすると通常の音量に戻ります。

ハンドセット受話音量を調節する

各内線電話機ごとに、ハンドセットでお話し中に、相手の方の声を4段階に調節することができます。音量が変わると、ディスプレイに音量設定状態が約2秒間表示されます。

1 お話し中に、音量を大きくするときは大ボタン、小さくするときは小ボタンを押します。

受話音量の設定状態が表示されます。



ワンポイント

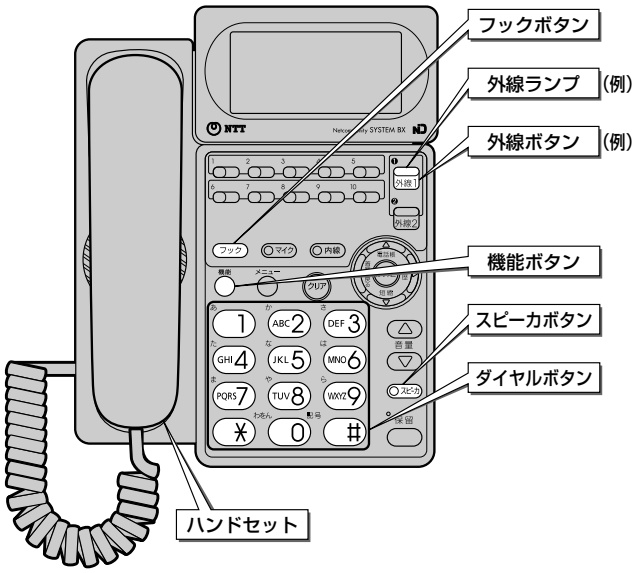
サービスボタンに「受話音量増大」の機能を割り当てると

「システム設定」によってフレキシブルボタンにサービスボタン（受話音量増大）を割り当てると、サービスボタン（受話音量増大）を押すだけで、ハンドセット受話音量の明瞭モードと通常モードの切り替えができます。

サービスボタン（受話音量増大）を押して明瞭モードに切り替えるとサービスボタン（受話音量増大）ランプが赤く点灯し、再度サービスボタン（受話音量増大）を押して通常モードに切り替えるとランプが消えます。（☛P80）

電話をかけるには　（外線発信）

ハンドセットを取りあげてかける方法と、ハンドセットを置いたままかける方法（オンフックダイヤル）、押した電話番号を確認してかける方法があります。天気予報や時報を聞くときなどは、ハンドセットを置いたままかけると便利です。



お知らせ

- 通話時間は最大9時間59分59秒まで表示されます。10時間以上になっても表示は変わりません。
- 通話時間の表示は目安であり、実際の通話時間とは異なる場合もあります。
- 外線への発信を規制できます。（☛P144）
- 手順3でディスプレイ2段目に表示される電話番号は20桁までです。21桁目を押すと1桁目が1段目に移動します。
- ハンドセットを取りあげたとき、スピーカボタンを押したときには、オフフック外線発信設定（☛P133）により、次のどちらかの状態になります。
  - 「ツーツー…」という内線発信音が聞こえ、内線の呼び出しができる（オフフック内線捕捉）
  - 「ツー」という外線発信音が聞こえ、外線の発信ができる（オフフック外線自動捕捉）

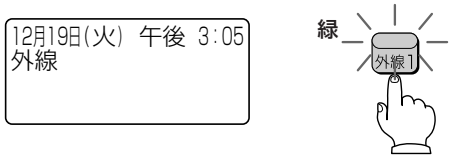
  オフフック外線自動捕捉を設定しているときは、外線ボタンを押す必要はありません。この取扱説明書では、さしつかえない限り、オフフック内線捕捉の状態での説明をしています。

Q&A
▶ *INSネット64をご利用になるには？（☛P126）*
▶ *VoIP回線をご利用になるには？（☛P126）*

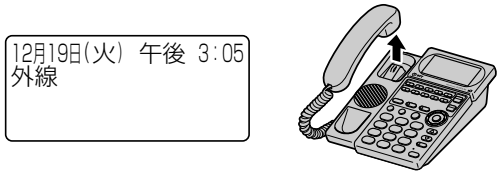
ハンドセットを取りあげてかける

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

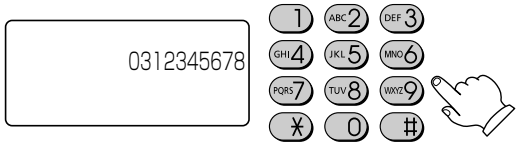


2 ハンドセットを取りあげます。



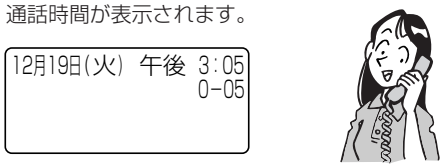
3 電話番号をダイヤルボタンで押します。

電話番号が表示されます。



4 相手の方が出たら、お話しください。

通話時間が表示されます。

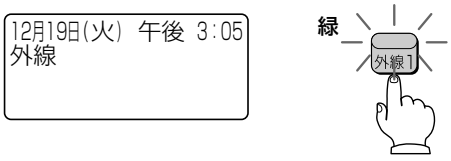


5 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ハンドセットを置いたままかける（オンフックダイヤル）

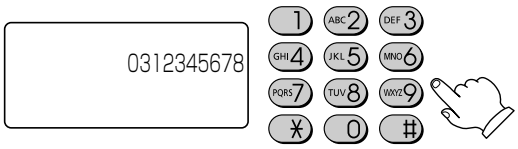
1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



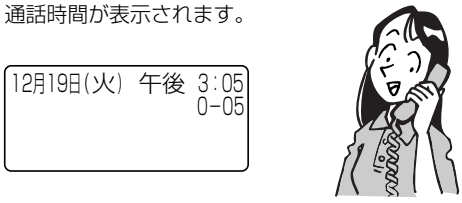
2 電話番号をダイヤルボタンで押します。

電話番号が表示されます。



3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しください。

通話時間が表示されます。



4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

お知らせ

- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 相手の方が出たあと、ハンドセットを取りあげてお話ししないと、こちらの声は相手の方に聞こえません。

ワンポイント

- **外線ランプが赤く点灯しているときに外線ボタンを押すと**
  ディスプレイに「ご利用できません」と表示されます。他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のため、この外線ボタンを押して電話をかけることはできません。
- **PBX（構内交換機）に収容されているときは**
  外線発信番号（⓪[　　]）を押して、「ツー」という外線発信音を確認してからダイヤルしてください。

外線ボタンの回線番号を確認するには
外線ボタンの回線番号は「システム設定」で設定できます。ハンドセットを置いたまま、機能ボタン、外線ボタンの順に押すと、その外線ボタンの回線番号が表示されます。

- **ハンドセットを取りあげてから電話をかけるには**
  ハンドセットを取りあげてから、外線ボタンを押しても電話をかけられます。
- **続けて電話をかけるときは**
  次のどちらかの方法で、電話をいったん切ってから再発信することができます（切断再捕捉）。どちらの方法を使うかは「システム設定」で選択できます。
  - フックボタンを押す
  - 機能ボタン、フックボタンの順に押す
- **お話しをスピーカで聞くには（スピーカ受話）**
  ハンドセットでお話し中にスピーカボタンを押すと、スピーカから相手の方の声が聞こえます。こちらの声は、相手の方には聞こえません。また、スピーカ受話のときにハンドセットを置いても電話は切れません。ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでのお話しに戻ります。

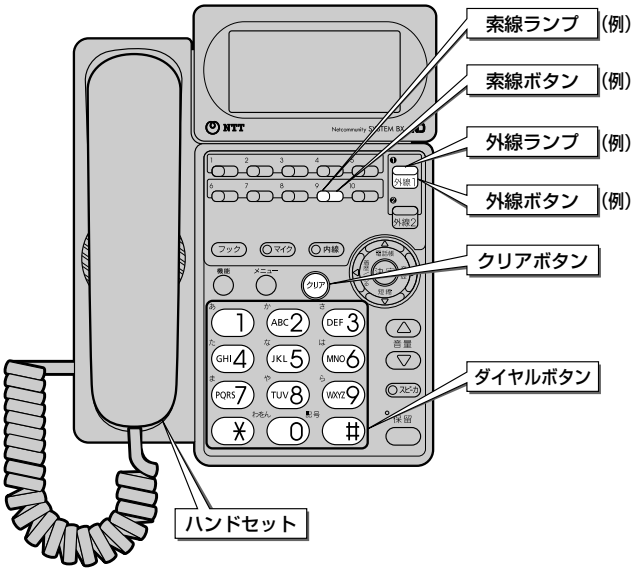
○**長時間通話を続けたときに警報音が鳴るようにするには**
通話時間が一定時間を超えたときに警報音でお知らせするように設定することができます。（☛P148）

携帯電話への通話サービスを利用するには（☛P174）

○**外線ボタンを押したときの設定を変更するには（ワンタッチ／プリセレクション）**
空いている外線ボタンを押したあと、スピーカボタンを押して外線を捕捉するプリセレクションサービスを利用するように設定を変更することができます。（☛P133）

- **オンフックダイヤルでお話ししないで電話を切るには**
  時報（117）や天気予報（177）、プッシュホンサービスなどは、ハンドセットを取りあげずにそのままお聞きになれます。電話を切るときはスピーカボタンを押します。
- **INSネット64で料金表示させるには（☛P148）**

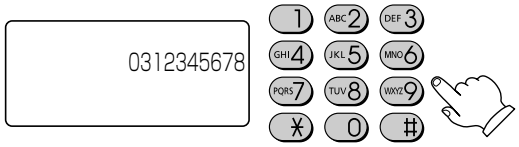
電話をかけるには　（外線発信）



電話番号を確認してからかける（プリセットダイヤル）

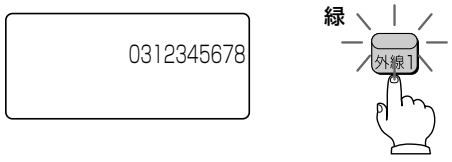
1 電話番号をダイヤルボタンで押します。

電話番号が表示されます。



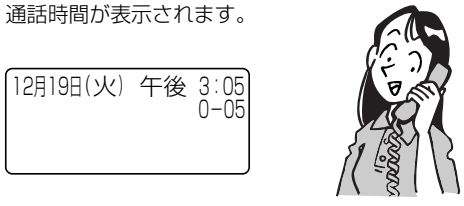
2 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
表示されている電話番号がダイヤルされます。



3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しください。

通話時間が表示されます。



4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

お知らせ

- 手順2で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 手順1の電話番号は32桁まで入力できます。それ以上の入力は無視されます。
- プリセットダイヤルを利用されている場合でも、プリセレクションサービスをご利用いただけます。

ワンポイント

●番号を間違えて入力したときは

電話番号を入力したあとでクリアボタンを押すと、最後に入力した文字が１文字ずつ削除されます。また、クリアボタンを長く押すと、全桁削除されます。

●発信を中止するには

手順１のあと手順2を行わず、「プリセット読出タイマ」（☛P148）で設定されている時間が経過すると、時計・カレンダ表示に戻り、プリセットダイヤルが解除されます。

🖳プリセットダイヤル利用の可否を設定するには

お買い求め時は、プリセットダイヤルで電話をかけることができるように設定されています。プリセットダイヤル利用の可否は、「システム設定」により電話機ごとに設定を変えられます。

○電話番号が表示されている時間を変更するには

お買い求め時は、6秒間に設定されています。1～30秒の間で設定を変えることができます。（☛P148）

🖳索線ボタンを使って電話をかけるには

「システム設定」で複数の外線を索線グループに分け、電話機に「索線ボタン」を設定しておくと、索線グループ内の空き外線を自動的に選んで電話をかけることができます。

電話をかけるときは、外線ボタンの代わりに索線ボタンを押します。索線ランプが点灯しているときは、索線グループ内の外線が全部お話し中のため、電話をかけることができません。

🖳携帯電話への通話サービスを利用するには（☛P174）

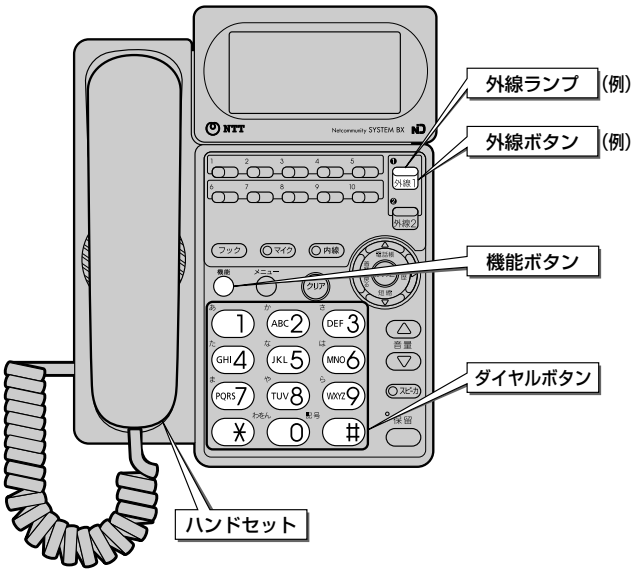
Q&A

▶ *INSネット64をご利用になるには？（☛P126）*

▶ *VoIP回線をご利用になるには？（☛P126）*

電話がかかってきたときは （外線着信）

外から電話がかかってくると、着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅します。



1 着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅します。

12月19日(火) 午後 3:05

2 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しください。

通話時間が表示されます。

12月19日(火) 午後 3:05
0-05

3 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

○着信音の音色を変えるには

内線電話機ごとに、外線着信や内線着信の着信音を設定することができます。（☛P134）また、電話帳グループによって異なる着信音が鳴るようにすることもできます。（☛P132）着信音は、各種の「トーン」または「メロディ」から選択できます。

○一定時間内に応答しなかったときは（着信未応答警報）

一定時間内に応答しなかったときは、着信音が警報音に切り替わるように設定できます。（☛P145）

●外線または内線でお話し中に電話がかかってきたときは（通話中着信）

スピーカから通常より小さな音で着信音が聞こえます。

外からの電話を特定の電話機に着信させるには

ダイヤルインサービスやi・ナンバー、サブアドレス通知サービスをご利用になると、外からかける方のダイヤル操作によって呼び出す電話機を特定できます。（☛P107）サービスのご利用にはご契約および「システム設定」が必要です。

●続けてかかってきた電話に応答するには

ハンドセットを取りあげたまま、ランプが点滅している外線ボタンを押すと応答できます。

●他の電話機の通話をモニタするには

お話し中に他の電話機に通話モニタを許可することができます。

①お話し中に機能ボタンを押す
②通話モニタの特番（ PQRS 7 PQRS 7 ［　　］）を押す（お話しを聞く内線電話機の外線ランプが点滅する）
③お話しを聞く内線電話機で、点滅している外線ボタンを押す

通話モニタの許可を中止するときは、 ✱ を押します。
※索線ボタンで通話モニタはできません。他の外線ボタンでの通話の場合にご利用ください。

●着信音が鳴る状態になっているかどうかを確認するには

外線着信音は、システムモード（☛P122）や外線着信鳴動設定（☛P134）、曜日毎鳴動モード設定（☛P135）などにより、時間帯によっては鳴らないように設定されていることがあります。

現在、外線着信音が鳴る状態になっているかどうかは、個々の内線電話機で確認できます。ハンドセットを置いたまま、機能ボタン、外線ボタンの順に押し、「ピッピッ」という確認音が聞こえたときは、外線着信音が鳴ります。ただし、着信中および通話中のときは、確認音が聞こえない場合があります。

お知らせ

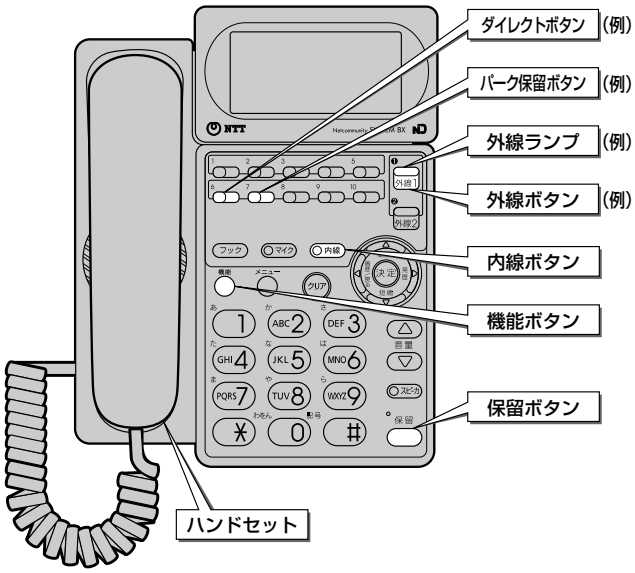
- 外の相手の方とお話し中に、保留しないで他の外線ボタンを押すと電話が切れてしまいますのでご注意ください。
- 電話機ごとの設定により、着信音が鳴らないようにすることができます。（☛P134）
- 他の人が先に応答したときは、「プープー…」という話中音が聞こえ、外線ランプが赤く点灯したままになります。
- 着信音は、外線着信、PBX/CES内線着信、メンバーズネットなどの種別ごとに異なる周期で鳴ります。

Q&A

▶ *INSネット64をご利用になるには？（☛P126）*
▶ *VoIP回線をご利用になるには？（☛P126）*

相手の方に待っていただくには （保留）

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留メロディを流して保留にします。保留にしたあと、他の内線電話機でも電話に出ることができる共通保留と、他の電話機では出られない個別保留があります。

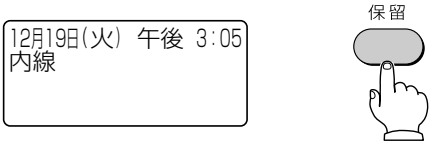


普通に保留する（共通保留）

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

2 保留ボタンを押して、ハンドセットを置きます。

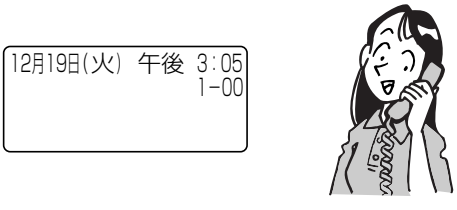
相手の方とハンドセットに保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。



3 もう一度お話しするときは、外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

4 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しください。



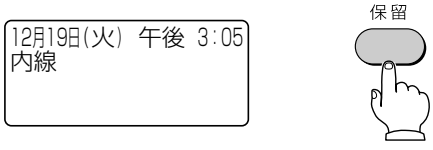
他の電話機で取れないように保留する（個別保留）

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

2 機能ボタンを押します。

3 保留ボタンを押して、ハンドセットを置きます。

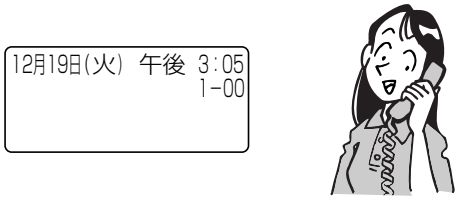
相手の方とハンドセットに保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
他の電話機では、外線ランプが赤く点灯します。



4 もう一度お話しするときは、外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

5 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しください。



ワンポイント

○保留忘れを防止するために
保留状態が一定時間続いたときに、電話機のスピーカから保留警報音が鳴るように設定することができます。（☛P146）

保留警報音が鳴っても電話に出ないときは
「システム設定」により保留警報音が鳴ってから一定時間が経過したときは、自動的に電話が切れるように設定することができます。

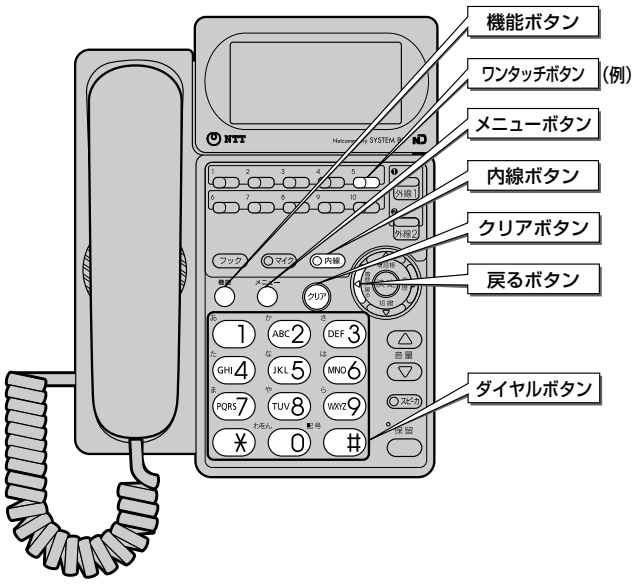
●個別保留の操作
機能ボタン、保留ボタンを順に押す代わりに、内線ボタンまたはダイレクトボタンを押して個別保留にすることもできます。

○保留メロディを変えるには
保留メロディを選択することができます。（☛P146）

内線／外線の通話をパーク保留するには
お話し中に「システム設定」した「パーク保留ボタン」を押すと、パーク保留となります。同一パーク保留ボタンを設定した電話機であれば、保留中の内線／外線に応答できます。

ワンタッチボタンで電話をかけるには

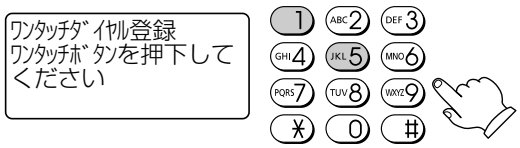
ワンタッチボタンが割り当てられているボタンによくかける相手の電話番号を登録しておくと、簡単に電話をかけられます。ワンタッチボタンには32桁までの電話番号やボタン操作を、内線電話機ごとに登録できます。



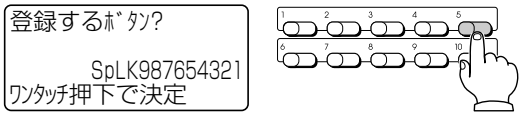
ワンタッチボタンに登録する

1 メニューボタンを押します。

2 (1) (JKL 5) (1) を押します。

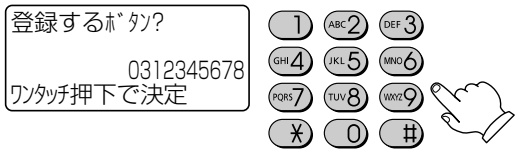


3 登録するワンタッチボタンを押します。



すでにワンタッチダイヤルが登録されているときは、その内容が表示されます。

4 登録する電話番号をダイヤルボタンで押します。



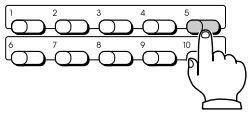
電話番号は32桁まで登録できます。

お知らせ

スピーカボタンや外線ボタンを押すと、ボタンに対応した記号がディスプレイに表示されます。

5 手順3で押したワンタッチボタンを押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、ワンタッチボタンが登録されます。



続けて登録するときは、手順3～5を繰り返します。

6 戻るボタンを長く押します。

ワンポイント

ワンタッチボタンが割り当てられているボタンは

どのフレキシブルボタンにワンタッチボタンが割り当てられているかは、ご利用状況によって異なります。また、ワンタッチボタンを割り当てるフレキシブルボタンは、「システム設定」によって変更できます。お買い求め時には、ワンタッチボタンは3～9番のフレキシブルボタンに割り当てられています。

●登録できるボタン操作は

ワンタッチボタンには、音量調節ボタン、ワンタッチボタンを除くすべてのボタン操作を登録することができます。1つのボタン操作を1桁と数え、32桁まで登録できます。よくお使いになるサービスを登録しておくと便利です。

●登録しているワンタッチボタンを確認するには

機能ボタン、ワンタッチボタンの順に押すと、登録内容が約6秒間表示されます。

●ワンタッチボタンに内線番号を登録するには

①手順1～3の操作を行う
②内線ボタンを押す
③登録する内線番号をダイヤルボタンで押す
④手順5～6の操作を行う

●登録した内容を変更するには

最初から登録し直します。

●ワンタッチボタンの登録中の内容を1桁消去するには

手順4でクリアボタンを2回押します。

○ワンタッチボタンの登録内容をすべて消去するには

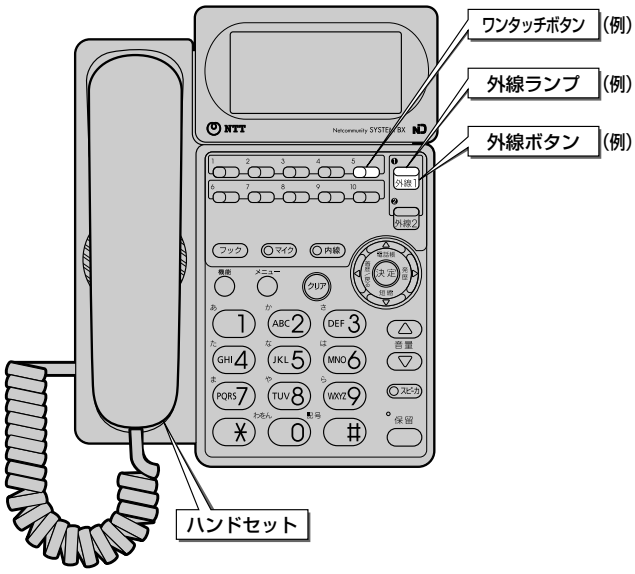
ワンタッチボタンに登録した電話番号やボタン操作をまとめて消去することができます。(☛P136)

●システムに接続しているPBX、CESの内線へ発信するときは

相手先内線番号を登録します。

Q&A ▶ *電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには？（☛P124）*

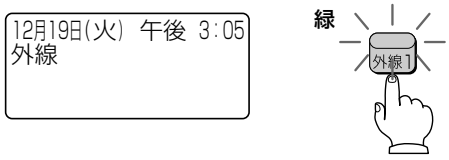
ワンタッチボタンで電話をかけるには



ワンタッチボタンでかける

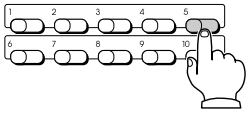
1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

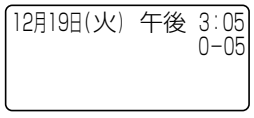


2 ワンタッチボタンを押します。

登録されている電話番号が表示されます。



3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しください。



ワンポイント

●PBX（構内交換機）に収容されているときは

外線発信番号のあとに自動的にポーズ（3秒固定）が入ります（自動ポーズ）。

●PBX/CES回線に接続されているときは

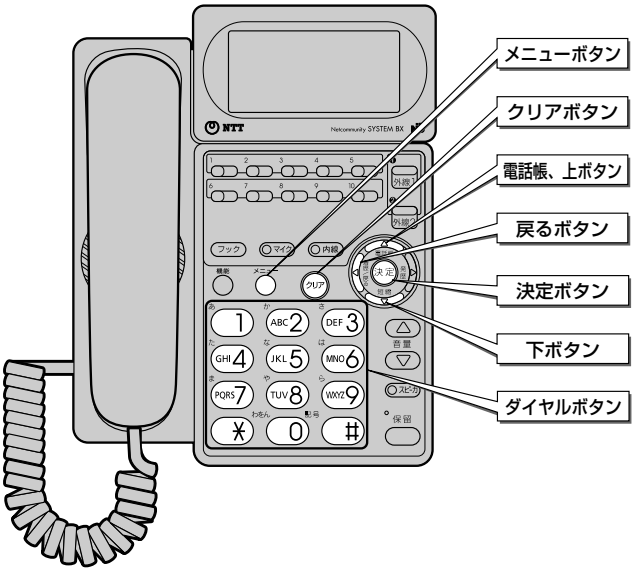
相手先の電話番号の前に、外線発信番号を付けて登録してください。外線発信番号を登録していない場合は、一般の電話番号に発信できなくなります。

携帯電話への通話サービスを利用するには（☛P174）

Q&A ▶ *ワンタッチダイヤルのあとに続けてダイヤルするには？（追加ダイヤル）（☛P128）*

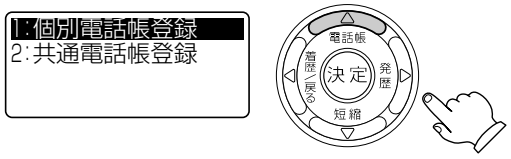
電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）

よくかける相手の方の電話番号を電話帳に登録しておくと、簡単にダイヤルすることができます。個々の内線電話機ごとに登録できる個別電話帳と、すべての内線電話機で利用できる共通電話帳があります。登録は、外線通話中にも行えます。

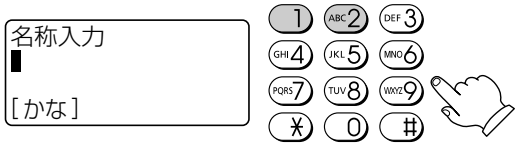


電話帳を登録する

1 電話帳ボタンを長く（2〜3秒）押します。

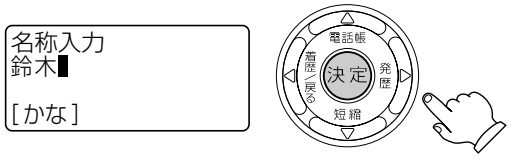


2 個別電話帳を登録するときは 1 、共通電話帳を登録するときは ABC2 を押します。



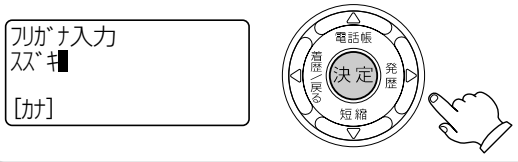
3 名称を入力し、決定ボタンを押します。

「文字を入力する」（☛P42）を参照して名称を入力してください。



4 必要に応じてフリガナを変更し、決定ボタンを押します。

名称として入力した文字が、そのままフリガナとして表示されます。変更が必要な場合は、「文字を入力する」（☛P42）を参照して修正してください。



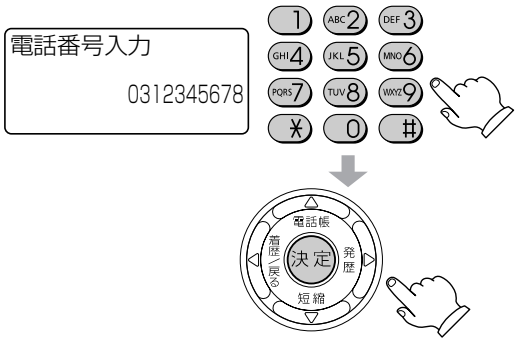
ワンポイント

●電話帳に登録できる内容は

項目	登録内容
名称	全角最大10文字。漢字／ひらがな（全角）、カナ／英字／数字（半角）が使用できる
フリガナ	半角最大12文字。カナ／英字／数字（半角）が使用できる
電話番号	最大32桁。ダイヤル（0〜9、＊、＃）およびポーズを登録できる
グループ	10のグループ（※）に分類できる
アイコン	「」や「」などを表すアイコンを、9種類の中から選択できる
PBX情報	外線発信時に、外線発信番号を付けるかどうかを選択できる（☛P41）
メモリ番号	共通電話帳：000〜799（「システム設定」によっては00〜79） 個別電話帳：800〜999（「システム設定」によっては80〜99）

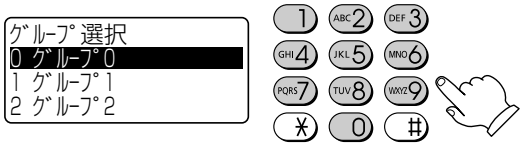
※：「グループ9」は着信拒否専用のグループです。登録時に「グループ9」を選択できるのは、共通電話帳のみです。

5 電話番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押します。



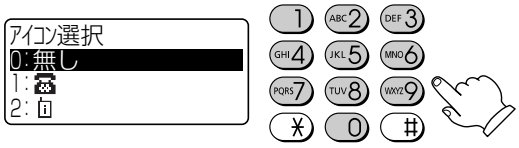
6 グループの番号をダイヤルボタンで押します。

0～9のグループを確認するときは、上下ボタンを押します。



7 アイコンの番号をダイヤルボタンで押します。

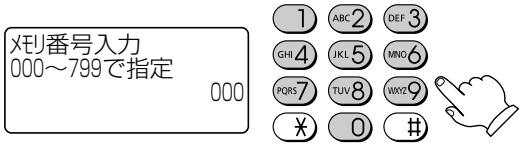
9種類のアイコンを確認するときは、上下ボタンを押します。



番号	アイコン	番号	アイコン
0	無し	5	
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	

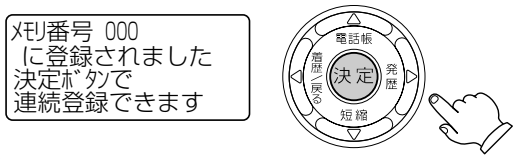
8 必要に応じて、メモリ番号をダイヤルボタンで押します。

空いている一番若いメモリ番号が表示されるので、そのまま手順9にも進めます。



9 決定ボタンを押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、電話帳に登録されます。続けて登録するときは、手順10へ進みます。



10 待機状態に戻る前に（6秒以内）決定ボタンを押します。

手順2の画面に戻ります。
手順2～9を繰り返すと、電話帳を続けて登録できます。

ワンポイント

●登録中に前の画面に戻るには
フリガナ、電話番号、グループ、アイコンの各登録画面から前の画面に戻るには、戻るボタンを押します。

●登録を中止するには
戻るボタンを長く押します。時計・カレンダ表示に戻り、登録途中の内容は保存されません。文字や数字の入力中以外なら、クリアボタンを押しても中止できます。

○グループ名を登録するには
「グループ0」～「グループ8」を、わかりやすい名称に変更できます。（☛P142）

○共通電話帳を全件削除するには
①メニューボタンを押す
② (ABC2) (1) (GHI4) を押す
③上下ボタンで「消去する」を選択し、決定ボタンを押す
④決定ボタンを押す

●一般回線とPBX/CES回線を混在収容しているときは
電話帳を使って電話をかけるときに、自動的に外線発信番号を付けるかどうかを設定できます。
①手順8でメニューボタンを押す
②一般の電話番号の場合は (0) を、PBXの内線番号の場合は (1) を押す

●電話帳の詳細を確認するには（☛P44）

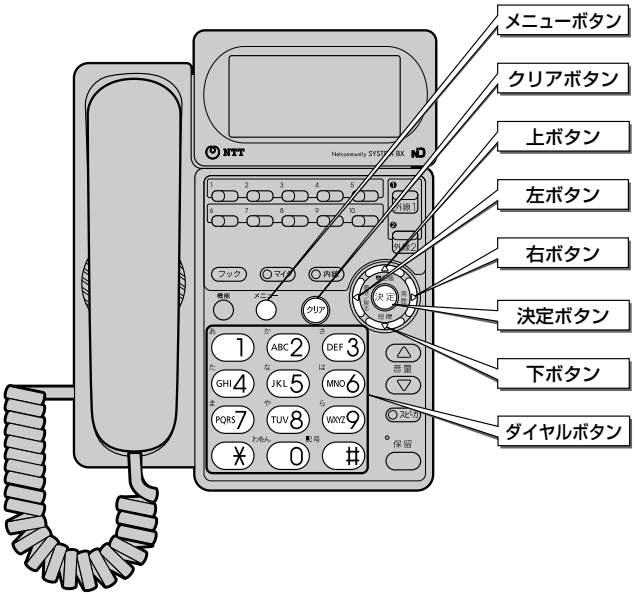
お知らせ

登録できる電話帳の件数は、お買い求め時には、共通電話帳はメモリ番号000～799の800件、個別電話帳は800～999の200件（ただし、共通電話帳とすべての内線電話機の個別電話帳を合わせて最大1400件）登録できるように設定されています。「システム設定」を変更すると、共通電話帳00～79と個別電話帳80～99を合わせて最大100件登録することができます。

Q&A

▶ *電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには？（☛P124）*
▶ *登録している電話帳を変更／削除するには？（☛P125）*
▶ *電話帳が登録できないときは？（☛P125）*

電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）



文字を入力する

＜例＞電話帳の名称登録画面で「鈴木」と入力する場合

1 文字が入力できる画面で、メニューボタンを押して入力モードを切り替えます。

ここでは［かな］と表示される漢字・かなモードで入力を行います。

名称入力
[かな]

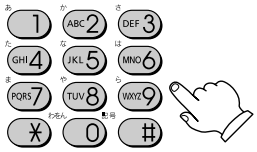
2 入力したい文字が割り当てられているボタンを押します。

「文字と機能の割り当て一覧表」を参照してください。（☛P43）

ここでは次のように押します。

①「す」：DEF 3 を3回押す
② カーソルを右に移動：右ボタンを1回押す
③「す」：DEF 3 を3回押す
④「゛」：＊ を1回押す
⑤「き」：ABC 2 を2回押す

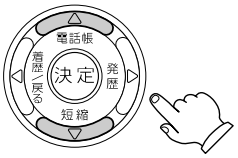
名称入力
すず゛き
[かな]



3 上下ボタンを押します。

変換候補が表示されます。

名称入力
鈴木
[かな]

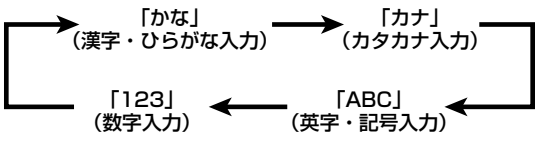


変換候補が複数あるときは、上下ボタンを押すごとに次の候補が表示がされます。また、「す」や「すず」だけの変換候補を表示させたいときは、左右ボタンで変換範囲を指定し、再度上下ボタンを押します。

ワンポイント

●入力モードを切り替えるには

文字入力中にメニューボタンを押すと、入力モードが切り替わります。ただし、入力行（3行目）に文字が表示されているときは切り替えられません。また、フリガナ入力のときは漢字・かなモードには切り替えられません。



●続けて同じダイヤルボタンの文字を入力するには

右ボタンを押してカーソルを右に移動します。

●入力した文字を消去するには

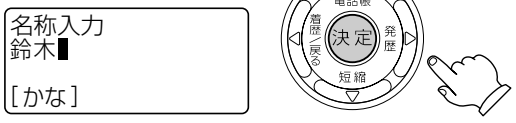
左右ボタンで消去する文字にカーソルを移動し、クリアボタンを押します。カーソル位置に文字がないときは、カーソルの左側の文字が消去されます。

●全角カタカナを入力するには

漢字・かなモードでひらがなを入力して上下ボタンを押し、全角カタカナに変換します。

4 決定ボタンを押します。

漢字が確定されます。



ワンポイント

●文字と機能の割り当て一覧表

1つのボタンに複数の文字や機能が割り当てられています。ボタンを繰り返し押すと文字が切り替わります。

ボタン		入力モード			
		漢字・かな（全角）	カナ（半角）	英字・記号（半角）	数字（半角）
1		あいうえおぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ		1
2		かきくけこ	ｶｷｸｹｺ	ABCabc	2
3		さしすせそ	ｻｼｽｾｿ	DEFdef	3
4		たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHIghi	4
5		なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl	5
6		はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno	6
7		まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs	7
8		やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv	8
9		らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz	9
0		わをんー	ﾜﾝﾞﾟ ー	．@_（）−	0
＊	入力行※1	濁点、半濁点付与	−		＊
#		−			#
上下ボタン		入力中の文字に対する漢字変換候補を表示	−		
左ボタン	入力行※1	変換範囲指定（左移動）	−		
	決定行※2	カーソルを左に移動（カーソルが一番左にあるときは、１つ前の入力画面に戻る。戻るボタン押下時と同じ動作）			
右ボタン	入力行※1	・変換範囲指定（右移動） ・未決定文字の確定	カーソルを右に移動 入力中は確定となる		
	決定行※2	カーソルを右に移動			
決定ボタン		選択された漢字変換候補を決定	決定		
クリアボタン		1文字消去 または漢字変換キャンセル	1文字消去		

※1：ディスプレイの3行目。漢字・かなモードで入力中の文字や変換中の文字が表示されます。
※2：ディスプレイの2行目。確定された文字が表示されます。

電話帳を使って電話をかけるには（電話帳ダイヤル）

電話帳ダイヤルでかける

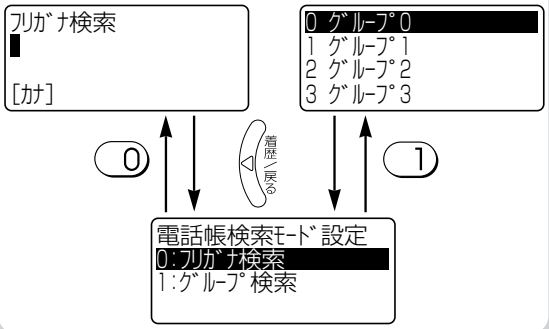
各内線電話機の個別電話帳および共通電話帳の中から目的の電話帳を検索し、電話をかけます。検索は、フリガナ、グループ、メモリ番号のいずれかを使って行います。

フリガナまたはグループで検索する

1 検索画面を表示させます。

①電話帳ボタンを押します。

②検索画面を切り替えるときは戻るボタンを押し、検索方法をダイヤルボタンで選択するか、上下ボタンで選択して決定ボタンを押します。



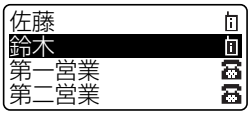
2 電話帳を検索し、目的の電話帳を選択します。

【フリガナ検索】

①電話帳に登録したフリガナを入力し、上下ボタンを押します。

②上下左右ボタンで目的の電話帳を選択します。

＜電話帳一覧画面＞

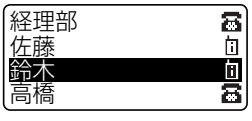


【グループ検索】

①検索するグループの番号をダイヤルボタンで押します。

②上下左右ボタンで目的の電話帳を選択します。

＜電話帳一覧画面＞



ワンポイント

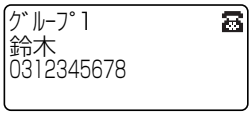
●フリガナ検索するときは

フリガナすべてを入力せずに、先頭の何文字かを入力するだけで検索できます。

●電話帳の詳細を確認するには

電話帳一覧画面で決定ボタンを押すと、選択されている電話帳の詳細が表示されます。戻るボタンを押すか、電話帳詳細読出タイマ（☛P149）で設定されている秒数（お買い求め時：6秒）が経過すると、元の画面に戻ります。

＜電話帳詳細画面＞



●外線通話中に電話帳の内容を確認するには

フリガナ検索またはグループ検索するには、「フリガナまたはグループで検索する」の手順1～2の操作を行うか、メニュー設定で電話帳検索（☛P132）を行います。メモリ番号検索する場合は、メニュー設定で電話番号検索を行います。

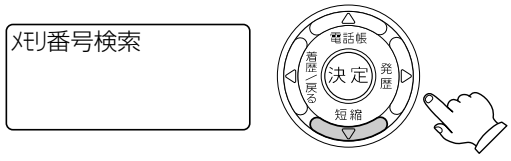
電話帳一覧画面で決定ボタンを押すと、電話帳詳細画面を確認できます。また、電話帳メニュー（☛P45）から電話帳の登録や削除なども行えます。

お知らせ

お買い求め時は、電話帳ボタンを押すとフリガナ検索画面が表示されるように設定されています。設定を変更し、グループ検索画面が優先的に表示されるようにすることができます。（☛P132）

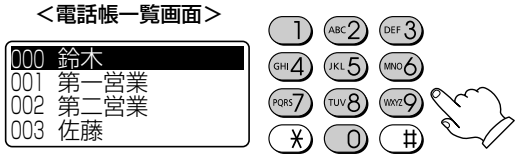
メモリ番号で検索する

1 短縮ボタンを押します。



2 メモリ番号をダイヤルボタンで押します。

<電話帳一覧画面>



目的の電話帳が表示されなかったときは、上下左右ボタンで目的の電話帳を選択します。

3 外線ボタンを押します。

4 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しください。

▶ *電話帳ダイヤルのあとに続けてダイヤルするには？（追加ダイヤル）（☛P128）*

ワンポイント

電話帳のメモリ番号は

共通電話帳はメモリ番号000～799（「システム設定」によっては00～79）、個別電話帳はメモリ番号800～999（「システム設定」によっては80～99）に登録されています。

●外線ボタンを押してから電話帳をメモリ番号で検索するには

①外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す
②短縮ボタンを押す
③メモリ番号をダイヤルボタンで押す

○電話帳が表示されている時間を変更するには

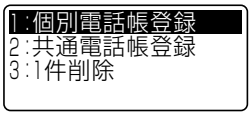
お買い求め時は、6秒に設定されています。1～30秒の間で設定を変えることができます。（☛P148）

●PBX（構内交換機）に収容されているときは

外線発信番号のあとに自動的にポーズ（3秒固定）が入ります（自動ポーズ）。

●電話帳メニューを利用するには

登録先の電話帳を変更したり、電話帳を1件削除するときは、電話帳メニューを利用します。電話帳一覧画面または電話帳詳細画面でメニューボタンを押すと、次のような電話帳メニューが表示されます。



目的の項目をダイヤルボタンで選択するか、上下ボタンで選択して決定ボタンを押します。

電話帳メニューから詳細画面に戻るときは、戻るボタンを押します。

時計・カレンダ表示に戻るときは、クリアボタンを押します。

○共通電話帳を全件削除するには（☛P41）

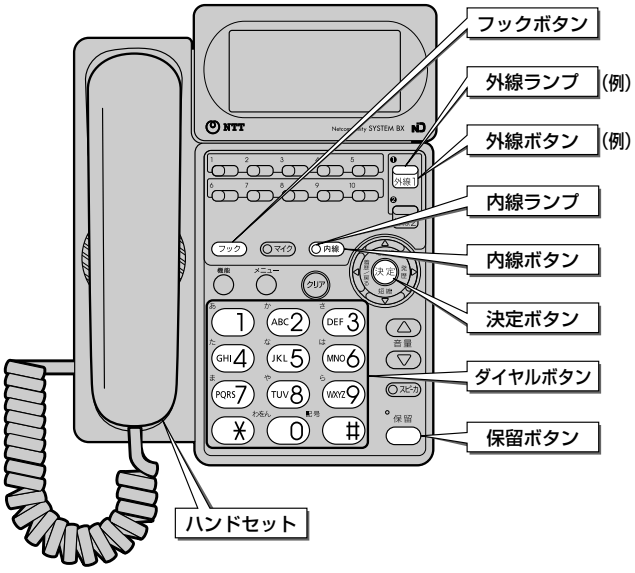
携帯電話への通話サービスを利用するには（☛P174）

お知らせ

- 通話モニタ中（☛P33）、通話割り込みによる三者通話中（☛P51）、会議通話中（☛P62）は、電話帳の内容の確認は行えません。
- 外線通話中は、電話帳の内容の確認のみ行えます。電話帳を使って電話をかけることはできません。
- 通話料無料（フリーダイヤル、116、113等）の相手との通話中には、電話帳の内容の確認はできません。

電話を取りつぐには　（保留転送）

他の内線電話機や他の外線に電話を取りつぐことができます。



お話しを他の内線電話機に転送する

呼び出す方

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、保留ボタンを押します。

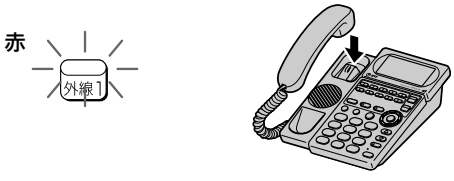
相手の方とハンドセットに保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押します。

呼出音が聞こえます。

3 呼出音が終わったら、呼びかけます。

4 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、ハンドセットを置きます。



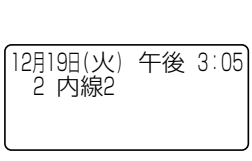
決定ボタンを押して転送することもできます。

お知らせ

- 「プープー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。しばらくしてからかけ直してください。
- 転送先が保留転送制限されているときは、決定ランプが点灯し、転送できないことがあります。

呼び出される方

1 呼出音（内線着信音）が鳴り、呼びかける声が聞こえたら、ハンドセットを取りあげて、お話しください。



2 呼び出した方がハンドセットを置くと、外からの電話がつながりますから、相手の方とお話しください。

ワンポイント

●呼び出される方が近くにいるときは（口頭転送）
共通保留（☛P34）の操作のあと、口頭で連絡してください。ハンドセットを取りあげて外線ボタンを押すと、どの電話機でも電話に出ることができます。

●自グループ内の他の電話機を呼び出すには（ステップコール）
内線個別呼出をしたとき、相手の方がお話し中または応答しないときは、 # を押すと、自グループ内の他の電話機を呼び出すことができます。

●別の電話機で応答するには（代理応答）
内線ボタン、 #、「システム設定」したグループ番号の順に押し、ハンドセットを取りあげると指定したグループに属する電話機にかかってきた電話に応答できます。グループ番号は次のとおりです。
0 ：自グループ
1 ～ 3 ：他グループ
：すべてのグループ

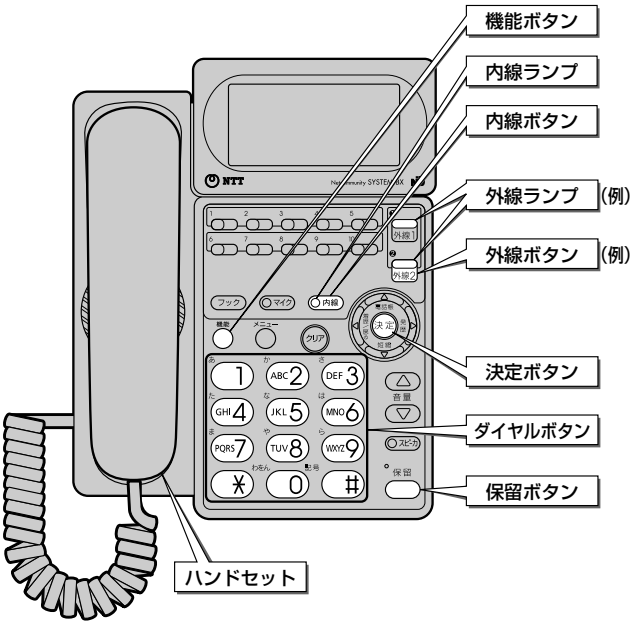
●呼び出された方が応答する前に転送するには（呼出状態転送）
呼び出す方の手順4で、呼び出された方が応答する前にハンドセットを置くか、決定ボタンを押して、転送することもできます。呼び出された方は外線ランプが緑色で点滅して着信音が変わりますので、外線ボタンを押し、ハンドセットを取りあげてお話しください。

●呼び出される方が話し中か、または応答しないときは
外線ボタンを押すと、再び元の相手の方とお話しすることができます。

○内線の呼び出し方法を変えるには
内線で呼び出し中に 0 を押すと、呼び出し方法を音声からトーン（信号音）、またはトーン（信号音）から音声に切り替えることができます。

●PBX/CES回線で、ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプ以外に接続された内線電話機に転送するには
次の方法で、PBX/CES回線の転送機能を使うことができます。
- 外線に瞬断信号（フッキングパルス）を送出して転送する方法
  ①お話し中にフックボタンを押す
  ②内線番号をダイヤルボタンで押す
  ③取りつぐことを伝え、ハンドセットを置く

電話を取りつぐには　（保留転送）

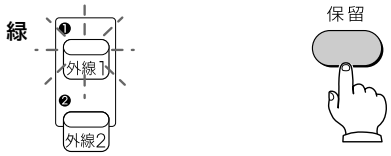


お話しを他の外線に転送する

外の相手の方とのお話しや内線通話を、他の外線に転送することができます。

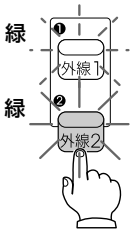
1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、保留ボタンを押します。

相手の方とハンドセットに保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



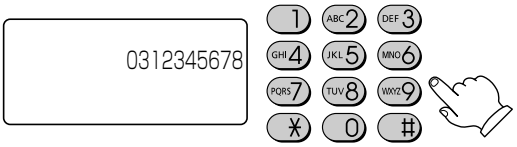
2 空いている外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



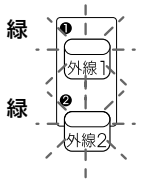
3 電話番号をダイヤルボタンで押します。

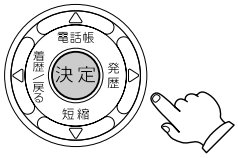
電話番号が表示されます。



4 相手の方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、決定ボタンを押します。

転送が完了します。
手順2で押した外線ボタンのランプが周期的に2回点灯します。





5 ハンドセットを置きます。

ワンポイント

外の相手の方を他の外線に転送するには
「システム設定」が必要です。

ハンドセットを置くと転送されるようにするには
「システム設定」により、手順4で決定ボタンを押す操作を省略できます。電話を取りつぐことを伝えたら、ハンドセットを置くだけで転送できます。

○相手の方が応答しないまたはお話し中の場合は
保留中の外線ボタンを押すと、元の相手の方とのお話しに戻ります。別の転送先に転送するには、手順1から操作をやり直してください。

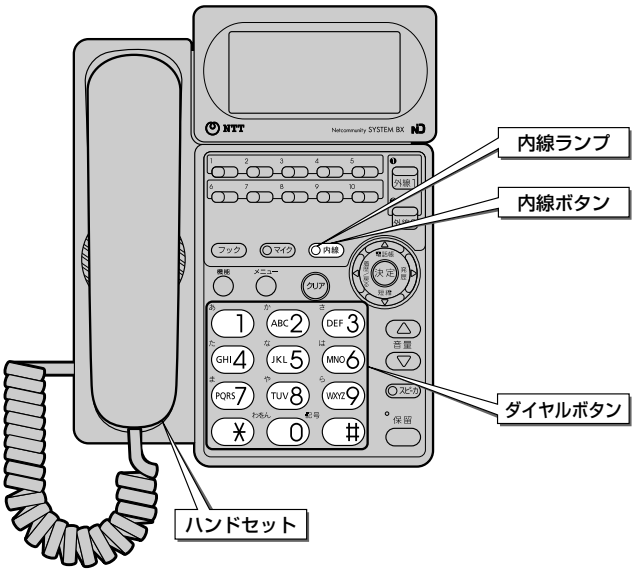
●三者会議通話をするには
外線を他の外線に転送したときは、通話に割り込んで3人でお話しすることができます。手順4で決定ボタンを押して転送が完了したあと、内線ボタンを押して、機能ボタン、外線転送割込みの特番（ ⑮ ⑫ [　　]）の順に押すと、三者会議通話となります（4人目の追加はできません）。また、もう一度決定ボタンを押すと、2外線の通話に戻ります。

お知らせ

- ●一般回線（アナログ回線）をご使用の場合、外線への転送を行うにはオプションの追装が必要です。
- ●転送先が保留転送制限されているときは、決定ランプが点灯し、転送できないときがあります。また、最初にお話ししていた通話を保留したあとで外線の着信に応答したときなどには、決定ランプが点灯し、転送が行えません。

内線でお話しするには　（内線通話）

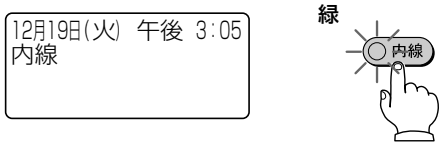
他の内線電話機を内線番号で呼び出してお話しすることができます。



呼び出す方

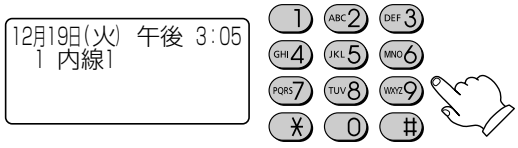
1 内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

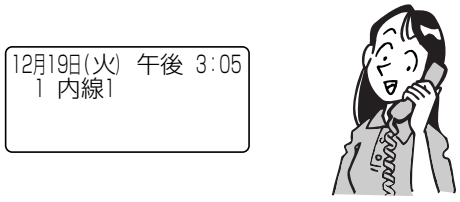


2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押します。

呼出音が聞こえます。



3 呼出音が終わったら、ハンドセットを取りあげて呼びかけます。



4 呼び出した方が応答したら、お話しください。

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

●ハンズフリーでお話しするには（☛P61）

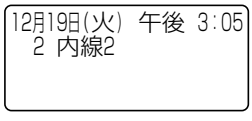
●内線の呼び出し方法を変えるには
内線で呼び出し中に 0 を押すと、呼び出し方法を音声からトーン（信号音）、またはトーン（信号音）から音声に切り替えることができます。

お知らせ

●「プープー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。しばらくしてからかけ直してください。
●「呼び出す方」の手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

呼び出される方

1 呼出音（内線着信音）が鳴り、呼びかける声が聞こえたら、ハンドセットを取りあげて、お話しください。



ワンポイント

●お話し中の方を呼び出すには

相手の方がお話し中のときに、(¥)を押します。
相手の方には通常より小さな音で着信音が聞こえます。

●ハンドセットを取りあげずに応答するには（内線ハンズフリー応答）（☛P52）

●他の電話機のお話しに自分の電話機から割り込むには

他の電話機が外線または内線でお話し中に自分の電話機の操作でお話しに割り込み、三者通話ができます。

①内線ボタンを押す
②内線番号をダイヤルボタンで押す
③他の電話機がお話し中に(¥)を押す
相手の方には通常より小さな音で着信音が聞こえます。
④(¥)を押す
⑤3人でお話しする

自グループ内の他の電話機を呼び出すには（ステップコール）

内線呼出をしたとき、相手の方がお話し中または応答しないときは、呼び出し中に(#)を押すと、「システム設定」した自グループ内の他の電話機を呼び出すことができます。

別の電話機で応答するには（代理応答）

内線ボタン、(#)、「システム設定」したグループ番号の順に押し、ハンドセットを取りあげると指定したグループに属する電話機にかかってきた電話に応答できます。
グループ番号は次のとおりです。

(0)　：自グループ
(1)～(3)：他グループ
(#)　：すべてのグループ

すべての電話機（またはグループの電話機すべて）を一斉に呼び出すには（一斉・グループ呼出）

「システム設定」されたグループの電話機を同時に音声で呼び出すことができます。

＜呼び出す方＞

①内線ボタンを押す
②一斉呼出の特番（(¥)(0)［　　］）またはグループ呼出の特番（(¥)(1)～(¥)(7)［　　］）を押す
③相手の方が応答したらお話しする

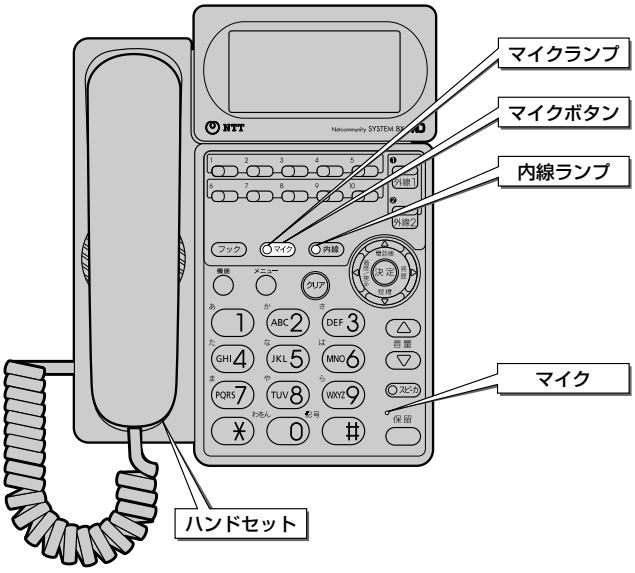
＜呼び出される方＞

①ハンドセットを取りあげてお話しする
呼び出し開始時にお話し中だった場合は、お話しを終了してハンドセットを置いても音声での呼び出しを受けられません。この場合には、もう一度ハンドセットを取りあげ、一斉呼出応答の特番（(#)(8)(0)［　　］）またはグループ呼出応答の特番（(#)(8)(1)～(#)(8)(7)［　　］）を押すと、応答できます。

内線の代表番号で呼び出すには（内線代表呼出）

呼び出す方の手順2で、内線番号の代わりに「システム設定」で設定された代表番号を押すと、そのグループ内の未使用の電話機1台を呼び出すことができます。

内線でお話しするには　（内線通話）

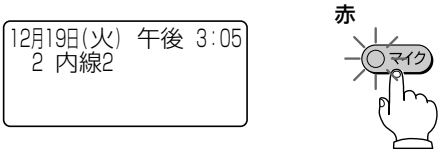


ハンドセットを取りあげずに応答するには（内線ハンズフリー応答）

1 音声呼出されると、確認音が鳴り、内線ランプが点滅します。

2 マイクボタンを押します。

マイクランプが点灯します。



3 電話機のマイクに向かってお話しください。

ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでお話しできます。

ワンポイント

●自動的に内線ハンズフリー応答するには

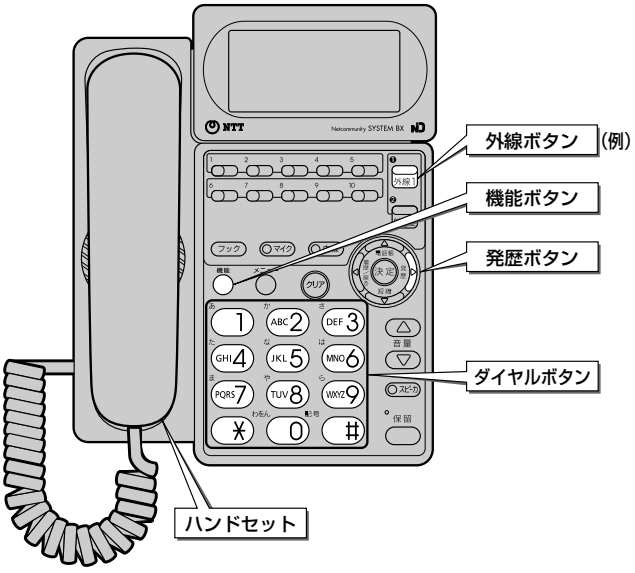
あらかじめマイクボタンを押して（マイクランプ点灯）おくと、音声呼出されたらスピーカから相手の方の声が聞こえます。そのまま電話機のマイクに向かってお話しください。

内線ハンズフリー応答中の確認音を消すには

内線ハンズフリー応答中には、「ピピ、ピピ」という確認音が聞こえます。「システム設定」によって、この確認音を消すことができます。

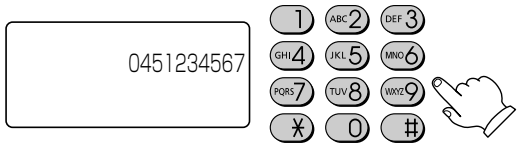
電話番号をメモしておくには（メモダイヤル）

時計・カレンダ表示のときや外の相手の方とのお話し中に電話番号を一時的に登録し、あとでその電話番号を使って簡単に電話をかけることができます。



メモダイヤルを登録する

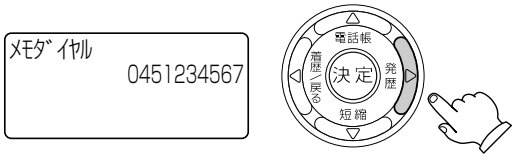
1 時計・カレンダ表示で、または外の相手の方とお話し中に、メモする電話番号をダイヤルボタンで押します。



2 機能ボタンを押します。

3 発歴ボタンを押します。

メモダイヤルが登録されます。



ワンポイント

●いまかけた電話番号をメモダイヤルに登録するには

いまかけた電話番号（最大32桁）をメモダイヤルに登録すると、次からは簡単な操作で同じ相手にかけることができます。

① 外線で相手の方を呼び出す
② 相手の方を呼び出している間、または相手の方とお話し中のときに、手順2～3を行う

●一時的にダイヤル送出をしないようにするには

外線でお話し中に、機能ボタン、通話中PB信号送出停止の特番（ ＊ 9 [　　]）の順に押すと、一時的にダイヤル送出を止めます。この機能を利用すると、お話し中にメモダイヤルを登録しても、ダイヤルパルス音、PB音で会話がじゃまされることはありません。なお、この機能は、電話を切る、転送、保留などの操作で解除されます。

●メモダイヤルで電話をかけるには

①外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す
②ハンドセットを取りあげる
③機能ボタンを押す
④発歴ボタンを押す
⑤相手の方が出たら、お話しする

●登録したメモダイヤルを確認するには

ハンドセットを置いたまま機能ボタン、発歴ボタンの順に押すと、登録したメモダイヤルが表示されます。さらに外線ボタンを押すと、電話をかけることができます（プリセットダイヤル）。

●メモダイヤルの登録を消去するには

別のメモダイヤルを登録すると前回登録したメモダイヤルに上書きになります。

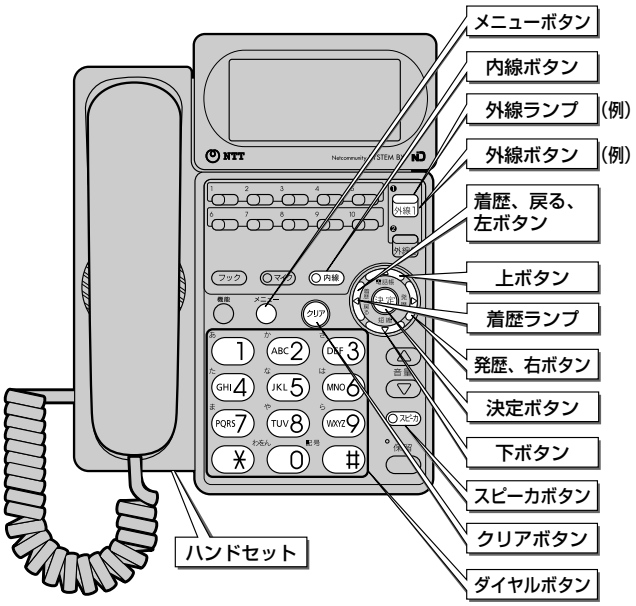
お知らせ

●「メモダイヤルで電話をかけるには」の手順①で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
●オンフックダイヤルで電話をかけることもできます。

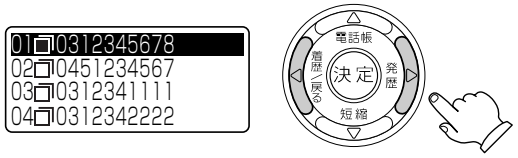
Q&A ▶ *メモダイヤルのあとに続けてダイヤルするには？（追加ダイヤル）（☛P128）*

履歴を使って電話をかけるには（発信／着信履歴発信）

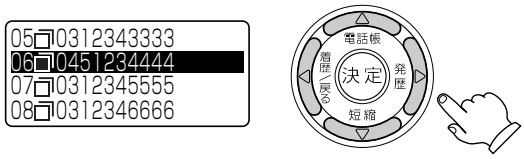
かけた電話番号やかけてきた方の電話番号などは、発信／着信履歴としてそれぞれ最新の20件分が保存されています。これらの電話番号を使って、簡単に電話をかけることができます。



1 発歴ボタンまたは着歴ボタンを押し、発信／着信履歴の一覧画面を表示します。

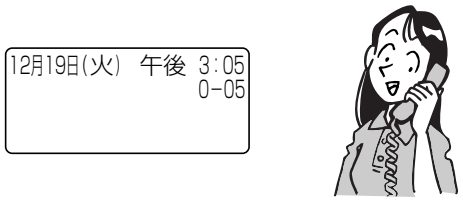


2 上下左右ボタンで目的の履歴を選択します。



3 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

4 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しください。



お知らせ

- 他の内線電話の発信／着信履歴を使って電話をかけることはできません。
- すでに発信／着信履歴が20件記憶されているときに新たに発信／着信があると、最も古い発信／着信履歴から自動的に消去されます。
- 着信履歴を表示中にかかってきた電話は、着信履歴に記憶されません。

ワンポイント

○着歴ランプを点滅させるには

電話がかかってきたことをランプの点滅（周期的に2回点灯）でお知らせすることができます。（☛P140）

●着歴ランプが点灯しているときは

着信履歴を表示している間は点灯します。

○発信／着信履歴が表示されている時間を変更するには

お買い求め時は、6秒に設定されています。1～30秒の間で設定を変えることができます。（☛P148）

●一覧画面に表示される情報は

＜発信履歴一覧画面＞

発信履歴番号：最新の履歴から順に「01」～「20」

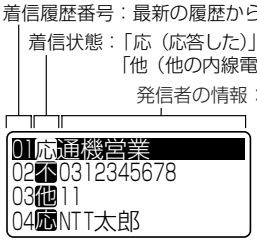
発信先の情報：電話番号（最大16桁）、名称（名称が登録されている電話帳を使って電話をかけた場合）

＜着信履歴一覧画面＞

着信履歴番号：最新の履歴から順に「01」～「20」

着信状態：「応（応答した）」、「不（応答しなかった）」、「他（他の内線電話機で応答した）」

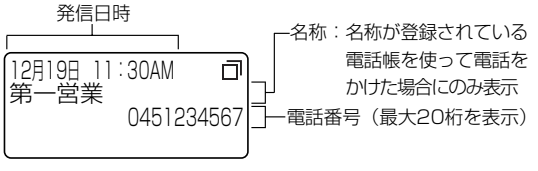
発信者の情報：発信者の電話番号（最大16桁）／内線番号、名称（電話帳に登録されている名称、またはネーム・ディスプレイご利用の場合に発信者によって通知された会社名や氏名など）



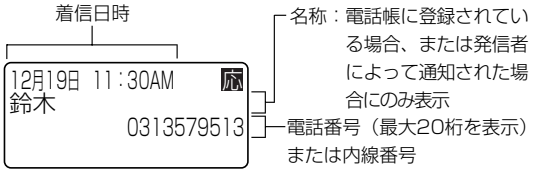
●発信／着信履歴の詳細を確認するには

一覧画面で決定ボタンを押すと、選択されている履歴の詳細が表示されます。一覧画面に戻るときは、戻るボタンを押します。

＜発信履歴詳細画面＞



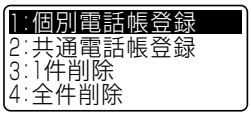
＜着信履歴詳細画面＞



●履歴メニューを利用するには

発信／着信履歴の電話番号を電話帳に登録したり履歴を消去するには、履歴メニューを利用します。

発信／着信履歴の一覧画面または詳細画面でメニューボタンを押すと、次のような履歴メニューが表示されます。



目的の項目をダイヤルボタンで選択するか、上下ボタンで選択して決定ボタンを押します。

履歴メニューから一覧／詳細画面に戻るときは、戻るボタンを押します。

時計・カレンダ表示に戻るときは、クリアボタンを押します。

●着信履歴の電話番号を着信拒否登録するには（☛P56）

●最後にかけた相手の方に簡単にかけ直すには

①外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す

②発歴ボタンを押す

③相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする

最後にかけた相手の方に自動的に再発信するには（簡易自動再発信）

相手の方がお話し中だったときや応答しなかったときに、自動的に再発信するようにセットすることができます。あらかじめ「システム設定」している必要があります。簡易自動再発信をセットすると、一定時間が経過したあと自動再発信し、設定された回数の再発信を一定時間ごとに繰り返します。ただし、PBX（構内交換機）に収容されているときは、PBXの種類によっては1度しか再発信しません。

＜簡易自動再発信をセットする＞

①相手の方がお話し中か、応答しないときに発歴ボタンを押す

②ハンドセットを置くか、スピーカボタンを押す

＜簡易自動再発信を解除する＞

①時計・カレンダ表示で内線ボタンを押す

②発歴ボタンを押す

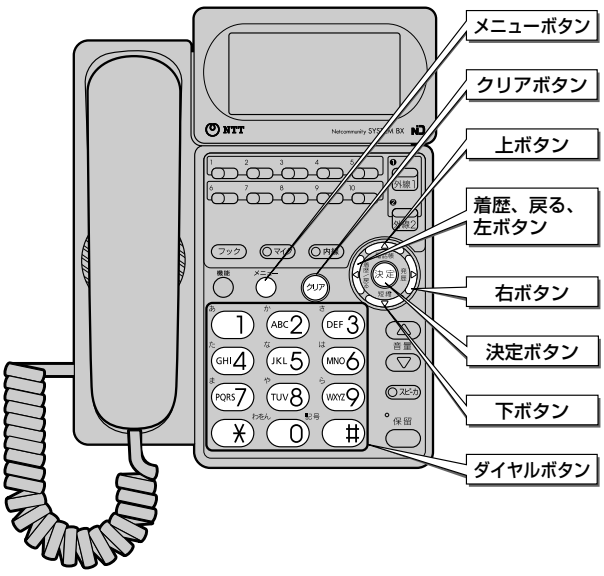
③ハンドセットを置くか、スピーカボタンを押す

または

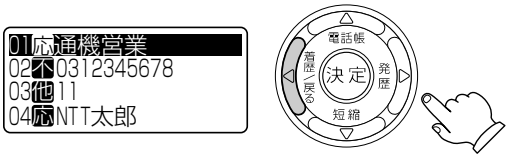
①自動再発信中にハンドセットを取りあげる

着信履歴の電話番号を着信拒否登録するには

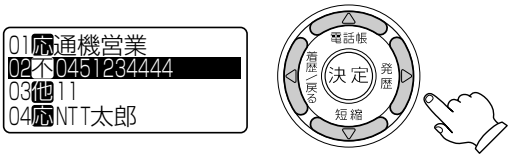
着信履歴に保存されている電話番号を共通電話帳の「着信拒否」グループに登録すると、その番号からかかってきたときに拒否メッセージを流して着信を拒否できます。名称やフリガナの登録は必要ありません。



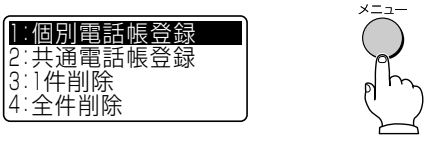
1 着歴ボタンを押し、着信履歴の一覧画面を表示します。



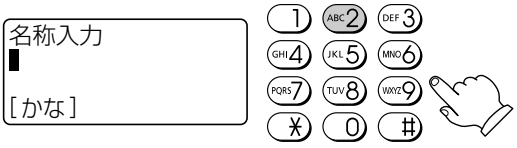
2 上下左右ボタンで目的の履歴を選択します。



3 メニューボタンを押します。

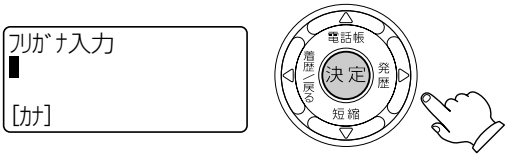


4 (ABC2) を押します。



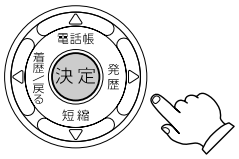
5 決定ボタンを押します。

名称の入力は不要です。

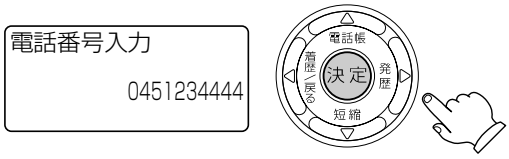


6 決定ボタンを押します。

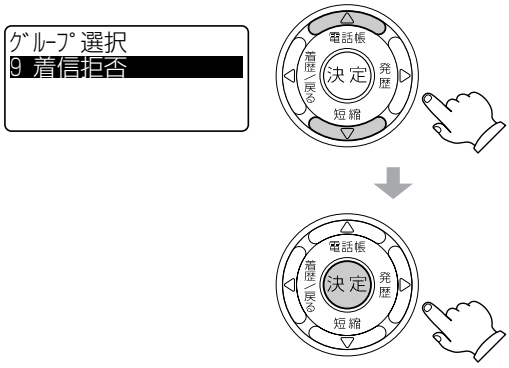
フリガナの入力は不要です。



7 決定ボタンを押します。

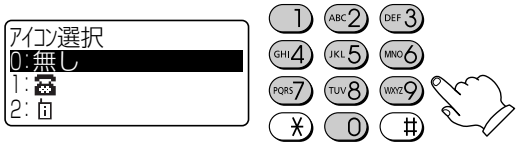


8 上下ボタンで「9 着信拒否」を選択し、決定ボタンを押します。



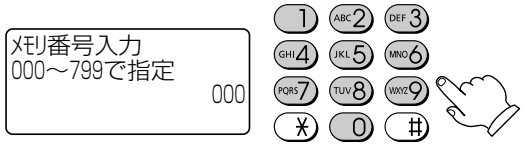
9 必要に応じてアイコンの番号をダイヤルボタンで押します。

アイコンを選択しない場合は、決定ボタンを押して手順10へ進みます。



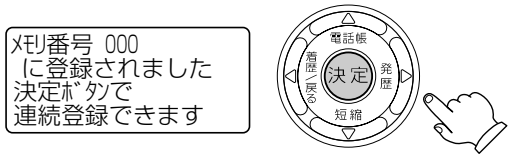
10 必要に応じて、メモリ番号をダイヤルボタンで押します。

空いている一番若いメモリ番号が表示されるので、そのまま手順11にも進めます。



11 決定ボタンを押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、電話帳に登録されます。



ワンポイント

●登録中に前の画面に戻るには

フリガナ、電話番号、グループ、アイコンの各登録画面から前の画面に戻るには、戻るボタンを押します。

●登録を中止するには

戻るボタンを長く押します。時計・カレンダ表示に戻り、登録途中の内容は保存されません。文字や数字の入力中以外なら、クリアボタンを押しても中止できます。

お知らせ

アナログ回線をご利用の場合、着信拒否の機能をご利用になるにはナンバー・ディスプレイ（☛P104）の契約が必要です。

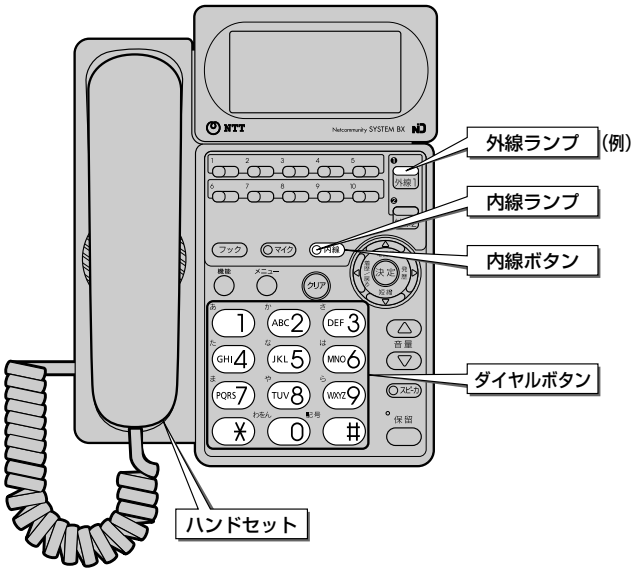
▶ *登録している電話帳を変更／削除するには？（☛P125）*

▶ *電話帳が登録できないときは？（☛P125）*

▶ *着信拒否ができないときは？（☛P129）*

空いている外線を選んで電話をかけるには（空き外線自動発信）

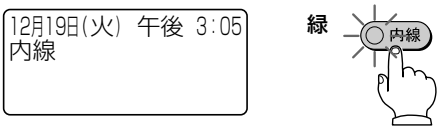
空いている外線を自動的に選んで、電話をかけることができます。「システム設定」した自動発信可能な外線の中から選んでかける方法（空き外線自動発信）と、外線グループに属する自動発信可能な外線の中から選んでかける方法（外線群指定発信）があります。



自動発信可能な外線の中から選んでかける（空き外線自動発信）

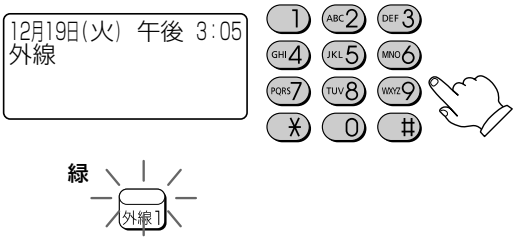
1 内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

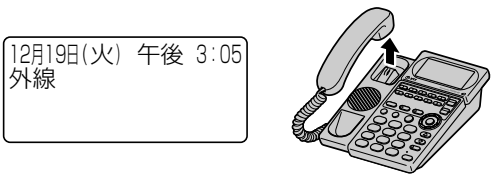


2 外線発信番号（ 0 [ ]）を押します。

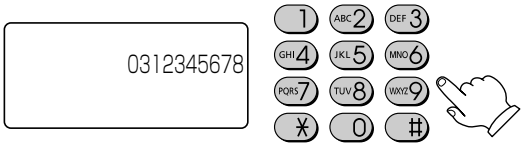
「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



3 ハンドセットを取りあげます。



4 電話番号をダイヤルボタンで押します。



5 相手の方が出たら、お話しください。

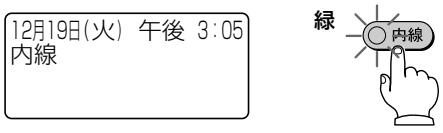
お知らせ

- オンフックダイヤル、プリセットダイヤルで電話をかけることもできます。
- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 手順2で「プープー」と話中音が聞こえるときには、空いている外線がありません。

外線グループの中から選んでかける（外線群指定発信）

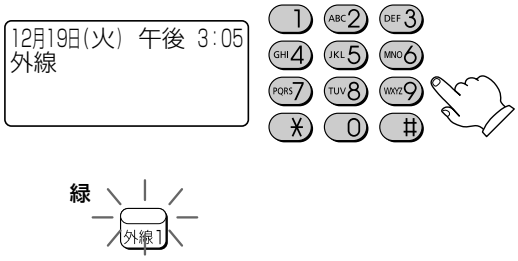
1 内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



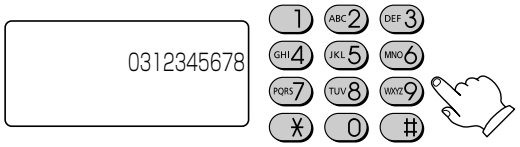
2 外線群指定発信番号（9 1 1～9 1 4 [　　]）を押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



3 ハンドセットを取りあげます。

4 電話番号をダイヤルボタンで押します。



5 相手の方が出たら、お話しください。

ワンポイント

外線グループとは

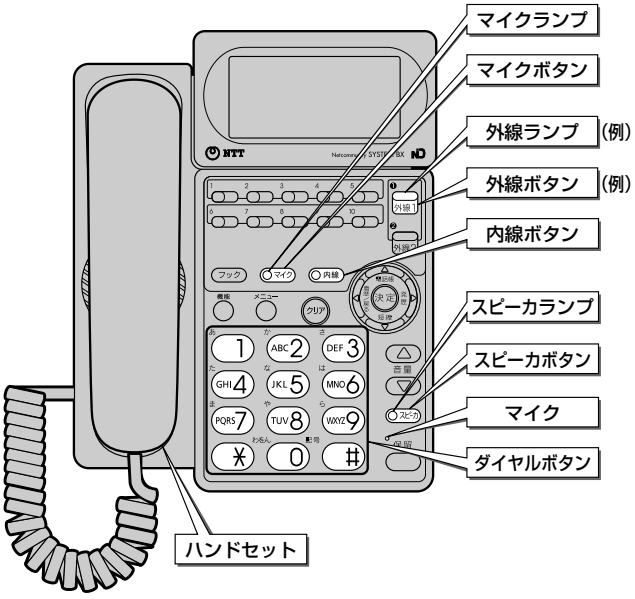
「システム設定」により、収容されている外線をあらかじめ複数のグループに分けたものです。最大4つのグループに分けることができます。

●PBX（構内交換機）に収容されているときは

外線発信番号または外線群指定発信番号を押して、「ツー」という外線発信音を確認してからダイヤルしてください。

ハンズフリーで電話をかけるには（ハンズフリー通話）

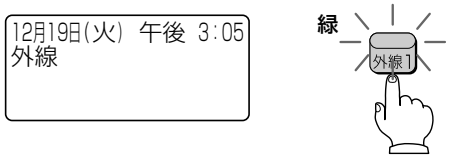
ハンドセットを置いたままで、外線通話、内線通話をすることができます。



ハンズフリーで電話をかける

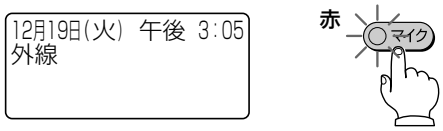
1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

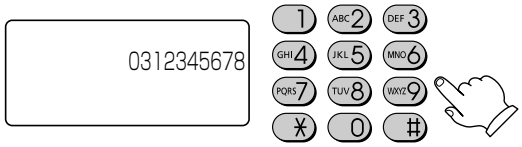


2 マイクボタンを押します。

マイクランプが点灯します。



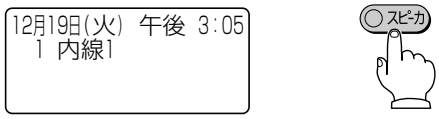
3 電話番号をダイヤルボタンで押します。



4 相手の方の声が聞こえたら、電話機のマイクに向かってお話しください。

5 お話しが終わったら、スピーカボタンを押します。

マイクランプ、スピーカランプ、外線ランプが消えます。

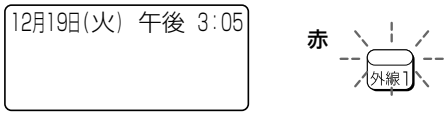


お知らせ

- 通話の状態により、相手の方の声が一時途切れることがありますが、故障ではありません。
- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

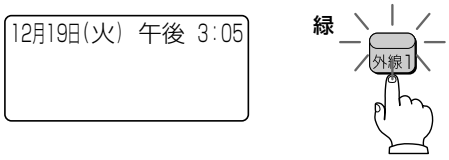
ハンズフリーで電話を受ける

1 着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅します。



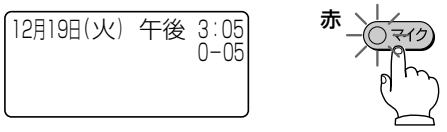
2 ランプが点滅している外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



3 マイクボタンを押します。

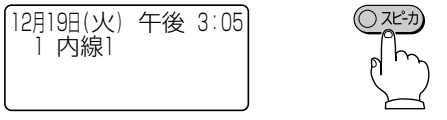
マイクランプが点灯します。



4 電話機のマイクに向かってお話しください。

5 お話しが終わったら、スピーカボタンを押します。

マイクランプ、スピーカランプ、外線ランプが消えます。



ワンポイント

●ハンズフリーで内線通話をするには

ハンドセットを置いたまま内線でお話しすることができます。

＜呼び出す方＞

① 内線ボタンを押す
② マイクボタンを押す
③ 内線番号をダイヤルボタンで押す
④ 呼出音が終わったら、マイクに向かって呼びかける
⑤ 相手の方が応答したらお話しする

＜呼び出される方＞

① 内線ボタンを押す
② マイクボタンを押す
③ 相手の方とお話しする

●ハンズフリー通話中に、ハンドセットでお話しするには

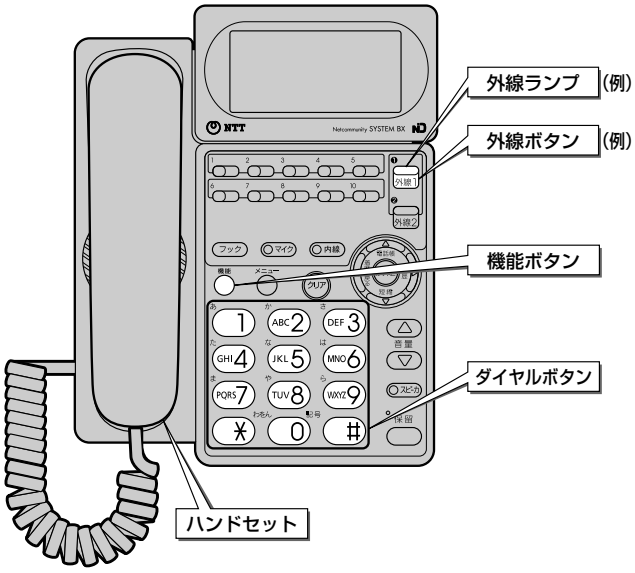
ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでお話しできます。

●ハンドセットでお話し中に、ハンズフリー通話にするには

お話し中にスピーカボタン、マイクボタンの順に押します。ハンドセットを置くと、ハンズフリー通話ができます。

3人でお話しするには　（会議通話）

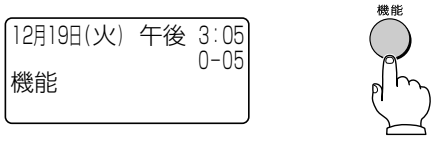
外線でお話し中、または内線でお話し中に、他の人を入れて3人または4人でお話しすることができます。外線との会議通話、内線での会議通話は、そばにいる人に声をかける方法、内線で他の人を呼び出す方法があります。また、2外線と会議通話することもできます。



外線通話中に口頭で内線を呼び、3人でお話しする

呼び出す方

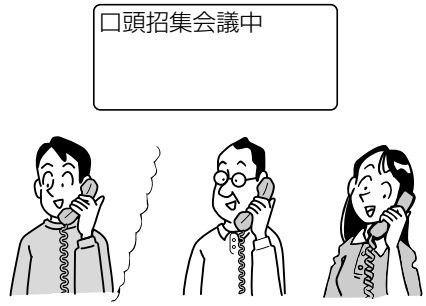
1 外の方とお話し中に機能ボタンを押します。



2 口頭招集会議の特番（ABC2）［　　］を押します。

3 そばにいる人に声をかけます。

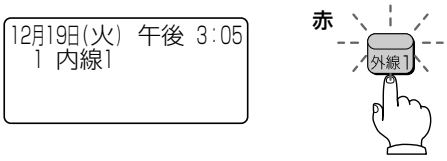
4 3人でお話しください。



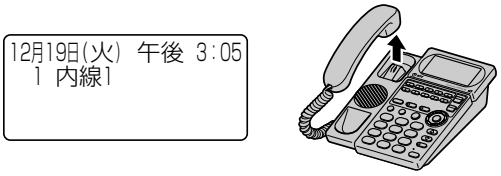
呼び出される方

1 ランプがゆっくり点滅している外線ボタンを押します。

「呼び出す方」の内線番号が表示されます。



2 ハンドセットを取りあげます。



3 3人でお話しください。

ワンポイント

●**4人でお話しするには**

4人目の方は、呼び出される方の手順で、他の電話機から会議通話に割り込むことができます。

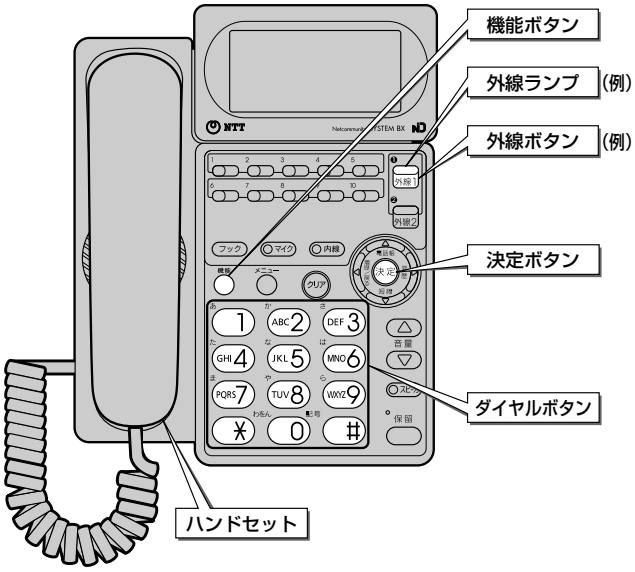
●**他の人の割り込みを禁止するには**

呼び出す方の手順2のあと (✱) を押すと、他の人の割り込みはできなくなります。

お知らせ

- ●会議通話（口頭招集）が可能な人数は、最大4人までです。4人での会議通話は、1外線と3内線の組み合わせが可能です。
- ●会議は最大4組まで可能です。それを超える場合は会議を始められません。
- ●通話モニタ、フレックスホン中は、会議通話はご利用できません。

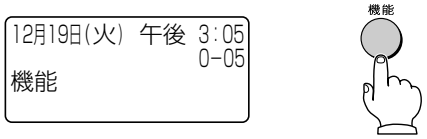
3人でお話しするには　（会議通話）



外線通話中に内線を呼び、3人でお話しする

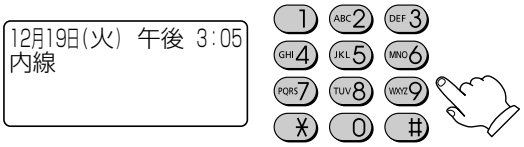
呼び出す方

1 外の方とお話し中に機能ボタンを押します。



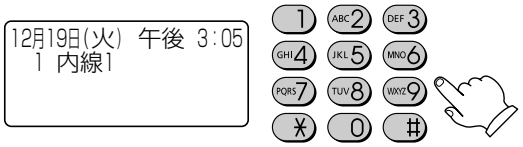
2 会議（内／外線ダイヤル招集）の特番（ 1 ［　　］）を押します。

相手の方とハンドセットに保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。



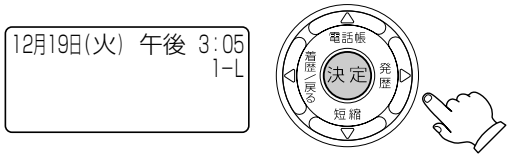
3 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押します。

呼出音が聞こえます。



4 呼出音が終わったら、呼びかけます。

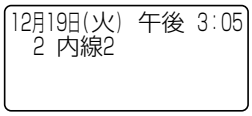
5 相手の方が応答したら、決定ボタンを押します。



6 3人でお話しください。

呼び出される方

1 **呼出音（内線着信音）が鳴り、呼びかける声が聞こえたら、ハンドセットを取りあげて、お話しください。**



2 **呼び出した方が決定ボタンを押すと、外との電話がつながりますから、3人でお話しください。**

ワンポイント

●4人でお話しするには

呼び出す方の手順で4人目の方を呼び出すと、4人でお話しできます。

●内線で呼び、内線3人でお話しするには

＜呼び出す方＞

①内線でお話し中に機能ボタンを押す
②会議（内／外線ダイヤル招集）の特番（ 1 [　　]）を押す
　相手の方とハンドセットに保留メロディが流れます。
③呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押し、呼びかける
④相手の方が応答したら、決定ボタンを押す
⑤3人でお話しする

●2外線と3人でお話しするには

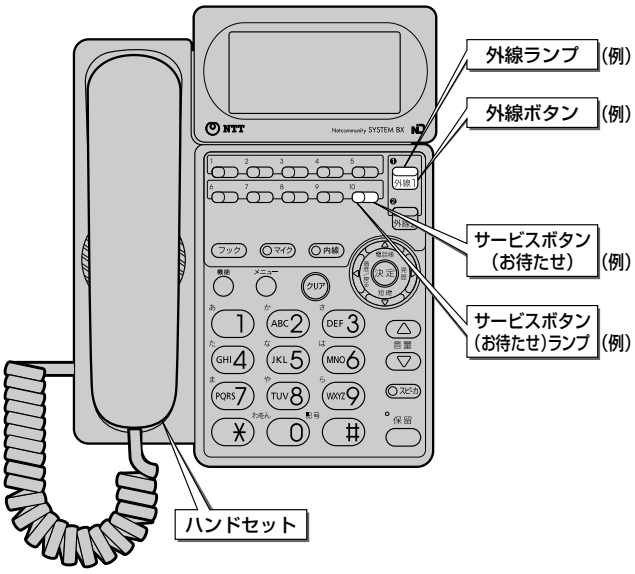
①外の方とお話し中に機能ボタンを押す
②会議（内／外線ダイヤル招集）の特番（ 1 [　　]）を押す
　相手の方とハンドセットに保留メロディが流れます。
③ランプの消えている外線ボタンを押す
「ツー」という発信音を確認してください。
④相手の方の電話番号を押す
⑤相手の方が出たら決定ボタンを押す
※手順③で外線発信番号（ 0 [　　]）または外線群指定発信の特番（ 9 1 1 ～ 9 1 4 [　　]）を押しても同じことが行えます。
※一般回線（アナログ回線）でこの機能を利用するにはオプションの追装が必要です。

お知らせ

●会議通話が可能な人数は、最大4人までです。4人での会議通話は、1外線と3内線、2外線と2内線、4内線の組み合わせが可能です。
●2外線と3人でお話ししているときにハンドセットを置くと、外線の方どうしでお話しすることはできなくなります。
●通話モニタ、フレックスホン中は、会議通話はご利用できません。

お待たせメッセージを利用するには

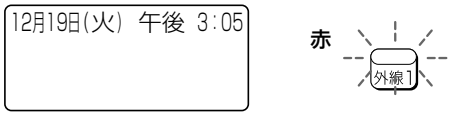
外からの電話にすぐに出られないときなどに、お待たせメッセージを流し、出られるようになるまで相手の方に待っていただくことができます。



お待たせメッセージを流す

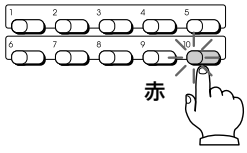
お買い求め時には、フレキシブルボタン「10」にサービスボタン（お待たせ）が登録されています。

1 着信音が鳴り、外線ランプが点滅します。



2 サービスボタン（お待たせ）を押します。

サービスボタン（お待たせ）ランプが点灯します。



3 6秒以内にランプが点滅している外線ボタンを押します。

相手の方にお待たせメッセージが流れます。

着信音が変わり、相手の方をお待たせしていることがわかります。

4 電話に出られるようになったら、外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

5 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しください。

6 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

●お待たせメッセージの内容

<お待たせメッセージ>

「そのままお待ちになるか、のちほどおかけ直しください。

自動的にお待たせメッセージを流すには

「システム設定」により、外からかかってきた電話に対し、自動的にお待たせメッセージを流すようにすることができます（自動お待たせメッセージ）。

着信してからお待たせメッセージの送出に切り替えるまでの時間は変更することができます。

なお、一定時間お待たせメッセージを流したあとは切断メッセージを流し自動的に電話を切ります。

お待たせメッセージを流している間の着信音を変えるには

お待たせメッセージを流している間に鳴らす着信音を、「システム設定」により変更することができます。

お知らせ

- 通常の着信音を、お待たせメッセージが流れている間の着信音と同じにした場合、お待たせメッセージが起動していることがわからなくなりますのでご注意ください。
- 「システム設定」により、お待たせできる時間を変更することができます。
- お待たせメッセージサービスをご利用の場合は、在宅自動応答ができません。

発信元に自動コールバックするには

あらかじめ登録している電話番号に対し、システムが自動的に折り返し電話をかける機能（コールバック）を利用できます。携帯電話からでも自宅やお店（システム設置所）の料金負担で通話できるので、業務の通信費などを一本化できます。
コールバックを利用するには、「システム設定」が必要です。

携帯電話からコールバックを利用して内線電話機と通話する（システム内線着信）

外出先の方（登録されている電話番号）からの着信がすぐに切れても着信音が鳴り続け、内線電話機が応答すると、外出先の方にコールバックします。

携帯電話の方

1 コールバック用の電話番号に電話をかけ、呼出音が聞こえたら、すぐ（6秒[　　]以内）に切ります。

2 電話がかかってきたら応答操作をし、お話しください。

ワンポイント

外出先から内線番号を指定して内線電話機を呼び出すには（コールバックからの自動応答サービス）

自動応答サービスのガイダンスに従ってリモコン操作することにより、特定の内線電話機を呼び出すことができます。同様に、リモコン操作で転送電話や留守番電話、システムモードの切り替え、セキュリティサービスのなどの操作（☛P72）も行えます。
この機能を利用するには、「グループ毎コールバック」（☛P143）で特定の電話帳グループに「自動応答サービス」を設定します。この機能を利用する携帯電話などの電話番号は、共通電話帳に登録しておく必要があります。登録時のグループ選択では、「自動応答サービス」を設定したグループを選択してください。
コールバックを受け、自動応答サービスを使って内線電話を呼び出すには、次のように操作します。

①コールバック用の電話番号に電話をかけ、呼出音が聞こえたら、すぐに切る
②コールバックの電話がかかってきたら応答操作をする
③ガイダンスに従って 1 を押す
④内線番号を押す

コールバック（システム内線着信）を利用するには

「システム設定」でコールバック用の回線を設定します。
また、「グループ毎コールバック」（☛P143）で特定の電話帳グループに「システム内線着信」を設定します。
コールバックの対象としたい電話番号は、共通電話帳に登録しておく必要があります。登録時のグループ選択では、「システム内線着信」を設定したグループを選択してください。

内線電話機側の方

1 着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅したら、点滅している外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 ハンドセットを取りあげます。

着信に応答すると、コールバックが開始され、呼び出し状態になります。
外出先の方が電話に出るまでお待ちください。

3 相手の方が出たら、お話しください。

STOP お願い

ガイダンスが聞こえている間に携帯電話を操作した場合、正常に動作しないことがあります。ガイダンスが終了してから操作してください。

Q&A ▶ *コールバックができないときは？（☛P129）*

ワンポイント

●携帯電話からコールバックを利用して外線発信するには（中継発信）
携帯電話で電話をかけるときに、自宅やお店（システム設置所）の料金負担で通話できます。次のように操作します。
①コールバック用の電話番号に電話をかけ、呼出音が聞こえたら、すぐ（6秒[　　]以内）に切る
②コールバックの電話がかかってきたら応答操作をする
③外線発信番号（0[　　]）、電話番号の順に押す
④相手の方が出たら、お話しする

●携帯電話からコールバックを利用してシステム内線着信するには
「携帯電話からコールバックを利用して外線発信するには」の手順③で、システム内線着信の特番（✳ #[　　]）を押すと、内線電話機を呼び出せます。

コールバック（中継発信）を利用するには
「システム設定」でコールバック用の回線を設定します。また、「グループ毎コールバック」（☛P143）で特定の電話帳グループに「中継発信」を設定します。
コールバックの対象としたい電話番号は、共通電話帳に登録しておく必要があります。登録時のグループ選択では、「中継発信」を設定したグループを選択してください。

コールバックの各動作のタイミングを変更するには
「システム設定」によって、次のタイミングを変更できます。
- 対象とする電話番号からの着信を「コールバック着信」と判定する着信秒数（お買い求め時：6秒）
- 「携帯電話の方」が電話を切ったあと「内線電話機側の方」を呼び出す秒数（お買い求め時：30秒）
- コールバックで「携帯電話の方」を呼び出す秒数（お買い求め時：120秒）

中継発信できる相手先を限定するには
コールバック（中継発信）で外出先から外線発信できる相手先を、「システム設定」やメニュー設定により制限することができます。（☛P174）

携帯電話への通話サービスを利用するには
「システム設定」により、中継発信を利用して携帯電話に発信するときにも、あらかじめ設定された事業者識別番号が自動付与されるように設定できます。（☛P176）

お知らせ

●「携帯電話からコールバックを利用して外線発信するには」の手順③で、空いている外線がなかったときは、発信できません。
●コールバック（中継発信）で使用中の外線の外線ランプは、赤く点灯します。

外出先からのリモコン操作（自動応答サービス）

自動応答サービスとは、外出先などからネットコミュニティシステムBXに電話をかけ、ダイヤルボタンによるリモコン操作で行うことです。
次のリモコン操作が行えます。

- 特定の内線電話機の呼び出し
- システムの外線を使った発信
- 転送電話や留守番電話のセットおよび解除
- 電話機起動転送先リストの登録
- 圏外時サービス設定
- システムモードの切り替え
- セキュリティサービスの起動および解除

自動応答サービス利用の準備と流れ

自動応答サービスを利用するには、次の3通りの方法があります。いずれかの準備を行ってください。

■在宅自動応答を設定しておく

外からの電話に約50秒間だれも応答しなかった場合に、自動応答サービスを利用できる状態に自動的に切り替わるように設定しておく方法です（お買い求め時の設定のまま、ご利用になれます）。

「在宅自動応答設定」で「自動応答する（お買い求め時の設定）」に設定する（☛P152）

↓

外出先から電話をかけ、「ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。」というガイダンスが聞こえるまで（約50秒間）呼び出しを続ける（※1）

※1： オプションの留守番停電電話機をお使いの場合、留守がセットされていると留守番停電電話機が留守応答してしまい、「ただいま留守にしております…」という応答メッセージが聞こえます。
ネットコミュニティシステムBXに在宅自動応答させるには、留守番停電電話機の留守を解除してから、再度かけ直してください。リモコン操作で留守を解除する操作については、留守番停電電話機の取扱説明書を参照してください。

■ダイヤルインサービス／i・ナンバーを利用する

自動応答サービス用の電話番号を用意しておく方法です。

ダイヤルインサービス／i・ナンバー（有料）を契約し、自動応答用のダイヤルイン番号／i・ナンバーを用意する（☛P107）

↓

外出先からこの電話番号にかける

■外出先で使う電話機の電話番号を登録しておく

携帯電話など、外出先でよく使う電話機の電話番号を共通電話帳に登録し、この電話番号からはリモコン操作ができるように設定しておく方法です。
この方法でリモコン操作を行うときは、他の2通りの方法の場合には必要な暗証番号の入力が省略できます。
アナログ回線をご利用の場合、この方法で自動応答サービスを行うにはナンバー・ディスプレイ（有料）の契約が必要です。（☛P104）

「グループ着信先設定」で、特定の電話帳グループに「自動応答サービス」を設定する（☛P142）

↓

携帯電話などの電話番号を共通電話帳に登録し、グループ選択時に「自動応答サービス」を設定したグループを選択する（☛P40）

↓

登録した電話番号から電話をかける

ワンポイント

携帯電話への通話サービスを利用するには

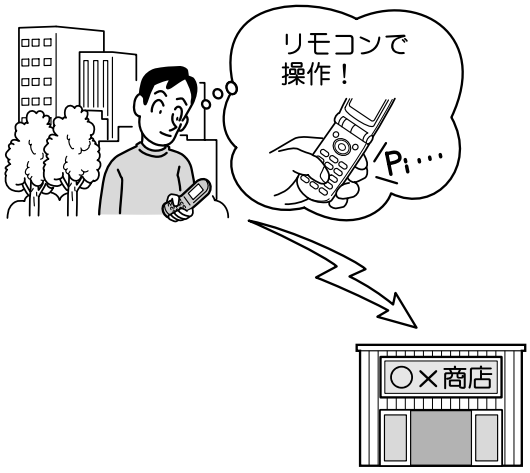
「システム設定」により、システムの外線を使って携帯電話に発信するときにも、あらかじめ設定された事業者識別番号が自動付与されるように設定できます。（☛P174）

STOP お願い

- プッシュ信号を送れない電話機からは、自動応答サービスを利用できません。
- 外出先から操作するときは、ダイヤルボタンをゆっくりと確実に押してください。
- 携帯電話などでガイダンスが聞こえている間に操作した場合は正常に動作しないことがありますので、ガイダンスが終了してから操作してください。
- ガイダンスが聞こえている間にダイヤルボタンを押す場合は、ガイダンスが確実に止まるように、少し長めに押してください（電話機によってはできない場合があります）。

外出先からのリモコン操作（自動応答サービス）

外出先からリモコン操作をする



1 自動応答サービスを利用できる電話番号へ電話をかけます。

特定の内線電話機を呼び出す場合

2 1あ を押します。

3 「内線番号をどうぞ。」というガイダンスのあと、ダイヤルボタンで内線番号を押します。

4 相手の方が出たら、お話しください。

ワンポイント

●自動応答サービスの操作時に使用する「暗証番号」とは

「暗証番号と＃をどうぞ。」というガイダンスのあとに押す暗証番号とは、それぞれの操作に必要な内線番号（1～8）と電話機ごとの暗証番号（お買い求め時は「0000」☛P140）を続けた5桁の数字です。4桁の暗証番号だけでは操作できません。

次の5桁の数字を押して、＃を押してください。

システムの外線を使って電話をかける場合※ システムモードの設定をする場合	システムでご利用中の内線番号＋電話機ごとの暗証番号
転送電話の設定をする場合	サービスボタン（転送電話）が設定されている内線電話機の内線番号＋電話機ごとの暗証番号
留守番電話の設定をする場合	留守番停電電話機の内線番号＋電話機ごとの暗証番号
セキュリティサービスの設定をする場合	サービスボタン（セキュリティ）が設定されている内線電話機の内線番号＋電話機ごとの暗証番号

※ただし、「システムの外線を使って電話をかける場合」（☛P73）は、外線転送時の暗証番号（お買い求め時「0000」☛P148）のみで操作できます。

システムの外線を使って電話をかける場合

2 (2 か ABC)を押します。

「外線発信番号をどうぞ。」というガイダンスが聞こえたときは、手順4へ進みます。

3 「暗証番号と＃をどうぞ。」というガイダンスのあと、暗証番号を押し、(#)を押します。

4 「外線発信番号をどうぞ。」というガイダンスのあと、外線発信番号((0 わたり 記号)[　　])を押します。

5 電話番号をダイヤルボタンで押します。

6 相手の方が出たら、お話しください。

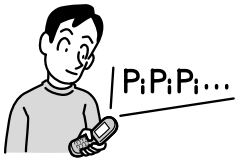
転送電話、留守番電話、システムモード、セキュリティサービスの設定をする場合

2 (3 さ DEF)を押します。

「リモート番号をどうぞ。」というガイダンスが聞こえたときは、手順4へ進みます。

3 「暗証番号と＃をどうぞ。」というガイダンスのあと、暗証番号を押し、(#)を押します。

4 音声ガイダンスに従って操作します。



ワンポイント

●**自動応答サービスの「暗証番号」を押す操作を省くには**

「■外出先で使う電話機の電話番号を登録しておく」（☛P71）の方法を使います。登録されている電話番号から電話をかけたときには、「暗証番号」を押す操作が不要です。

お知らせ

システムの外線を使って電話をかける場合は、「システム設定」により、あらかじめ発信可能な外線を設定しておく必要があります。なお、一般回線（アナログ回線）をご使用の場合はオプションの追装が必要です。

外出先からのリモコン操作（自動応答サービス）

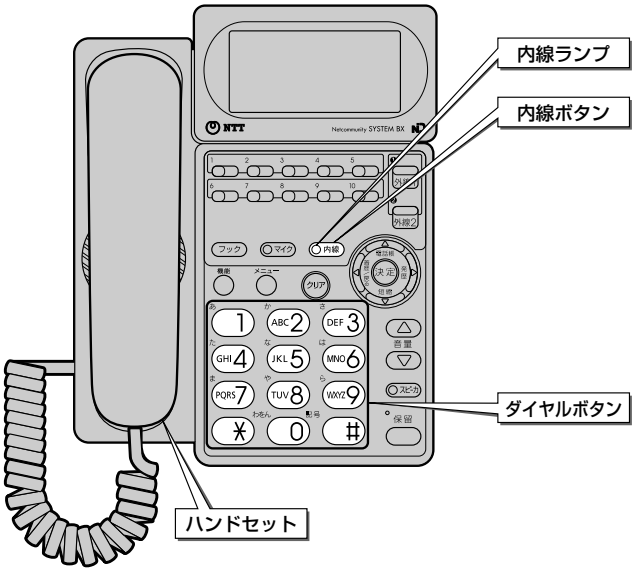
サービス番号／リモート番号一覧

サービス番号	サービス内容		リモコン操作
1	内線電話機の呼び出し		内線番号
2	外線への転送（※1）		外線発信番号 0 [　　] +電話番号
3（※1）	転送電話、留守番電話	留守番電話のセット（※3）	9 7 0 [　　] 留守番電話を設定しました。
		転送電話のセット	9 7 1 [　　] 転送電話を設定しました。
		転送電話、留守番電話の解除（※2）（※3）	9 7 2 [　　] 留守番電話または転送電話を解除しました。
		電話機起動転送先リストの登録	9 7 3 [　　] 何番目の転送先を登録しますか？　番号と#をどうぞ。
		圏外時サービス設定	9 7 8 [　　]+0 # （解除）／1 # （転送電話）
	システムモード	システムモードの解除（自動モードへの切り替え）	9 4 0 [　　] システムモードを解除しました。
		昼モードへの切り替え	9 4 1 [　　] システムモードを昼に設定しました。
		夜モードへの切り替え	9 4 2 [　　] システムモードを夜に設定しました。
		休憩モードへの切り替え	9 4 3 [　　] システムモードを休憩に設定しました。
		休日モードへの切り替え	9 4 4 [　　] システムモードを休日に設定しました。
	セキュリティサービス	起動	9 7 9 [　　]+1 #
		解除	9 7 9 [　　]+0 #+セキュリティ暗証番号+#

※1：自動応答サービスの暗証番号が必要となる場合があります。（☛P72、P73）
※2：転送電話と留守番電話の両方をセットしている場合は、どちらも解除されます。
※3：留守番電話の機能をご利用になるには、別途オプションの留守番停電電話機が必要です。

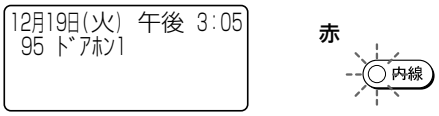
ドアホンとお話しするには

ドアホンを接続しているときは、ドアホンからの呼び出しに応答したり、ドアホンの周囲の音を聞いたりすることができます。
ドアホンをご利用になるには、オプションの追装が必要です。



ドアホンからの呼び出しに応答する

1 ドアホンからの呼び出しがあると、ドアホンのチャイム音が鳴り、内線ランプが点滅します。



2 ハンドセットを取りあげて、お話しください。

内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

3 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

お知らせ

- ドアホンからの呼び出しに応答するときは、内線ランプが点滅している間に行ってください。この時間を超えると、ハンドセットを取りあげても応答することはできません。内線ランプが点滅している時間は「システム設定」することができます。
- 「システム設定」で、チャイム音が鳴るように設定した電話機がお話し中のときは、チャイム音の代わりに「プププ」という確認音でドアホンからの呼び出しをお知らせするようにできます。
- 単体電話機、ディジタルコードレス電話機でお話し中のときは、「プププ」という確認音は鳴りません。
- チャイム音が鳴る電話機は「システム設定」で変更できます。
- ドアホンからの呼び出しに応答したときの確認音の有無を「システム設定」することができます。
- 単体電話機やディジタルコードレス電話機が鳴動しているときは、ドアホンから呼び出されません。

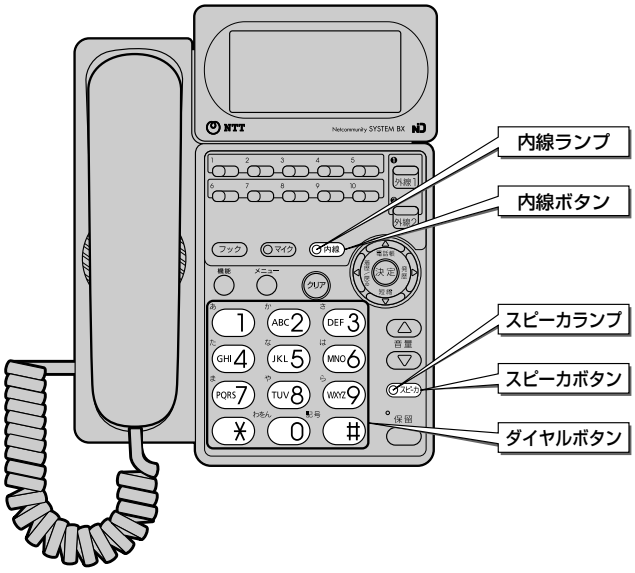
ワンポイント

●チャイム音が鳴らない電話機で応答するには
ハンドセットを取りあげて、ドアホン応答1～2の特番（＃ 9 5 ～ ＃ 9 6 [　　]）を押すと応答できます。

●他グループの電話機で応答するには（代理応答）
内線ボタン、代理応答（統合）の特番（＃ ＃ [　　]）の順に押し、ハンドセットを取りあげて応答することができます。

●ドアホンから呼び出されるときは
単体電話機には、内線着信音で知らされます。

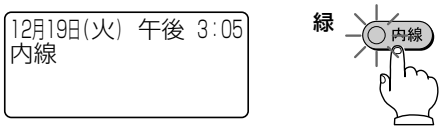
ドアホンとお話しするには



ドアホンの周囲の音を聞く
（ドアホンを呼び出す）

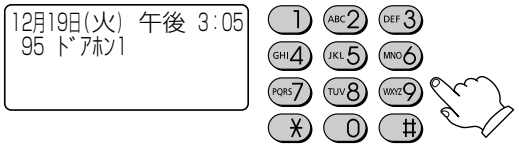
1 内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



2 ドアホン番号（9 5 ～ 9 6 [ ]）を押します。

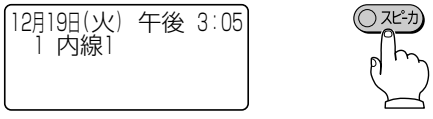
ドアホンの周囲の音が聞こえます。ドアホン側の方とお話しすることもできます。



ドアホン1：9 5　ドアホン2：9 6

3 聞き終わったら、スピーカボタンを押します。

スピーカランプ、内線ランプが消えます。

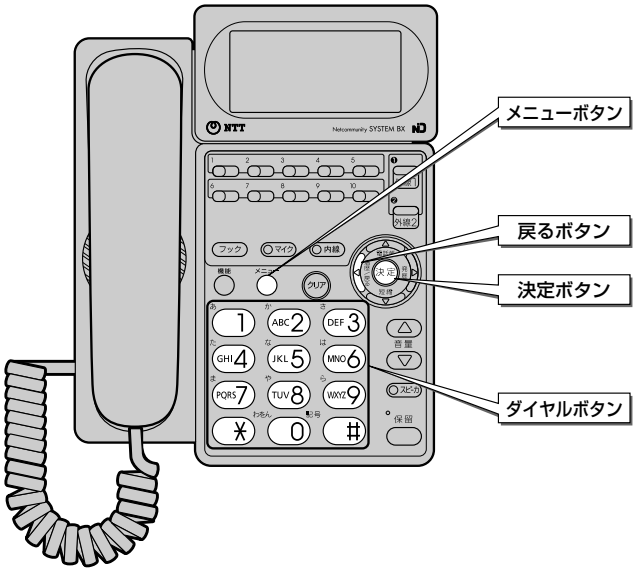


お知らせ

手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

電話機の名前を登録するには（内線ネーム登録）

内線番号ごとに、部屋や使っている人の名前を登録することができます。名前を登録しておくと、内線で呼び出すときなどに内線番号とともに名前が表示され、相手がわかりやすくなります。



1 メニューボタンを押します。

1:電話機毎設定
2:ｼｽﾃﾑ一括設定

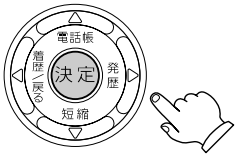
2 ABC2 PQRS7 1 を押します。

内線ﾈｰﾑ登録
内線番号?

3 名前を登録する内線の番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押します。

内線ﾈｰﾑ登録:1
内線1

[かな]

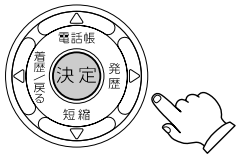


4 名前を入力し、決定ボタンを押します。

「文字を入力する」（☛P42）を参照して名前を入力してください。
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、名前が登録されます。

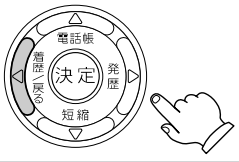
内線ﾈｰﾑ登録:1
店ﾚｼﾞ

[かな]



5 戻るボタンを長く押します。

12月19日(火) 午後 3:05
1 店ﾚｼﾞ



ワンポイント

●内線ネームを登録すると

待機中画面には、内線番号と内線ネームが表示されます。また、内線で呼び出すときや呼び出されたとき、発信／着信履歴の画面などにも内線ネームが表示されます。

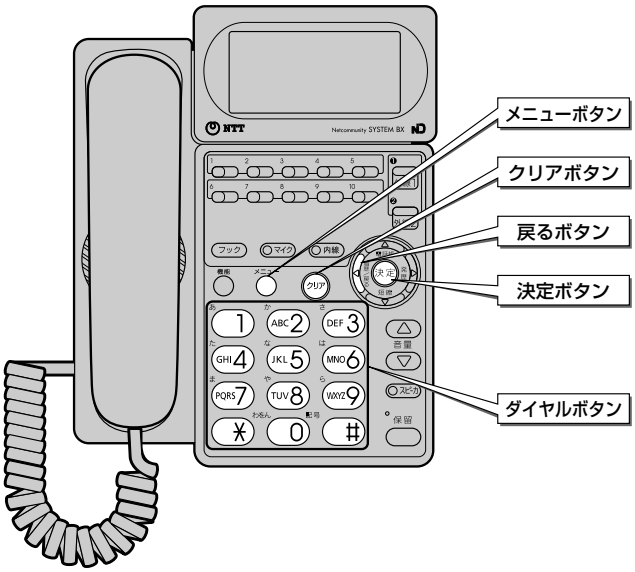
＜着信履歴一覧画面＞

01応 通機営業
02不 0312345678
03他 2 倉庫
04応 3 居間

●ドアホンの名前を登録するには（☛P150）

不在のときの電話を転送するには（不在着信転送）

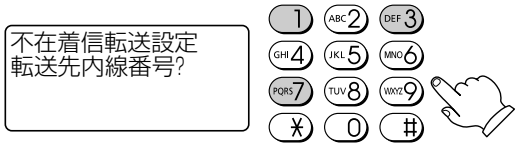
離席中など不在にしているとき、自分にかかってきた電話を、一時的に他の内線電話機に転送できます。不在着信転送を取りやめるときは、解除の操作を行います。



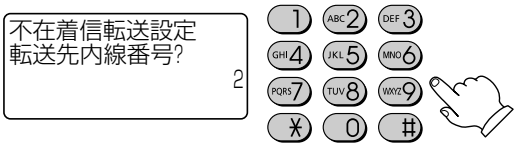
不在着信転送を登録する

1 メニューボタンを押します。

2 1 PQRS7 DEF3 を押します。



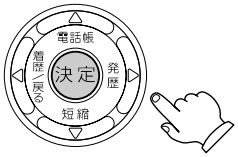
3 転送先の内線番号をダイヤルボタンで押します。



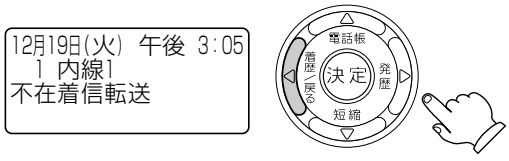
内線番号を押し間違えたときは、クリアボタンを押します。

4 決定ボタンを押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、不在着信転送が登録されます。



5 戻るボタンを長く押します。



お知らせ

- 外線着信はダイヤルイン（個別着信）のみ転送することができます。
- ダイヤルイン番号を割り当てた外線ボタンへかかってきた電話を、不在着信転送することはできません。

不在着信転送を解除する

1 「不在着信転送を登録する」の手順1～2の操作を行います。

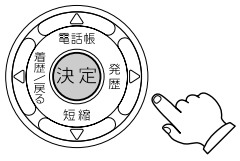
不在着信転送設定
転送先内線番号?
2

2 クリアボタンを押します。

不在着信転送設定
転送先内線番号?

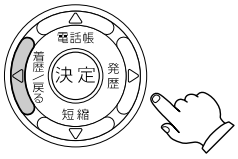
3 決定ボタンを押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、不在着信転送が解除されます。



4 戻るボタンを長く押します。

12月19日(火) 午後 3:05
1 内線1



ワンポイント

●**不在時の表示について**

不在着信転送で着信したときは、呼び出した方と、転送元の内線番号が同時に表示されます。

例：内線3 → 内線1 → 内線2
= =
（呼び出し）（不在着信転送）

＜内線3での表示＞
（呼び出した方）

12月19日(火) 午後 3:05
2 内線2
転送元
1 内線1

＜内線2での表示＞
（転送先）

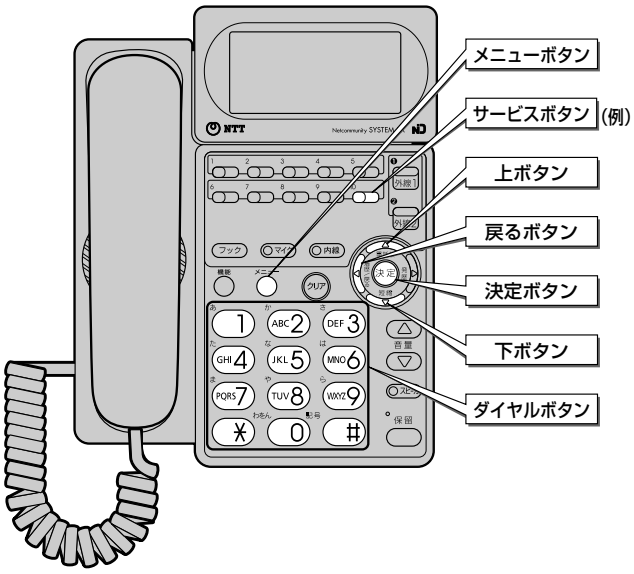
12月19日(火) 午後 3:05
3 内線3
転送元
1 内線1

お知らせ

留守番電話または転送電話が設定されている場合は、留守番電話が応答したり転送電話が起動するため、不在着信転送は行われません。

よく使う機能をワンタッチボタンで操作するには　（サービスボタン）

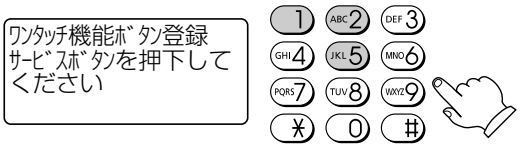
「システム設定」によって特定の機能が登録されているフレキシブルボタンを「サービスボタン」と呼びます。サービスボタンに登録されている機能は、使い勝手に合わせて内線電話機ごとに変更できます。



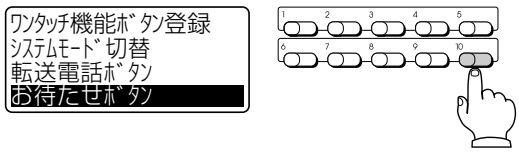
サービスボタンの機能を変更する

1 メニューボタンを押します。

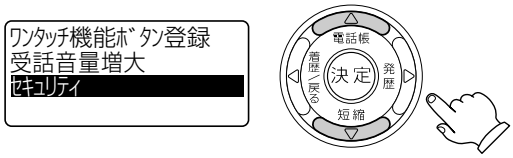
2 1 JKL 5 ABC 2 を押します。



3 登録するサービスボタンを押します。



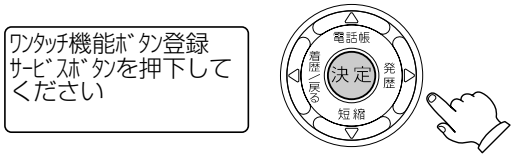
4 上下ボタンで登録する機能を選択します。



選択できる機能は（☛P81）

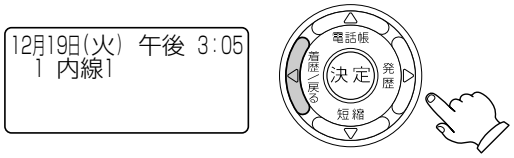
5 決定ボタンを押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、ワンタッチ機能が登録されます。



続けて登録するときは、手順3～5を繰り返します。

6 戻るボタンを長く押します。



ワンポイント

○選択できるサービスボタン

下記の11種類のサービスボタンの中から選択してください。

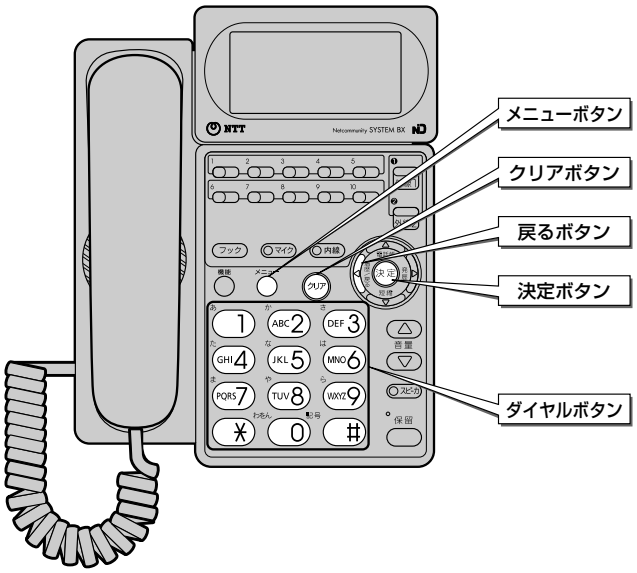
選択できるサービスボタン	本書でのサービスボタンの表記	機能説明
システムモード切替	システムモード切替	システムモード（昼／夜／休憩／休日）を切り替える
転送電話ボタン	転送電話	☛P84
お待たせボタン	お待たせ	☛P66
INS3者通話	INS3者通話	☛P117
INS通信中転送	INS通信中転送	☛P118
INS着信転送モード	INS着信転送モード	☛P121
INS着信転送	INS着信転送	☛P119
INS発信専用	INS発信専用	☛P103
INS通信中着信停止	INS通信中着信停止	☛P115
受話音量増大	受話音量増大	☛P27
セキュリティ	セキュリティ	☛P91

お知らせ

- サービスボタン登録の操作を行うには、あらかじめ「システム設定」により、フレキシブルボタンにサービスボタンが割り当てられている必要があります。お買い求め時には、10番のフレキシブルボタンにサービスボタンが割り当てられ、「お待たせ」が登録されています。
- メニュー設定で選択できる転送電話用と留守番電話用のサービスボタンは、一般着信用です。

転送電話を利用するには

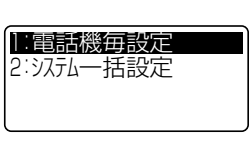
内線電話機ごとに転送先電話番号を登録しておき、かかってきた電話を自動的に転送させることができます（電話機起動転送）。電話機起動転送をセット／解除するには、あらかじめ「システム設定」でサービスボタン（転送電話）を設定しておく必要があります。



転送電話の転送先リストを登録する

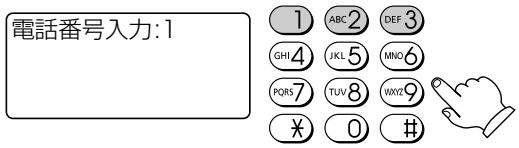
転送先電話番号を3か所まで登録できます。登録は、各内線電話機でのメニュー設定で行えます。

1 メニューボタンを押します。

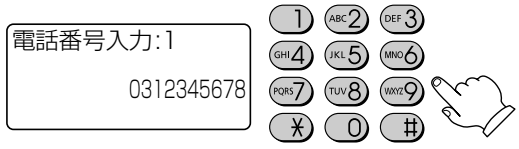


2 1 GHI 4 1 を押します。

3 登録先をダイヤルボタン（1 ～ DEF 3）で押します。



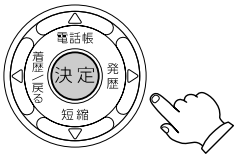
4 転送先の電話番号をダイヤルボタンで押します。



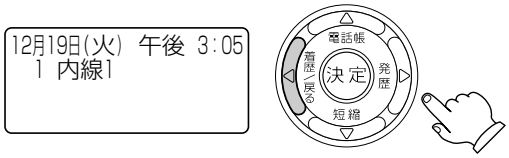
電話番号を押し間違えたときは、クリアボタンを押します。

5 決定ボタンを押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、転送先電話番号が登録されます。続けて登録が行えます。



6 戻るボタンを長く押します。



ワンポイント

●転送先リストの登録内容を消去するには

手順3で内容を消去する転送先リストの番号をダイヤルボタン（1 ～ 3）で押し、クリアボタンを押して電話番号を消去して決定ボタンを押します。

●PBX/CES回線に接続されているときは

相手先の電話番号の前に、外線発信番号を付けて登録してください。

○転送電話機能の設定を変更するには（☛P86）

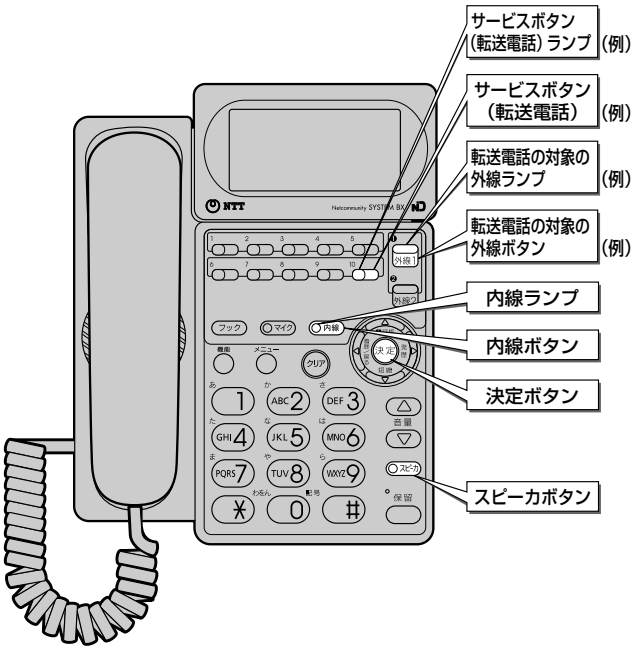
携帯電話への通話サービスを利用するには

「システム設定」により、転送先の携帯電話への発信時にもあらかじめ設定された事業者識別番号が自動付与されるように設定できます。（☛P174）

お知らせ

- 転送先で電話に出たときに、音楽などの連続した音が聞こえたり、一定時間無音の状態が続く場合は、電話が切れることがあります。
- 一般回線（アナログ回線）をご使用の場合は、オプションの追装が必要です。

転送電話を利用するには

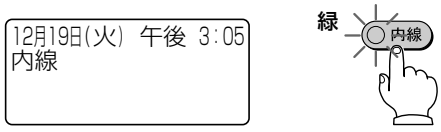


転送電話の対象とする回線を設定する

電話がかかってきたときに転送電話を起動させる回線を設定します。

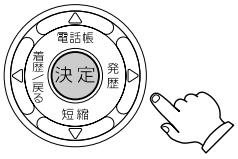
1 内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

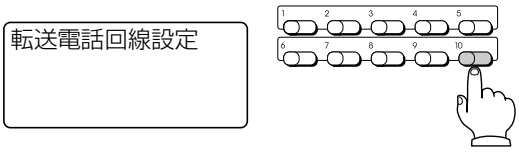


2 決定ボタンを押します。

「ツツツ…」という音を確認してください。



3 サービスボタン（転送電話）を押します。



4 転送電話の対象とする外線ボタンを押します。

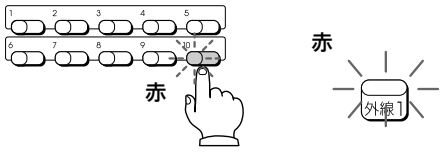
外線ランプが点灯します。設定を解除するときは、もう一度外線ボタンを押して外線ランプを消灯させます。
複数の回線を設定するときは、続けて外線ボタンを押します。

転送電話をセットする

外出時や退社時に内線電話機で転送をセットします。

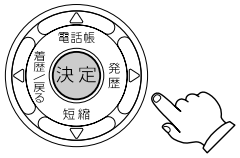
1 サービスボタン（転送電話）を押します。

転送電話がセットされます。
サービスボタン（転送電話）ランプが遅く点滅します。
転送電話対象回線の外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

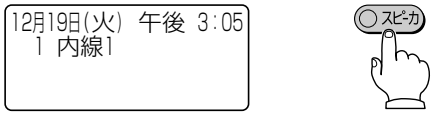


5 決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、転送電話対象回線が設定されます。



6 スピーカボタンを押します。



ワンポイント

●転送を解除するには
セット時と同様に、サービスボタン（転送電話）を押します。転送が解除され、サービスボタン（転送電話）ランプと転送電話対象外線ランプが消灯します。

○転送電話機能の設定を変更するには（☛P86）

転送発信時に特定の回線を利用するには
「システム設定」により、転送発信時に特定の回線を利用することができます。

●転送先リストの電話番号からかけたときは
転送電話がセットされているときでも、転送先リストに登録されている電話番号からの電話は転送されません。

お知らせ

「システム設定」により、ダイヤルイン着信などの電話機ごとの個別着信だけを転送することもできます。

▶ *転送電話ができないときは？（☛P129）*

転送電話を利用するには

■転送電話機能の設定を変更する

必要に応じて、転送電話に関するさまざまな設定を変更することができます。設定は、メニュー設定の「システム一括設定」やWeb設定、または「システム設定」で行います。

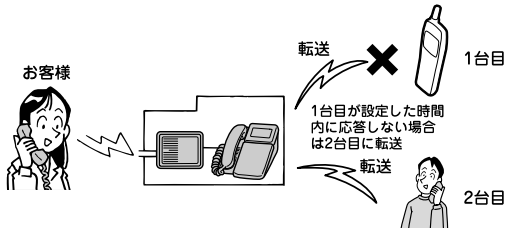
概　要	ご利用のヒント	参照ページ
転送開始のタイミングの設定 着信から転送開始までの秒数を設定します。	0～255秒の間で設定できます。 お買い求め時は、「5秒」（約5秒間着信音を鳴らし、その間に応答しなかった場合にのみ転送電話を開始する「未応答転送」）に設定されています。「0秒」に設定すると、着信音を鳴らさず、着信と同時に転送を開始します（無条件転送）。	転送開始タイマ （☛P151）
転送先へ転送方式の設定 転送先リストに登録されている電話番号（最大3か所）への発信を同時に行うか、リストの登録順に順次行うかを設定します。	お買い求め時は、「順次転送」に設定されています。 「同時転送」が行われると、一度に複数の回線を使用することになります。たとえば、転送先リストに3か所登録されている場合には、3回線を同時に使ってしまいます。	外線転送方式設定 （☛P151）
順次転送の間隔の設定 転送先リストの電話番号へ順次転送を行う間隔を設定します。	6～100秒の間で設定できます。 お買い求め時は、転送先を30秒ずつ時間をずらして順次呼び出すように設定されています。	外線転送先呼出タイマ （☛P151）
転送元の呼び出しの設定 転送電話起動後の、転送元の呼び出しについて設定します。	お買い求め時は、転送電話の起動と同時に転送元の呼び出しを停止する「設定しない」に設定されています。 「設定する」に変更すると、転送先で応答するか、電話をかけてきた方が呼び出しをやめるまで転送元の呼び出しが継続します。	転送元呼出継続設定 （☛P151）

ワンポイント

●順次転送と同時転送の違いは

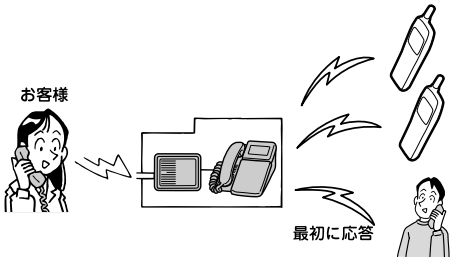
＜順次転送＞

かかってきた電話を、携帯電話などに順次転送します。
1台目の電話が設定した時間内に応答しなかった場合は、2台目に自動的に転送します。



＜同時転送＞

かかってきた電話を、携帯電話などに同時に最大3台まで転送します。最初に応答した電話につながります。



お知らせ

●転送開始のタイミングの設定を「0秒」（無条件転送）に設定している場合は、転送元は呼び出されずにただちに転送が行われます。

●かかってきた電話が携帯電話に転送された場合、圏外やドライブモード中だった場合でも、かけてきた方にその旨をお知らせするガイダンスは流れないことがあります。

その他の転送電話の活用

P82～P86で説明した転送電話の他に、「電話帳グループ転送」、「システムモード転送」および「圏外時外線転送」の3種類の転送機能が用意されています。どの転送機能を利用する場合も、使い勝手に合わせた詳細設定の変更が行えます。

■特定の相手先からの電話を転送する（電話帳グループ転送）

あらかじめ「システム設定」により発番号ダイヤルインを設定しておけば、特定の電話帳グループに登録されている相手からの電話だけを転送することができます。次のような準備が必要です。

①「システム一括設定」の転送先リストを登録する（☛P151）

②「システム一括設定」でグループ着信先を設定し、使用する転送先リストを指定する（☛P142）

③必要に応じて設定を変更する（☛P86）

■システムモード（昼／夜／休憩／休日）に応じた転送を行う（システムモード転送）

システムモードが切り替わると、自動的に転送するように設定することができます。システムモード転送を行うには、「システム設定」が必要です。

ワンポイント

●転送先リストに登録できる件数は

電話機起動転送の転送先リスト（☛P136）は最大3件、電話帳グループ転送やシステムモード転送の転送先リスト（☛P151）は20個のリストにそれぞれ最大3件登録できます。

携帯電話への通話サービスを利用するには

「システム設定」により、転送先の携帯電話への発信時にもあらかじめ設定された事業者識別番号が自動付与されるように設定できます。（☛P174）

お知らせ

- アナログ回線のみの場合、無線LAN対応FOMAの圏外時外線転送は行えません。
- 回線の空き状況により転送電話機能が働かない場合があります。

■圏外になったときにかかってきた電話を転送させる（圏外時外線転送）

内線電話機（ディジタルコードレス電話機や無線LAN対応FOMA）が圏外になったときに、外線に転送するように設定できます。

ディジタルコードレス電話機や無線LAN対応FOMAで設定を行うときは、次のように操作します。

＜電話機起動転送先リスト（最大3件）を登録するとき＞

① 9 7 3 [　　]+ 1 ～ 3（リスト番号）+ 転送先電話番号 # を押す

②発信操作をする（「ピーピー」という確認音が聞こえる）

＜圏外時外線転送をセットするとき＞

① 9 7 8 [　　]+ 1 # を押す

②発信操作をする（「ピーピー」という確認音が聞こえる）

＜圏外時外線転送を解除するとき＞

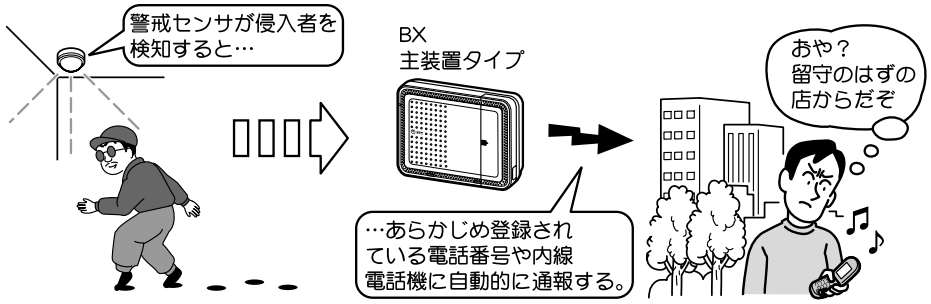
① 9 7 8 [　　]+ 0 # を押す

②発信操作をする（「ピーピー」という確認音が聞こえる）

セキュリティサービスを利用するには

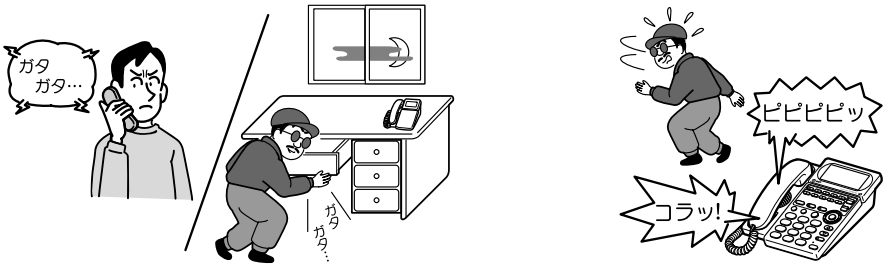
セキュリティ装置（警戒センサ+セキュリティ受信機）を接続することにより、警戒センサが侵入者を検知したときに通報が行われるセキュリティサービスを利用することができます。

セキュリティサービスを起動しておくと、自動的に通報が行われます。



内線電話機からは、自動的に威嚇音を流すことができます。
また、通報に応答した内線や外線からのリモコン操作により、次の操作が行えます。

- 電話機のマイクを使って室内の音をモニタする
- モニタする内線電話機を切り替える
- 手動で威嚇音を流す
- 内線電話機をハンズフリー通話状態にし、スピーカから声を流す



お知らせ

- 本商品のセキュリティサービスは、セキュリティ装置からのセンサ検知信号を受信して電話機から威嚇音を流したり通報先への発信を行ったりする機能であり、災害を防止する機能ではありません。万一、事故・災害等が発生した場合でも、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 警戒センサの設置状態によっては、侵入者などを検知できない場合があります。いざというときに正しく機能させるために、日常点検や定期点検による設備の維持管理を行ってください。詳しくはセキュリティ装置の取扱説明書を参照してください。
- 通報先の携帯電話がサービスエリア外や電波の弱いところにある場合などは、電話がつながらず、自動通報によるセンサ検知確認やリモコン操作ができないことがあります。
- 外線への通報時に、通報先が応答しなかった場合や応答信号がない場合（フリーダイヤルなど）は、自動通報によるセンサ検知確認やリモコン操作ができません。
- 自動通報の電話を切ってしまった場合、自動通報のやり直しは行われません。応答するときや遠隔音響モニタ中、リモコン操作中に誤って電話を切らないようにご注意ください。

セキュリティサービスの動作の流れ

あらかじめ行われている設定や自動通報を受けた方の操作により、次のように動作します。

セキュリティ装置の検知信号をBX主装置タイプが受信する

↓

内線電話機から自動威嚇音を流す

・自動的に威嚇音を流す内線電話機は、「システム設定」により設定できます。(☛P175)

・検知信号を受信してから自動威嚇音の送出を開始するまでの時間（お買い求め時：30秒）を、1～255秒の間で変更できます。(☛P152)

あらかじめ設定されている通報先に自動通報する

・外線の電話番号を最大3か所登録できます。(☛P90)

・特定の内線電話機を通報先に設定するときは、「システム設定」が必要です。(☛P175)

・通報先は、内線、外線、内線と外線の両方の3通りから選択できます。(☛P90)

・外線（最大3か所）への自動通報を同時に行うか、リスト登録順に行うかを、「システム設定」で設定できます。(☛P175)

・通報先がお話し中などの場合でも、「システム設定」で設定されたセキュリティ継続タイマの時間中は、繰り返し自動通報が行われます。

・検知信号を受信してから自動通報を開始するまでの時間（お買い求め時：30秒）を、1～255秒の間で変更できます。(☛P152)

↓

通報先の方が自動通報に応答すると、内線電話機周辺のモニタ状態（遠隔音響モニタ）になる

・ 物音などを確認してください。(☛P92)

↓

リモコン操作する（☛P93）

・ モニタする内線電話機の切り替え
・ 威嚇音の手動送出
・ スピーカで通話できる状態への切り替え（周辺に呼びかけたり、通話したりできる）

ワンポイント

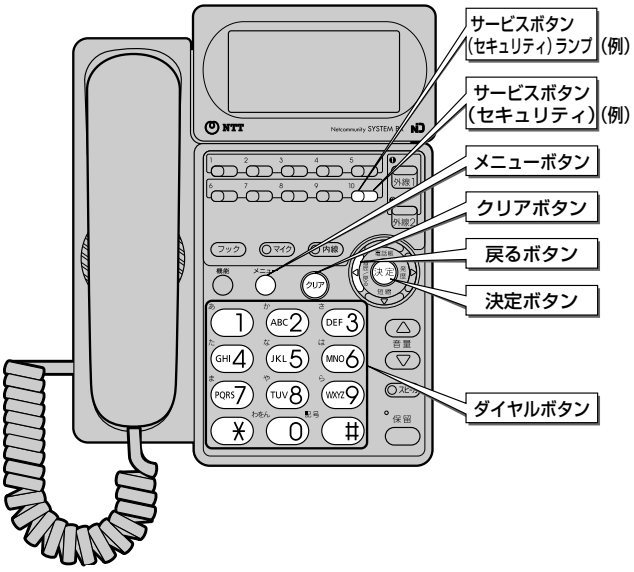
●セキュリティサービスの記録を確認するには

セキュリティ装置の検知信号を受信したときの動作記録（センサ起動履歴）は、最大200件が保存され、Web設定画面で確認したり、削除したりできます。(☛P165)

携帯電話への通話サービスを利用するには

「システム設定」により、外線の通報先として登録されている携帯電話に発信するときにも、あらかじめ設定された事業者識別番号が自動付与されるように設定できます。(☛P174)

セキュリティサービスを利用するには



ワンポイント

●通報先リストの登録内容を消去するには

手順3で内容を消去する通報先リストの番号をダイヤルボタン（ 1 ～ 3 ）で押し、クリアボタンを押して電話番号を消去して決定ボタンを押します。

●PBX/CES回線に接続されているときは

相手先の電話番号のみを登録してください。外線発信番号は自動的に付けて発信されるので、電話番号の前に付ける必要はありません。

内線の通報先を設定するには（☛P175）

通報先を内線／外線／内外線に設定するには

①メニューボタンを押す
② 2 9 3 を押す
③ 0 ～ 2 を押して通報先を選択する
④戻るボタンを長く押す

外線への自動発報の方式を設定するには

外線の通報先として登録した電話番号（最大3か所）への発信を同時に行うか、1～3の順に順次発信するかを「システム設定」により設定できます。（☛P175）

お知らせ

●通報先には、緊急時に迅速な対応が確実にとれる相手先をお選びください。
●通報先として110番、119番、118番を登録することはできません。
●外線の3つの通報先に同時に発信するためには、3回線以上の契約が必要です。

Q&A ▶ *セキュリティサービス機能が動作しないときは？（☛P129）*

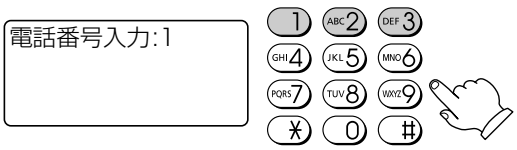
外線の通報先を登録する

外線の通報先電話番号を3か所まで登録できます。

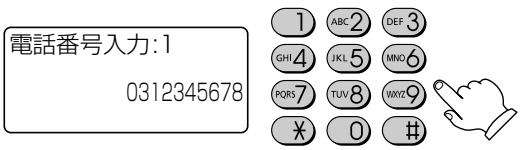
1 メニューボタンを押します。

2 2 9 5 を押します。

3 登録先をダイヤルボタン（ 1 ～ 3 ）で押します。



4 通報先の電話番号をダイヤルボタンで押します。



電話番号を押し間違えたときは、クリアボタンを押します。

5 決定ボタンを押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、通報先電話番号が登録されます。続けて登録が行えます。

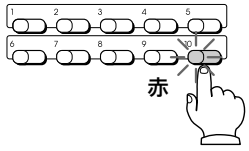
6 戻るボタンを長く押します。

セキュリティサービスを起動する

外出時などにセキュリティサービスを起動します。サービスボタンを使ってセキュリティサービスを起動するには、あらかじめサービスボタン（セキュリティ）を設定しておく必要があります。

1 サービスボタン（セキュリティ）を押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、サービスボタン（セキュリティ）ランプが点灯します。

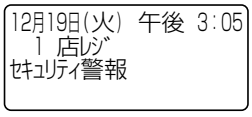


180秒後（お買い求め時の設定）に警戒センサによる監視が開始されます。

ワンポイント

●サービス起動から監視開始までの時間を変更するには
セキュリティサービスを起動してから警戒センサでの監視を開始するまでの時間（お買い求め時：180秒）を、1～255秒の間で変更できます。（☛P152）

●サービス起動中に検知が行われると
サービスボタン（セキュリティ）ランプが赤くゆっくり点滅し、ディスプレイには「セキュリティ警報」と表示されます。Web設定画面でセンサ起動履歴を確認してください。（☛P165）



セキュリティサービスを解除すると、ランプが消灯し、ディスプレイの表示も消えます。

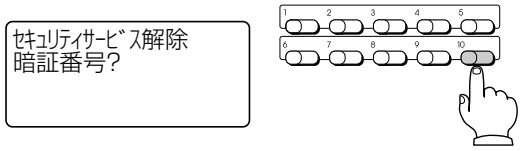
セキュリティ暗証番号を変更するには
「システム設定」で変更します。

●セキュリティサービス動作中に解除を行うと
自動威嚇音の送出や通報が停止します。

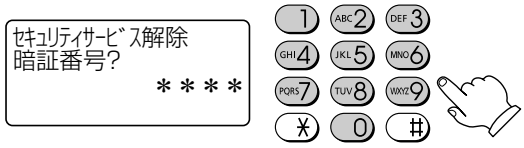
セキュリティサービスを解除する

セキュリティ暗証番号は、お買い求め時は「2580」に設定されています。

1 サービスボタン（セキュリティ）を押します。

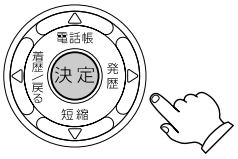


2 ダイヤルボタンでセキュリティ暗証番号を押します。



3 決定ボタンを押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、サービスボタン（セキュリティ）ランプが消灯します。



お知らせ

セキュリティサービスの解除には、ここで説明している操作のほかに、セキュリティ装置側での解除操作も必要な場合があります。セキュリティ装置の取扱説明書をご確認ください。

セキュリティサービスを利用するには

自動通報を受けたときは

内線電話機の場合は、セキュリティ通報専用の着信音が最大音量で鳴るので、自動通報であることがすぐにわかります。

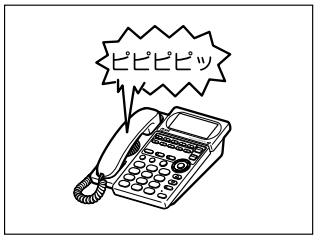
自動通報に応答すると、「ピーッピーッ」という音が聞こえたあと、内線電話機周辺の音が聞こえる状態になります（遠隔音響モニタ）。

この状態からリモコン操作を行うことにより、モニタする電話機を切り替えたり、モニタ中の電話機から威嚇音を流したり、スピーカを使ってモニタ中の電話機の周囲に話しかけたりすることができます。

自宅やお店（システム設置所）

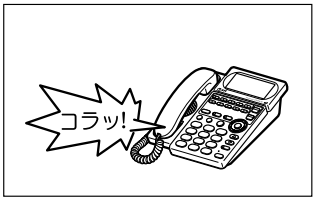
5

威嚇音を流す

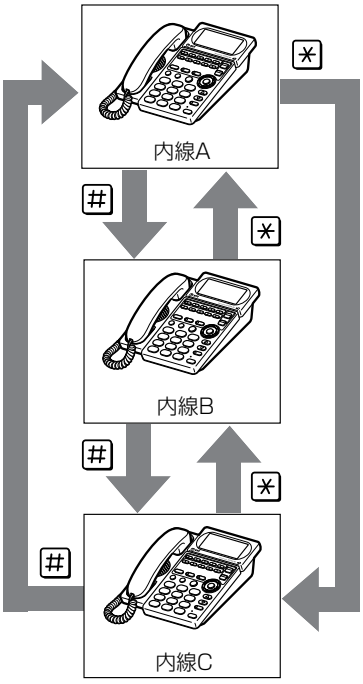


0

スピーカで通話できる状態にする



モニタする内線電話を切り替える



●威嚇音送出中やスピーカオンの状態のときに＃や＊を押したり、モニタする内線電話機を切り替えてから0や5を押すこともできます。

通報先

1 自動通報の電話がかかってきます。

2 様子をモニタします。

必要に応じてダイヤルボタンを押して、リモコン操作を行います。

ワンポイント

●最初にモニタされる内線電話機は
自動通報に応答したときにモニタ状態になるのは、「システム設定」でモニタが設定されている内線電話機のうち、最も若い内線番号の内線電話機です。ただし、モニタされる内線電話機のハンドセットが外れていたり使用されていたりした場合は、保留音が聞こえます。

●モニタする内線電話機を切り替えると
モニタする電話機が切り替わるときに、「ピッピッ」という確認音が聞こえます。

●威嚇音送出中やスピーカがオンのときに 5 ／ 0 ／ # ／ * を押すと
リモコン操作にしたがって状態が切り替わります。# または * を押したときは、次または前の内線電話機に切り替わって、モニタ状態になります。

●モニタされている内線電話機の表示は
通報を受けた電話機により周囲の音がモニタされている状態の内線電話機では、マイクランプが赤く点灯し、次のような表示になります。

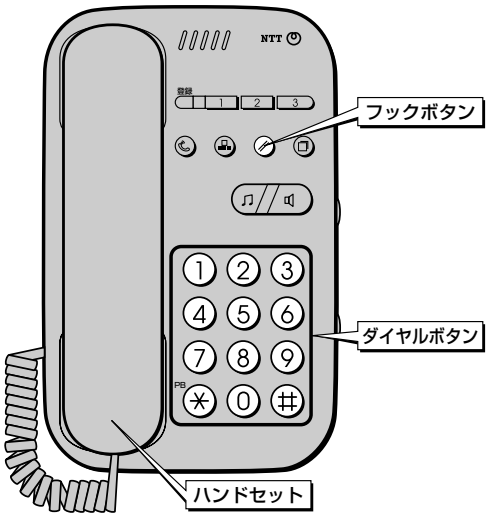
```
12月19日(火)  午後 3:05
ｾｷｭﾘﾃｨﾓﾆﾀ
```

●内線電話機からできるリモコン操作は
ボタン操作により、モニタする内線電話機を切り替えたり、威嚇音を送出したりすることができます。
内線電話機で通報に応答した場合は、モニタ中の電話機の内線番号や現在の状態（モニタ中、スピーカ通話状態、威嚇音送出中）をディスプレイで確認できます。

押すボタン	操作内容	通報先内線電話機での表示例
#	モニタする電話機を、次の内線電話機に切り替える	ｾｷｭﾘﾃｨ ﾓﾆﾀ 2 倉庫 ← 次の内線電話機に切り替わる 5:威嚇 *:前 0:ｽﾋﾟｰｶ #:次
*	モニタする電話機を、前の内線電話機に切り替える	ｾｷｭﾘﾃｨ ﾓﾆﾀ 1 店ﾚｼﾞ ← 前の内線電話機に切り替わる 5:威嚇 *:前 0:ｽﾋﾟｰｶ #:次
JKL 5	威嚇音を流す	ｾｷｭﾘﾃｨ 威嚇 ← 威嚇音送出状態になる 1 店ﾚｼﾞ 5:威嚇 *:前 0:ｽﾋﾟｰｶ #:次
0	スピーカで通話できる状態にする	ｾｷｭﾘﾃｨ ｽﾋﾟｰｶ ← スピーカで通話できる状態になる 1 店ﾚｼﾞ 5:威嚇 *:前 0:ｽﾋﾟｰｶ #:次

単体電話機を利用するには

ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプに一般の単体電話機を接続してご利用いただくことができます。外へ電話をかけるときは、空いている外線を自動的に選んでかける方法（空き外線自動発信）と、「システム設定」した外線グループから空き外線を選んでかける方法（外線群指定発信）があります。単体電話機を接続するには、オプションが必要です。



お知らせ

- 手順2で外線発信番号を押して、空いている外線がないときは、「プープー…」という話中音が聞こえます。ハンドセットを置いて、しばらく待ってからかけ直してください。
- 手順1でハンドセットを取りあげたとき、またはスピーカボタンを押したときには、オフフック外線発信設定によって次のどちらかの状態になります。
  - 「ツーツー…」という内線発信音が聞こえ、内線の呼び出しができる（オフフック内線捕捉）
  - 「ツー」という外線発信音が聞こえ、外線の発信ができる（オフフック外線自動捕捉）

  オフフック外線自動捕捉を設定しているときは、外線発信番号（⓪［　］）を押す必要はありません。ハンドセットを取りあげるだけで外線に電話をかけることができます。
  このときに、ダイヤルボタンを押さないで、フッキング操作を行うと、内線の呼び出しができるようになります。
  フッキング操作とは（☛P95）
- すぐに次の電話をかけるときは、ハンドセットを確実に置き、電話が切れていることを確認してください。
- **お使いの単体電話機の種類により、電話機のデザインやボタンの配置、名称が異なります。この取扱説明書では、ハウディ・クローバーホンSⅢを例に説明しています。**

電話をかける（外線発信）

空いている外線を自動的に選んで電話をかけます（空き外線自動発信）。

1 ハンドセットを取りあげます。

「ツーツー…」という音を確認してください。

2 外線発信番号（⓪［　］）を押します。

「ツー」という発信音を確認してください。

3 電話番号をダイヤルボタンで押します。

4 相手の方が出たら、お話しください。

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

電話を受ける（外線着信）

1 着信音が鳴ります。

2 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しください。

3 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

●外線グループの中から選んでかけるには（外線群指定発信）

①ハンドセットを取りあげる
「ツーツー…」という音を確認してください。
②外線群指定発信番号（⑨ ① ①～⑨ ① ④ [　　]）を押す
「ツー」という発信音を確認してください。
③電話番号をダイヤルボタンで押す
④相手の方が出たらお話しする

外線グループとは

「システム設定」により、収容されている外線をあらかじめ複数のグループに分けたものです。最大4つのグループに分けることができます。

携帯電話への通話サービスを利用するには（☛P174）

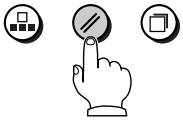
相手の方に待っていただく（保留）

単体電話機で保留にした通話は、他の電話機でとることはできません（個別保留）。

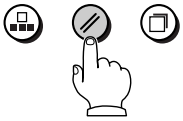
1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

2 ⊘（フック）ボタンを押します。または、フッキング操作を行います。

「ツツツ…」という音を確認してください。
相手の方には保留メロディが流れます。



3 もう一度お話しするときは、⊘（フック）ボタンを押します。または、フッキング操作を行います。



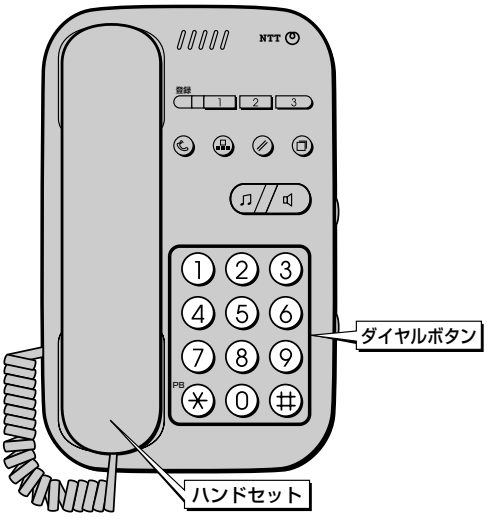
4 相手の方が出たら、お話しください。

ワンポイント

●フッキング操作とは

単体電話機のフックスイッチをポンと押します。1秒以上押し続けると電話が切れることがありますのでご注意ください。

単体電話機を利用するには



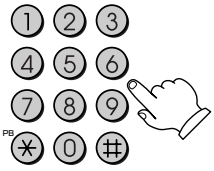
電話帳を使って電話をかける

よくかける相手の方の電話番号をシステムの共通電話帳に登録しておく（☛P40）と、単体電話機でも、電話帳を使って簡単にダイヤルすることができます。

1 ハンドセットを取りあげます。

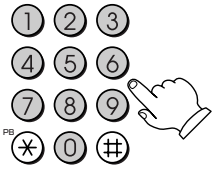
「ツーツー…」という音を確認してください。

2 電話帳発信の特番（⑨ ⑨ [　　]）を押します。



3 メモリ番号を押します。

2桁モード ：00～99
3桁モード ：000～999



4 相手の方が出たら、お話しください。

ワンポイント

●PBX（構内交換機）に収容されているときは
発信時に、自動的に外線発信番号とポーズ（3秒固定）が入ります（自動ポーズ）。

お知らせ

●お使いの単体電話機個別の電話帳をご利用になるときは、単体電話機の取扱説明書を参照してください。
●空いている外線がない場合は、「プープー…」という話中音が聞こえます。ハンドセットを置いて、しばらく待ってからかけ直してください。
●単体電話機からは電話帳を登録することはできません。

■内線でお話しする（内線通話）

単体電話機から他の内線電話機を呼び出すときは、次のように操作します。

①ハンドセットを取りあげます。「ツーツー…」という音が聞こえないときは、（フック）ボタンを押します。
②呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押します。
③呼出音が終わったら、呼びかけます。
④呼び出された方が応答したら、お話しください。

■他の内線電話機に取りつぐ

①相手の方に待っていただくように伝え、（フック）ボタンを押すかフッキング操作（☛P95）を行います。「ツツツ…」という音が聞こえないときは、もう一度（フック）ボタンを押します。
②呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押します。
③呼出音が終わったら、呼びかけます。
④呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、ハンドセットを置きます。応答されなかった場合には、再度（フック）ボタンを押すと、待っていただいた方とお話しできます。

■キャッチホンサービスを利用する

単体電話機で、アナログ回線をお使いの場合には、次のように操作します。

①「キャッチホン」の信号が聞こえたら、相手の方に待っていただくように伝え、（フック）ボタンを押すかフッキング操作（☛P95）を行います。
②フッキング信号送出の特番（⑨①⓪［　　］）を押します。
③2番目にかけてきた相手の方とお話しください。
④最初にお話ししていた方とのお話しに戻るときは、もう一度手順①～②を行います。

■他の外線に転送する

外の相手の方とのお話しや内線通話を他の外線に転送できるように「システム設定」している場合は、次のように操作します。

①「■他の内線電話機に取りつぐ」（☛左記）の手順①を行います。
②外線発信番号（⓪［　　］）を押します。
③「ツー」という発信音を確認し、電話番号をダイヤルボタンで押します。
④「■他の内線電話機に取りつぐ」（☛左記）の手順④を行います。

お知らせ

オフフック外線発信設定を「設定する」にしているとき、または内線ホットラインを設定しているときは、「■内線でお話しする（内線通話）」の手順①でハンドセットを取りあげたあと、（フック）ボタンを押してください。ダイヤルボタンで内線の呼び出しができるようになります。

ワンポイント

●相手の方の応答を待たずに保留転送するには

呼び出す内線電話機の内線番号を押したあと、ハンドセットを置きます。呼び出された内線電話機の呼出音が鳴り、ハンドセットを取りあげるとお話しできます。

●PBX/CES回線で、ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプ以外に接続された内線電話機に転送するには

フッキング操作（☛P95）を行ったあとに、フッキング信号送出の特番（⑨①⓪［　　］）、内線番号の順に押します。

内線の代表グループを呼び出すには（内線代表呼出）

「■内線でお話しする」の手順②で内線番号の代わりに「システム設定」した代表グループ番号を押すと、グループ内の未使用の電話機1台を呼び出すことができます。

○自動的に特定の相手の方を内線呼出するには（内線ホットライン）

内線ホットラインを設定すると、ハンドセットを取りあげるだけで特定の電話機を呼び出すことができます。

●内線呼び出しに他の単体電話機で応答するには（代理応答）

プッシュホン式電話機であれば代理応答できます。ハンドセットを取りあげ、＃、グループ番号の順に押すと、指定したグループに属する電話機への電話に応答できます。また、＃＃を押すと、かかってきたすべての電話に応答できます。

ご利用になれる各種ネットワークサービス

ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプは、アナログ回線でもISDN回線でもどちらでもご利用いただけます。それぞれ次のようなサービスがあります。

主なネットワークサービスの対応状況

アナログ回線をお使いの場合は、ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプに接続された内線電話機で、当社のネットワークサービスを活用したさまざまな機能をご利用になることができます。各サービスをご利用になるには、当社との利用契約が必要です。

■アナログのネットワークサービスを利用した機能（2007年4月現在）

サービス名	機　能	利用の可／否	参照先
ナンバー・ディスプレイ	電話をかけてきた相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。	○	☛P104
ネーム・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイのオプションサービスであり、着信時に発信電話番号とともに発信者名（会社名や名前）情報を受信し、ディスプレイに表示する機能です。	○	☛P106
キャッチホン・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。外の相手の方とお話し中に別の相手の方から電話がかかってきたとき、電話をかけてきた方の電話番号（発信電話番号）や電話番号を通知できない理由を表示することができます。	×	—
ナンバー・リクエスト	ナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。電話番号を「通知しない」でかけてきた相手の方に、電話番号を通知してかけ直してくださるよう、音声で伝えます。	○	—
でんわばん／でんわばんW（不在案内）	不在時にかかってきた電話に対して、登録しておいたメッセージを伝えることができます。	○	—
キャッチホン／キャッチホンⅡ（通話中着信）	外の相手の方とお話し中に外から電話がかかってきたとき、フッキング操作で切り替えることができます。	○	☛P101
トリオホン（簡易会議電話）	外の相手の方とお話し中にいったん保留し、第三者を呼び出して三者間通話ができます。	○	☛P101
ダイヤルイン（モデムダイヤルイン含む）	契約者回線番号の他に番号（ダイヤルイン追加番号）を追加して、外から特定の電話機を直接呼び出せるようにします。	○	☛P107
ボイスワープ	かかってきた電話を自動的に別の電話に転送するだけでなく、いったん応答した電話を簡単な操作で別の番号へ転送したり、外から転送の開始／停止を設定したり、転送先を変更することができます。	○	—
迷惑電話おことわり	迷惑電話がかかってきた直後に、電話機からの登録操作を行うことにより、以降、同じ番号からの着信に対してメッセージで自動応答するサービスです。	○	—
マジックボックス	お話し中やご不在時など、かかってきた電話にでられないとき、センタがお客さまに代わって応答し、メッセージを録音するサービスです。お客さまが指定する、センタ以外の電話に転送することもできます。外出先の携帯電話、公衆電話などからもメッセージの再生・消去が行えます。	○	—
Ｌモード	電話機やファクスで、メールのやりとりや各種情報の閲覧をすることができるサービスです。	○ 注1	—

注1：Ｌモードをご利用いただくには、オプションの追装とＬモード対応の電話機またはファクスが必要です。

主なINSネット64の対応状況

ISDN回線をお使いの場合、ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプに接続された内線電話機では、INSネット64の基本サービスや付加サービス※を活用したさまざまな機能をご利用いただくことができます。なお、付加サービスをご利用になるには、別途当社との利用契約が必要です。

■INSネット64の基本サービスを利用した機能

サービス名	機　能	利用の可／否	参照先
発信者番号通知	INSネット64を利用して電話をかけるとき、自分の電話番号、サブアドレスを相手の方に通知する、または通知しないようにすることができます。	○	☛P104
サブアドレス通知	サブアドレスを登録しておくと、特定の内線電話機を指定して着信させることができます。	○	☛P107、P126
料金情報通知	INSネット64で電話をかけたとき、お話しを終えて電話を切ると、INSネット64の通信料を表示することができます。	○	☛P126
ユーザ間情報通知	通信の開始時などにDチャネルを通じて情報の送受信が行えます。送信された情報はそのまま相手へ送られます。	×	—
通信中機器移動	通信を一時中断して通信機器をコネクタから取り外し、同一のINSネット64上の他のコネクタに接続して、通信を再開することができます。同一種類の通信機器が複数あるときは、他の機器から通信を再開することができます。	×	—

■INSネット64の付加サービスを利用した機能（2007年4月現在）

サービス名		機　能	利用の可／否	参照先
フレックスホン	通信中着信通知	外の相手の方とお話し中に外から電話がかかってきたとき、簡単な操作で切り替えることができます。	○ 注1、注2	☛P114
	三者通話機能（ミキシングモード）	外の相手の方とお話し中に別の方を呼び出して、三者間で同時にお話しすることができます。	○ 注1	☛P116
	三者通話機能（切替モード）	外の相手の方とお話し中に別の方を呼び出して、三者間で通話相手を切り替えてお話しすることができます。	×	—
	通信中転送機能	外からかかってきた電話を別の相手の方に転送することができます。	○ 注1	☛P118
	着信転送機能	外からかかってきた電話を、主装置にあらかじめ登録してある他の電話番号に自動的に転送することができます。	○	☛P119

注1：単体電話機、ディジタルコードレス電話機ではご利用できません。
注2：回線の使用状況によっては、通信中着信通知サービスが利用できないことがあります。

※INSネット64の詳細については、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

（次ページへつづく）

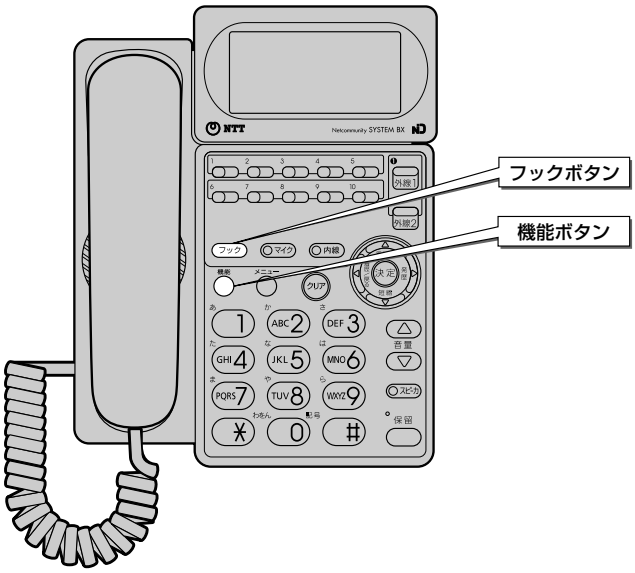
ご利用になれる各種ネットワークサービス

サービス名	機　能	利用の可／否	参照先
通信中着信通知	お話し中にさらにINSネット64からの着信があると、「ピッピッ・ピッピッ…」という通知音が聞こえます。	○	☛P114
発信専用制御	電話機からの操作により、契約者回線番号単位に着信を受けないようにすることができます。	○	☛P103
INSダイヤルイン	契約者回線番号の他に番号（ダイヤルイン追加番号）を追加して、外から電話機を直接呼び出せるようにします。	○	☛P107
INSでんわばん（不在案内）	不在時にかかってきた電話に対して、登録しておいたメッセージを伝えることができます。	○	—
INSナンバー・ディスプレイ	電話をかけてきた相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。	○	☛P104
INSネーム・ディスプレイ	INSナンバー・ディスプレイのオプションサービスであり、着信時に発信電話番号とともに発信者名（会社名や名前）情報を受信し、ディスプレイに表示する機能です。	○	☛P106
INSナンバー・リクエスト	INSナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。電話番号を「通知しない」でかけてきた相手の方に、電話番号を通知してかけ直してくださるよう、音声で伝えます。	○	—
INSボイスワープ	かかってきた電話を自動的に別の電話に転送するだけでなく、外から転送の開始／停止を設定したり、転送先を変更することができます。	○	☛P110
転送元電話番号受信	ボイスワープなどにより、転送されてきた転送元の電話番号を着信者が受信できるようにするサービスです。どこの電話から転送されてきたのか、電話を受ける前に知ることができます。	○	—
INS迷惑電話おことわり	迷惑電話がかかってきた直後に電話機からの登録操作を行うことにより、以降、同じ番号からの着信に対してメッセージで自動応答するサービスです。	○	—
ｉ・ナンバー	契約している電話番号の他に番号（ｉ・ナンバー追加番号）を追加して、特定の電話機を呼び出せるサービスです。	○	☛P107
INSマジックボックス	お話し中やご不在時など、かかってきた電話にでられないとき、センタがお客さまに代わって応答し、メッセージを録音するサービスです。お客さまが指定する、センタ以外の電話に転送することもできます。外出先の携帯電話、公衆電話などからもメッセージの再生・消去が行えます。	○	—
Lモード	電話機やファクスで、メールのやりとりや各種情報の閲覧をすることができるサービスです。	○ 注1、注2	—

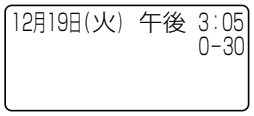
注1：Ｌモードをご利用いただくには、オプションの追装とＬモード対応の電話機またはファクスが必要です。
注2：Sメールはご利用いただけません。

キャッチホンサービスを利用するには

アナログ回線をお使いの場合にキャッチホンサービスを利用すると、外の相手の方とお話し中に外から電話がかかってきたとき、簡単な操作で切り替えることができます。また、トリオホンサービスを利用すると、外の相手の方とお話し中にいったん保留し、第三者を呼び出して三者間通話ができます。
これらのサービスを利用するためには、別途当社との利用契約が必要です。

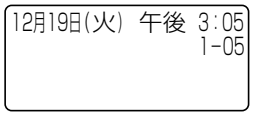


1 「キャッチホン」の信号が聞こえたら、相手の方に待っていただくように伝え、フックボタンを押します。



2 2番目にかけてきた相手の方とお話しください。

もう一度フックボタンを押すと、前の方とお話しすることができます。



ワンポイント

フックボタンの操作方法には

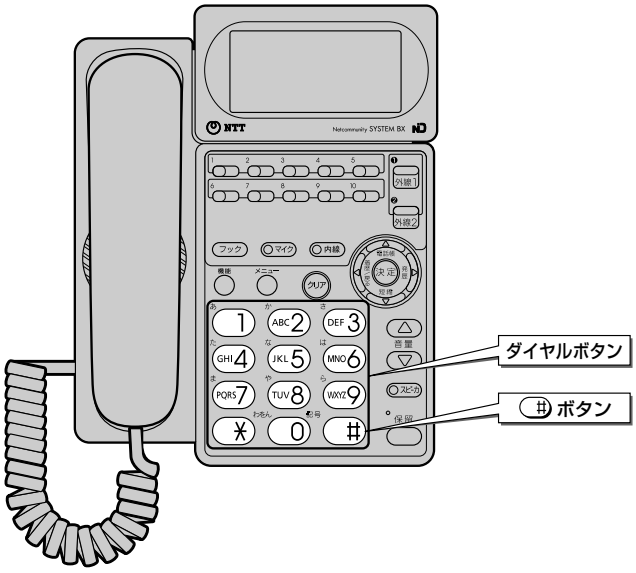
「システム設定」により、フックボタンを押す操作を、機能ボタン、フックボタンの順に押す操作にすることができます。

お知らせ

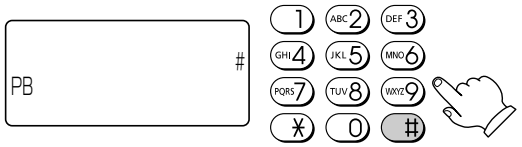
キャッチホンサービスおよびトリオホンサービスをご利用になるとき以外で、お話し中にフックボタンを押すと、電話が切れてしまいますのでご注意ください。

プッシュホンサービスを利用するには（DP→PB切替）

ダイヤル回線をお使いの場合でも、電話で利用できる各種プッシュホンサービスをご利用になれます。

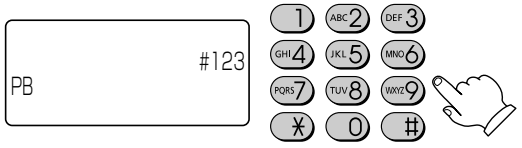


1 ダイヤル回線をご使用の場合は、電話がつながったら ＃ を押します。



プッシュ回線、およびINSネット64をご利用の場合は、＃を押す必要はありません。

2 必要なダイヤルボタンを押します。



ワンポイント

●**プッシュホンサービスの種類**

- 銀行ANSERサービス
- 留守番電話へのリモコン操作　など

お知らせ

●PB信号が送出できるときは、ディスプレイに「PB」と表示されます。
●銀行ANSERサービスなどの一部システムでは、サービスを利用できない場合があります。
●ダイヤル回線をご使用の場合、電話を切るとダイヤル信号に戻ります。

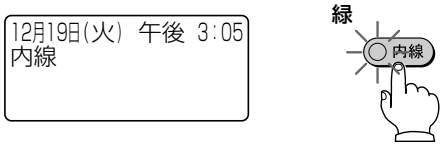
発信専用制御サービスを利用するには

INSネット64の発信専用制御サービスを利用している場合は、INSネット64からの着信を受けないように設定することができます。
このサービスをご利用になるには、別途当社との利用契約が必要です。

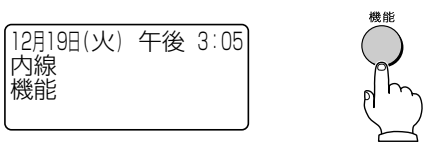
発信専用制御を設定／解除する

1 内線ボタンを押します。

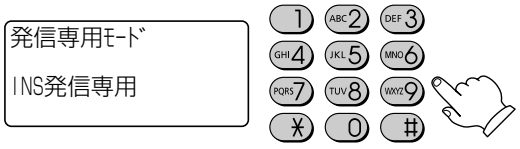
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



2 機能ボタンを押します。

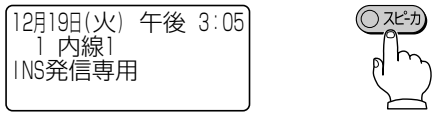


3 発信専用制御設定／解除の特番（WXYZ9 WXYZ9 [ ]）を押します。

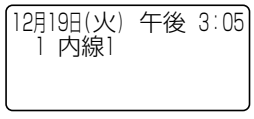


4 スピーカボタンを押します。

発信専用制御が設定されます。
スピーカランプ、内線ランプが消えます。



発信専用制御が解除された場合は、次のような表示になります。



ワンポイント

サービスボタンに「INS発信専用」の機能を割り当てると
「システム設定」によってフレキシブルボタンにサービスボタン（INS発信専用）を割り当てると、手順1～4の代わりにサービスボタン（INS発信専用）を押すだけで、発信専用制御の設定／解除が行えます。発信専用制御を設定するとサービスボタン（INS発信専用）ランプが赤く点灯し、解除すると消えます。（☛P80）

お知らせ

手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用するには

ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示をご利用になると、電話をかけてきた方の電話番号をディスプレイで確認できるだけでなく、通知される電話番号を利用したさまざまな機能を活用できます。また、オプションのネーム・ディスプレイをご利用になると、かけてきた相手の方の発信者名（会社名や名前）も確認できます。サービスのご利用には、別途当社との利用契約（有料）が必要です。アナログ回線、ISDN回線のどちらをお使いの場合もご利用になれます。

ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用した便利な機能

ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用すると、さまざまな機能を活用できます。

■かけてきた方にこちらからかけ直す（着信履歴発信）

電話をかけてきた相手の方の電話番号（最大32桁）が、着信した内線電話機ごとに最新の20件分が保存されます（着信履歴）。応答しなかったときでも着信履歴は記憶され、この電話番号を使って簡単な操作で電話をかけ直すことができます。（☛P54）

■かけてきた方の電話番号や名前を電話帳に登録する（着信履歴）

着信履歴として記憶されている電話番号や発信者名（会社名や名前）を、電話帳に登録することができます。（☛P55）

■かけてきた方の電話番号によって着信を拒否する

かけてきた方の電話番号により着信を拒否する発番号着信拒否機能が利用できます。あらかじめ着信拒否登録した電話番号からかかってくると、拒否メッセージを流して着信を拒否します。

拒否したい電話番号は、共通電話帳に登録し、登録時のグループ選択で「着信拒否」グループを選択してください。着信履歴に保存されている電話番号を着信拒否登録することもできます。（☛P56）

■非通知の方の着信を拒否する

（☛P108）

■かけてきた方の電話番号によって着信先や着信方法を変える（発番号ダイヤルイン）

かけてきた方の電話番号により特定の内線電話機に着信したり、他の電話機に転送するなどの発番号ダイヤルイン機能が利用できます。発番号ダイヤルインは、かけてきた方の電話番号が共通電話帳と一致したときに有効となります。あらかじめ「グループ着信先設定」（☛P142）を行ってグループごとの着信先や着信方法を設定し、相手の方の電話番号を共通電話帳に登録する際に、目的のグループを選択してください。（☛P40、P142）

■かけてきた方の電話番号によって着信音を変える（電話帳鳴り分け）

着信音を聞くだけで、どの電話帳グループに登録されている方からかかってきたのかを識別できます。着信音で識別できるようにするには、あらかじめ相手の方の電話番号を「グループ毎鳴動設定」（☛P132）した電話帳に登録しておく必要があります。

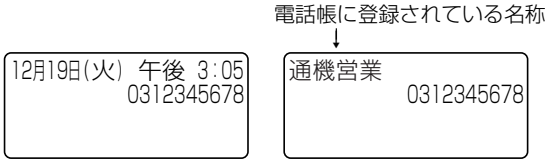
お知らせ

停電時は、ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用した機能はすべてご利用になれません。

相手の方の電話番号を確認する

■着信中に相手の方の電話番号を表示させる

機能ボタンを押してから、着信中の外線ボタンを押すと、相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。電話帳に登録されている電話番号からの着信時には、電話帳に登録されている名前も表示されます。



■通話中に相手の方の電話番号を表示させる

通話中にクリアボタンを押すと、相手の方の電話番号が表示されます。電話帳に登録されている電話番号からの着信時には、電話帳に登録されている名前も表示されます。通話中表示に戻るときは、再度クリアボタンを押します。

ワンポイント

●相手の方の電話番号が表示される条件と契約について

送信側と受信側が利用している回線の種類や契約内容によって、相手の方の電話番号が表示されるかどうかが決まります。

○：相手の方の電話番号が表示される
×：相手の方の電話番号が表示されない

		着信側（ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプ）			
		アナログ回線		ISDN回線	
		ナンバー・ディスプレイ		INSナンバー・ディスプレイ	
		契約	非契約	契約	非契約
発信側	アナログ回線	○	×	○	×
	ISDN回線、携帯電話	○	×	○	○

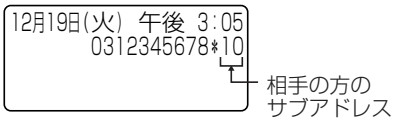
●相手の方の電話番号が表示されないときは

相手の方の操作や契約などによって電話番号が表示されない場合には、その理由ごとに次のように表示します。

ディスプレイ	理　由
公衆電話	公衆電話から電話がかかってきたときに表示します。
非通知	かけてきた相手の方が、電話番号を表示しない操作または表示しない契約になっているときに表示します。
表示圏外	「ナンバー・ディスプレイ」や「発信者番号表示」を提供していないエリアから電話がかかってきたとき、またはサービスが競合しているため、電話番号を通知できない場合に表示します。
受信エラー	一時的な回線の雑音などにより、データが正常に受信できなかったときに表示します。

●相手の方がサブアドレスを設定しているときは

ISDN回線で着信したとき、相手の方がサブアドレスを設定している場合には、電話番号の後ろにサブアドレスが表示されます。



●自分の電話番号が通知される条件と契約について

発信者番号通知サービスを利用すると、自分の電話番号を相手の方に通知することができます。発信者番号通知サービスの契約種別には、「通常通知」、「通常非通知」があります。ただし、電話番号の前に「184（通知しない）」または「186（通知する）」を付加してダイヤルすると、自分の電話番号を通知する／通知しないを指定することができます。発信者番号通知サービスのご契約の内容により、電話をかけるときの操作は以下のように異なります。

契約内容	自分の電話番号を通知するとき	自分の電話番号を通知しないとき
通常通知（通話ごと非通知）	相手の方の電話番号	1 8 4 + 相手の方の電話番号
通常非通知（回線ごと非通知）	1 8 6 + 相手の方の電話番号	相手の方の電話番号

お知らせ

- ●外線ランプが赤く点灯しているときは、電話に出ることもかけることもできません。
- ●同時に複数の着信があると、ディスプレイで確認した電話番号と異なる相手に応答することがあります。
- ●PBX（構内交換機）や他の通信機器などに収容されているときは、ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示をご利用になれないことがあります。
- ●ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示をご利用中は、着信音が聞こえるまでに時間がかかります。
- ●停電時は、ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用した機能はご利用になれません。

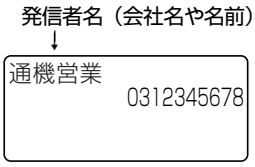
ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用するには

ネーム・ディスプレイを利用すると

ネーム・ディスプレイは、ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示のオプションサービスです。電話をかける方が発信者名（会社名や名前）を通知してきたときには、電話番号を確認する操作をすると、発信者名も表示されます。

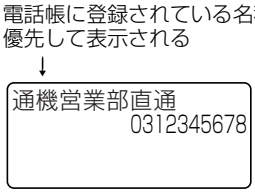
＜電話をかけてきた方の発信者名（会社名や名前）を確認するときは＞

- 着信中に、機能ボタン、着信中の外線ボタンの順に押す
- 通話中にクリアボタンを押す



お知らせ

相手の方の電話番号が電話帳に登録されていた場合には、相手の方が通知してきた発信者名（会社名や名前）ではなく、電話帳に登録されている名称が表示されます。また、個別電話帳と共通電話帳に同じ電話番号が登録されている場合は、個別電話帳に登録されている名称が表示されます。



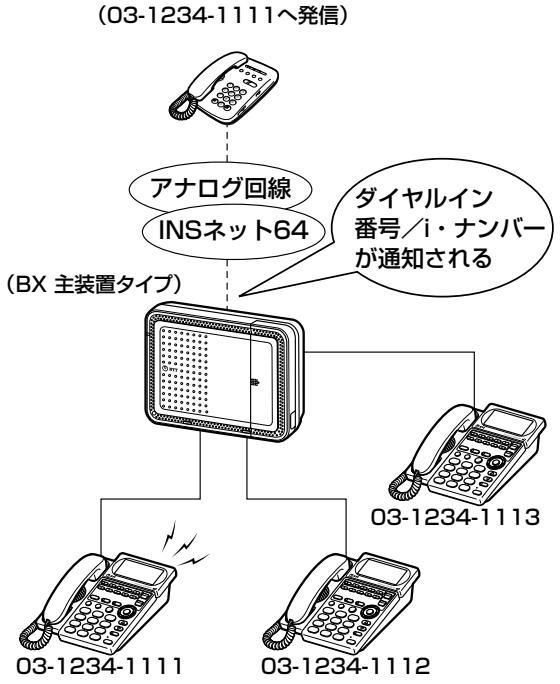
外から特定の電話機を呼び出すには（ダイヤルインサービス／i・ナンバー／サブアドレス通知サービス）

特定の電話機を呼び出すには、ダイヤルインサービス／i・ナンバー（有料）を契約してダイヤルイン番号を指定する方法と、INSネット64の基本サービスの1つであるサブアドレス通知サービス（無料）を利用してサブアドレスを指定する方法があります。

■ダイヤルインサービス／i・ナンバーを利用する

ダイヤルインサービス／i・ナンバーをご契約になると、契約者回線番号とは別に複数の番号を持つことができます。ダイヤルイン番号／i・ナンバーを電話機ごとに割り当てることにより、外から特定の電話機を呼び出すことができます。また、ダイヤルイン番号／i・ナンバーを特定の外線ボタンに割り当てることもできます。このサービスを利用するためには、別途当社との利用契約が必要です。

● 1つの回線に03-1234-1111、03-1234-1112、03-1234-1113のダイヤルイン番号／i・ナンバーを契約したとき



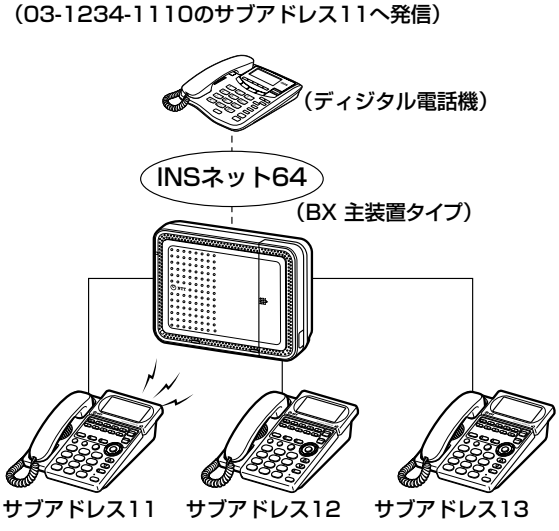
■サブアドレス通知サービスを利用する

サブアドレスは、INSネット64のサブアドレス通知サービスを利用するときに必要な番号です。電話番号のあとに相手のサブアドレスをダイヤルすると、特定の電話機を呼び出すことができます。

ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプで電話機ごとにサブアドレスを登録しておく（☛P145）と、INSネット64を利用して電話をかけるとき、相手の方に自分のサブアドレスまで通知されます。

また、外の相手の方が、電話番号のあとに相手のサブアドレスをダイヤルすることにより、特定の電話機で電話を受けることができます（サブアドレスダイヤルイン）。

● 03-1234-1110の契約者回線番号にサブアドレス11、12、13を設定したとき



ワンポイント

●INSネット64への着信の場合には

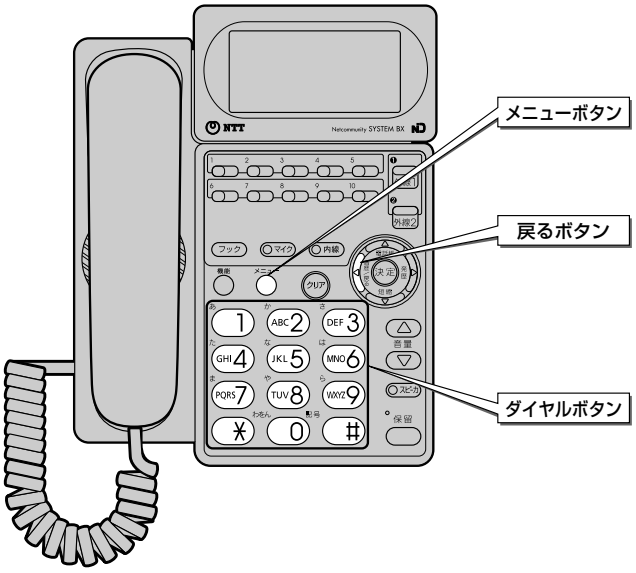
相手の方の電話番号のあとに、「＊」と相手の方のサブアドレスが表示されます。

お知らせ

ダイヤルイン番号を割り当てた外線ボタンでは、不在着信転送（☛P78）の機能を利用することはできません。

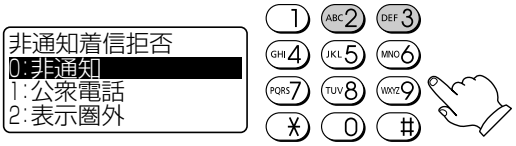
非通知着信拒否サービスを利用するには

電話番号が通知されない場合、公衆電話からかかってきた場合、番号通知ができないエリアからかかってきた場合などは、拒否メッセージを流して着信を拒否するように設定することができます。電話番号が表示されない理由ごとに、着信を拒否するかどうかを設定できます。



1 メニューボタンを押します。

2 ABC2 DEF3 DEF3 を押します。



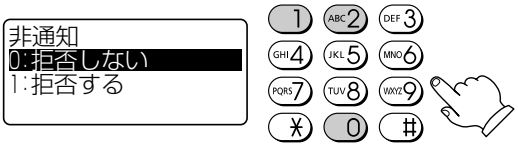
非通知　：かけてきた相手の方が、電話番号を表示しない操作または表示しない契約になっている場合

公衆電話：公衆電話からかかってきた場合

表示圏外：番号通知ができないエリアからかかってきた場合

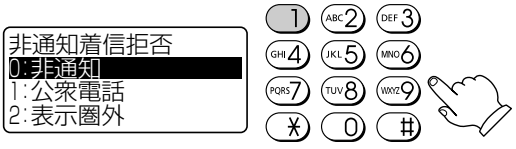
3 0 ～ ABC2 を押し、着信拒否する種別を選択します。

＜例＞「0：非通知」を選択した場合



4 1 を押します。

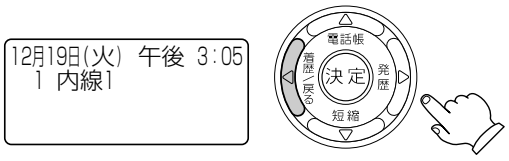
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、着信拒否が登録されます。



着信拒否をしない場合は、 0 を押します。

続けて登録するときは、手順3～4を繰り返します。

5 戻るボタンを長く押します。



ワンポイント

●特定の電話番号からの着信を拒否するには

着信を拒否したい電話番号を共通電話帳に登録し、グループ選択時に「着信拒否」（☛P142）が設定されているグループを選択します。

●着信拒否ガイダンスの内容

＜非通知の相手へのガイダンス＞

「186」を付けて発信してください。

＜公衆電話、表示圏外、着信拒否グループの相手へのガイダンス＞

この電話はお受けできません。

お知らせ

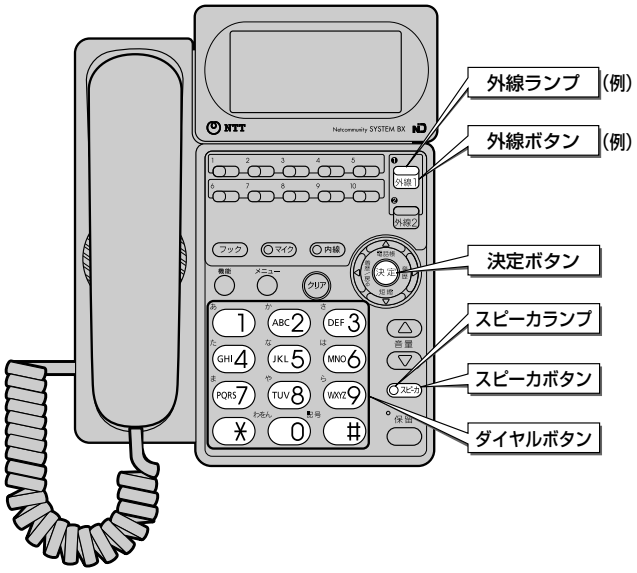
- 非通知着信拒否を利用するには、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
- 非通知着信拒否を利用するには、INSネット64またはアナログ回線をご使用ください。
- ご利用のサービスや着信拒否ガイダンスの設定によって、着信を拒否する相手に流す音が異なります。

サービス	設定	流す音
INSネット64 アナログ回線 （ダイヤルインご契約あり）	送出しない	話中音
	送出する	ガイダンス
アナログ回線 （ダイヤルインご契約なし）	送出しない	呼出音
	送出する	ガイダンス

- ガイダンス送出中の通話料は、着信を拒否する相手（電話をかけてきた方）に課金されます。

ボイスワープを利用するには

ボイスワープは、かかってきた電話をあらかじめ登録した電話番号に転送するサービスです。設定により、次のような転送が行えます。
・転送元の電話を呼び出さずに即時に転送する（無条件転送）
・転送元を呼び出し、応答しないときにだけ転送する（無応答時転送）
・お話し中のときにだけ転送する（話中時転送）
ボイスワープサービスは、アナログ回線、ISDN回線のどちらをお使いの場合でもご利用になれます。このサービスを利用するためには、別途当社との利用契約が必要です。ボイスワープの詳細については、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
ここでは転送先の電話番号の登録操作と、転送の開始／停止操作について説明します。



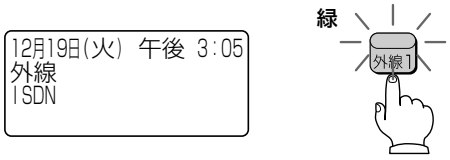
INSボイスワープの転送先電話番号を登録する

転送先リスト「0」に登録する

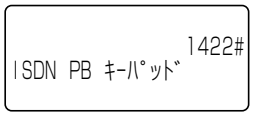
転送先電話番号を1つだけ登録するときは、次のように操作して転送先リスト「0」に登録します。

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

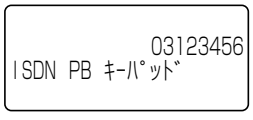
「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



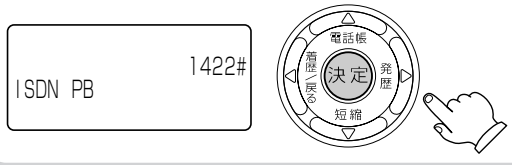
2 1 GHI4 ABC2 ABC2 # を押します。



3 転送先電話番号をダイヤルボタンで押します。



4 決定ボタンを押します。



5 スピーカボタンを押します。

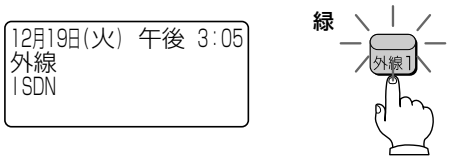
スピーカランプ、外線ランプが消えます。

転送先リスト「1」～「4」に登録する

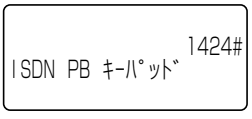
複数の電話番号を登録するときは、リスト番号を指定して登録を行います。

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



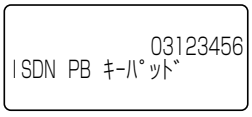
2 1 GHI4 ABC2 GHI4 # を押します。



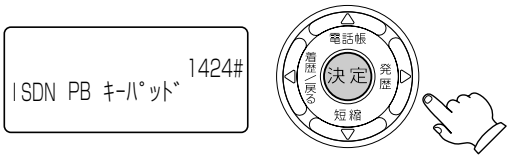
3 0 を押します。

4 転送先リスト番号 1 ～ GHI4 を押します。

5 転送先電話番号をダイヤルボタンで押します。



6 決定ボタンを押します。



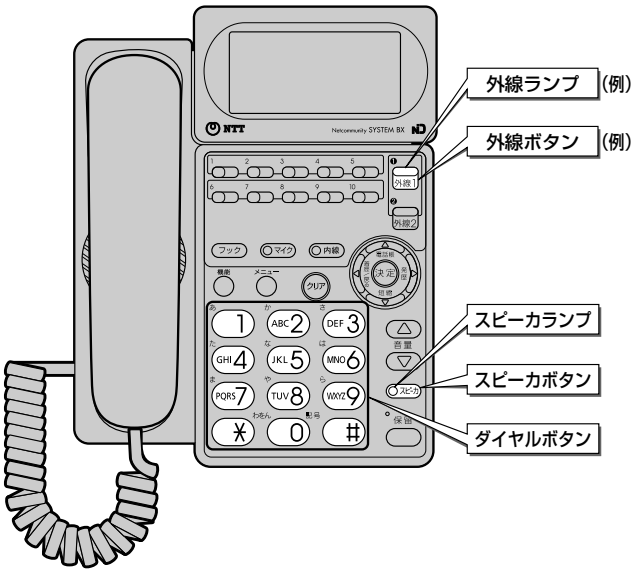
7 スピーカボタンを押します。

スピーカランプ、外線ランプが消えます。

お知らせ

- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 「INSボイスワープの転送先電話番号を登録する」の手順2の操作のあと、ディスプレイに「ISDN PB キーパッド」が表示されない場合は、機能ボタン、キーパッドモード切替の特番（ * * [ ]）を押してください。
- 転送先電話番号の最後のボタンを押してから約6秒経過するか、32桁まで入力すると、入力したデータが送信されます。
  ※ただし、32桁以下の入力でも、約6秒の時間経過を待たずデータ送信する場合があります。
- 転送先電話番号を登録するときは、あらかじめワンタッチボタンに電話番号を登録しておき、ワンタッチボタンを押すことでも入力できます。

ボイスワープを利用するには

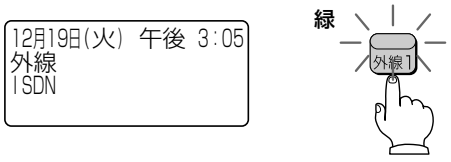


転送先リストを指定する

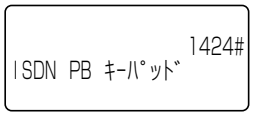
転送先を変更するときは、次のように操作してリスト番号を指定します。

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

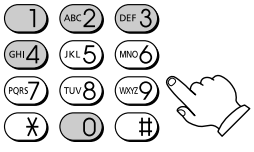


2 1 GHI4 ABC2 GHI4 # を押します。



3 1 を押します。

4 転送先リスト番号 0 ～ GHI4 を押します。



5 スピーカボタンを押します。

スピーカランプ、外線ランプが消えます。

お知らせ

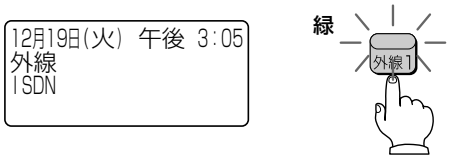
- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 転送先電話番号は、交換センタに登録されるので、転送サービスをセット中に停電になっても、電話は転送されます。

INSボイスワープの転送を開始／停止する

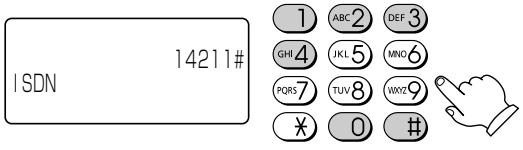
サービス番号をダイヤルボタンで押して、転送を開始／停止します。開始のサービス番号は、設定したい転送方法によって異なります。

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



2 サービス番号、＃の順にダイヤルボタンを押します。



無条件転送を設定する　：1 4 2 1 1
無応答時転送を設定する　：1 4 2 1 2
話中時転送を設定する　：1 4 2 1 3
無応答時と話中時転送を設定する
　：1 4 2 1 4
転送を解除する　：1 4 2 0

3 スピーカボタンを押します。

スピーカランプ、外線ランプが消えます。

フレックスホンサービスを利用するには

フレックスホンサービスには、「通信中着信通知」、「三者通話機能」、「通信中転送機能」、「着信転送機能」の4つのサービスがあります。これらのサービスは、INSネット64をお使いの場合のみご利用になれます。これらのサービスをご利用になるには、別途当社との利用契約が必要です。

お話し中に別の相手の方とお話しする（通信中着信通知）

通信中着信通知をご利用になるには、通信中着信通知サービスのお申し込みが必要です。

1 外の相手の方とお話し中に「ピッピッ・ピッピッ…」という通信中着信通知音が聞こえます。

```
12月19日(火) 午後 3:05
                0-35
INSｷｬｯﾁﾎﾝ
ISDN PB
```

2 外の相手の方に待っていただくように伝え、フックボタンを押します。

最初にお話ししていた方には、交換センタからの保留メロディが流れ、外線ランプがゆっくり緑で点滅します。

```
12月19日(火) 午後 3:05
                0-05
ISDN PB
```

3 かけてきた相手の方とお話しください。

```
12月19日(火) 午後 3:05
                1-05
ISDN PB
```

4 もう一度フックボタンを押すと、最初にお話ししていた方とお話しできます。

ワンポイント

●最初にお話ししていた方の電話を切ってからお話しするには

手順2の代わりに、機能ボタン、フックボタンの順に押すと、前の相手の方の電話を切って、かけてきた相手の方とお話しすることができます。

●通信中着信通知から三者通話機能に移るには

手順4の代わりに、機能ボタン、三者通話機能の特番（9 3 [　　]）を押します。

●通信中着信通知の一時停止を設定／解除するには

①内線ボタンを押す
「ツーツー…」という音を確認してください。
②機能ボタン、通信中着信通知一時停止設定／解除の特番（9 8 [　　]）を押す
③スピーカボタンを押す
通信中着信通知の一時停止が設定、または解除されます。

〈設定された場合〉

```
12月19日(火) 午後 3:05
  1 内線1
INSｷｬｯﾁﾎﾝｰ時停止
```

〈解除された場合〉

```
12月19日(火) 午後 3:05
  1 内線1
```

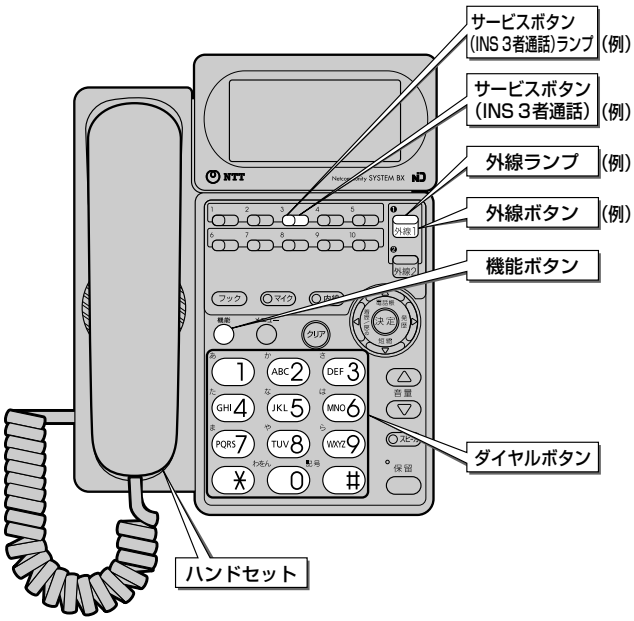
サービスボタンに「INS通信中着信停止」の機能を割り当てると

「システム設定」によってフレキシブルボタンにサービスボタン（INS通信中着信停止）を割り当てると、サービスボタン（INS通信中着信停止）を押すだけで、通信中着信通知の一時停止／一時停止解除が行えます。一時停止状態になっているときはサービスボタン（INS通信中着信停止）ランプが赤く点灯し、一時停止を解除すると消えます。（☛P80）

お知らせ

- フレックスホン中は会議、通話モニタ、保留はご利用できません。また会議、通話モニタ、保留中はフレックスホンのご利用はできません。
- 通信中着信通知中に内線ボタンや外線ボタンを押す、またはハンドセットを置くと（スピーカ受話時はスピーカボタンを押すと）、お話し中の相手の方との電話が切れ、保留中の相手からの呼返音が鳴ります。呼び返し中に外線ボタンを押すと保留中の相手の方とのお話しに戻ります。
- 会議通話中に通信中着信通知は利用できません。
- 「システム設定」により、フックボタンを押す代わりに機能ボタンとフックボタンを押して応答するようにすることができます。

フレックスホンサービスを利用するには



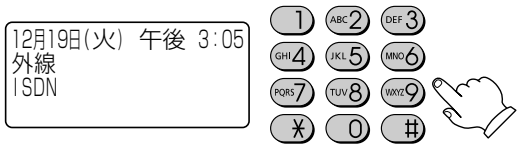
3人でお話しする
(三者通話機能：ミキシングモード)

外の相手の方とお話し中に、別の相手の方に電話をかけ、3人同時にお話しすることができます。

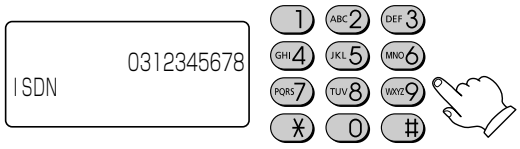
1 お話し中に、外の相手の方に待っていただくように伝え、機能ボタンを押します。

2 三者通話機能（ミキシングモード）の特番（9 3 [ ]）を押します。

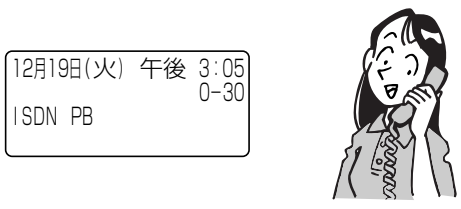
「ツー」という発信音が聞こえます。
最初にお話ししていた方には、交換センタからの保留メロディが流れ、外線ランプがゆっくり緑で点滅します。



3 別の相手の方の電話番号をダイヤルボタンで押します。



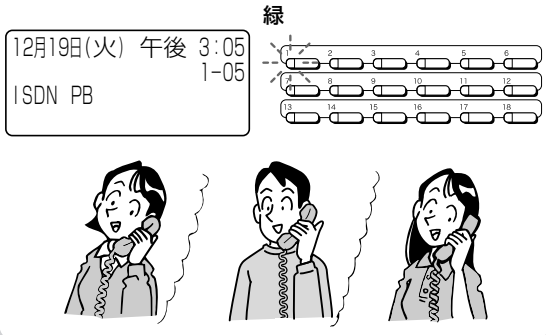
4 別の相手の方が出たらお話しができます。



5 三者通話にすることを伝え、機能ボタン、三者通話機能（ミキシングモード）の特番（WXYZ 9 DEF 3 [　　]）を押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえます。

6 3人でお話しください。



7 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ワンポイント

サービスボタンに「INS3者通話」の機能を割り当てると

「システム設定」によってフレキシブルボタンにサービスボタン（INS3者通話）を割り当てると、機能ボタンと特番を押す手順1～2や手順5の代わりに、サービスボタン（INS3者通話）を押すだけで操作することができます。サービスボタン（INS3者通話）を押して三者通話機能（ミキシングモード）が起動すると、サービスボタン（INS3者通話）ランプが赤く点灯します。（☛P80）

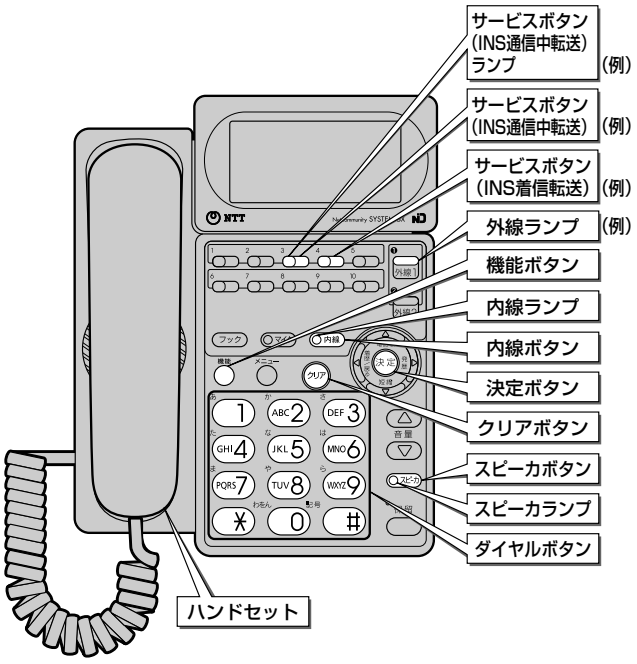
●相手の方が出ないときに、保留中の相手の方とのお話しに戻るには

ハンドセットを置いてください。呼返音が鳴り、保留中の外線ボタンを押すと保留した相手の方とのお話しに戻ります。

お知らせ

- フレックスホン中は会議、通話モニタ、保留はご利用できません。また会議、通話モニタ、保留中はフレックスホンのご利用はできません。
- 三者通話になる前に内線ボタンや外線ボタンを押す、またはハンドセットを置くと（スピーカ受話時はスピーカボタンを押すと）、お話し中の相手の方との電話が切れ、保留中の相手からの呼返音が鳴ります。呼び返し中に外線ボタンを押すと保留中の相手の方とのお話しに戻ります。
- 三者通話機能の料金は、それぞれ発信を行った方の支払いになります。
- ミキシングモードで三者通話中にハンドセットを置くと（スピーカ受話時はスピーカボタンを押すと）、すべてのお話し中の相手の方との電話が切れます。
- 会議通話中に三者通話機能（ミキシングモード）は利用できません。
- 三者通話機能（切替モード）は利用できません。

フレックスホンサービスを利用するには



ワンポイント

サービスボタンに「INS通信中転送」の機能を割り当てると

「システム設定」によってフレキシブルボタンにサービスボタン（INS通信中転送）を割り当てると、機能ボタンと特番を押す手順1～2や手順4の代わりに、サービスボタン（INS通信中転送）を押すだけで操作することができます。サービスボタン（INS通信中転送）を押して最初にお話ししていた方が保留状態になるとサービスボタン（INS通信中転送）ランプが赤く点滅し、再度サービスボタン（INS通信中転送）を押して別の相手の方への転送が完了するとランプが消えます。（☛P80）

お知らせ

- 通信中転送機能の料金は、外の相手の方と取りついだ方との間の料金は、発信を行った方の負担に、取りついだ方と転送先の方との間の料金は、取りついだ方の負担となります。
- 転送できるのは、着信した電話のみです。こちらから発信した電話は転送できません。
- 会議通話中に通信中転送機能は利用できません。

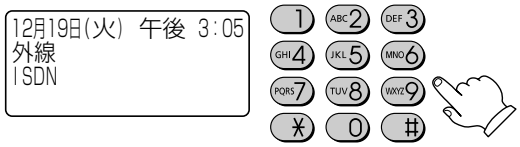
通話中の電話を転送する（通信中転送機能）

外の相手の方とお話し中に、別の相手の方に電話をかけて取りつぐことができます。

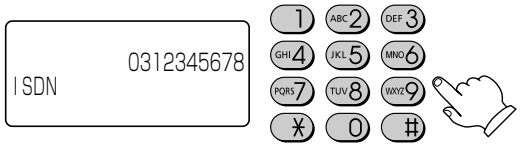
1 お話し中に、外の相手の方に待っていただくように伝え、機能ボタンを押します。

2 通信中転送機能の特番（9 2 [ ]）を押します。

「ツー」という発信音が聞こえます。
最初にお話ししていた方には、交換センタからの保留メロディが流れ、外線ランプがゆっくり緑で点滅します。



3 別の相手の方の電話番号をダイヤルボタンで押します。



4 別の相手の方が出たら、転送することを伝え、機能ボタン、通信中転送機能の特番（9 2 [ ]）を押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえます。ゆっくり緑で点滅していた外線ランプが消えます。

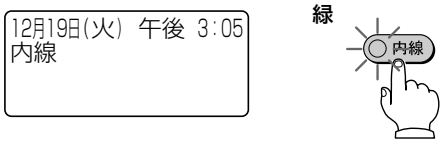
5 ハンドセットを置きます。

外からの電話を決められた相手の方に直接取りつぐ（着信転送機能）

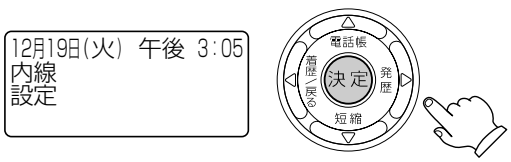
INSネット64への着信を、決められた別の相手の方に自動的に転送するように設定することができます。

1 内線ボタンを押します。

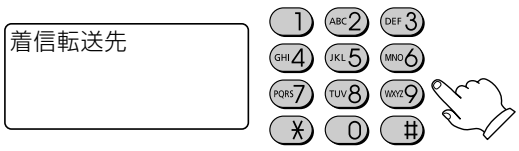
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



2 決定ボタンを押します。

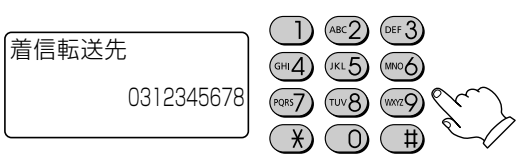


3 着信転送（転送先番号）の特番（9 6 [ ]）を押します。



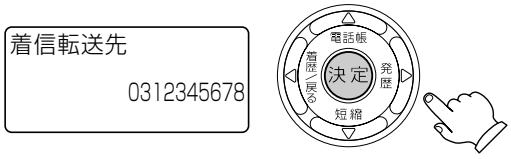
すでに転送先が登録されているときは、下段に表示されます。

4 転送先の電話番号をダイヤルボタンで押します。



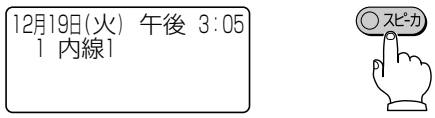
5 決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえます。



6 スピーカボタンを押します。

スピーカランプ、内線ランプが消えます。



ワンポイント

●転送先の電話番号を消去するには
手順4で電話番号を押さずにクリアボタンを押します。

サービスボタンに「INS着信転送」の機能を割り当てると
「システム設定」によってフレキシブルボタンにサービスボタン（INS着信転送）を割り当てると、決定ボタンと特番を押す手順2～3の代わりに、サービスボタン（INS着信転送）を押すだけで操作することができます。（☛P80）

お知らせ

- 手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 転送先の電話番号を設定しておかないと、転送の設定は無効になります。

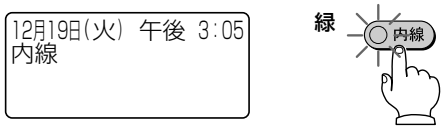
フレックスホンサービスを利用するには

着信転送モードを設定する

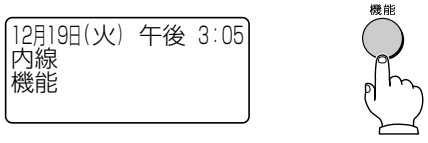
着信転送モードの設定や解除が行えます。

1 内線ボタンを押します。

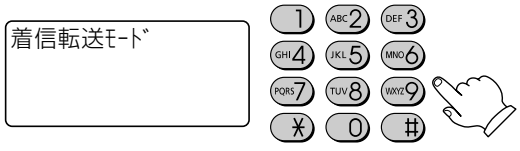
「ツーツー…」という発信音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



2 機能ボタンを押します。



3 着信転送機能起動／解除の特番（9 5 [ ]）を押します。

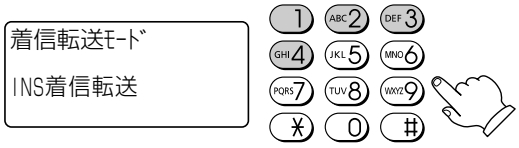


お知らせ

手順1で、プリセレクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

4 1～4を押し、着信転送モードを選択します。

「ピーピー」という音を確認してください。



1：「転送トーキなし」「転送元トーキなし」

2：「転送トーキあり」「転送元トーキなし」

3：「転送トーキなし」「転送元トーキあり」

4：「転送トーキあり」「転送元トーキあり」

5 スピーカボタンを押します。

着信転送モードが設定されます。
スピーカランプ、内線ランプが消えます。

ワンポイント

●転送トーキ、転送元トーキのメッセージ内容は

INSネット64より送られる音声によるメッセージを「転送トーキ」「転送元トーキ」といいます。

- 転送トーキ……「ただいま電話を転送しますのでしばらくお待ちください」（電話をかけた方に流れます）
- 転送元トーキ…「電話が転送されてまいります」（転送先の相手の方に流れます）

●着信転送モードを解除するには

①「着信転送モードを設定する」の手順1～3の操作をする
② スピーカボタンを押す

サービスボタンに「INS着信転送モード」の機能を割り当てると

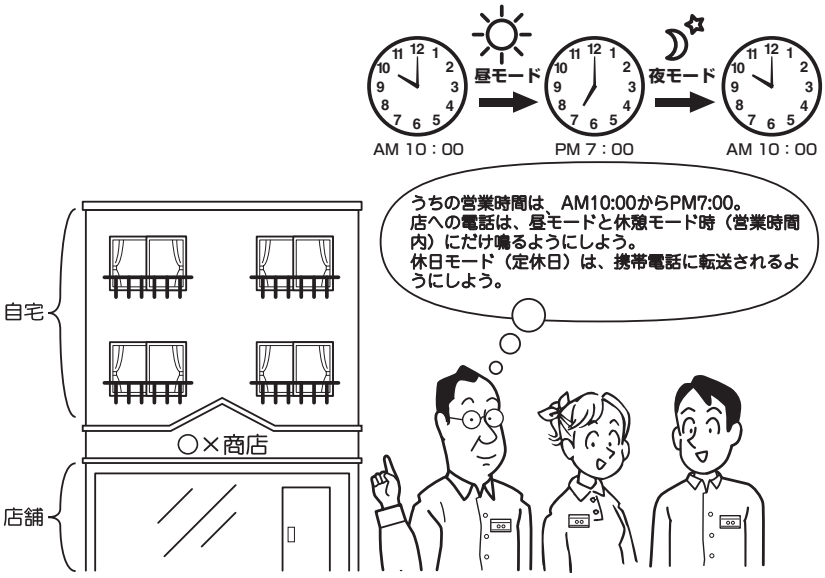
「システム設定」によってフレキシブルボタンにサービスボタン（INS着信転送モード）を割り当てると、機能ボタンと特番を押す手順2～3の代わりに、サービスボタン（INS着信転送モード）を押すだけで操作することができます。（☛P80）

システムモードを利用するには

システムモードを利用すると、時間帯や曜日によってネットコミュニティシステムαBXの動作を変えることができます。

システムモードの利用

営業時間や定休日などに合わせて、システムモード（昼／夜／休憩／休日）を設定することができます。着信音を鳴らす時間帯や、転送などの機能をシステムモードごとに設定しておけば、システムモードが切り替わると同時に各種機能の動作も切り替わります。



□システムモードの切替時刻を設定するには

システムモード時刻設定（☛P147）で設定します。

□システムモードに応じた転送を行うには（☛P87）

□自動的にシステムモードを切り替えるには

システムモード設定（☛P148）を「自動」に設定します。

□手動でシステムモードを切り替えるには

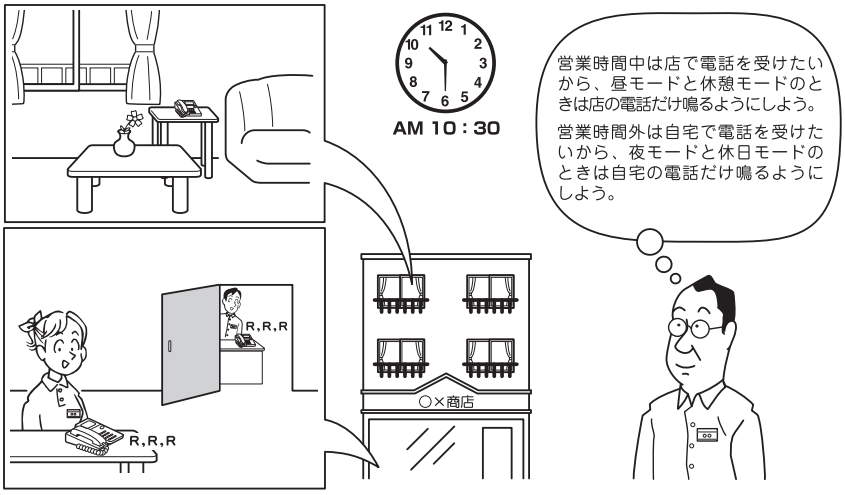
システムモード設定（☛P148）で切り替えます。サービスボタン（システムモード切替）を設定しておくと、より簡単に切り替えられます（☛P80）。

□外出先からの操作でシステムモードを切り替えるには

自動応答サービス（☛P70）を利用すると外出先からのリモコン操作でシステムモードを切り替えることができます。（☛P72、156）

着信音を鳴らす時間帯をシステムモードごとに設定する

外からの電話を受ける内線電話機を、システムモードによって分けることができます。



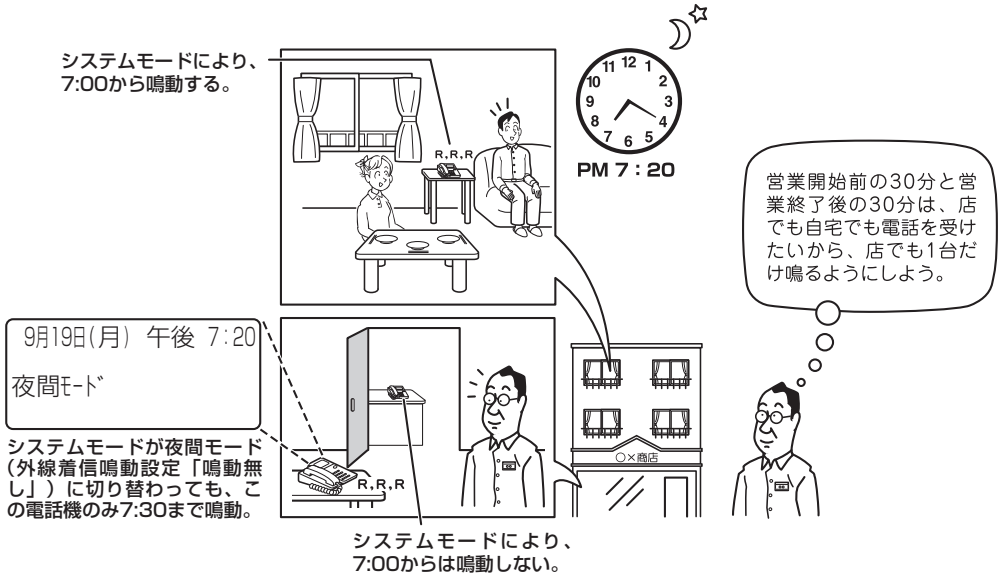
□システムモード別に外線着信音を鳴らす／鳴らさないを設定するには

システムモード「昼・休憩」と「夜・休日」に分けて、外線着信音を鳴らすかどうかを設定できます。内線電話機ごとに、外線着信鳴動設定（☛P134）で設定します。

ワンポイント

●システムモードより優先する鳴動動作を電話機ごとに設定するには

「曜日毎鳴動モード設定」（☛P135）を利用することにより、外からの電話を受ける時間帯を電話機ごとに設定できます。この設定による鳴動動作は、システムモードごとの鳴動動作より優先されます。



Q&A

「こんなことがしたい」などといった場合にお役にたつ便利な操作や、操作中の注意点などをテーマ別に質問形式でまとめています。

登録・設定

Q 登録・設定操作を中止するときは？

A 時計・カレンダ表示に戻るには、戻るボタンを長く押します。オフフックなどによっても中止できます。

登録・設定操作を中止するときは、ディスプレイの表示が時計・カレンダ表示に戻るまで、戻るボタンを長く押します。クリアボタンを押しても時計・カレンダ表示に戻れます（文字や数字の入力中を除く）。また、操作の途中でボタン操作を行わないまま約2分間経過すると、時計・カレンダ表示に戻ります。

また、操作の途中でハンドセットを取りあげたり、外線ボタン、フレキシブルボタン、内線ボタン、スピーカボタンのいずれかを押すと、登録・設定が中止されます。

通話中にメニュー設定を行っていた場合は、操作の途中で通話を終了すると、登録・設定が中止されます。

Q 電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには？

A ポーズを入れたいところでフックボタンを押します。

ワンタッチボタンや電話帳に登録する電話番号にポーズを入れたいときは、フックボタンを押します。フックボタンを1回押すごとに約3秒のポーズが入ります。ポーズも1桁と数えられ、ディスプレイには「-（ハイフン）」と表示されます。

電話帳

Q 電話帳を登録するには？

A 電話帳ボタンを使う方法の他にも、いろいろな登録方法があります。

共通電話帳や個別電話帳を登録するには、次のような方法があります。

- 電話帳ボタンを長く押して登録操作を開始する（☛P40）
- メニュー設定で登録する（☛P132、P142）
- Web設定で登録する（☛P160）
- 発信履歴や着信履歴を利用して登録する（☛P55）
- 電話帳メニューを利用し、共通電話帳を個別電話帳に登録、または個別電話帳を共通電話帳に登録する（☛P45）

Q 電話帳を登録するときの必須項目は？

A 電話番号とメモリ番号です。

電話帳には名称、フリガナ、電話番号（最大32桁）、グループ、アイコン、PBX情報の各項目とメモリ番号が登録できます。電話番号とメモリ番号を登録すれば、名称やグループなどは省略することもできます。

Q 電話番号にサブアドレスを登録するには？

A **電話番号のあとに ＊ を押し、サブアドレスの番号を入力します。**

ISDN回線を利用している相手の方の電話番号を登録するときに、電話番号にサブアドレスを付けて登録することができます。電話番号とサブアドレスは合わせて32桁まで登録できます。

＜例＞

0312345678＊1234

↑ ↑

電話番号　サブアドレス

Q 電話帳の登録内容を変更するには？

A **電話帳メニューを使って内容を変更し、登録し直します。**

個別電話帳の登録内容を変更するときは電話帳メニューの「個別電話帳登録」を、共通電話帳を変更するときは「共通電話帳登録」を選択します。また、個別電話帳を表示中に電話帳メニューの「共通電話帳登録」を選択し、グループやメモリ番号だけを変更して共通電話帳に登録し直したり、共通電話帳を個別電話帳に登録し直すこともできます。

①変更したい電話帳をフリガナ／グループ／メモリ番号で検索し、電話帳詳細画面を表示する（☛P44）

②メニューボタンを押して電話帳メニューを表示する

③ 1 または 2ABC を押して「個別電話帳登録」または「共通電話帳登録」を選択する

④「電話帳を登録する」（☛P40）と同様の手順で内容を変更し、登録する

Q 電話帳を削除するには？

A **表示中の1件を削除するときは、電話帳メニューから「1件削除」を選択します。個別電話帳や共通電話帳の全件削除は、メニュー設定（☛P132、P143）またはWeb設定（☛P160）で行います。**

電話帳を1件削除するときは、次のように操作します。

①削除したい電話帳をフリガナ／グループ／メモリ番号で検索し、電話帳詳細画面を表示する（☛P44）

②メニューボタンを押して電話帳メニューを表示する

③ 3DEF を押して「1件削除」を選択する

Q 電話帳が登録できないときは？

A **すでに登録がいっぱいのときには、不要な電話帳を削除してください。また、Web設定で登録するときは、正しく操作しているかどうかを確認してください。**

- ディスプレイに「メモリがいっぱいです」と表示されたとき
  すでに登録件数がいっぱいで、登録できません。不要な電話帳を削除してください。
- Web設定の項目に「電話帳編集」／「電話帳削除」が表示されないとき
  個々の電話機の個別電話帳を登録するには、ユーザIDとして目的の電話機の内線番号を入力し、電話機ごとの電話機暗証番号を入力してログインする必要があります。

回　線

Q INSネット64をご利用になるには？

A **発信時、着信時の表示や操作方法が異なります。**

＜電話をかけるとき＞

- 外に電話をかけるときは、ディスプレイに「ISDN」と表示されます。
- サブアドレスを指定して電話をかける場合は、電話番号、＊、サブアドレスの順に押します。
- 「ISDN料金表示設定」（☛P148）が「設定する」のときには、通話終了後、通話料金が表示されます。
- サブアドレス通知サービスを利用するときは、内線電話機にサブアドレスを設定してください。（☛P145）
- 外線ボタンを押して「ツー」という音を確認し、電話番号を押したあと、通常はダイヤルが開始されるまでに約6秒かかります。電話帳や着信履歴などを使って電話をかけるときも同様です。この場合、＃を押すと、すぐにダイヤルが開始されます。

＜電話がかかってきたとき＞

- 電話番号やサブアドレスの通知があるときは、ランプが点滅している外線ボタンを押したときに、相手の方の電話番号とサブアドレス（最大40桁）が表示されます。21桁以上のときは、クリアボタンを押すと残りの桁が確認できます。
- 応答後、一定時間が経過すると、電話番号表示が通話時間表示に切り替わりますが、通話中（会議通話中を除く）にもクリアボタンを押すことにより、表示の切り替えが行えます。
- 相手の方の電話番号が表示されずに、その理由を示す表示が表示される場合があります。（☛P105）

Q VoIP回線をご利用になるには？

A **発信時、着信時の表示や操作方法が異なります。**

＜電話をかけるとき＞

- VoIP回線が割り当てられている外線ボタンを押して外に電話をかけるときは、ディスプレイに「VoIP」と表示されます。
- 外線ボタンを押して「ツー」という音を確認し、電話番号を押したあと、通常はダイヤルが開始されるまでに約6秒かかります。電話帳や着信履歴などを使って電話をかけるときも同様です。この場合、＃を押すと、すぐにダイヤルが開始されます。
- VoIP回線でご利用できない電話番号に電話をかけると、「ププッ　ププッ…」という音が聞こえる場合があります。このときは他の外線でかけ直してください。

＜電話がかかってきたとき＞

- 通常どおりに電話を受けることができます。通話中はディスプレイに「VoIP」と表示されます。

保留／内線通話／保留転送

Q ***保留／保留転送中に電話機のスピーカから警報音が鳴ったら？***

A **保留状態が長時間続いていることをお知らせする警報音です。保留中の電話に出ると、警報音が止まります。**
保留にしてから保留警報音を鳴らすまでの秒数や、保留警報音が鳴らないようにする設定は、メニュー設定やWeb設定、「システム設定」で変更できます。（☛P146、P160）また、保留警報音を一定時間鳴らしたあと、自動的に電話を切るように設定することもできます。

Q ***内線呼び出しのときに、音声でなく、トーン（信号音）で呼ぶようにするには？***

A **内線呼び出し中に ⓪ を押します。**
⓪ を押すごとに、呼び出し方法を音声からトーン（信号音）、またはトーン（信号音）から音声に切り替えることができます。

通　話

Q ***お話しをスピーカで聞くには？（スピーカ受話）***

A **ハンドセットでお話し中にスピーカボタンを押します。**
ハンドセットでお話し中にスピーカボタンを押すと、スピーカから相手の方の声が聞こえます。こちらの声は、相手の方には聞こえません。また、スピーカ受話のときにハンドセットを置いても電話は切れません。ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでのお話しに戻ります。

Q ***内線または外線でお話し中にドアホンからの呼び出しに応答するには？***

A **内線または外線のお話しを終えてハンドセットを置き、もう一度ハンドセットを取りあげると応答できます。**
お買い求め時には、通話中はドアホンの呼出音が聞こえるように設定されています。通話中にハンドセットまたはスピーカから確認音が聞こえたら、内線または外線のお話しを終え、いったんハンドセットを置き（ハンズフリー通話のときはスピーカボタンを押す）、もう一度ハンドセットを取りあげるかスピーカボタンを押すと、ドアホンに応答できます。

表　示

Q 「夜間モード」／「休憩モード」／「休日モード」と表示されているときは？

A システムモードが夜／休憩／休日モードに切り替えられています。

システムモードが夜／休憩／休日モードに切り替わっているときには、それぞれのモードがディスプレイに表示されます。昼モードのときにはモードは表示されません。システムモードは、メニュー設定またはWeb設定により切り替えることができます。（☛P148、P160）また、時間帯によって自動的に切り替わるように設定することもできます。（☛P147、P160）

Q 「FAX受信しました」と表示されているときは？

A 内線に接続されているファクス端末でファクスを受信したことをお知らせしています。

機能ボタン、クリアボタンの順に押すと、表示を消すことができます。

その他

Q 長い電話番号をかけるときには？（追加ダイヤル）

A 追加ダイヤルでかけると便利です。

電話帳やワンタッチダイヤル、発信／着信履歴、メモダイヤルにダイヤルを追加して電話をかけることができます。たとえば、登録されている電話番号のあとにサブアドレスを付けてダイヤルできます。

- **登録／記録されている内容のあとにダイヤルを追加するとき**
  登録／記録されている電話番号を使った発信操作に続けてダイヤルボタンを押します。電話帳を使うときは次のように操作します。
  ①外線ボタンを押す
  ②短縮ボタンを押す
  ③メモリ番号をダイヤルボタンで押す
  ④追加する番号をダイヤルボタンで押す
  ・**ワンタッチダイヤルを使うとき**：手順②～③の代わりにワンタッチボタンを押す
  ・**最後に電話をかけた相手の方にかけ直すとき**：手順②～③の代わりに発歴ボタンを押す
- **登録／記録されている内容の前にダイヤルを追加するとき**
  追加する番号をダイヤルボタンで押してから、登録／記録されている電話番号を使った発信操作を行います。電話帳を使うときは次のように操作します。
  ①外線ボタンを押す
  ②追加する番号をダイヤルボタンで押す
  ③短縮ボタンを押す
  ④メモリ番号をダイヤルボタンで押す
  ・**ワンタッチダイヤルを使うとき**：手順③～④の代わりにワンタッチボタンを押す
  ・ただし、手順③～④の代わりに発信／着信履歴を用いてダイヤルすることはできません。
- **プリセットダイヤルで電話をかけるとき**
  目的の電話帳やワンタッチダイヤル、発信／着信履歴、メモダイヤルを表示させてからダイヤルボタンで番号を追加し、発信操作を行うことができます。電話帳を使うときは次のように操作します。
  ①目的の電話帳を検索する（一覧画面で目的の電話帳を選択、または詳細画面を表示）
  ②追加する番号をダイヤルボタンで押す
  ③外線ボタンを押す
  ・**発信／着信履歴を使うとき**：手順①の代わりに目的の発信／着信履歴を検索する
  ・**ワンタッチダイヤルを使うとき**：手順①の代わりにワンタッチボタンを押す
  ・**メモダイヤルを使うとき**：手順①の代わりに機能ボタン、発歴ボタンを押す

Q 転送電話ができないときは？

A 登録や設定に間違いがないかを確認してください。

- 転送先リストに電話番号が登録されていますか？
  転送電話をセットしても、転送先リストに正しく電話番号が登録されていないと転送できません。転送先リストを登録してください。（☛P82）
- 転送電話に必要な操作はすべて完了していますか？
  転送電話に必要な登録やセット操作が正しく行われているかどうかを確認してください。（☛P82～P87）
- 転送先リストに登録した電話からかけていませんか？
  転送先リストに登録した電話番号からの電話は、転送電話の対象になりません。

Q セキュリティサービス機能が動作しないときは？

A セキュリティ装置が作動しているかどうかを確認してください。

本商品のセキュリティサービスを起動しても、セキュリティ装置が作動していないと機能を利用できません。また、センサによる検知が行われた場合、セキュリティ装置によっては、一度無効にしてからセットし直す必要のあるものがあります。詳しくはセキュリティ装置の取扱説明書をご確認ください。

Q 着信拒否ができないときは？

A 次のことを確認してください。

- ナンバー・ディスプレイをご利用になっていますか？
  アナログ回線をご利用の場合、着信拒否の機能をご利用になるにはナンバー・ディスプレイのご契約（有料）が必要です。（☛P104）
- 拒否したい電話番号は、共通電話帳の「着信拒否」グループに登録されていますか？
  共通電話帳に電話番号を正しく登録し、登録時のグループ選択で「着信拒否」グループを選択していないと、着信を拒否できません。（☛P40、P56）
  また、同じ電話番号を共通電話帳に重複して登録しないようにご注意ください。重複していると、着信拒否ができない場合があります。

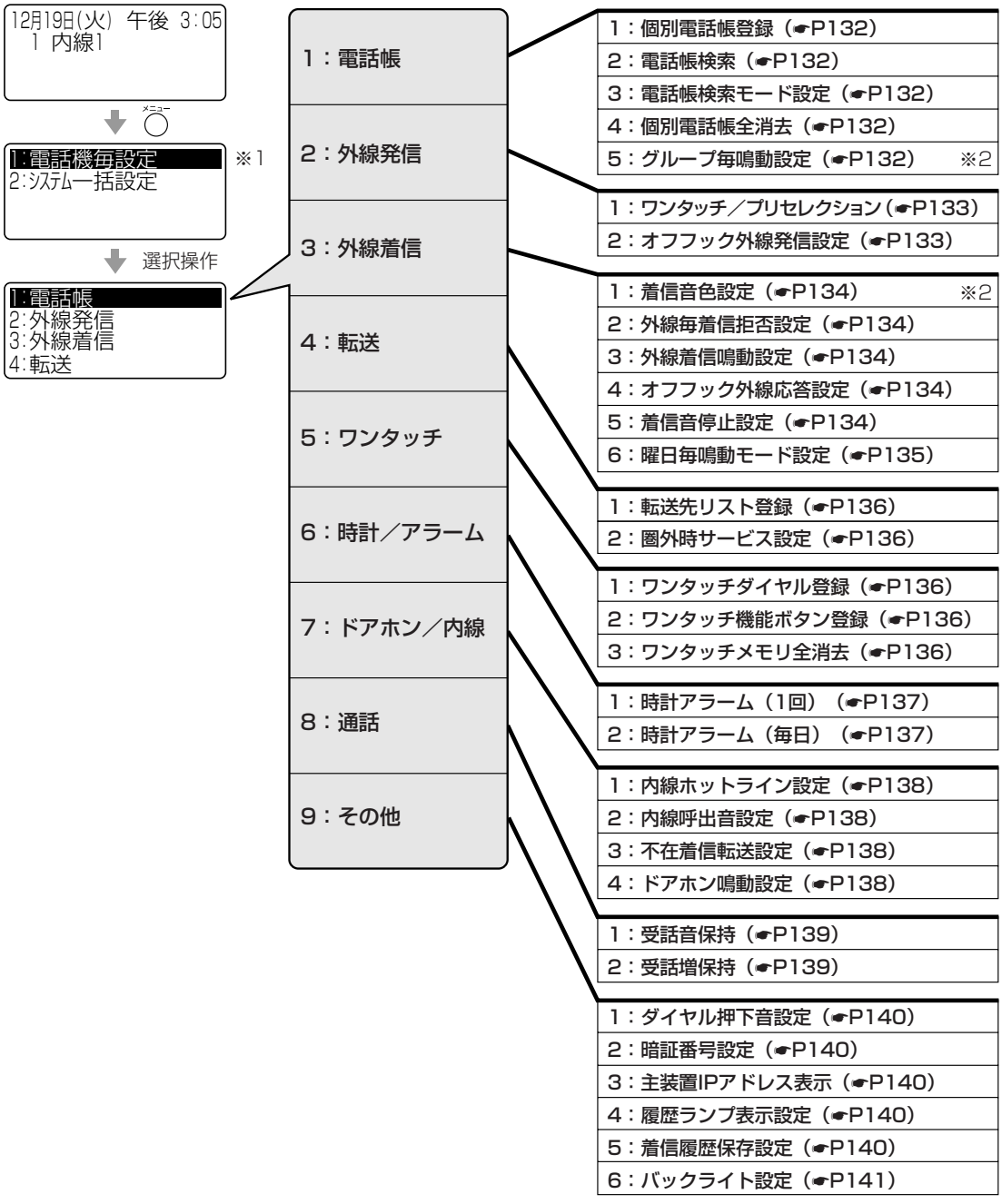
Q コールバックができないときは？

A 次のことを確認してください。

- アナログ回線をご利用ではありませんか？
  アナログ回線では、コールバックを利用できません。
- コールバックの対象としたい電話番号は、正しく登録されていますか？
  コールバックの対象としたい電話番号は、あらかじめ共通電話帳に登録しておく必要があります。個別電話帳に登録しても無効となります。
  また、同じ電話番号を共通電話帳に重複して登録しないようにご注意ください。重複していると、コールバックが行われない場合があります。
- 呼出音が聞こえたあとすぐに携帯電話を切りましたか？
  「コールバック着信」と判定されるのは、着信後すぐ（お買い求め時：6秒）に切れた着信のみです。この時間を経過してから電話を切った場合、コールバックは行われません。
- 内線電話機側の方は、設定されている時間内に応答しましたか？（システム内線着信の場合）
  携帯電話を切ったあと、内線電話機側の方が呼び出されている間（お買い求め時：30秒）に応答しなかったときは、システム内線着信のコールバックが行われません。
- 内線電話機側からかかってきた電話にすぐに携帯電話で応答しましたか？
  システム設置所からのコールバックが正しく行われても、設定されている時間内（お買い求め時：120秒）に応答操作をしなかったときや携帯電話が圏外だったときは、電話が切れます。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

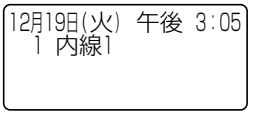
「1：電話機毎設定」から分岐するメニュー項目は、個々の内線電話機についての項目です。



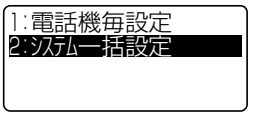
※1：留守番停電電話機をご利用の場合は、「3：留守設定」が追加されます。詳しくは留守番停電電話機の取扱説明書を参照してください。

※2：外線通話中は登録・設定が行えません。

「2：システム一括設定」から分岐するメニュー項目は、システム全体に関する項目です。

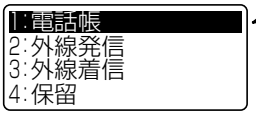


メニュー ○



※1

選択操作



- 1：電話帳
  - 1：共通電話帳登録（☛P142）
  - 2：グループ名称設定（☛P142）
  - 3：グループ着信先設定（☛P142）
  - 4：共通電話帳全消去（☛P143）
  - 5：グループ毎コールバック（☛P143）
  - 6：中継発信規制設定（☛P143）
- 2：外線発信
  - 1：発信可能ダイヤル設定（☛P144）
  - 2：発信規制ダイヤル設定（☛P144）
  - 3：削除ダイヤル設定（☛P144）
  - 4：事業者識別番号付与（☛P144）
- 3：外線着信
  - 1：サブアドレス設定（☛P145）
  - 2：着信未応答警報タイマ（☛P145）
  - 3：非通知着信拒否（☛P145）
  - 4：着信拒否ガイダンス（☛P145）
- 4：保留
  - 1：保留音設定（☛P146） ※2
  - 2：保留警報音送出タイマ（☛P146）
- 5：時計／アラーム
  - 1：日付設定（☛P147） ※2
  - 2：時刻設定（☛P147） ※2
  - 3：システムモード時刻設定（☛P147）
- 6：機能登録／設定
  - 1：システムモード設定（☛P148）
  - 2：プリセット読出タイマ（☛P148）
  - 3：長時間通話警報タイマ（☛P148）
  - 4：ISDN料金表示設定（☛P148）
  - 5：暗証番号設定（☛P148）
  - 6：FAX/TEL切替設定（☛P149）
  - 7：FAX/TEL呼出回数（☛P149）
  - 8：電話帳詳細読出タイマ（☛P149）
- 7：ドアホン／内線
  - 1：内線ネーム登録（☛P150）
  - 2：ドアホンネーム登録（☛P150）
  - 3：ドアホンチャイム音鳴動タイマ（☛P150）
- 8：転送
  - 1：転送先リスト登録（☛P151）
  - 2：転送開始タイマ（☛P151）
  - 3：外線転送先呼出タイマ（☛P151）
  - 4：外線転送方式設定（☛P151）
  - 5：転送元呼出継続設定（☛P151）
- 9：その他
  - 1：ソフトウェア自動更新設定（☛P152）
  - 2：在宅自動応答設定（☛P152）
  - 3：セキュリティモード設定（☛P152）
  - 4：セキュリティ関連タイマ設定（☛P152）
  - 5：セキュリティ通報番号登録（☛P153）
  - 6：セキュリティ起動／解除（☛P153）

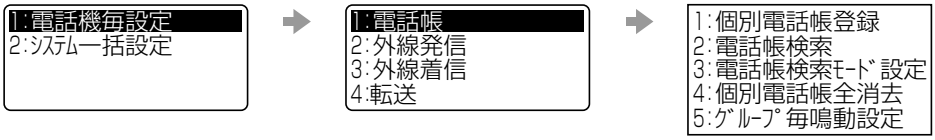
※1：留守番停電電話機をご利用の場合は、「3：留守設定」が追加されます。詳しくは留守番停電電話機の取扱説明書を参照してください。

※2：外線通話中は登録･設定が行えません。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

電話機毎設定

個々の内線電話機についての設定です。項目を選択して目的のメニュー項目画面を表示させます。メニューの流れについては、P130を参照してください。



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
個別電話帳登録 （1 1 1） 名称入力 [かな]	個々の内線電話機で使用する電話帳を登録する。 （☛P40）	①名前を入力し、決定ボタンを押す ②必要に応じてフリガナを変更し、決定ボタンを押す ③電話番号を入力し、決定ボタンを押す ④グループを選択する ⑤アイコンを選択する ⑥必要に応じてメモリ番号を入力し、決定ボタンを押す
電話帳検索 （1 1 2） 電話帳検索 0:ﾌﾘｶﾞﾅ検索 1:ｸﾞﾙｰﾌﾟ検索 2:ﾒﾓﾘ番号検索	検索方法を選択して、電話帳を検索する。（☛P44）	**＜フリガナ検索する場合＞** ①検索方法（0 …フリガナ検索）を選択する ②フリガナを入力する ③上下ボタンで目的の電話帳を検索する ※電話帳検索の詳細は、P44を参照してください。
電話帳検索モード設定 （1 1 3） 電話帳検索ﾓｰﾄﾞ設定 0:ﾌﾘｶﾞﾅ検索優先 1:ｸﾞﾙｰﾌﾟ検索優先	電話帳ボタンを押したときに表示される検索画面の優先順位を設定する。	①設定を選択する 0 …フリガナ検索優先 1 …グループ検索優先
個別電話帳全消去 （1 1 4） 個別電話帳全消去 消去しない 消去する	操作中の内線電話機の個別電話帳をすべて消去する。	①「消去する」を選択する ②決定ボタンを押す
グループ毎鳴動設定 （1 1 5） ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎鳴動設定 0 ｸﾞﾙｰﾌﾟ0 1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ1 2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	電話帳グループごとに着信音を設定する。	**＜通常の着信音を鳴らす場合＞** ①着信音を設定するグループを選択する ②「設定しない」を選択する **＜トーンまたはメロディを設定する場合＞** ①着信音を設定するグループを選択する ②「トーン」または「メロディ」を選択する ③音色（トーン1～8またはメロディ1～8）を選択する

ワンポイント

●グループ毎鳴動設定で選択できるメロディは

メロディ1：花　メロディ2：我は海の子　メロディ3：村まつり　メロディ4：むしのこえ　メロディ5：ジングルベル　メロディ6：ゆき　メロディ7：華麗なる円舞曲　メロディ8：カノン

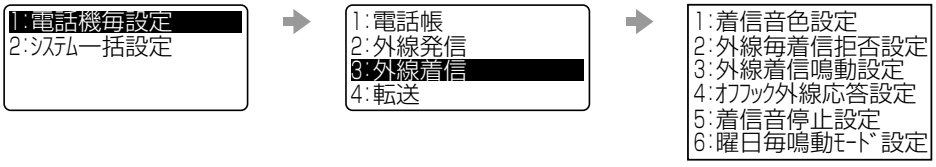
：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
ワンタッチ／プリセレクション （ 1 2 1 ） ﾜﾝﾀｯﾁ/ﾌﾟﾘｾﾚｸｼｮﾝ選択 0:ﾌﾟﾘｾﾚｸｼｮﾝ捕捉 1:ﾜﾝﾀｯﾁ捕捉	外線／内線ボタンを押すだけで回線を捕捉するワンタッチ捕捉、または外線／内線ボタンのあとオフフックが必要なプリセレクション捕捉のどちらにするかを設定する。	①設定を選択する 0 …プリセレクション捕捉 1 …ワンタッチ捕捉
オフフック外線発信設定 （ 1 2 2 ） ｵﾌﾌｯｸ外線発信設定 0:設定しない 1:設定する	オフフックにより、「システム設定」で設定された内線／外線を捕捉する機能を設定する。	①設定を選択する 0 …設定しない 1 …設定する

お知らせ

留守番停電電話機はワンタッチ捕捉に設定してください。

内線電話機を使って登録・設定をする には（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
着信音色設定 （ 1 3 1 ） 着信音色設定 内/外線ﾎﾞﾀﾝを押下してください	外線／内線の着信音を設定する。	①外線／内線ボタンを押す ②「トーン」または「メロディ」を選択する ③音色（トーン１～８またはメロディ１～８（外線：トーン1、内線：トーン2））を選択する
外線毎着信拒否設定 （ 1 3 2 ） 外線毎着信拒否設定 外線ﾎﾞﾀﾝを押下してください	ダイヤルイン番号が割り当てられている外線ボタンを、一時的に着信拒否する。	①外線ボタンを押す ②設定を選択する 0 …設定しない 1 …設定する
外線着信鳴動設定 （ 1 3 3 ） 外線着信鳴動設定 0:昼・休憩ﾓｰﾄﾞ 1:夜・休日ﾓｰﾄﾞ	システムモード「昼・休憩モード」／「夜・休日モード」別に、外線着信音を鳴らすかどうかを設定する。	①設定するモードを選択する ②外線ボタンを押す ③設定を選択する 0 …鳴動しない 1 …鳴動する
オフフック外線応答設定 （ 1 3 4 ） ｵﾌﾌｯｸ外線応答設定 0:設定しない 1:設定する	ハンドセットを取りあげるかスピーカボタンを押すだけで外線に応答する機能の利用を設定する。	①設定を選択する 0 …設定しない 1 …設定する
着信音停止設定 （ 1 3 5 ） 着信音停止設定 0:内線着信音停止 1:外線着信音停止	外線／内線の着信音を鳴らさないようにする。 ※外線個別着信は対象外です。	①設定する項目を選択する ②設定を選択する 0 …設定しない 1 …設定する

ワンポイント

●着信音色設定で選択できるメロディは

メロディ１：花　　メロディ５：ジングルベル
メロディ２：我は海の子　　メロディ６：ゆき
メロディ３：村まつり　　メロディ７：華麗なる円舞曲
メロディ４：むしのこえ　　メロディ８：カノン

お知らせ

「外線毎着信拒否設定」をする場合は、「システム設定」で外線ボタンにダイヤルイン番号を割り当てておく必要があります。

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
曜日毎鳴動モード設定 （ ① ③ ⑥ ） 曜日毎鳴動ﾓｰﾄﾞ設定 0:毎日 1:月曜 2:火曜	曜日別に鳴動動作のタイムテーブル（最大8つ）を設定する。 ※鳴動動作は外線着信鳴動設定に従います。たとえば「昼・休憩モード」が「鳴動無し」の場合、本設定で「昼／休憩」を設定した時間帯は外線着信音が鳴りません。	①設定する曜日を選択する （「0：毎日」を選択した場合は、このあと決定ボタンを押す） ②時間帯の登録先（1～8）を入力する ③時刻（24時間制）を入力する ④鳴動モードを選択する ⓪…昼／休憩 ①…夜／休日 ⑤決定ボタンを押す

ワンポイント

●曜日毎鳴動モード設定の利用のしかた

通常、内線電話機の鳴動動作は、システムモードに従って切り替わります。曜日毎鳴動モード設定を利用すると、システムモードより優先される鳴動動作を、電話機ごとに設定できます。登録は、曜日単位で行います。

たとえば、システムモード時刻設定（☛P147）と外線着信鳴動設定（☛P134）により、次のように設定されているとします。

・毎日10:00→すべての内線電話機が昼モード（鳴動する）に切り替わる
・毎日19:00→すべての内線電話機が夜モード（鳴動しない）に切り替わる

このとき、1台の内線電話機のみ、月曜日の12:00～13:00に着信音が鳴らないように設定したい場合は、曜日毎鳴動モード設定で「1:月曜」にタイムテーブルを以下のとおりに登録します。

①12:00→「夜／休日（鳴動しない）」
②13:00→「昼／休憩（鳴動する）」
③19:00→「夜／休日（鳴動しない）」

この場合に③の登録を行わないと、13:00からの「鳴動する」の状態が0:00（曜日が火曜日に変わる時刻）まで継続してしまいます。設定を行うときは、必ず翌日0:00までを含むタイムテーブルを登録するようご注意ください。

●曜日毎鳴動モード設定の設定操作について

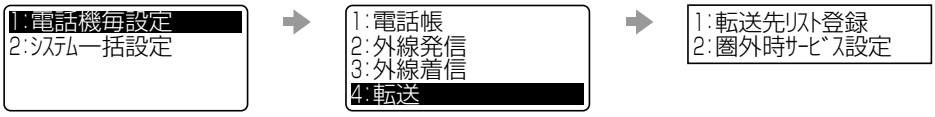
「毎日」のタイムテーブルは、指定外のすべての曜日に適用されます。

たとえば土日以外（平日）に同じタイムテーブルを適用したいときは、「毎日」にタイムテーブル（平日用）を登録してから、「土曜」と「日曜」のタイムテーブルを変更してください。誤って「土曜」と「日曜」の登録のあと「毎日」の登録を行うと、「土曜」と「日曜」の登録内容が消去され、すべての日に「毎日」のタイムテーブルが適用されてしまいますのでご注意ください。また、手順①で「0：毎日」を選択して決定ボタンを押すと、それ以前に特定の曜日に登録していたタイムテーブルがあった場合、登録内容はすべて消去されます。

お知らせ

曜日毎鳴動モード設定は、ご利用のしかたによってはどの内線電話機も外線着信音が鳴らない時間帯が生じてしまう可能性がありますのでご注意ください。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

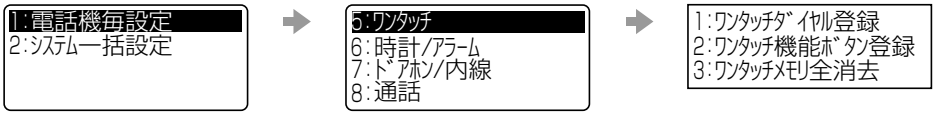


：お買い求め時の設定

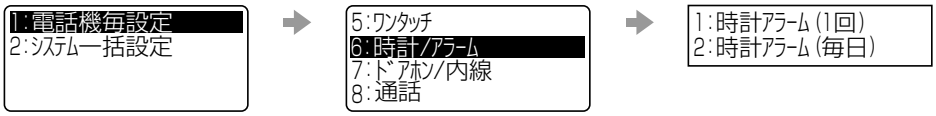
メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
転送先リスト登録 （ 1 GHI 4 1 ） 転送先電話番号登録 1:電話番号1 2:電話番号2 3:電話番号3	転送電話を利用したときの、転送先電話番号を登録する。（☛P82）	①登録先を選択する ②転送先の電話番号を入力する ③決定ボタンを押す
圏外時サービス設定 （ 1 GHI 4 ABC 2 ） 圏外時ｻｰﾋﾞｽ設定 0:設定しない 1:転送電話	内線電話機（ディジタルコードレス電話機や無線LAN対応FOMA）が圏外になったときの動作を設定する。（☛P87）	①設定を選択する 0 …設定しない 1 …転送電話

ワンポイント

●転送先リストの登録内容を消去するには（☛P83）



メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
ワンタッチダイヤル登録 （ 1 JKL 5 1 ） ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録 ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝを押下してください	ワンタッチボタンにワンタッチダイヤルを登録する。（☛P36）	①登録するワンタッチボタンを押す ②登録する電話番号を入力する ③手順①で押したワンタッチボタンを押す
ワンタッチ機能ボタン登録 （ 1 JKL 5 ABC 2 ） ﾜﾝﾀｯﾁ機能ﾎﾞﾀﾝ登録 ｻｰﾋﾞｽﾎﾞﾀﾝを押下してください	サービスボタンに登録する機能を選択する。（☛P80）	①登録するサービスボタンを押す ②登録する機能を選択する
ワンタッチメモリ全消去 （ 1 JKL 5 DEF 3 ） ﾜﾝﾀｯﾁﾒﾓﾘ全消去 消去しない 消去する	ワンタッチボタンに登録されている機能をすべて消去する。	①「消去する」を選択する ②決定ボタンを押す



メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
時計アラーム（1回） （ 1 6 1 ） 時計ｱﾗｰﾑ(1回) ▌:	電話機のアラーム（1回のみ）をセットする。	①時刻（24時間制）を入力する ②決定ボタンを押す
時計アラーム（毎日） （ 1 6 2 ） 時計ｱﾗｰﾑ(毎日) ▌:	電話機のアラーム（毎日同時刻に繰り返す）をセットする。	①時刻（24時間制）を入力する ②決定ボタンを押す

ワンポイント

●アラームを止めるには

アラームが鳴っているときにクリアボタンまたはスピーカボタンを押します。ハンドセットを取りあげても止めることができます。通話中にアラームが鳴ったときは、クリアボタンを押してください。

●アラームを解除するには

メニュー項目を選択してアラームの設定内容を表示させ、クリアボタンを長く押し、続けて決定ボタンを押します。

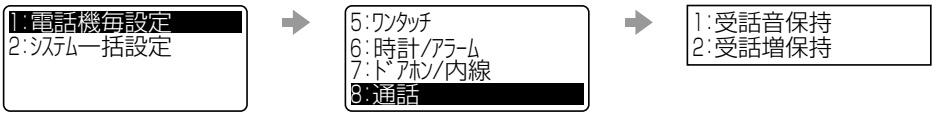
内線電話機を使って登録・設定をする には（メニュー設定）

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
内線ホットライン設定 （ 1 7PQRS 1 ） 内線ﾎｯﾄﾗｲﾝ設定 内線番号?	ハンドセットを取りあげるだけで呼び出せる内線電話機を設定する。	**＜設定する場合＞** ①内線番号を入力する ②決定ボタンを押す **＜設定を解除する場合＞** ①クリアボタンを押して内線番号を消去する ②決定ボタンを押す
内線呼出音設定 （ 1 7PQRS 2ABC ） 内線呼出音設定 0:ﾄｰﾝ 1:音声	トーン（信号音）／音声のどちらで内線着信するかを設定する。	①設定を選択する 0 …トーン 1 …音声
不在着信転送設定 （ 1 7PQRS 3DEF ） 不在着信転送設定 転送先内線番号?	不在着信のときの転送先内線番号を設定する。	**＜設定する場合＞** ①転送先の内線番号を入力する ②決定ボタンを押す **＜設定を解除する場合＞** ①クリアボタンを押して内線番号を消去する ②決定ボタンを押す
ドアホン鳴動設定 （ 1 7PQRS 4GHI ） ﾄﾞｱﾎﾝ鳴動設定 ﾄﾞｱﾎﾝ番号(1-2)?	ドアホンからのチャイム音を鳴らすかどうかを、ドアホン（最大2台）ごとに設定する。	①ドアホン番号を入力する ②決定ボタンを押す ③設定を選択する 0 …鳴動しない 1 …鳴動する

お知らせ

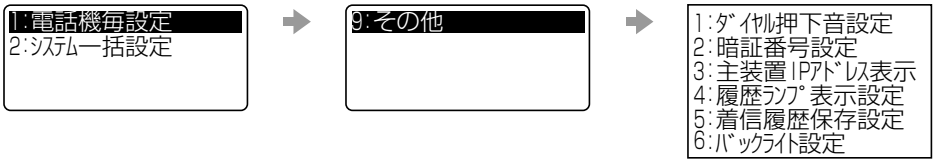
「オフフック外線応答設定」を設定していると、内線ホットラインはご利用できません。



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
受話音保持 （ 1 8 1 ） 受話音保持 0:設定しない 1:設定する	受話音量調節後の音量設定状態を、通話終了後も保持するかどうかを設定する。	①設定を選択する 0 …設定しない（保持しない） 1 …設定する（保持する）
受話増保持 （ 1 8 2 ） 受話増保持 0:設定しない 1:設定する	明瞭モード中の音量設定状態を、通話終了後も保持するかどうかを設定する。	①設定を選択する 0 …設定しない（保持しない） 1 …設定する（保持する）

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
ダイヤル押下音設定 （ 1 9 1 ） ﾀﾞｲﾔﾙ押下音設定 0:設定しない 1:設定する	ダイヤル押下音を鳴らすかどうかを設定する。	①設定を選択する 0 …設定しない（鳴らない） 1 …設定する（鳴る）
暗証番号設定 （ 1 9 2 ） 暗証番号設定 旧暗証番号?	自動応答サービス、Web設定を利用するときなどの、電話機ごとの暗証番号を登録する。	①現在の暗証番号（「 0000 」）を入力する ②決定ボタンを押す ③新しい暗証番号を入力する ④決定ボタンを押す ⑤再度新しい暗証番号を入力する ⑥決定ボタンを押す
主装置IPアドレス表示 （ 1 9 3 ） 主装置IPｱﾄﾞﾚｽ表示 192.168.1.10 ﾎﾟｰﾄ:80	主装置のIPアドレスを確認する。	―
履歴ランプ表示設定 （ 1 9 4 ） 履歴ﾗﾝﾌﾟ表示設定 0:表示しない 1:表示する	かかってきた電話に出なかったときに、着歴ランプを点滅（周期的に2回点灯）表示させてお知らせするかどうかを設定する。	①設定を選択する 0 …表示しない 1 …表示する
着信履歴保存設定 （ 1 9 5 ） 着信履歴保存設定 内/外線ﾎﾞﾀﾝを押下してください	かけてきた方の電話番号や着信日時などの情報を保存するかどうかを設定する。	①外線／内線ボタンを押す ②設定を選択する 0 …保存しない 1 …保存する

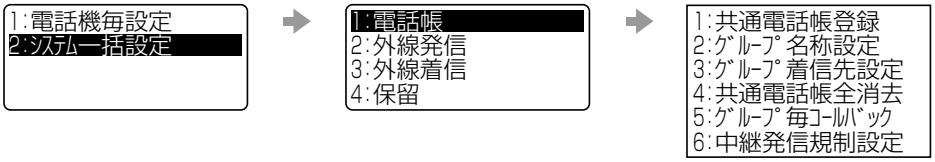
：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
バックライト設定 （ 1 9 6 ） バｯｸﾗｲﾄ設定 0:常時消灯 1:常時点灯 2:動作時点灯	ディスプレイの照明を点灯させるかどうかを設定する。操作時のみ点灯させる場合には、最後にボタンを押してから何秒後に消灯するかを設定する。	**＜常に点灯／消灯させる場合＞** ①「0：常時消灯」または「1：常時点灯」を選択する **＜操作時のみ点灯させる場合＞** ①「2：動作時点灯」を選択する ②秒数（1～99）を入力する ③決定ボタンを押す

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

システム一括設定

システム全体についての設定です。項目を選択して目的のメニュー項目画面を表示させます。メニューの流れについては、P131を参照してください。



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
共通電話帳登録 （ABC2 1 1） 名称入力 [かな]	すべての内線電話機で使用する電話帳を登録する。 （☛P40）	①名前を入力し、決定ボタンを押す ②必要に応じてフリガナを変更し、決定ボタンを押す ③電話番号を入力し、決定ボタンを押す ④グループを選択する ⑤アイコンを選択する ⑥必要に応じてメモリ番号を入力し、決定ボタンを押す
グループ名称設定 （ABC2 1 ABC2） ｸﾞﾙｰﾌﾟ名称設定 0 ｸﾞﾙｰﾌﾟ0 1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ1 2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	電話帳グループ（0～8）に名称を設定する。	①名称設定するグループ（0～8）を選択する ②名称を入力し、決定ボタンを押す
グループ着信先設定 （ABC2 1 DEF3） ｸﾞﾙｰﾌﾟ着信先設定 0 ｸﾞﾙｰﾌﾟ0 1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ1 2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	電話帳グループごとに、着信先や応答方法を設定する。	**＜特に指定をしないとき＞** ①着信先を設定するグループを選択する ②「0：指定しない」を選択する **＜特定の内線電話に着信させるとき＞** ①着信先を設定するグループを選択する ②「1：指定内線」を選択する ③内線番号を入力する ④決定ボタンを押す **＜モード指定着信を設定するとき＞** ①着信先を設定するグループを選択する ②「2：モード指定着信」を選択する ③モードを選択する **＜自動応答サービスを設定するとき＞** ①着信先を設定するグループを選択する ②「3：自動応答サービス」を選択する ③リモート操作内線番号を入力する ④決定ボタンを押す **＜他の電話番号へ転送を設定するとき＞** ①着信先を設定するグループを選択する ②「4：転送電話」を選択する ③転送先リストのリスト番号を入力する ④決定ボタンを押す **＜着信拒否を設定するとき＞** ①着信先を設定するグループを選択する ②「5：着信拒否」を選択する

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
共通電話帳全消去 （2 1 4） 共通電話帳全消去 消去しない 消去する	登録されている共通電話帳をすべて消去する。	①「消去する」を選択する ②決定ボタンを押す
グループ毎コールバック （2 1 5） ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎ｺｰﾙﾊﾞｯｸ 0 ｸﾞﾙｰﾌﾟ0 1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ1 2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	電話帳グループごとに、コールバック着信時の動作を設定する。（☛P68、P69）	①コールバックを設定するグループ（0～8）を選択する ②設定を選択する 0 …設定しない 1 …システム内線着信（発信元に自動コールバックして通話する） 2 …中継発信（自宅やお店（システム設置所）を中継して発信元から外線発信できるようにする） 3 …自動応答サービス（リモコン操作により、内線電話機の呼び出しや外線発信などを行う）
中継発信規制設定 （2 1 6） 中継発信規制設定 0 ｸﾞﾙｰﾌﾟ0 1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ1 2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	中継発信（☛P184）の相手先として発信を許可するかどうかを、電話帳グループごとに設定する。	①設定するグループ（0～8）を選択する ②設定を選択する 0 …規制しない 1 …規制する

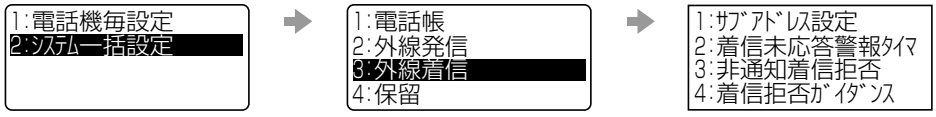
お知らせ

中継発信規制設定を有効にするには、中継発信できる相手先を限定するための「システム設定」が必要です。（☛P174）

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

：お買い求め時の設定

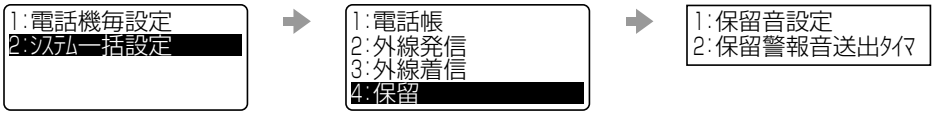
メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
発信可能ダイヤル設定 （2 2 1） 発信可能ﾀﾞｲﾔﾙ設定 電話番号(01-40)?	発信を許可する電話番号（最大10桁）を設定する。ダイヤルした電話番号に、登録されている番号と一致する部分がないと発信できない。	①登録番号（01～40）を入力する ②決定ボタンを押す ③電話番号を入力する ④決定ボタンを押す
発信規制ダイヤル設定 （2 2 2） 発信規制ﾀﾞｲﾔﾙ設定 電話番号(01-40)?	発信を禁止する電話番号（最大10桁）を設定する。ダイヤルした電話番号に、登録されている番号と一致する部分があると発信できない。	①登録番号（01～40）を入力する ②決定ボタンを押す ③電話番号を入力する ④決定ボタンを押す
削除ダイヤル設定 （2 2 3） 削除ﾀﾞｲﾔﾙ設定 電話番号(01-20)?	発信規制のチェック対象から除外する番号（最大6桁）を登録する。	①登録番号（01～20）を入力する ②決定ボタンを押す ③電話番号を入力する ④決定ボタンを押す
事業者識別番号付与 （2 2 4） 事業者識別番号付与 0:自動付与しない 1:自動付与する	携帯電話に電話をかけるとき、あらかじめ設定された事業者識別番号の自動付与をするかどうかを設定する。	①設定を選択する 0 …自動付与しない 1 …自動付与する



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
サブアドレス設定 （ 2 3 1 ） ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ設定 内線　1 - 内線　2 - 内線　3 -	内線電話機にサブアドレスを設定する。	①設定する内線を選択する ②サブアドレスを入力する ③決定ボタンを押す
着信未応答警報タイマ （ 2 3 2 ） 着信未応答警報ﾀｲﾏ ﾀｲﾏ(0-255)×10秒? 0 0:警報無し	外線着信に対して一定の時間内に応答しなかったときに、着信音が警報音に切り替わるように設定する。	①秒数を10で割った数字（0（警報無し）～255）を入力する ②決定ボタンを押す
非通知着信拒否 （ 2 3 3 ） 非通知着信拒否 0:非通知 1:公衆電話 2:表示圏外	電話番号非通知の着信、公衆電話からの着信、表示圏外からの着信を拒否するかどうかを設定する。 （☛P108）	①非通知着信拒否する項目を選択する ②設定を選択する 0 …拒否しない 1 …拒否する
着信拒否ガイダンス （ 2 3 4 ） 着信拒否ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ 1:非通知着信拒否 2:発番号着信拒否	電話番号を通知してこない着信または着信拒否する電話番号からの着信に対して、音声ガイダンスを送出するかどうかを設定する。 （☛P109）	①「非通知着信拒否」または「発番号着信拒否」を選択する ②設定を選択する 0 …ガイダンス送出しない 1 …ガイダンス送出する

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
保留音設定 （ ABC2 GHI4 1 ） 保留音設定 0:ｸﾞﾘｰﾝｽﾘｰﾌﾞｽ 1:峠の我が家 2:ｶﾉﾝ	保留メロディを選択する。	①保留メロディを選択する 0 …「グリーンスリーブス」 1 …「峠の我が家」 ABC2 …「カノン」 DEF3 …「SUPERCALIFRAGILISTICEXPIALIDOCIOUS」 GHI4 …「TO LOVE YOU MORE」 JKL5 …「春の歌」 MNO6 …「主よ人の望みの喜びを」 PQRS7 …「メヌエット」 ②決定ボタンを押す
保留警報音送出タイマ （ ABC2 GHI4 ABC2 ） 保留警報音送出ﾀｲﾏ ﾀｲﾏ(0-255) ×10秒? 0 0:警報無し	保留状態が続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する。	①秒数を10で割った数字（ 0（警報無し） ～255）を入力する ②決定ボタンを押す

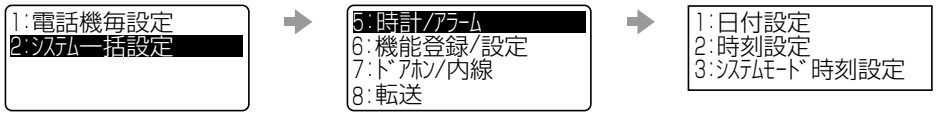
ワンポイント

●保留メロディを試聴するには

「保留音設定」の操作の際には、上下ボタンで曲を選択するごとにメロディがスピーカから流れて試聴できます。試聴中に決定ボタンを押すと、メロディが止まります。

お知らせ

「保留音設定」の操作で、保留メロディを試聴しているときに保留中の内線電話機があると、その保留メロディも試聴中のメロディに切り替わりますのでご注意ください。

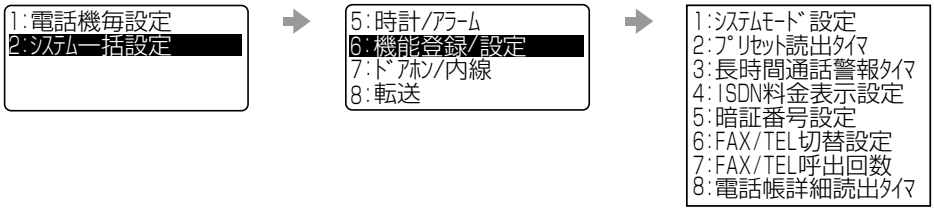


メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
日付設定 （ABC2 JKL5 1） 日付設定 ▌/ /	時計機能の日付を設定する。（☛P22）	①西暦の下2桁、月、日を入力する ②決定ボタンを押す
時刻設定 （ABC2 JKL5 ABC2） 時刻設定 ▌:	時計機能の時刻を設定する。（☛P24）	①時刻（24時間制）を入力する ②決定ボタンを押す
システムモード時刻設定 （ABC2 JKL5 DEF3） ｼｽﾃﾑﾓｰﾄﾞ時刻設定 ﾃｰﾌﾞﾙ番号(1-8)?	システムモード切替時刻とモードをセットにしたタイムテーブル（最大8つ）を登録する。	①テーブル番号（1～8）を入力する ②決定ボタンを押す ③時間帯の登録先（1～8）を選択する ④時刻（24時間制）を入力する ⑤モードを選択する 0 …昼 1 …夜 ABC2 …休憩 DEF3 …休日 ⑥決定ボタンを押す

お知らせ

「日付設定」と「時刻設定」は、他の人が外線を使用しているときは、設定できません。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



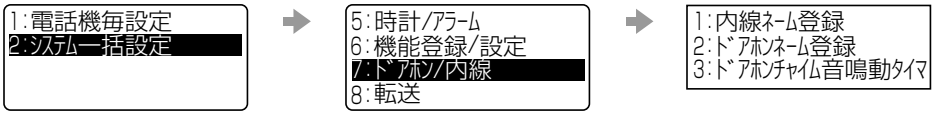
：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
システムモード設定 （ 2 6 1 ） ｼｽﾃﾑﾓｰﾄﾞ設定 0:自動 1:昼ﾓｰﾄﾞ 2:夜ﾓｰﾄﾞ	システムモード（昼／夜／休憩／休日）を切り替える。	①システムモード（ 自動 ／昼モード／夜モード／休憩モード／休日モード）を選択する
プリセット読出タイマ （ 2 6 2 ） ﾌﾟﾘｾｯﾄ読出ﾀｲﾏ ﾀｲﾏ(1-30)秒? 6	プリセットダイヤルの表示を継続する秒数を設定する。	①秒数（1～30）（ 6 秒）を入力する ②決定ボタンを押す
長時間通話警報タイマ （ 2 6 3 ） 長時間通話警報ﾀｲﾏ ﾀｲﾏ(0-255)×10秒? 0 0:警報無し	通話が長時間続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する。最初の警報音が鳴ったあとは、3分ごとに警報音が鳴る。	①秒数を10で割った数字（ 0（警報無し）～255）を入力する ②決定ボタンを押す
ISDN料金表示設定 （ 2 6 4 ） ISDN料金表示設定 0:設定しない 1:設定する	INSネット64で電話をかけたときの料金表示の設定を行う。	①設定を選択する 0 …設定しない 1 …設定する
暗証番号設定 （ 2 6 5 ） 暗証番号設定 旧暗証番号?	外線転送時の暗証番号を設定する。	①現在の暗証番号（「 0000 」）を入力する ②決定ボタンを押す ③新しい暗証番号を入力する ④決定ボタンを押す ⑤再度新しい暗証番号を入力する ⑥決定ボタンを押す

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
FAX/TEL切替設定 （ABC2 MNO6 MNO6） FAX/TEL切替設定 0:設定しない 1:FAX/TEL切替 2:FAX自動転送	ファクスが送られてきたときに、ファクスへの転送を自動的に行う機能を設定する。	①設定を選択する 0 …設定しない 1 …FAX/TEL切替 ABC2 …FAX自動転送 DEF3 …両サービス設定
FAX/TEL呼出回数 （ABC2 MNO6 PQRS7） FAX/TEL呼出回数 回数(3-30)? 20	ファクスが応答しなかった場合に自動的に外線を切断するまでの呼び出し回数を設定する。	①呼び出し回数（3～30）（20 回）を入力する ②決定ボタンを押す
電話帳詳細読出タイマ （ABC2 MNO6 TUV8） 電話帳詳細読出ﾀｲﾏ ﾀｲﾏ(1-30)秒? 6	電話帳詳細画面の表示を継続する秒数を設定する。	①秒数（1～30）（6 秒）を入力する ②決定ボタンを押す

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

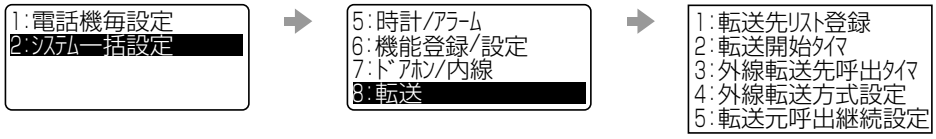


：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
内線ネーム登録 （ABC2 PQRS7 1） 内線ﾈｰﾑ登録 内線番号?	内線電話機ごとの名称を登録する。（☛P77）	①内線番号を入力する ②決定ボタンを押す ③名称（内線1～8）を入力する ④決定ボタンを押す
ドアホンネーム登録 （ABC2 PQRS7 ABC2） ﾄﾞｱﾎﾝﾈｰﾑ登録 ﾄﾞｱﾎﾝ番号(1-2)?	ドアホン着信のときなどに表示させるドアホン名称を登録する。	①ドアホン番号（1～2）を入力する ②決定ボタンを押す ③名称（ドアホン1～2）を入力する ④決定ボタンを押す
ドアホンチャイム音鳴動タイマ （ABC2 PQRS7 DEF3） ﾄﾞｱﾎﾝﾁｬｲﾑ音鳴動ﾀｲﾏ ﾀｲﾏ(1-255)秒? 10	ドアホンのチャイム音が鳴動する時間を設定する。	①秒数（1～255）（10秒）を入力する ②決定ボタンを押す

お知らせ

- 「ドアホンチャイム音鳴動タイマ」の設定は、カラーカメラドアホンまたはカラーカメラドアホン-PⅡをご利用の場合は変更しないでください。
- 「ドアホンネーム登録」や「ドアホンチャイム音鳴動タイマ」の設定は、オプションのドアホンを接続していない場合は無効です。



：お買い求め時の設定

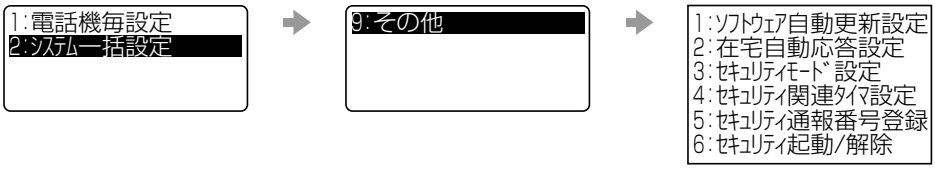
メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
転送先リスト登録 （ (ABC2) (TUV8) (1) ） 転送先ﾘｽﾄ登録 ﾘｽﾄ番号 (01-20) ?	「電話帳グループ転送」や「システムモード転送」の転送先電話番号を登録する。	①リスト番号（01～20）を入力する ②決定ボタンを押す ③登録先を選択する ④転送先の電話番号を入力する ⑤決定ボタンを押す
転送開始タイマ （ (ABC2) (TUV8) (ABC2) ） 転送開始ﾀｲﾏ 外線ﾎﾞﾀﾝを押下してください	着信から転送を開始するまでの秒数を設定する。	①外線ボタンを押す ②秒数（ 0（即時転送）～255）（ 5 秒）を入力する ③決定ボタンを押す
外線転送先呼出タイマ （ (ABC2) (TUV8) (DEF3) ） 外線転送先呼出ﾀｲﾏ 外線ﾎﾞﾀﾝを押下してください	転送先リストの電話番号へ順次転送を行う間隔を設定する。	①外線ボタンを押す ②秒数（6～100）（ 30 秒）を入力する ③決定ボタンを押す
外線転送方式設定 （ (ABC2) (TUV8) (GHI4) ） 外線転送方式設定 0:同時転送 1:順次転送	転送先リストの電話番号への発信を、同時／順次のどちらの方法で行うかを設定する。	①設定を選択する (0) …同時転送 (1) …順次転送
転送元呼出継続設定 （ (ABC2) (TUV8) (JKL5) ） 転送元呼出継続設定 0:設定しない 1:設定する	転送元の呼び出しを、外線転送後も継続するかどうかを設定する。	①設定を選択する (0) …設定しない（継続しない） (1) …設定する（継続する）

ワンポイント

●転送先リストの登録内容を消去するには

転送先リスト登録の登録・設定操作③で内容を消去する転送先リストを選択し、クリアボタンを押して電話番号を消去して決定ボタンを押します。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
ソフトウェア自動更新設定 （ 2 9 1 ） ｿﾌﾄｳｪｱ自動更新設定 0:最新ｿﾌﾄを自動更新 1:重要ｿﾌﾄは自動更新 2:更新通知のみ	主装置ソフトウェア更新が必要かどうかのチェックや最新ソフトウェアのダウンロードを自動で行うかどうかを設定する。	①設定を選択する 0 …最新ソフトを自動更新（自動チェック+最新ソフトウェアおよび重要最新ソフトウェアをダウンロード） 1 …重要ソフトは自動更新（自動チェック+重要最新ソフトウェアのみのダウンロード） 2 …更新通知のみ（自動チェックのみ） 3 …自動更新無効（自動では行わない）
在宅自動応答設定 （ 2 9 2 ） 在宅自動応答設定 0:自動応答しない 1:自動応答する	外からの電話に50秒間だれも応答しなかった場合に、自動応答サービス（☛P70）を利用できるようにするかどうかを設定する。	①設定を選択する 0 …自動応答しない 1 …自動応答する
セキュリティモード設定 （ 2 9 3 ） ｾｷｭﾘﾃｨﾓｰﾄﾞ 0:内線発報 1:外線発報 2:内外線発報	侵入者を検知したときの通報先を、内線、外線、またはその両方に設定する。	①設定を選択する 0 …内線発報 1 …外線発報 2 …内外線発報
セキュリティ関連タイマ設定 （ 2 9 4 ） ｾｷｭﾘﾃｨﾓｰﾄﾞ 1:ｾﾝｻ監視開始ﾀｲﾏ 2:ｾｷｭﾘﾃｨ通報開始ﾀｲﾏ 3:自動威嚇音開始ﾀｲﾏ	セキュリティサービスの各種動作のタイミングを設定する。	**＜起動から監視開始までの秒数を設定するとき＞** ①「1：センサ監視開始タイマ」を選択する ②秒数（1～255）(180秒)を入力する ③決定ボタンを押す **＜検知信号受信から通報開始までの秒数を設定するとき＞** ①「2：セキュリティ通報開始タイマ」を選択する ②秒数（1～255）(30秒)を入力する ③決定ボタンを押す **＜検知信号受信から自動威嚇音の送出開始までの秒数を設定するとき＞** ①「3：自動威嚇音開始タイマ」を選択する ②秒数（1～255）(30秒)を入力する ③決定ボタンを押す

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概　要	登録・設定操作
セキュリティ通報番号登録 （ ㊷ ㊾ ㊺ ） セｷｭﾘﾃｨ通報番号登録 1:電話番号1 2:電話番号2 3:電話番号3	侵入者を検知したときの通報先電話番号を登録する。 （☛P90）	①登録先を選択する ②通報先の電話番号を入力する ③決定ボタンを押す
セキュリティ起動／解除 （ ㊷ ㊾ ㊻ ） セｷｭﾘﾃｨ起動/解除 0:ｾｷｭﾘﾃｨｻｰﾋﾞｽ解除 1:ｾｷｭﾘﾃｨｻｰﾋﾞｽ起動	セキュリティサービスを起動／解除する。（☛P91）	**＜解除するとき＞** ①「0：セキュリティサービス解除」を選択する ②セキュリティ暗証番号を入力する ③決定ボタンを押す **＜起動するとき＞** ①「1：セキュリティサービス起動」を選択する

ワンポイント

●ソフトウェアについて

主装置ソフトウェアには、次の2種類のソフトウェアがあります。

- 最新ソフトウェア　　：機能・性能を向上した主装置ソフトウェア
- 重要最新ソフトウェア：特に重要な機能・性能を向上した主装置ソフトウェア

お知らせ

重要最新ソフトウェアの更新を行わないと、本来の機能・性能を発揮できない場合があります。

特番を使って操作するには

特番一覧

■ダイヤル中特番

特番は「システム設定」によって変更できます。変更した場合は[　]に記入してください。

名　称	機　能	特　番	参照先
外線発信番号	空いている外線を選んで発信する	0 [　]	☛P58、97
フッキング信号送出番号	フッキング信号を送出する（※単体電話機、ディジタルコードレス電話機のみで有効）	9 1 0 [　]	☛P97
外線群指定発信	外線グループ（1～4）の中から空き外線を選んで発信する	9 1 1 ～ 9 1 4 [　]	☛P59、95
パーク保留応答	パーク保留に応答する	9 2 [　]	－
パーク保留	通話をパーク保留する	9 3 [　]	－
モード切替（自動）	システムモードの設定を解除する	9 4 0 [　]	－
モード切替（昼）	システムモードを昼モードに設定する	9 4 1 [　]	－
モード切替（夜）	システムモードを夜モードに設定する	9 4 2 [　]	－
モード切替（休憩）	システムモードを休憩モードに設定する	9 4 3 [　]	－
モード切替（休日）	システムモードを休日モードに設定する	9 4 4 [　]	－
ドアホン	ドアホンを呼び出す	9 5 ～ 9 6 [　]	☛P76
TEN対応転送先リスト登録	電話機起動転送先リストを登録する	9 7 3 [　]	☛P87
圏外時サービス設定	ディジタルコードレス電話機や無線LAN対応FOMAが圏外になったときの動作を設定する	9 7 8 [　]	☛P87
セキュリティサービス起動／解除	セキュリティサービスを起動／解除する	9 7 9 [　]	☛P91

名　称	機　能	特　番	参照先
電話帳発信	電話帳を使って電話をかける	⑨ ⑨ [　　]	☛P96
グループ呼出	グループの全電話機を一斉に呼び出す	＊ 0 ～ ＊ 7 [　　]	☛P51
コールバックシステム内線着信	コールバック中継発信時に、システム内線着信させる	＊ # [　　]	☛P69
代理応答	自グループの電話機への着信に代理応答する	# 0 [　　]	☛P47、51
	指定した他グループの電話機への着信に代理応答する	# 1 ～ # 3 [　　]	☛P47、51、97
	全グループの電話機への着信に代理応答する	# # [　　]	☛P47、51、75、97
ドアホン応答	チャイム音の鳴らない電話機でドアホン1～2に応答する	# ⑨ 5 ～ # ⑨ 6 [　　]	☛P75

特番を使って操作するには

ワンポイント

外出先からリモコン操作を行うには

「システム設定」により自動応答サービスを利用できるように設定している場合は、外出先から特番（PB信号）を使ってリモコン操作が行えます。

	操　作	使用する特番操作例
転送電話、留守番電話の操作（※1）	留守番電話のセット	3 +内線番号+暗証番号 # + 9 7 0 [　　]
	転送電話のセット	3 +内線番号+暗証番号 # + 9 7 1 [　　]
	転送電話、留守番電話の解除（※2）	3 +内線番号+暗証番号 # + 9 7 2 [　　]
	電話機起動転送先リストの登録	3 +内線番号+暗証番号 # + 9 7 3 [　　] + 1 ～ 3 # +転送先電話番号 #
	圏外時外線転送のセット／解除	3 +内線番号+暗証番号 # + 9 7 8 [　　] + 0 # （解除） 1 # （転送電話）
システムモードの切り替え	システムモードの解除（自動モードへの切り替え）	3 +内線番号+暗証番号 # + 9 4 0 [　　]
	昼モードへの切り替え	3 +内線番号+暗証番号 # + 9 4 1 [　　]
	夜モードへの切り替え	3 +内線番号+暗証番号 # + 9 4 2 [　　]
	休憩モードへの切り替え	3 +内線番号+暗証番号 # + 9 4 3 [　　]
	休日モードへの切り替え	3 +内線番号+暗証番号 # + 9 4 4 [　　]
セキュリティサービスの操作	起動	3 +内線番号+暗証番号 # + 9 7 9 [　　] + 1 #
	解除	3 +内線番号+暗証番号 # + 9 7 9 [　　] + 0 # +セキュリティ暗証番号+ #

※1：留守番電話の機能をご利用になるには、別途オプションの留守番停電電話機が必要です。

※2：転送電話と留守番電話の両方をセットしている場合は、どちらも解除されます。

■機能特番

機能ボタンを押したあと、それぞれの特番を押して操作します。

特番は「システム設定」によって変更できます。変更した場合には［　］に記入してください。

名　称	機　能	特　番	参照先
会議（内／外線ダイヤル招集）	通話中に他の内線／外線を呼び出して会議通話を行う	1 [　]	☛P64
口頭招集会議	通話中に口頭で他の内線を呼び、会議通話を行う	2 [　]	☛P62
外線転送割込み	外の方との通話を他の外線に転送したあとで、通話に割り込む	52 [　]	☛P49
主装置ソフト バージョン表示	主装置ソフトのタイプとバージョンを表示する	70 [　]	−
ブロードバンドルータ ユニットIPアドレス表示	IPアドレスとサブネットマスクを表示する（※一部の電話機ではサブネットマスクが表示できません）	71 [　]	−
秘話解除（通話モニタ）	通話中に、他の内線電話機に通話モニタを許可する	77 [　]	☛P33
暗証番号初期化	暗証番号をお買い求め時の状態（0000）に戻す	81 [　] ※	−
ブロードバンドルータ ユニットのパスワード初期化	ブロードバンドルータユニットのパスワードを初期化する	82 [　] ※	−
通信中転送機能	フレックスホンの通信中転送機能を利用する	92 [　]	☛P118
三者通話機能（ミキシングモード）	フレックスホンの三者通話機能（ミキシングモード）を利用する	93 [　]	☛P116
着信転送機能起動／解除	フレックスホンの着信転送機能を利用するために、着信転送モードを設定／解除する	95 [　]	☛P120
通信中着信通知一時停止設定／解除	通信中着信通知の機能を一時的に停止／一時停止を解除する	98 [　]	☛P115
発信専用制御設定／解除	発信専用制御を設定／解除する	99 [　]	☛P103
最新バージョン問合せ	ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックする	＊ 1 0 [　]	☛P176
ソフトウェアダウンロード実行	最新のソフトウェアをダウンロードする	＊ 1 1 [　]	☛P177
通話中PB信号送出停止	外線通話中、一時的にダイヤル送出を停止する	＊ 99 [　]	☛P53
キーパッドモード切替	キーパッドの送出モードを切り替える	＊ ＊ [　]	☛P111

※：スピーカボタンを押したあと、機能ボタンを押し、特番を押して操作してください。

特番を使って操作するには

■設定特番

内線ボタンを押して、決定ボタンを押したあと、それぞれの特番を押して操作します。
特番は「システム設定」によって変更できます。変更した場合には［　　］に記入してください。

名　称	機　能	特　番	参照先
日付設定	日付を設定する	0 1 [　　]	☛P22
時刻設定	時刻を設定する	0 2 [　　]	☛P24
システムモード時刻設定	システムモードを自動的に切り替える時刻を設定する	0 3 [　　]	☛P147
セキュリティモード設定	セキュリティサービスの通報先を、内線、外線、またはその両方に設定する	0 5 [　　]	☛P152
セキュリティ関連タイマ設定	セキュリティサービスの各種動作のタイミングを設定する	0 6 [　　]	☛P152
セキュリティ通報番号登録	セキュリティサービスの通報先電話番号を登録する	0 7 [　　]	☛P153
電話帳検索モード設定	電話帳ボタンを押したときに表示される検索画面の優先順位を設定する	1 1 [　　]	☛P132
暗証番号設定	電話機ごとの暗証番号を登録する	1 2 [　　]	☛P140
着信音色設定	外線・内線の着信音を設定する	2 1 [　　]	☛P134
非通知着信拒否設定	電話番号非通知の着信、公衆電話からの着信、表示圏外からの着信を拒否するかどうかを設定する	2 2 [　　]	☛P108
グループ毎鳴動設定	電話帳グループごとの着信音を設定する	2 4 [　　]	☛P132
ドアホン鳴動設定	ドアホンごとに呼出音を鳴らすかを設定する	2 6 [　　]	☛P138
ISDN料金表示設定	INSネット64で電話をかけたときの料金表示を行うかどうかを設定する	2 7 [　　]	☛P148
ダイヤル押下音設定	ダイヤルボタンを押したときに音を鳴らすかどうかを設定する	2 8 [　　]	☛P140
事業者識別番号付与	携帯電話に電話をかけるとき、あらかじめ設定された事業者識別番号の自動付与をするかどうか設定する	2 9 [　　]	☛P144
転送開始タイマ	着信から転送を開始するまでの秒数を設定する	3 0 [　　]	☛P151
外線転送先呼出タイマ	転送先リストの電話番号へ順次転送を行う間隔を設定する	3 1 [　　]	☛P151
グループ毎コールバック	電話帳グループごとに、コールバック着信があったときの動作を設定する	3 2 [　　]	☛P143
外線転送方式設定	転送先リストの電話番号への発信を、同時／順次のどちらの方法で行うかを設定する	3 4 [　　]	☛P151
転送元呼出継続設定	転送元の呼び出しを、外線転送後も継続するかどうかを設定する	3 5 [　　]	☛P151
FAX/TEL呼出回数	ファクスが応答しなかった場合に自動的に外線を切断するまでの呼び出し回数を設定する	3 6 [　　]	☛P149
FAX/TEL切替設定	ファクスが送られてきたときにファクスへの切り替えを行う機能を設定する	3 7 [　　]	☛P149
プリセット読出タイマ	プリセットダイヤルの表示を継続する秒数を設定する	4 0 [　　]	☛P148
保留警報音送出タイマ	保留状態が続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する	4 1 [　　]	☛P146

名　称	機　能	特　番	参照先
長時間通話警報タイマ	通話が長時間続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する	GHI 4 ABC 2 [　　]	☛P148
ドアホンチャイム音鳴動タイマ	ドアホンからの呼び出しに鳴動する時間を設定する	GHI 4 DEF 3 [　　]	☛P150
ワンタッチ／プリセレクション選択	発信時の動作をワンタッチ／プリセレクションのどちらにするかを設定する	JKL 5 0 [　　]	☛P133
オフフック外線発信設定	オフフックにより、「システム設定」で設定された内線／外線を捕捉する機能を設定する	JKL 5 1 [　　]	☛P133
オフフック外線応答設定	外線ボタンを押さなくても、ハンドセットを取りあげるだけで着信に応答できる機能を設定する	JKL 5 ABC 2 [　　]	☛P134
着信音停止設定	着信音を鳴らさないようにする	JKL 5 DEF 3 [　　]	☛P134
内線呼出音設定	内線からの呼び出しをトーン（信号音）呼出とするか音声呼出とするかを設定する	JKL 5 GHI 4 [　　]	☛P138
内線ホットライン設定	ハンドセットを取りあげるだけで呼び出せる内線番号を登録する	JKL 5 JKL 5 [　　]	☛P138
保留音設定	保留メロディを設定する	JKL 5 MNO 6 [　　]	☛P146
不在着信転送設定	不在着信転送を設定／解除する	JKL 5 PQRS 7 [　　]	☛P138
外線毎着信拒否設定	ダイヤルイン番号が割り当てられている外線ボタンを、一時的に着信拒否する	JKL 5 TUV 8 [　　]	☛P134
履歴ランプ表示設定	かかってきた電話に出なかったときに、着歴ランプを点滅（周期的に2回点灯）表示させてお知らせするかどうかを設定する	JKL 5 WXYZ 9 [　　]	☛P140
時計アラーム（1回）	電話機のアラーム（1回のみ）をセットする	MNO 6 0 [　　]	☛P137
時計アラーム（毎日）	電話機のアラーム（毎日同時刻に繰り返す）をセットする	MNO 6 1 [　　]	☛P137
サブアドレス設定	内線電話機にサブアドレスを設定する	WXYZ 9 1 [　　]	☛P145
着信転送（転送先番号の登録）	フレックスホンの着信転送機能を利用するために、転送先電話番号を登録する	WXYZ 9 MNO 6 [　　]	☛P119

パソコンを使って登録・設定をするには（Web設定）

主装置にLAN接続したパソコンでWWWブラウザを起動し、パソコンの画面を見ながらさまざまな項目を登録・設定する「Web設定」が行えます。
Web設定を行うには、次のパフォーマンスが必要です。条件を満たしていない場合には、正しく動作しないことがありますのでご注意ください。

項　目	条　件
OS	Windows®2000または Windows®XPまたは Windows® Vista
CPU	Pentium®Ⅲ 500MHz以上　1GHz以上推奨
表示	SVGA（800×600ドット）以上
LAN	10BASE-T／100BASE-TX対応のLANカード／ボード
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 6.0X、7.0X
RAM	128MB以上（256MB以上推奨）
HDD	100MB以上の空き領域

（注）Microsoft Windowsは米国Microsoft Corporationの米国および、その他の国における商標または登録商標です。

お知らせ

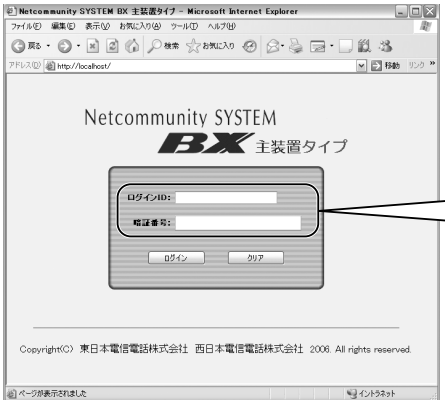
- お買い求め時の主装置のIPアドレス、サブネットマスクは、下記のように設定されています。
  IPアドレス　　：192.168.1.10
  サブネットマスク：255.255.255.0
  「システム設定」によりお客さまのネットワーク環境に合わせて変更することができます。
- ネットワークの状態などにより、ページの読み込みがうまくいかない場合があります。その場合は、もう一度同じ操作をするか、再度ログインし直して作業を続けてください。

主装置と接続してWeb設定を行う

パソコンでブラウザを起動し、ユーザID（内線番号）と暗証番号を入力してログインします。

①パソコンでインターネットエクスプローラ（6.0以上）を起動します。
②[アドレス] ボックスに主装置のIPアドレスを入力し［　　］、[移動] ボタンをクリックします。
お買い求め時の主装置のIPアドレスは「192.168.1.10」です。
③ユーザID（内線番号）を入力します。
④暗証番号を入力します。
お買い求め時の暗証番号は、「0000」です。
⑤[ログイン] ボタンをクリックします。
データ設定区分メニューが表示されます。
メインメニュー画面（☛P162）が表示されます。

＜ログイン画面＞



ユーザIDと暗証番号を入力します。

ワンポイント

○暗証番号を変更するには
Web設定で変更できます。

●Web設定のデータ編集を中止するには
[元に戻す] ボタンをクリックすると、編集前の設定状態に戻ります。また、[設定] ボタンをクリックする前に次の操作を行った場合には編集結果は反映されません。
- 他のページへ移動
- [メニューへ戻る] ボタンをクリック
- インターネットエクスプローラを終了

●メインメニュー画面に戻るには
[メニューへ戻る] ボタンが表示されているときは、このボタンをクリックしてメインメニュー画面に戻ることができます。

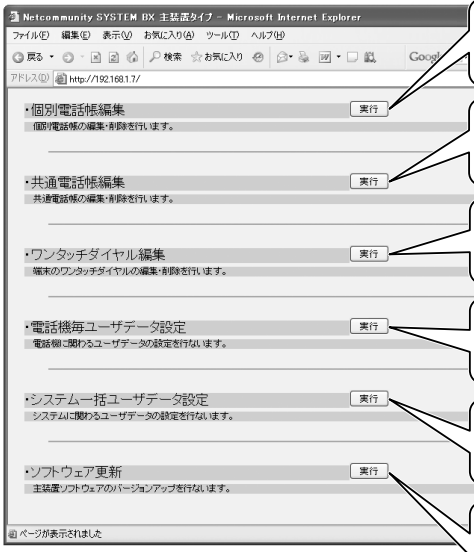
●Web設定を終了するには
インターネットエクスプローラを終了します。

お知らせ

主装置のIPアドレス/CallHist.html（初期値：192.168.1.10/CallHist.html）を入力してログインするとWeb通話履歴を表示できます。

パソコンを使って登録・設定をするには（Web設定）

■メインメニュー画面



個別電話帳の編集、削除を行うときにクリックします。

共通電話帳の編集、削除を行うときにクリックします。

電話機ごとのワンタッチダイヤルを登録、編集するときにクリックします。

電話機ごとのユーザデータ設定を行うときにクリックします。

システム全体にかかわるユーザデータ設定を行うときにクリックします。

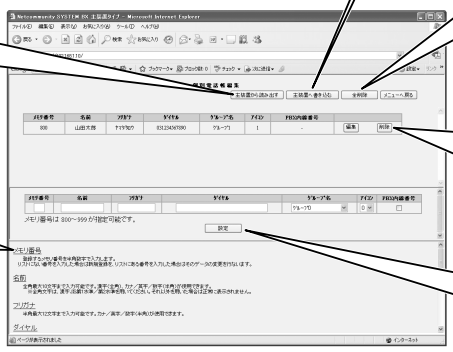
主装置ソフトウェアの更新を行うときにクリックします。

お知らせ

クリック後の操作については、Web設定画面下欄のお知らせ画面を参照してください。（☛P163）

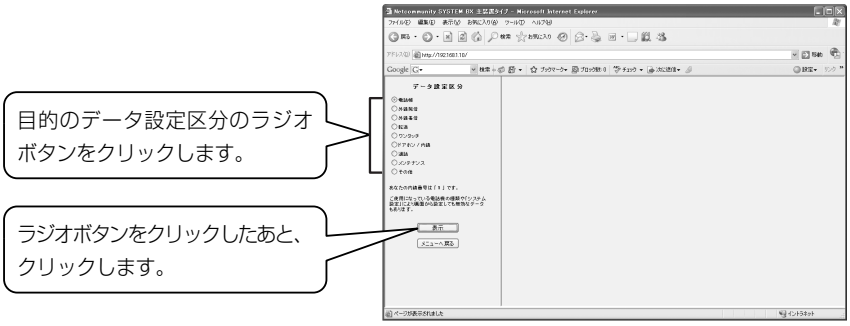
詳しい操作方法については、Web設定画面下欄のお知らせ画面を参照してください。

＜電話帳編集画面＞



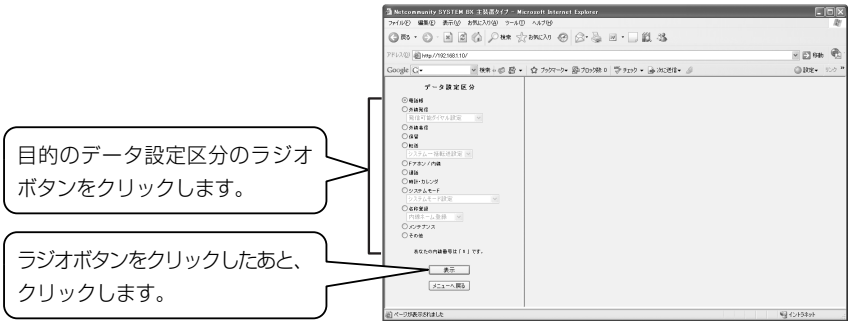
注1：読み出した電話帳データをパソコンで編集する方法については、P166～P167を参照してください。

＜電話機毎ユーザデータ設定メニュー画面＞



※設定項目についてはP164を参照してください。

＜システム一括ユーザデータ設定メニュー画面＞



※設定項目についてはP165を参照してください。

パソコンを使って登録・設定をするには（Web設定）

Web設定項目一覧

「電話機毎ユーザデータ設定」および「システム一括ユーザデータ設定」からは、それぞれ次の設定が行えます。詳しくは、Web設定画面下欄のお知らせ画面を参照してください。（☛P163）

■電話機毎ユーザデータ設定

データ設定区分	項目名
電話帳	電話帳検索モード設定
	電話帳グループ鳴動設定
外線発信	ワンタッチ／プリセレクション選択
	優先捕捉回線キー設定
	自動捕捉回線キー設定
	オフフック外線発信設定
外線着信	着信音停止設定
	外線着信鳴動設定 （昼・休憩）／（夜・休日）
	自動捕捉回線キー設定
	オフフック外線応答設定
	外線毎着信拒否
	着信音色設定
	曜日毎鳴動モード設定
転送	転送先リスト登録
	圏外時サービス設定

データ設定区分	項目名
ワンタッチ	ワンタッチ機能ボタン登録
ドアホン／内線	内線ホットライン設定
	内線呼出音設定
	ドアホン鳴動設定
	不在着信転送設定
通話	受話音保持
	受話増保持
メンテナンス	主装置IPアドレス表示
	暗証番号設定
その他	時計アラーム（1回）
	時計アラーム（毎日）
	ダイヤル押下音設定
	バックライト設定
	履歴ランプ表示設定
	着信履歴保存設定

■システム一括ユーザデータ設定

データ設定区分	項目名
電話帳	グループ名称
	グループ着信先
	グループ毎コールバック
	グループ毎中継発信規制設定
外線発信	発信可能ダイヤル設定
	発信規制ダイヤル設定
	削除ダイヤル設定
	事業者識別番号付与設定
外線着信	自動応答サービス外線発信用暗証番号
	着信未応答警報タイマ
	着信拒否ガイダンス送出設定
	非通知着信拒否設定
	サブアドレス設定
保留	保留音切替
	保留警報音送出タイマ
転送	転送先リスト登録
	外線転送方式設定
	転送元呼出継続設定
	転送開始タイマ
	外線転送先呼出タイマ
ドアホン／内線	ドアホンチャイム音鳴動タイマ
通話	ISDN通話料金表示設定
	長時間通話警報タイマ

データ設定区分	項目名
時計・カレンダ	日付設定
	時計設定
システムモード	システムモード設定 （自動／昼／夜／休憩／休日）
	システムモード切替時刻設定
	曜日毎システムモードテーブル設定
	特定日システムモードテーブル設定
名称登録	内線ネーム登録
	ドアホンネーム登録
	回線ネーム登録
メンテナンス	IPアドレス自動取得設定
	自IPアドレス設定
	サブネットマスク設定
	ゲートウェイIPアドレス設定（LAN）
	DNSサーバIPアドレス設定
	Web設定用ポート番号設定
	ソフトウェア自動更新設定
センサ起動履歴	センサ起動履歴
その他	FAX/TEL呼出回数
	FAX/TEL切替設定
	プリセット読出タイマ
	電話帳詳細読出タイマ
	在宅自動応答設定
	セキュリティモード設定
	セキュリティ関連タイマ設定
	セキュリティ通報番号登録
	セキュリティ暗証番号設定

パソコンを使って電話帳を編集するには

主装置から読み出した電話帳データは、テキスト（CSV）ファイルとしてパソコンに保存されます。データの参照や追加、修正などは、Excelを使って行います。

※ここでは、Windows XPでExcel2003を使って操作する場合について説明しています。その他のバージョンでは、画面表示や操作方法などが異なる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

■電話帳データをExcelに取り込む

1 Excelを起動し、ファイルを新規作成します。

2 メニューから［データ］－［外部データの取り込み］－［データの取り込み］を選択します。

［データファイルの選択］ダイアログボックスが表示されます。

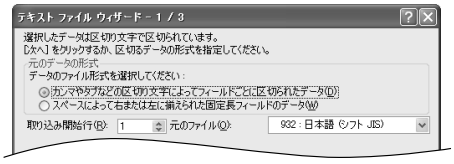
3 ［ファイルの種類］ドロップダウンリストから「テキストファイル」を選択します。

4 読み出した電話帳データを選択し、［開く］をクリックします。

電話帳データは、お客さまが指定しない限り「addressbook.csv」で保存されています。

［データファイルの選択］ダイアログボックスが表示されます。

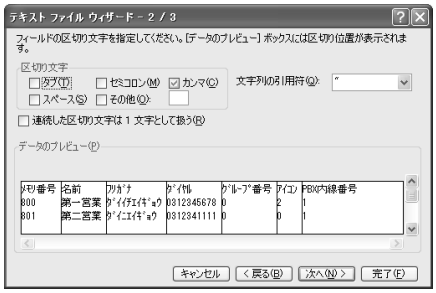
5 ［元のデータの形式］の「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」をクリックします。



6 ［次へ］をクリックします。

7 ［区切り文字］の「カンマ」をチェックします。

［データのプレビュー］で、電話帳データが正しく区切られていることを確認します。



8 ［次へ］をクリックします。

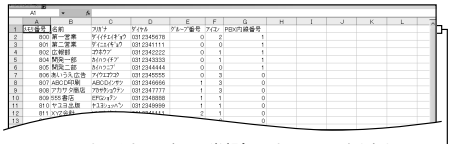
9 ［データのプレビュー］でダイヤルの列をクリックし、［列のデータ形式］から「文字列」をクリックします。

10 ［完了］をクリックします。

［データの取り込み］ダイアログボックスが表示されます。

11 「既存のワークシート」を選択し、［OK］をクリックします。

データが正しく取り込まれると、電話帳データが下図のように表示されます。



タイトル行は削除しないでください。

ワンポイント

●電話帳データの内容は

電話帳データには、次の内容が登録できます。

メモリ番号　：共通電話帳は000～799
　　個別電話帳は800～999
名前　　：全角最大10文字。漢字／ひらがな（全角）、カナ／英字／数字（半角）
フリガナ　：半角最大12文字。カナ／英字／数字（半角）
ダイヤル　：半角最大32桁。ダイヤル（0～9、＊、＃）およびポーズ（－）
グループ番号：「0」～「9」※
アイコン　：アイコン番号「0（無し）」～「9」
PBX内線番号：一般の電話番号の場合は「0」
　　PBXの内線番号の場合は「1」

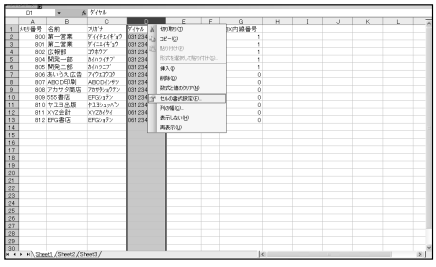
※：「グループ9」は着信拒否専用のグループです。登録時に「グループ9」を選択できるのは、共通電話帳のみです。

■電話帳データを編集するときは

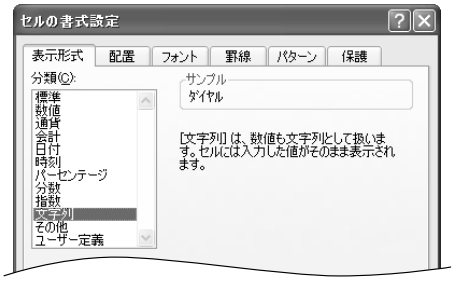
Excelに取り込んだ電話帳データを編集する場合は、必ず最初に以下の操作を行ってください。この操作を行わないと、電話番号の最初の「0」がExcelで正しく認識されません。

1 **電話番号（ダイヤル）の列を選択し、右クリックします。**

2 **表示されるメニューから「セルの書式設定」をクリックします。**
［セルの書式設定］ダイアログボックスが表示されます。



3 **［表示形式］の［分類］から「文字列」をクリックします。**



4 **［OK］をクリックします。**

5 **電話帳データを編集してください。**

■電話帳データを保存する

Excelで編集したデータを、主装置から読み出したデータと同じ形式で保存します。

1 **メニューから［ファイル］－［名前を付けて保存］を選択します。**
［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。

2 **保存先を指定します。**
ファイル名を変更して保存する場合は、［ファイル名］に新しいファイル名を入力します。

3 **［ファイルの種類］ドロップダウンリストから「CSV（カンマ区切り）」を選択します。**

4 **［保存］をクリックします。**
すでに同じファイル名のファイルが保存されている場合は、既存のファイルを置き換えるかどうかのメッセージが表示されます。
上書きする場合は［はい］をクリックします。別のファイルとして保存する場合は［いいえ］をクリックしてファイル名を変更し、［保存］をクリックします。

5 **「選択したファイルの種類は複数のシートを含むブックをサポートしていません。」というメッセージが表示されたら［OK］をクリックします。**

6 **「XXX（ファイル名）.csvには、CSV（カンマ区切り）と互換性のない機能が含まれている可能性があります。」というメッセージが表示されたら［はい］をクリックします。**
指定した場所に電話帳データが保存されます。
保存したデータは、電話帳編集画面（☛P163）の「主装置へ書き込む」ボタンを使って主装置にコピーすることができます。

ワンポイント

●電話帳データをパソコンから主装置に書き込むと
メモリ番号が同じ電話帳データは、パソコンから書き込んだ電話帳データに書き換わります。パソコンから書き込んだ電話帳データに含まれないメモリ番号の電話帳が主装置にあった場合、その電話帳は削除されずに残ります。

●主装置の電話帳データを削除するには
電話帳編集画面（☛P163）を使うと、電話帳データを簡単に削除できます。1件単位で削除するときは、「削除」ボタンを使います。全件削除するときは「全削除」ボタンを使います。

こんな音がしたら／電池交換が必要になったときは

●こんな音がしたら

	音	こんなときに…	音の意味
電話をかける／受ける	ツーツー…（内線発信音）	ハンドセットを取りあげたとき または内線ボタンを押したとき	他の内線電話機を呼び出せます
	ツー（外線発信音）	外線ボタンを押したとき	電話をかけられます
	プルルル…（呼出音）	外線または内線で相手の方を呼び出しているとき	相手の方を呼び出しています
	プープー…（話中音）	電話をかけた相手の方がお話し中のとき または他の内線電話機が使用中のとき	お話し中です
	ピッピッ・ピッピッ…（通信中着信通知音）	INSネット64の通信中着信通知サービスをご利用時、外線でお話し中に、さらに別の相手の方からの電話がかかってきたとき	別の相手の方から電話がかかってきました
登録設定	ツツツ…（設定登録音）	決定ボタンを押したとき	設定を開始します
	ピッピッ（登録確認音）	設定・登録の操作が終わったとき	正しく設定・登録されました
	ピーピー（登録確認音）		
	ピピピピピピ（登録拒否音）	無効な入力やボタン操作を行ったとき	正しく設定・登録できません
その他	ピピ・ピピ（アラーム音）	アラームの設定時刻になったとき	アラームの設定時刻になりました
	ピッ（ダイヤル押下音）	ダイヤルボタンを押したとき	ダイヤルボタンが押されました
	保留メロディ（保留音）※	電話を保留したとき	電話が保留されています
	ピンポーン（チャイム音）	ドアホンから呼び出されたとき	ドアホンから呼び出されています
	プププ（確認音）	通話中にドアホンから呼び出されたとき	ドアホンから呼び出されています

※：設定により保留メロディを切り替えることができます。（☛P146）

●電池交換が必要になったときは

電話帳などのメモリを保持するために、リチウム電池が使用されています。
電池の交換時期がくると、メモリ内容が保持できずにお買い求め時の値に戻ります。
すべての内線電話機のディスプレイに次のように表示されたあとは、お早めに電池交換をお願いいたします。
交換時期の目安は約5年です。電池の交換は、当社のサービス取扱所へ依頼してください。

12月19日(火) 午後 3:05
ﾘﾁｳﾑ電池無し

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

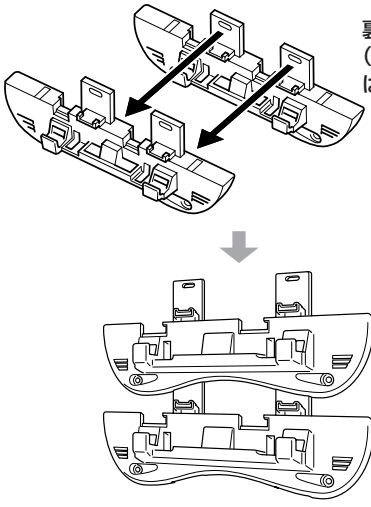
こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
全部の内線電話機が使えない	主装置の電源が入っていない	主装置の電源スイッチをオンにしてください	―
	主装置の電源コードが抜けている	電源コードを正しく接続してください	―
一部の内線電話機が使えない	内線電話機の電話機コードが抜けている	内線電話機の電話機コードを正しく接続してください	―
	ハンドセットが浮いている	ハンドセットをしっかり置き、しばらく待ってから電話をかけてください	―
着信音が鳴らない	着信音が鳴らないように設定されている	故障ではありません	☛P134
	着信音量が小さくなっている	着信音量を大きくしてください	☛P26
	システムモードが夜／休日モードになっている	故障ではありません	☛P148
「ツー」という発信音が聞こえない	決定ランプが点灯している	しばらく待ってからかけ直してください	―
	ハンドセットのコードが抜けている	ハンドセットのコードを正しく接続してください	―
	ハンドセットが浮いている	ハンドセットをしっかり置き、しばらく待ってから電話をかけてください	―
内線で呼び出すと「プープー…」という音が聞こえ、呼び出せない	相手の電話機がお話し中	故障ではありません	―
	内線番号が違う	内線番号を確認してください	―
内線で呼び出すと他の内線電話機の着信音が鳴る	内線番号が違う	内線番号を確認してください	―
会議通話ができない	他の内線電話機で会議通話を行っている	他の内線電話機の会議通話が終了するまでお待ちください	―
外出先からのリモコン操作ができない	プッシュ信号を送れない電話機から操作している	プッシュ信号を送れる電話機から操作してください	☛P71
	ガイダンスが聞こえている間に操作した	携帯電話などから操作する場合は、ガイダンスが終了してから操作してください	☛P71
ドアホンからのチャイム音が鳴らない	着信音量が小さくなっている	着信音量を大きくしてください	☛P26
	ドアホンのチャイム音が鳴らないように設定されている	故障ではありません	☛P138
ダイヤルが終わっても呼出音が聞こえるまで時間がかかる	相手の方がナンバー・ディスプレイや発信者番号表示をご利用の場合は、呼出音が聞こえるまでの時間が長くなることがある	故障ではありません	―
ディスプレイに「リチウム電池無し」と表示される	メモリ保持電池の交換が必要な時期が近づいた	リチウム電池を交換してください	☛P168

添付品／付属品／オプションをご利用になるには

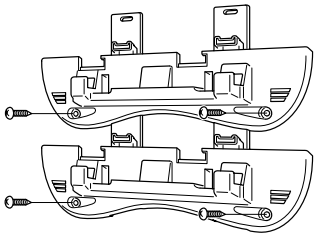
添付品をご利用になるには

■主装置を壁に取り付けて使う

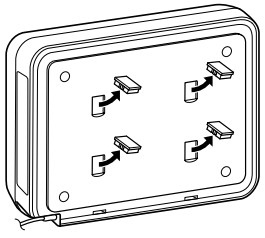
1 壁掛け卓上脚の片方の凹部と、もう一方の壁掛け卓上脚の凸部を合わせて接続します。



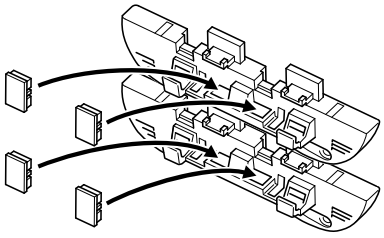
2 つなげた壁掛け卓上脚をネジで壁に取り付けます。



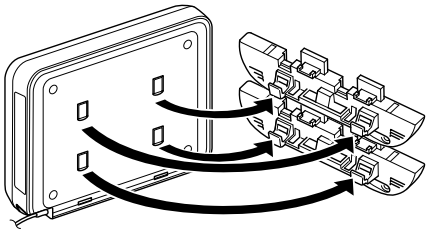
3 背面の凹部カバーを外します。



4 凹部カバーを壁掛け卓上脚のポケットに収納します。



5 壁に取り付けた壁掛け卓上脚に主装置を取り付けます。

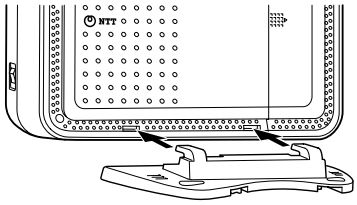


⚠注意

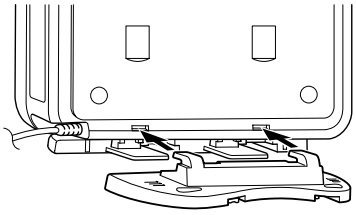
主装置を取り付ける前に、壁掛け卓上脚が壁に確実に取り付けられているか確認してください。薄いベニヤ板や柔らかい壁などに取り付けると、重みでネジが抜けて主装置が落下し、故障やけがの原因となることがあります。

■主装置を立てて使う

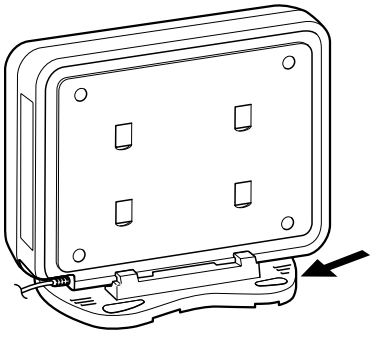
1 主装置に、壁掛け卓上脚の片方を取り付けます。



2 主装置の反対側の面に、もう一方の壁掛け卓上脚を取り付けます。



3 図のようにスライドさせて2つの壁掛け卓上脚がかみ合うように固定します。



添付品／付属品／オプションをご利用になるには

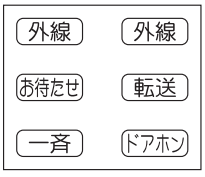
付属品をご利用になるには

■電話機用シールを使う

1 電話機パネルの下側のくぼみに、先のとがったものを差し込み、上に引き上げます。

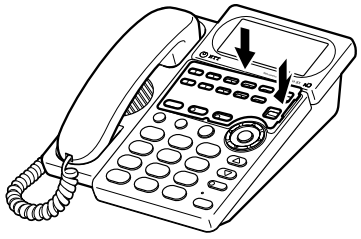
2 ワンタッチダイヤルカードを取り出し、ワンタッチボタンに登録した相手先を記入します。

3 フレキシブルボタンに「外線」「転送」などを登録しているときは、ワンタッチダイヤルカードに電話機用シールを貼り付けます。



4 ワンタッチダイヤルカードをセットして、電話機パネルの左側のツメを電話機に差し込みます。

5 電話機パネルの上側および右側のツメを電話機に差し込みます。

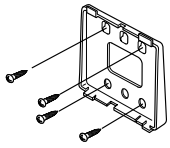


オプションをご利用になるには

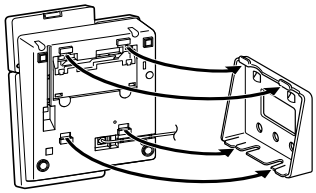
■電話機を壁に取り付ける

壁掛け用品を利用して、電話機を壁にかけてお使いになれます。

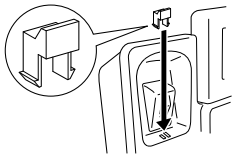
1 **壁掛け用品をネジで壁に取り付けます。**



2 **電話機を壁掛け用品に取り付けます。**
上側のツメをはじめに差し込み、次に下のツメを指で上にたわませながら差し込みます。



3 **壁掛け用品に添付されているハンドセット受けを電話機に取り付けます。**

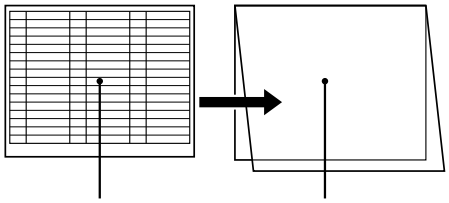


⚠注意

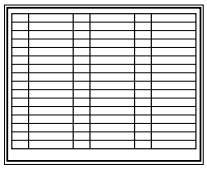
電話機を取り付ける前に、壁掛け用品が壁に確実に取り付けられているか確認してください。薄いベニヤ板や柔らかい壁などに取り付けると、重みでネジが抜けて電話機が落下し、故障やけがの原因となることがあります。

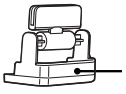
■短縮ダイヤルカードを使う

1 **短縮ダイヤルカードに登録した相手先を記入し、短縮ダイヤルカードケースに入れます。**

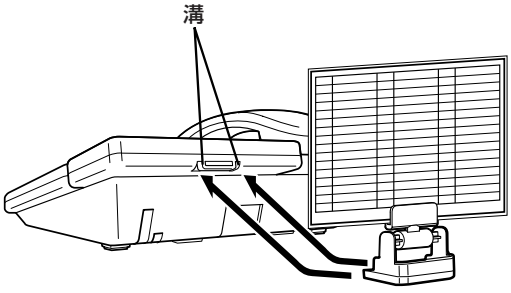


2 **短縮ダイヤルカードケースを短縮ダイヤルカードケースホルダに入れます。**





3 **短縮ダイヤルカードケースホルダのツメを、電話機背面の溝に入れます。**
短縮ダイヤルカードケースホルダを取り外すときは、両側のツメを押さえながら、溝から引き抜きます。



システム設定によりご利用になれる機能

ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプの機能には、お客さまが登録・設定できる機能のほか、システムの設置時にあらかじめ「システム設定」で登録・設定しておく機能が多数あります。「システム設定」すると、次の機能をご利用になることができます。
「システム設定」を行いたいときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。

発　信

■中継発信できる相手先を限定する

「システム設定」により、中継発信（☛P184）できる相手先を、共通電話帳に登録されている電話番号のみに限定することができます。
さらにメニュー設定の「中継発信規制設定」（☛P143）を利用して、限定する相手先を電話帳グループごとに分けることができます。

■外線と内線電話機をグループ分けする（テナント）

外線と内線電話機を組み合わせてグループに分け、グループに割り当てられた外線以外は使用できないように設定することができます。部門別に外線を割り当ててコスト管理をしたり、特定部門に電話を集中させたくないときなどに便利です。外からかかってきた電話を他のグループに保留転送する機能も設定できます。グループ間の内線通話は可能です。

■ダイレクトボタンで内線電話機を呼び出す（内線ダイレクトコール）

フレキシブルボタンを「ダイレクトボタン」に設定することにより、特定の内線電話機をダイレクトボタン１つで呼び出すことができます。たとえば、外線通話中にダイレクトボタンを押すと、通話の保留と特定の内線電話機の呼び出しが一度に行えます。また、ダイレクトボタンのランプの点灯により、相手の内線電話機が使用中であることを確認できます。

お話し中	点灯
着信中	点灯
待機状態	消灯

■携帯電話への通話サービスを利用するには

「システム設定」により、携帯電話に電話をかけるとき、あらかじめ設定された事業者識別番号をダイヤルした携帯電話番号の前に自動付与します。
事業者識別番号は、中継発信（☛P184）のときも自動付与されます。また、転送電話（☛P82）、セキュリティサービスの自動通報（☛P88）などで携帯電話に自動的に発信されるときにも自動付与されます。
ご利用はすべての携帯電話会社（着信側）に有効で、PHSへの通話は対象外です。また一部ご利用になれない携帯電話番号があります。
事業者識別番号を自動付与するかどうかの切り替えは、メニュー設定の「事業者識別番号付与」でも行えます。（☛P144）
一時的に、事業者識別番号を自動付与したくない場合、携帯電話番号の前に事業者識別番号自動付与解除用の特番（ⓞ ⓞ ⓞ ⓞ[　　]）を押します。この場合、従来どおり各携帯電話会社が設定する料金でのご利用となります。

着信・応答

■着信音がすぐに鳴る内線電話機を設定する（着信即時表示）

外から電話がかかってきたとき、すぐに着信音が鳴るかどうかを内線電話機ごとに設定することができます。

■電話がかかってきたとき、外線、内線のどちらを優先するか設定する（着信音優先順位）

複数の着信があったとき、外線、内線のどちらの着信を優先するかを設定できます。

保留・転送

■グループ内のどの内線電話機でもパーク保留ボタンで保留応答できる（パーク保留）

あらかじめ複数の内線電話機に「パーク保留ボタン」を設定しておくと、同じパーク保留グループのどの電話機でも、パーク保留ボタンを押して、保留中の内線／外線に再応答することができます。

セキュリティサービス

■内線電話機を通報先に設定する（セキュリティ通報内線呼出先TEN）

警戒センサが侵入者を検知したときに自動的に通報する内線電話機を設定します。

■外線自動発報の方式を設定する（セキュリティ通報外線呼出方式）

外線の通報先リストに登録されている電話番号（最大3か所）への発信を同時に行うか、リスト登録順に行うかを設定します。

■威嚇音を送出する内線電話機を設定する（センサ検出時自動威嚇音送出TEN）

警戒センサが侵入者を検知したときに、自動的に威嚇音を送出する内線電話機を設定します。

その他

■FAX／電話を自動的に切り替える機能を設定する（F/T切替送出音源設定、F/T切替サービス外線設定、F/T切替ダイヤルイン設定）

FAX／電話の切り替えや、FAX自動転送が行えるように設定できます。

FAX／電話の切り替えやFAX自動転送は、回線ごと、またはダイヤルイン番号ごとに提供できます。回線ごとに行う場合は「F/T切替サービス外線設定」で、ダイヤルイン番号ごとに行う場合は「F/T切替ダイヤルイン設定」で設定します。

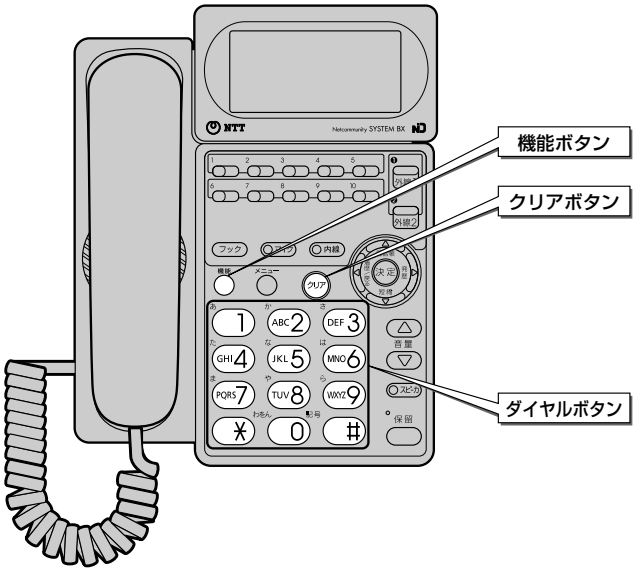
「F/T切替送出音源設定」では、FAX／電話切り替え応答時に流す信号音または音声ガイダンスを選択できます。

■ファクスの受信が確認できる内線電話機を設定する（FAX受信表示）

ファクスを受信したことをディスプレイに表示させる内線電話機を設定できます。機能ボタン、クリアボタンの順に押すと、FAX受信表示を消すことができます。

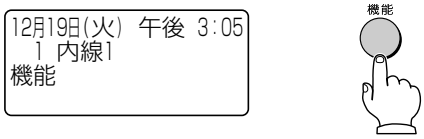
主装置ソフトウェアを更新するには

ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプのソフトウェア更新が必要かどうかをチェックし、必要な場合にはソフトウェアをダウンロードして更新する機能を利用できます。このサービスをご利用になるには、システム設定が必要です。



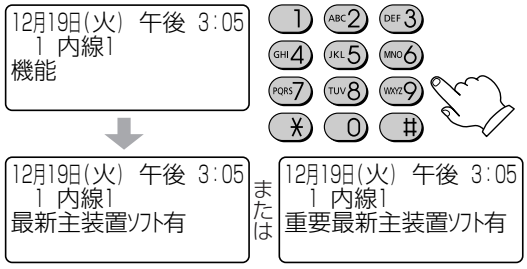
最新ソフトウェアがあるかどうかを手動でチェックする

1 機能ボタンを押します。



2 最新バージョン問合せの特番（＊ 1 0 [ ]）を押します。

チェックが行われたあと、結果により「重要最新主装置ソフト有」または「最新主装置ソフト有」が表示されます。



自動ダウンロードするように設定されている場合、自動ダウンロードの時刻になるとダウンロードが開始されます。「主装置ソフトダウンロード済」と表示されたら、主装置の電源を入れ直してください。
自動ダウンロードしないように設定されている場合は、必要に応じて「最新ソフトウェアを手動でダウンロードする」（☛P177）の操作を行ってください。

ワンポイント

●**チェック結果やダウンロード失敗の表示をクリアするには**
チェックの結果や「ソフトダウンロード失敗」などのお知らせは、すべての内線電話機に表示されます。表示を消すには、機能ボタン、クリアボタンの順に押します。ただし、「主装置ソフトダウンロード中」および「主装置ソフトダウンロード済」の表示を手動で消すことはできません。

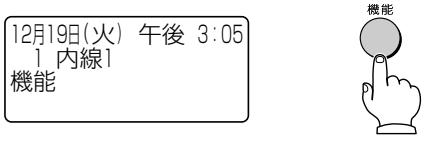
お知らせ

最新ソフトウェアの有無のチェックやダウンロードを自動で行うかどうかの設定は、メニュー設定やWeb設定で行えます。（☛P152、P160）

最新ソフトウェアを手動でダウンロードする

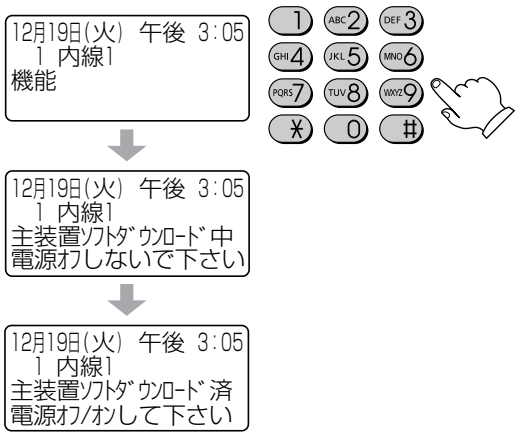
手動または自動でチェックを行った結果、ディスプレイに「重要最新主装置ソフト有」または「最新主装置ソフト有」と表示されたときは、ソフトウェアのダウンロードおよび更新ができます。

1 機能ボタンを押します。



2 ソフトウェアダウンロード実行の特番（ ＊ 1 1 [ ]）を押します。

ダウンロードが実行されます。



3 主装置の電源を一度切ってから入れ直します。

ソフトウェアの更新が完了します。

ワンポイント

●**ソフトウェアについて**

主装置ソフトウェアには、次の2種類のソフトウェアがあります。

- 最新ソフトウェア　：機能・性能を向上した主装置ソフトウェア
- 重要最新ソフトウェア：特に重要な機能・性能を向上した主装置ソフトウェア

お知らせ

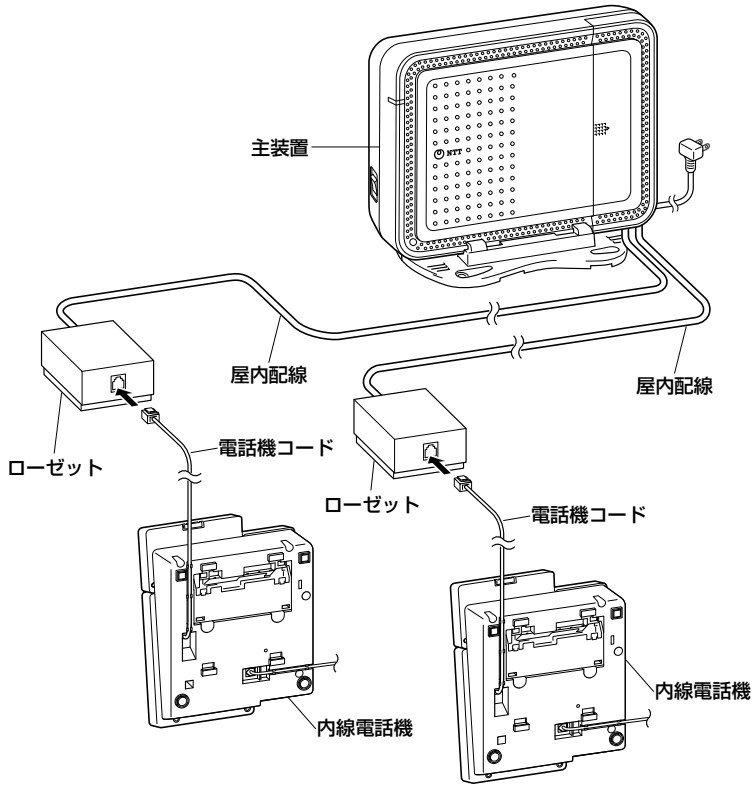
●最新ソフトウェアの有無のチェックやダウンロードを自動で行うかどうかの設定は、メニュー設定やWeb設定で行えます。（☛P152、P160）

●ソフトウェアのダウンロード中は、主装置の電源を切らないでください。

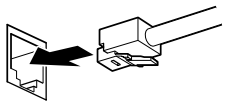
●重要最新ソフトウェアの更新を行わないと、本来の機能・性能を発揮できない場合があります。

設置と接続について

最初に設置される場合、内線電話機を増設されたり移設される場合は、お買い求めになった販売店へご相談ください。
内線電話機とローゼットは、電話機コードで接続されています。お手入れするときなど、コードを外して再度接続する場合には、間違えないようにご注意ください。

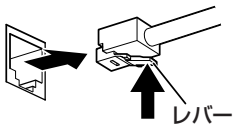


●ハンドセットコードや電話機コードを差し込むとき



「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

●ハンドセットコードや電話機コードを引き抜くとき



レバーを押さえながら引き抜いてください。

お知らせ

- 接続する場合、電話機コードを差し込んでから主装置の電源を入れてください。また、接続し直すときも同様の手順で接続してください。
- 実際の接続方法は使用する機器や設定する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、本図と異なる場合があります。

お願い

工事設定したスイッチは、設定変更しないでください。

ワンポイント

●内線番号を変更するときは
当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

●現在お使いの電話機などを接続するには
現在お使いの一般の電話機、コードレス電話機、留守番電話機、ファクス、モデムなどの接続については、必ず当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

ご利用になれるオプション装置

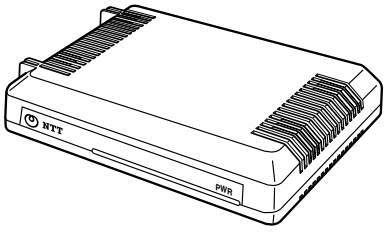
ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプには、オプション装置として次のものが用意されています。ご利用になるときは、当社のサービス取扱所へご相談ください。

○留守番停電電話機

内線電話機として、留守番停電電話機を増設することができます。留守操作機能とともに、停電電話機としてご利用になれます。

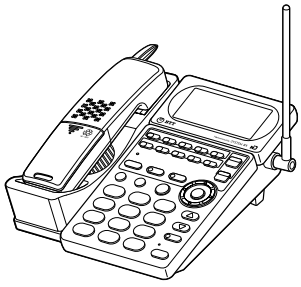
○電話機アダプタ

電話機アダプタを接続すると、現在お使いの電話機やファクスを内線電話機としてお使いいただけます。詳しくは電話機アダプタの取扱説明書を参照してください。



○カールコードレス電話機

内線電話機として、カールコードレス電話機を増設することができます。ベースセットから半径約80 mの範囲で、ハンドセットを自由に持ち運びながらご利用になれます。詳しくはカールコードレス電話機の取扱説明書を参照してください。



○ヘッドセット

内線電話機にヘッドセットを接続すると、ハンドセットを取りあげなくてもお話しすることができます。詳しくはヘッドセットの取扱説明書を参照してください。

お知らせ

お客さまでご用意していただくオプション機器等で、種類によっては接続できないものもありますので、あらかじめ当社のサービス取扱所へご相談ください。

ワンポイント

●オプションについて

○：当社で用意しています。

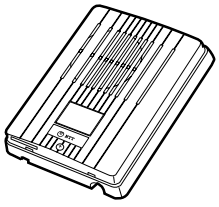
◎：当社で用意していますが、お客さまでご用意していただいてもかまいません。

●：お客さまでご用意していただきます。

ご利用になれるオプション装置

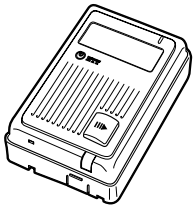
○ドアホン

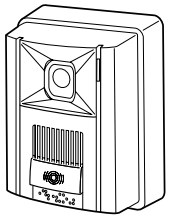
ドアホンを主装置に接続すると、電話機でドアホンからの呼び出しに答えたり、ドアホンの周囲の音を聞くことができます。



○カラーカメラドアホン
○カラーカメラドアホン-PⅡ

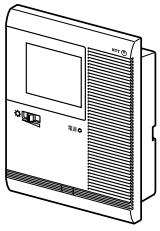
設置したカラーカメラドアホンの周囲の映像をモニタ画面に映し出し、相手の方の顔を見ながらお話しすることができます。カラーカメラドアホンは2台まで接続できます。

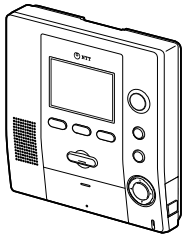




○カラーカメラドアホン用モニタ
○カラーカメラドアホンモニタ-PⅡ

カラーディスプレイに来客の方の映像を表示し、相手の方を見ながら内線電話機でお話しをすることができます。

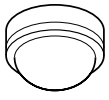


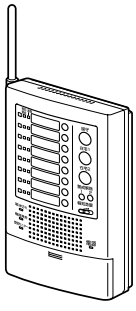


●セキュリティ装置

・セキュリティ受信機
・警戒センサ

警戒センサが侵入者を検知したときに、外出先などへ自動的に通報できます。詳細はサービス取扱所へご相談ください。





お知らせ

お客さまでご用意していただくオプション機器等で、種類によっては接続できないものもありますので、あらかじめ当社のサービス取扱所へご相談ください。

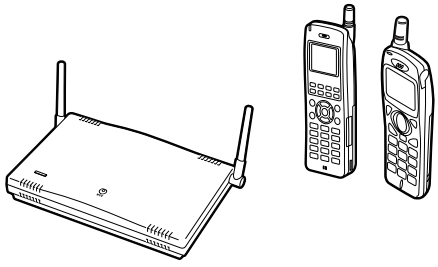
ワンポイント

●オプションについて

○：当社で用意しています。
◎：当社で用意していますが、お客さまでご用意していただいてもかまいません。
●：お客さまでご用意していただきます。

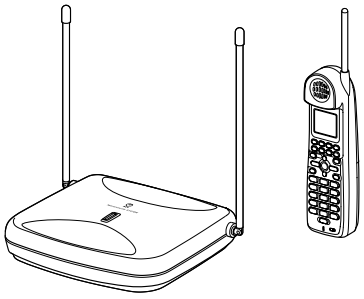
○ディジタルシステムコードレス接続装置
○ディジタルシステムコードレス電話機
○ディジタルコードレス電話機

ディジタルシステムコードレス接続装置を収容することにより、ディジタルシステムコードレス電話機、ディジタルコードレス電話機を収容することができます。詳しくは各取扱説明書を参照してください。



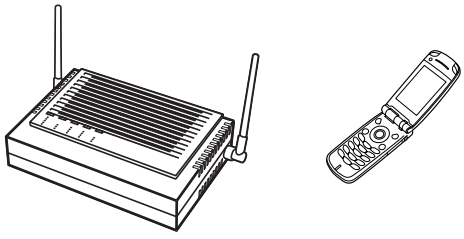
○アナログコードレスホン接続装置
○アナログコードレス電話機

アナログコードレスホン接続装置を収容することにより、アナログコードレス電話機を収容することができます。詳しくは各取扱説明書を参照してください。



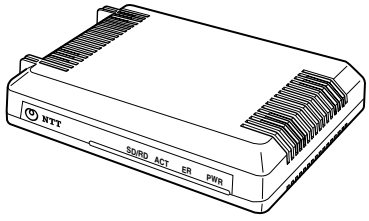
○ワイヤレスアクセスポイント
○無線LAN対応FOMA

LANネットワーク上にワイヤレスアクセスポイントを収容することにより、無線LAN対応FOMAをSIP端末として内線収容することができます。詳しくはワイヤレスアクセスポイントや携帯電話の取扱説明書を参照してください。



○パソコンアダプタ

パソコンアダプタは、内線またはISDN回線を使用して、パソコンなどをサーバやインターネットなどに接続するターミナルアダプタです。詳しくはパソコンアダプタの取扱説明書を参照してください。



停電になったときは

お話し中に停電になると、電話が切れてしまいます。
停電中に電話をかけたり、受けたりするには、オプションの留守番停電電話機をお使いください。
停電中に留守番停電電話機で電話をかけるときは、ダイヤルボタン以外のボタンを押しても利用することはできません。

●停電時には以下の点にご注意ください

留守番停電電話機	電話をかけるには	ハンドセットを取りあげて、ダイヤルボタンを押してかけてください
	電話がかかってきたときは	ハンドセットを取りあげてお話しください
	内線やドアホンとのお話しは	内線やドアホンとのお話しはできません
留守番停電電話機以外の内線電話機	電話をかけるには	電話はかけられません
	電話がかかってきたときは	着信音が鳴らず、電話は受けられません
	内線やドアホンとのお話しは	内線やドアホンとのお話しはできません

お知らせ

●停電時には、次のような状態になります。
- 時計・カレンダ表示は消えますが、設定内容はそのままです。
- 留守番停電電話機では電話を受けることができますが、通常時とは異なる着信音が鳴ります。
- 留守番停電電話機がISDN電話機の場合は、プッシュホンサービスは利用できません（通話中PB送出はできません）。
- セキュリティサービス機能は利用できません。
- ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用したすべての機能は利用できません。応答時に「ビュッ」という音が聞こえることがあります。この場合は一度電話を切って、再度着信音が聞こえてから応答すると、相手の方とお話しができます。

●停電が復旧すると自動的に通常の状態に戻ります。留守番停電電話機でお話し中の通話は切れてしまいます。いったん電話を切って、再度おかけ直しください。アナログ留守番停電電話機でお話し中の通話は切れない場合があります。この場合、お話しを継続することができ、お話しが終わってから通常の状態に戻ります。

●通常の状態で留守番停電電話機によるお話し中のとき、停電になった場合は、お話し中の通話は切れてしまいます。

●停電状態になった直後や停電が復旧した直後は、ISDN 留守番停電電話機およびISDN 回線がすぐには使用できないことがあります。この場合はハンドセットを戻し、数分間お待ちください。

ワンポイント

●**ダイヤルインサービスをご利用のときは**
停電時に外から電話がかかってきたとき、ダイヤルイン着信では正常に電話を受けることができません。

●**メモリ保持電池の交換について（☛P168）**

用語の説明

アルファベット

DP回線……ダイヤル回線（パルス回線）のことです。
FAX/TEL切替……外線からの着信に主装置が応答し、FAX信号を検出すると自動的にファクスを呼び出すことができる機能のことです。
FAX自動転送……電話機が外線着信に応答したとき、相手がファクスであった場合は自動的にファクスに転送する機能のことです。
INSネット64……INSネットサービスの中で、1回線で情報チャネル（B）2本、信号チャネル（D）1本を同時に利用できるサービスです。
PB回線……プッシュ回線（トーン回線）のことです。
VoIP……IP網を利用して提供する音声電話サービスです。
Web設定……LANで主装置と接続したパソコンを使って、個々の電話機やシステムについての登録・設定を行うことです。

五十音

【ア行】

空き外線……使用していない外線で、発信・着信できる外線のことです。
オフフック……ハンドセットを取りあげることです。
オンフック……ハンドセットを置くことです。
オンフックダイヤル…ハンドセットを置いたまま、スピーカボタンを押し、ダイヤルボタンを押すことです。

【カ行】

外線グループ……「システム設定」により､収容されている外線をいくつかのグループに分けたものです。
外線捕捉……「ツー」という外線発信音が聞こえる状態を外線捕捉の状態といいます。この状態のときに外へ電話をかけることができます。
簡易自動再発信……外線発信時に、相手の方がお話し中や応答しないときにセットすると、相手の方が応答するまで自動的に再ダイヤルする機能のことです。
キーパッド……INSネット64に送出するデータのことです。

【サ行】

索線ボタン……指定された外線グループ中の空き外線を捕捉し、着信表示・応答、個別保留ができるように割り付けられたフレキシブルボタンのことです。
サブアドレス……INSネット64を利用するときに、補助的に使用する内線番号のことです。
システム設定……ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプの設置時にあらかじめ登録・設定しておくもので、システムの基本的な機能・動作を決めるものです。設置以後の設定内容の変更については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。（☛P174）
システムモード……ネットコミュニティシステムBXを、時間帯に応じて動作させるための動作形態区分です。昼、夜、休憩、休日の4つに区分できます。

用語の説明

自動応答サービス……外線からの着信にシステムが自動的に応答する機能を利用して、外出先からリモコン操作を行うことです。
主装置ソフトウェア…ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプを動作させるプログラムのことです。ソフトウェアを最新のものに更新することにより、快適に動作させることができます。
ステップコール……内線個別呼び出しをしたとき、相手がお話し中などの場合、代わりに自グループ内の他の電話機を呼び出すことです。
スピーカ受話……スピーカで相手の声を聞くことです。

【タ行】

ダイヤルインサービス…外線から直接内線電話機を呼び出すサービスです。
代理応答……他の端末への着信に応答できる機能のことです。
着信音……電話がかかってきたときに鳴る呼出音のことです。
中継発信……外出先から主装置を経由して他の相手へ発信することです。ネットコミュニティシステムBXでは、コールバック（中継発信、自動応答サービス）や、リモコン操作（自動応答サービスを利用した外線への発信）など、いろいろな中継発信が行えます。
追加ダイヤル……再ダイヤル、ワンタッチダイヤル、電話帳などにおいて、ダイヤルをさらに追加して発信する機能のことです。
テナント……電話機グループと外線グループから構成されるグループのことです。
転送電話……かかってきた電話を、あらかじめ登録されている電話番号に転送させる機能です。外出するときなどに手動でセットする転送電話（「電話機起動転送」）のほか、常時セットしておく「電話帳グループ転送」「システムモード転送」があります。
電話機グループ……電話機（端末など）から構成されるグループのことです。

【ナ行】

内線代表呼出……内線番号の代わりに「システム設定」した代表番号を押すと、そのグループ内の未使用の電話機を1台呼び出す機能です。
内線ダイレクトコール…電話機のフレキシブルボタンに内線番号を設定し、フレキシブルボタンを押すことによりワンタッチで内線電話機を呼び出すことです。
内線ホットライン……電話機ごとに呼出先の内線番号を設定し、ハンドセットを取りあげるだけで内線を呼び出すことです。

【ハ行】

パーク保留……通話中にパーク保留ボタンを押すことにより、通話相手を保留し、同じパーク保留グループとして設定した電話機のみから保留解除できるようにする機能です。
ハンズフリー……ハンドセットを使わないで、内蔵マイクによりお話しができる状態のことです。ハンズフリー応答、ハンズフリー通話などがあります。
不在着信転送……かかってきた電話を他の内線電話機に自動的に転送させる機能です。席を離れるときなどに便利です。
プリセットダイヤル…オンフック状態でダイヤルしたあとに、外線捕捉または内線捕捉をして発信する機能のことです。
プリセレクション……ハンドセットを置いたまま、外線ボタンまたは内線ボタンを押して、ハンドセットを取りあげるかスピーカボタンを押すと、回線が捕捉できる機能です。

【マ行】

メニュー設定 ……電話機のディスプレイを見ながらメニュー操作を行うことにより、各種の登録・設定を行うことです。メニューは個々の内線電話機についての「電話機毎設定」と、システム全体に関する「システム一括設定」に分かれています。

メモダイヤル ……内線電話機に、電話番号を一時的に登録し、あとで簡単に電話をかけられるようにした機能です。

【ワ行】

ワンタッチオンフック サービス ……空いている外線ボタンまたは内線ボタンを押すだけで、スピーカボタンを押さなくてもオンフックダイヤルの操作ができる機能です。

索　引

アルファベット

DP→PB切替 ……102
DP回線 ……183
FAX/TEL切替 ……183
FAX/TEL切替設定 ……149
FAX/TEL呼出回数 ……149
FAX自動転送 ……183
FAX受信表示 ……175
F/T切替サービス外線設定 ……175
F/T切替送出音源設定 ……175
F/T切替ダイヤルイン設定 ……175
INSネット64 ……126、183
ISDN料金表示設定 ……148
i・ナンバー ……107
PB回線 ……183
VoIP ……126、183
Web設定 ……160、183
　終了する ……161
　中止する ……161
　電話帳を編集する ……166
Web設定項目一覧 ……164

五十音

【ア行】

空き外線 ……183
空き外線自動発信 ……58
アナログコードレス電話機 ……181
アナログコードレスホン接続装置 ……181
暗証番号設定 ……140、148
一斉・グループ呼出 ……51
音
　こんな音がしたら ……168
オプション ……173
オプション装置 ……179
オフフック ……183
オフフック外線応答設定 ……134
オフフック外線自動捕捉 ……28
オフフック外線発信設定 ……133
オフフック内線捕捉 ……28
お待たせメッセージ ……66
オンフック ……183
オンフックダイヤル ……29、183
音量調節ボタン ……15
音量の調節
　スピーカ音量 ……27
　着信音量 ……26
　ハンドセット受話音量 ……27

【カ行】

カールコードレス電話機 ……179
会議通話 ……62、64
外線グループ ……59、95、183
外線群指定発信 ……59、95
外線毎着信拒否設定 ……134
外線着信 ……32、95
外線着信鳴動設定 ……134
外線転送先呼出タイマ ……151
外線転送方式設定 ……151
外線発信 ……28、94
回線番号 ……29
外線捕捉 ……183
外線ボタン ……15
外線ランプ ……18
角度調節足 ……16
壁掛け卓上脚 ……17、170、171
壁掛け用穴 ……16、17、170、173
カラーカメラドアホン ……180
カラーカメラドアホン-PⅡ ……180
カラーカメラドアホンモニタ-PⅡ ……180
カラーカメラドアホン用モニタ ……180
簡易自動再発信 ……55、183
キーパッド ……183
機能特番 ……157
機能ボタン ……15
キャッチホンサービス ……97、101
休憩モード ……128
休日モード ……128
共通電話帳 ……40
　全件削除する ……41
共通電話帳全消去 ……143
共通電話帳登録 ……142
共通保留 ……34
クリアボタン ……15
グループ検索 ……44
グループ毎コールバック ……143
グループ毎鳴動設定 ……132

グループ着信先設定 ……142
グループ名称設定 ……142
警戒センサ ……88、180
携帯電話への通話サービス ……174
決定ボタン ……15
決定ランプ ……18
圏外時外線転送 ……87
圏外時サービス設定 ……136
工事者設定用スイッチ ……16
口頭転送 ……47
コールバック ……68
　コールバックができないとき ……129
故障
　故障かな？と思ったら ……169
　故障の場合は ……196
個別電話帳 ……40
個別電話帳全消去 ……132
個別電話帳登録 ……132
個別保留 ……35

【サ行】

サービス番号／リモート番号 ……74
サービスボタン ……80
在宅自動応答設定 ……152
削除ダイヤル設定 ……144
索線ボタン ……31、183
サブアドレス ……183
サブアドレス設定 ……145
サブアドレス通知サービス ……107
三者会議通話 ……49
三者通話機能 ……116
事業者識別番号
　自動的付与を設定する ……174
事業者識別番号付与 ……144
時刻設定 ……24、147
システム一括設定（メニュー設定） ……131
システム構成図 ……12
システム設定 ……174、183
システム内線着信 ……68
システムモード ……122、183
　システムモード別に外線着信音の
　鳴動を設定する ……123
　利用する ……122
システムモード時刻設定 ……147
システムモード設定 ……148
システムモード転送 ……87
自動応答サービス ……70、184
主装置 ……14、17
主装置IPアドレス表示 ……140
主装置キャビネット ……17
主装置ソフトウェア ……176、184
受話音保持 ……139
受話口 ……15
受話増保持 ……139
順次転送 ……86
仕様 ……195
上下左右ボタン ……15
ステップコール ……47、51、184
スピーカ ……15
スピーカ音量 ……27
スピーカ受話 ……29、127、184
スピーカボタン ……15
スピーカランプ ……18
セキュリティ関連タイマ設定 ……152
セキュリティ起動／解除 ……91、153
セキュリティサービス ……88
　動作しないとき ……129
セキュリティ受信機 ……180
セキュリティ装置 ……180
セキュリティ通報外線呼出方式 ……175
セキュリティ通報内線呼出先TEN ……175
セキュリティ通報番号登録 ……90、153
セキュリティモード設定 ……152
接続 ……178
設置 ……178
設定特番 ……158
センサ起動履歴 ……89、165
センサ検出時自動威嚇音送出TEN ……175
操作早見表＜標準電話機＞ ……191
送話口 ……15
ソフトウェア自動更新設定 ……152

【タ行】

ダイヤルインサービス ……107、184
ダイヤル押下音設定 ……140
ダイヤル中特番 ……154
ダイヤル発信中表示 ……19
ダイヤルボタン ……15

索　引

代理応答 ……47、51、75、97、184
短縮ダイヤルカード ……173
短縮ボタン ……15
単体電話機 ……94
着信音 ……184
着信音停止設定 ……134
着信音優先順位 ……174
着信音量 ……26
着信拒否 ……104
　着信拒否ができないとき……129
着信拒否ガイダンス ……109、145
着信即時表示 ……174
着信転送機能 ……119
着信転送モード ……120
着信音色設定 ……134
着信未応答警報 ……33
着信未応答警報タイマ ……145
着信履歴
　着信拒否登録 ……56
　着信履歴一覧画面 ……55
　着信履歴詳細画面 ……55
　履歴を検索して電話をかける ……54
着信履歴発信 ……54
着信履歴保存設定 ……140
着歴ボタン ……15
着歴ランプ ……18
注意シール ……17
中継発信 ……184
　コールバックを利用して中継発信する …69
　中継発信できる相手先を限定する……174
中継発信規制設定 ……143
長時間通話警報タイマ ……148
追加ダイヤル ……128、184
通信中着信通知 ……114
通信中転送機能 ……118
通風孔 ……17
通話時間表示 ……19
通話中着信 ……33
通話モニタ ……33
ディジタルコードレス電話機 ……181
ディジタルシステムコードレス接続装置 ……181
ディジタルシステムコードレス電話機 ……181
ディスプレイ ……15
　表示の見かた ……19
停電 ……182
テナント ……174、184
電源コード ……17
電源スイッチ ……17
電源プラグ ……17
電源ランプ ……17
転送 ……82
　圏外時に着信した電話を転送させる ……87
　システムモードに応じた転送を行う ……87
　順次転送と同時転送の違い ……86
　転送電話ができないとき……129
　転送電話の設定を変更する ……86
　転送電話の対象とする回線を設定する …84
　転送電話の転送先リストを登録する ……82
　転送電話をセットする ……85
　特定の相手先からの電話を転送する ……87
　不在時の電話を他の内線電話機に
　　転送する ……78
転送開始タイマ ……151
転送先リスト登録 ……136、151
転送電話 ……184
転送トーキ ……121
転送元トーキ ……121
転送元呼出継続設定 ……151
電池交換 ……168
添付品 ……14、170
電話がかかってきたとき ……32
　単体電話機で受ける ……95
　通話中に電話がかかってきたとき ……33
　続けてかかってきた電話に応答する ……33
　内線で呼び出されたとき ……51
　ハンズフリーで受ける ……52、61
　ハンズフリーで内線通話をする ……61
電話機アダプタ ……179
電話機起動転送 ……82
電話機グループ ……184
電話機コード差込口 ……16
電話機毎設定（メニュー設定） ……130
電話機用シール ……172
電話帳 ……40、124
　外線通話中に内容を確認する ……44
　削除する……125
　詳細を確認する ……45
　電話をかける ……44
　登録する ……40
　登録できないとき……125

登録できる内容 ……40
登録内容を変更する……125
パソコンで編集する……166
文字を入力する ……42
電話帳グループ転送……87
電話帳検索 ……132
電話帳検索モード設定 ……132
電話帳詳細読出タイマ ……149
電話帳ダイヤル……40
電話帳鳴り分け ……104
電話帳ボタン……15
電話帳メニュー……45
電話を受ける
単体電話機で受ける ……95
ハンズフリーで受ける ……52、61
電話をかける
空いている外線を選んでかける ……58
最後にかけた相手の方にかけ直す ……55
単体電話機でかける ……94
単体電話機で電話帳を使ってかける ……96
電話帳ダイヤルでかける ……44
電話番号を確認してからかける ……30
内線番号で呼び出す ……50
ハンズフリーでかける ……60
ハンズフリーで内線通話をする ……61
ハンドセットを置いたままかける ……29
ハンドセットを取りあげてかける ……28
メモダイヤルでかける ……53
履歴を検索してかける ……54
ワンタッチボタンでかける ……38
電話を取りつぐ……46
ドアホン ……75、76、180
ドアホンチャイム音鳴動タイマ ……150
ドアホンネーム登録 ……150
ドアホン鳴動設定 ……138
同時転送……86
特長……13
特番一覧 ……154
時計アラーム（1回） ……137
時計アラーム（毎日） ……137
時計・カレンダ表示……19
トリオホンサービス ……101

【ナ行】

内線代表呼出 ……51、97、184
内線ダイレクトコール……174、184
内線通話 ……50、97
ハンズフリーで内線通話をする ……61
ハンドセットを取りあげずに応答する …52
内線ネーム登録 ……77、150
内線ハンズフリー応答……52
内線ボタン……15
内線ホットライン ……97、184
内線ホットライン設定 ……138
内線呼出音設定 ……138
内線ランプ……18
ナンバー・ディスプレイ ……104
入力モード……42
ネーム・ディスプレイ ……106
ネットワークサービス……98

【ハ行】

パーク保留……35、175、184
パソコンアダプタ ……181
バックライト ……19、141
発信可能ダイヤル設定 ……144
発信規制ダイヤル設定 ……144
発信者番号表示 ……104
発信専用制御サービス ……103
発信／着信履歴発信……54
発信履歴
発信履歴一覧画面 ……55
発信履歴詳細画面 ……55
履歴を検索して電話をかける ……54
発信履歴発信……54
発番号ダイヤルイン ……104
発歴ボタン……15
ハンズフリー ……184
ハンズフリー通話……60
ハンドセット……15
ハンドセットコード……15
ハンドセットコード差込口……16
ハンドセット受話音量……27
明瞭モード ……27
非通知着信拒否 ……145
非通知着信拒否サービス ……108
日付設定 ……22、147

索　引

標準電話機……14、15
不在着信転送……78、184
不在着信転送設定……138
付属品……14、172
フッキング操作……95
フックスイッチ……15
フックボタン……15
プッシュホンサービス……102
フリガナ検索……44
プリセットダイヤル……30、184
プリセット読出タイマ……148
プリセレクション……184
フレキシブルボタン……15
フレックスホンサービス……114
ヘッドセット……179
ボイスワープ……110
ポーズ（待ち時間）……124
保守サービス……196
保留……34、95
保留音設定……146
保留警報音……35
保留警報音送出タイマ……146
保留転送
　他の外線に転送する……48
　他の内線電話機に転送する……46
　単体電話機で電話を外線に転送する……97
　単体電話機で電話を取りつぐ……97
保留ボタン……15

【マ行】

マイク……15
マイクボタン……15
マイクランプ……18
未応答転送……86
ミキシングモード……116
無条件転送……86
無線LAN対応FOMA……181
メニュー設定……20、130、185
　各内線電話機についての
　　登録・設定……130、132
　システム全体についての
　　登録・設定……131、142
メニューボタン……15
メモダイヤル……53、185
　電話をかける……53
　登録する……53
メモリ番号検索……45
メモリ保持電池……168
文字入力……42
戻るボタン……15

【ヤ行】

夜間モード……128
用語の説明……183
曜日毎鳴動モード設定……123、135
呼出状態転送……47

【ラ行】

ランプ表示……18
リチウム電池……168
リモート番号……74
リモコン操作……70、156
履歴メニュー……55
履歴ランプ表示設定……140
留守番停電電話機……179

【ワ行】

ワイヤレスアクセスポイント……181
ワンタッチオンフックサービス……185
ワンタッチ機能ボタン登録……136
ワンタッチダイヤル登録……136
ワンタッチ／プリセレクション……29、133
ワンタッチボタン……15
　サービスボタンの機能を変更する……80
　登録する……36
　登録できるボタン操作……37
　内線番号を登録する……37
　ワンタッチボタンが
　　割り当てられているボタン……37
　ワンタッチボタンで電話をかける……38
ワンタッチメモリ全消去……136

Netcommunity SYSTEM BX 標準電話機

操作早見表

NTT

（詳しくは、取扱説明書をご覧ください。）

記号説明

ハンドセットを取りあげます

ハンドセットを置きます

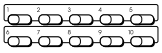
各機能ボタンを押します

ダイヤルボタンを押します

ハンドセットでお話しします

マイクに向かってお話しします

（ワンタッチボタン）
（索線ボタン）
（パーク保留ボタン）
など


各ボタン機能の割り当てられているフレキシブルボタンを押します

初期画面へ

時計・カレンダ表示になるまで戻るボタンを長く押します

（電話帳ボタン）

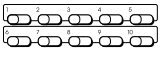
長押し

長押し

各ボタンを長押し（2秒以上）します

ここでは、ワンタッチオンフックサービスを利用されている場合の操作手順を説明します。
利用されていない場合は、内線ボタンまたは外線ボタンを押したあとにスピーカボタンを押してください。

電話をかける

項目		操作手順
外へ電話をかける（外線発信）	ハンドセットを取りあげて電話をかける	（外線ボタン） → → （電話番号） →
	ハンドセットを置いたまま電話をかける（オンフックダイヤル）	（外線ボタン） → （電話番号） → 相手の方の声が聞こえたら →
	電話番号を確認してから電話をかける（プリセットダイヤル）	（電話番号） → （外線ボタン） → 相手の方の声が聞こえたら →
内線でお話しする（内線通話）		○内線 → （内線番号） → 呼出音が終わったら → 呼びかけます
履歴を使って電話をかける（発信／着信履歴発信）		（発歴ボタン／着歴ボタン） → （上下左右ボタン） 目的の履歴を選択する → （外線ボタン） → 相手の方の声が聞こえたら →
ワンタッチボタンで電話をかける		（外線ボタン） → （ワンタッチボタン）  → 相手の方の声が聞こえたら →
ハンズフリーで電話をかける		（外線ボタン） → ○マイク → （電話番号） → 相手の方の声が聞こえたら →

Netcommunity SYSTEM BX 標準電話機

操作早見表

NTT

（詳しくは、取扱説明書をご覧ください。）

電話をかける

項目		操作手順
電話帳を使って電話をかける	フリガナ検索を使って	（電話帳ボタン）※ → ①〜⑨ ＊ 0 ＃ （フリガナの冒頭の文字） → （上下ボタン） → （一覧画面を表示させる） → （上下左右ボタン） → （相手先を選択する） → （外線ボタン） 外線1 → 相手の方の声が聞こえたら
	グループ検索を使って	（電話帳ボタン）※ → （戻るボタン） → ① → ①〜⑧ 0 （グループ番号 0〜8） → （上下左右ボタン） → （相手先を選択する） → （外線ボタン） 外線1 → 相手の方の声が聞こえたら

※：お買い求め時は、電話帳ボタンを押すとフリガナ検索画面が表示されるように設定されています。メニュー設定などにより、グループ検索画面が表示されるように変更することができます。

通話中機能

項目		操作手順
お話し中に相手の方に待っていただく（保留）	普通に保留する（共通保留）	お話し中に 保留 → 保留中 → （保留中の外線ボタン） 外線1 →
	他の電話機で取れないように保留する（個別保留）	お話し中に 機能 → 保留 → 保留中 → 保留操作した電話機で （保留中の外線ボタン） 外線1 →
	同じパーク保留ボタンを設定した電話機で取れるように保留する（パーク保留）	お話し中に （パーク保留ボタン） → 保留中 → 同じパーク保留ボタンを設定した電話機で （パーク保留ボタン） →
電話を取りつぐ（保留転送）		お話し中に 保留 → ①〜⑨ ＊ 0 ＃ （転送先の内線番号） → 呼出音が終わったら、呼びかけます → 相手の方が応答したら
プッシュホンサービスを利用する（DP→PB切替）		お話し中に ＃ ※ → ①〜⑨ ＊ 0 ＃ （サービス番号）

※ DP回線時に適用となります。ISDN回線、PB回線、VoIP回線使用時は、＃を押さなくてもダイヤル操作のみでPB信号を送出します。

Netcommunity SYSTEM BX 標準電話機

操作早見表

NTT

（詳しくは、取扱説明書をご覧ください。）

いろいろな登録

項　目	操　作　手　順
ワンタッチダイヤルを登録する	メニュー → ワンタッチダイヤル登録 ①JKL⑤① → （ワンタッチボタン） → ①ABC②DEF③GHI④JKL⑤MNO⑥PQRS⑦TUV⑧WXYZ⑨＊0＃ 登録する電話番号 → （ワンタッチボタン） 先に押したワンタッチボタン → ***初期画面へ***
電話帳に登録する	（電話帳ボタン）（決定／短縮／登録／消去／音量） 長押し → 「1：個別電話帳登録」：① 「2：共通電話帳登録」：ABC② → ①ABC②DEF③GHI④JKL⑤MNO⑥PQRS⑦TUV⑧WXYZ⑨＊0＃ （名称） → 決定 → ①ABC②DEF③GHI④JKL⑤MNO⑥PQRS⑦TUV⑧WXYZ⑨＊0＃ （フリガナ） → 決定 → ①ABC②DEF③GHI④JKL⑤MNO⑥PQRS⑦TUV⑧WXYZ⑨＊0＃ （電話番号） → 決定 → ①ABC②DEF③GHI④JKL⑤MNO⑥PQRS⑦TUV⑧WXYZ⑨0 （グループ番号） → ①ABC②DEF③GHI④JKL⑤MNO⑥PQRS⑦TUV⑧WXYZ⑨0 （アイコン番号） → ①ABC②DEF③GHI④JKL⑤MNO⑥PQRS⑦TUV⑧WXYZ⑨0 （メモリ番号） ※指定しないと空いている一番若い番号に登録されます。 → 決定

その他

項　目	操　作　手　順
着信音色を切り替える	メニュー → （着信音色設定） ①DEF③① → （外線／内線ボタン） 外線1 ／ ○内線 → 「1：トーン」：① 「2：メロディ」：ABC② → （上下ボタン）（決定／短縮／登録／消去／音量） 設定する音色を選択する → 決定 → ***初期画面へ***

■リモコンカード

Netcommunity SYSTEM BX 外出先からのリモコン操作 NTT

この操作は必ずプッシュホン（またはプッシュ信号を送ることのできる電話機）で行ってください。

■セキュリティ通報に応答したあとリモコン操作する場合

1 電話を受けたときに自動通報であることをお知らせする
「ピーッピーッ」という音が聞こえたら、様子をモニタする

2 リモコン操作に対応するボタンを押す

次の内線電話機への切り替え……＃
前の内線電話機への切り替え……＊
威嚇音の送出……⑤
スピーカで通話できる状態への切り替え…0

■特定の内線電話機を呼び出す場合

1 自動応答サービスを利用できる電話番号へ電話をかける
2 ①を押す
3 「内線番号をどうぞ。」というガイダンスのあと、ダイヤルボタンで内線番号を押す

■システムの外線を使って電話をかける場合

1 自動応答サービスを利用できる電話番号へ電話をかける
2 ②を押す
「外線発信番号をどうぞ。」が聞こえたときは、手順4へ。
3 「暗証番号と＃をどうぞ。」というガイダンスのあと、暗証番号を押し、＃を押す
4 「外線発信番号をどうぞ。」というガイダンスのあと、外線発信番号（0［　］）を押す
5 電話番号をダイヤルボタンで押す

操作早見表

（詳しくは、取扱説明書をご覧ください。）

その他

項　目	操　作　手　順
保留メロディを切り替える	メニュー ➡ （保留音設定） ②ABC ④GHI ①　➡ （上下ボタン） 決定 ［設定する保留メロディを選択する］ ➡ 決定 ➡ ***初期画面へ***
システムモードを手動で切り替える	メニュー ➡ （システムモード設定） ②ABC ⑥MNO ①　➡ （上下ボタン） 決定 ［設定するモードを選択する］ ➡ 決定 ➡ ***初期画面へ***
アラームを設定する	メニュー ➡ （時計／アラーム） ①　⑥MNO ➡ 「1：1回」：①　「2：毎日」：②ABC ➡ 0～9 時刻（4桁）（24時間制） ➡ 決定 ➡ ***初期画面へ***
アラームを止める	アラーム音鳴動中に ／ スピーカ ➡ アラーム音停止
アラームを解除する	メニュー ➡ （時計／アラーム） ①　⑥MNO ➡ 「1：1回」：①　「2：毎日」：②ABC ➡ クリア 長押し ➡ 決定 ➡ ***初期画面へ***
日付を設定する	メニュー ➡ （日付設定） ②ABC ⑤JKL ①　➡ 0～9 （西暦下2桁） ➡ 0～9 （月2桁） ➡ 0～9 （日2桁） ➡ 決定 ➡ ***初期画面へ***
時計を設定する	メニュー ➡ （時刻設定） ②ABC ⑤JKL ②ABC　➡ 0～9 時刻（4桁）（24時間制） ➡ 決定 ➡ ***初期画面へ***

Netcommunity SYSTEM BX 留守番電話のリモコン操作 NTT

■転送電話、留守番電話、システムモードの設定をする場合

1 自動応答サービスを利用できる電話番号へ電話をかける

2 ③を押す
「リモート番号をどうぞ。」が聞こえたときは、手順4へ。

3 「暗証番号と＃をどうぞ。」というガイダンスのあと、暗証番号を押し、＃を押す

4 音声ガイダンスに従って、リモコン操作を行う

≪リモート番号一覧≫

●転送電話、留守番電話の操作

留守番電話のセット	⑨⑦⓪
転送電話のセット	⑨⑦①
転送電話、留守番電話の解除	⑨⑦②
電話機起動転送先リストの登録	⑨⑦③
圏外時サービス設定	⑨⑦⑧

≪リモート番号一覧≫

●システムモードの切り替え

システムモードの解除（自動モードへの切り替え）	⑨④⓪
昼モードへの切り替え	⑨④①
夜モードへの切り替え	⑨④②
休憩モードへの切り替え	⑨④③
休日モードへの切り替え	⑨④④

●セキュリティサービスの操作

起動／解除	⑨⑦⑨

仕　様

■仕　様

使用回線	BX-AME	電話回線、CES回線、PBXの内線、VoIP回線
	BX-IME	INSネット64、VoIP回線
選択信号種別		PB回線またはDP回線（10 PPS、20 PPS）
外線容量		最大4回線
最大内線端末数		8台
配線方式		スター配線
呼出方式		トーンリングおよびランプ
内線線路長		最大200 m
寸法・質量	主装置	幅約343 mm×奥行き約270 mm×高さ約61.4 mm・約1.9 kg
	標準電話機	幅約190 mm×奥行き約241 mm×高さ約85 mm・約0.85 kg
使用電源		商用電源AC100±10 V、50/60 Hz
消費電力		最大時約52 W
電磁波妨害		VCCI基準クラスBに適合 （無線LAN対応FOMAをご利用の際は、VCCI基準クラスAに適合）
使用環境		温度：5 ℃～35 ℃ 湿度：45 %～85 %（結露のないこと）
時間精度		平均月差±30秒以内

保守サービスのご案内

■保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-970413
携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）
受付時間　9：00～21：00
年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-109217（トークニイーナ）
携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
東海・北陸・近畿・中国・四国地区
06-6341-5411（通話料金がかかります）
九州地区
092-720-4862（通話料金がかかります）
受付時間　9：00～21：00
年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しております。

MEMO

MEMO

環境基準ラベル「ダイナミックエコマーク」について

弊社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「＜追補版＞通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。

ダイナミックエコマークは下記条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

＜環境に配慮した素材の採用＞
- ●弊社が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
- ●弊社が指定する含有抑制物質については、使用を抑制するとともに物質名・量を管理します。
- ●酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
- ●焼却時にダイオキシン発生の恐れがあるPVC（ポリ塩化ビニル）、非デカブロ系難燃剤以外のハロゲン系難燃剤の製品への使用を抑制します。
- ●廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
- ●取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質等の含有禁止物質を含まないものを使用します。

＜リサイクルしやすい設計＞
- ●製品のリサイクル可能率を70%以上とします。
- ●リサイクルを容易にするため、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

＜環境に配慮した梱包材＞
- ●発泡スチロールの使用量を削減します。

＜省エネルギー＞
- ●省エネルギーを考慮した設計を行います。
- ●国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。

本商品はダイナミックエコマーク認定製品です。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK
環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： フリーアクセス **0120-970413**

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間　9：00～21：00
年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： **0120-109217（トークニイーナ）**

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
東海・北陸・近畿・中国・四国地区
06-6341-5411（通話料金がかかります）
九州地区
092-720-4862（通話料金がかかります）

受付時間　9：00～21：00
年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2007 NTTEAST・NTTWEST

NTT

本2840-3(2007.11)
BX-MEトリセツ-〈1〉